

高齡者等実態把握調査
調査報告書

令和8年3月
戸田市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査設計	3
3 調査内容	3
4 回収結果	4
5 報告書の表記及び注意点について	5
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】	7
◎調査票記入者、ご本人の情報について	9
（1）調査票の記入者	9
（2）年齢	9
（3）性別	10
（4）居住地区	10
（5）要介護認定状況	11
1 あなたのご家族や生活状況について	12
（1）家族構成	12
（2）介護・介助の必要性	13
（3）介護・介助が必要になった主な原因	14
（4）主な介護・介助者	15
（5）現在の暮らしの経済的状況	15
（6）住居の形態	16
2 からだを動かすことについて	17
（1）階段昇行	17
（2）起立	17
（3）継続的な歩行	18
（4）転倒した経験	18
（5）転倒に対する不安	19
（6）外出しているか	19
（7）外出頻度の減少	20
（8）外出を控えているか	20
（9）外出を控える理由	21
（10）外出する際の移動手段	22
3 食べることについて	23
（1）身長・体重	23
（2）固いものが食べにくくなったか	24
（3）お茶や汁物等でむせることがあるか	25
（4）口の渇き	25
（5）歯磨きの習慣	26
（6）歯の数と入れ歯の利用状況	26
（7）噛み合わせ	27
（8）入れ歯の手入れ	27
（9）体重の減少	28

(10) 誰かと食事をする機会	28
4 毎日の生活について	29
(1) 物忘れがあるか	29
(2) 電話をかけているか	29
(3) 日にちがわからないことがあるか	30
(4) 1人での外出	30
(5) 食品・日用品の買物	31
(6) 食事の用意	31
(7) 請求書の支払い	32
(8) 預貯金の出し入れ	32
(9) 年金などの書類が書けるか	33
(10) 新聞を読んでいるか	33
(11) 本や雑誌を読んでいるか	34
(12) 健康についての記事や番組への関心	34
(13) 友人宅への訪問	35
(14) 相談にのっているか	35
(15) 病人の見舞いができるか	36
(16) 若い人への話しかけ	36
(17) 趣味はあるか	37
(18) 生きがいはあるか	37
5 地域での活動について	38
(1) 会・グループへの参加状況	38
(2) 地域活動への参加者としての参加希望	42
(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	42
6 就労について	43
(1) 就労状態	43
(2) 引退時期	43
7 たすけあいについて	44
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	44
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	44
(3) 看病や世話をしてくれる人	45
(4) 看病や世話をしてあげる人	45
(5) 相談相手	46
(6) 友人・知人と会う頻度	46
(7) 1か月間に会った友人・知人	47
(8) よく会う友人・知人との関係	47
8 健康について	48
(1) 主観的健康感	48
(2) 主観的幸福感	48
(3) 最近1か月間の気分の状態	49
(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態	49
(5) 飲酒の状況	50
(6) 喫煙の状況	50
(7) 治療中の病気	51
9 認知症にかかる相談窓口の把握について	52
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	52
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	52
(3) 認知症に関する相談窓口で知っているもの	53
(4) 「新しい認知症観」の認知度	53

(5) 「新しい認知症観」の内容の認知度	54
10 地域包括支援センターについて	55
(1) 「地域包括支援センター」の認知度	55
(2) 「地域包括支援センター」で知っていること	55
(3) 「地域包括支援センター」の役割の認知度	56
11 生活支援サービスについて	57
(1) 日常生活での困りごとの有無	57
(2) 困りごとの内容	57
12 終活 人生会議（ACP）やエンディングノートについて	58
(1) 人生会議（ACP）について	58
(2) エンディングノートについて	59
13 在宅医療・介護について	60
(1) 「在宅医療」の認知度	60
(2) 人生の最期を迎えたい場所	60
14 家族介護教室について	61
(1) 家族介護教室の認知度	61
(2) 参加してみたい家族介護教室の内容	62
(3) 参加したい曜日	63
(4) 参加したい時間帯	63
15 デジタル機器の使用について	64
(1) デジタル機器の使用目的	64
(2) デジタル機器の操作	64
(3) 使用しているデジタル機器	65
16 リスク分析	66
(1) 運動器機能の低下	66
(2) 転倒リスク	67
(3) 閉じこもり傾向	68
(4) 低栄養	69
(5) 口腔機能の低下	70
(6) 認知機能の低下	71
(7) IADL（手段的自立度）の低下	72
(8) うつ傾向	73
(9) 知的能動性の低下	74
(10) 社会的役割の低下	75
(11) 圏域別リスク該当者割合	76
17 経年比較	77
(1) 家族構成	77
(2) 介護・介助の必要性	78
(3) 現在の暮らしの経済的状況	78
(4) 外出しているか	79
(5) 外出頻度の減少	79
(6) 外出を控えているか	80
(7) 外出を控える理由	81
(8) 歯の数と入れ歯の利用状況	82
(9) 入れ歯の手入れ	82
(10) 趣味はあるか	83
(11) 生きがいはあるか	83
(12) 地域活動への参加者としての参加希望	84

(13) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	84
(14) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	85
(15) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	86
(16) 看病や世話をしてくれる人	87
(17) 看病や世話をしてあげる人	88
(18) 友人・知人と会う頻度	89
(19) 認知症に関する相談窓口の認知度	89
(20) 運動器機能の低下	90
(21) 転倒リスク	90
(22) 閉じこもり傾向	91
(23) 低栄養	91
(24) 口腔機能の低下	92
(25) 認知機能の低下	92
(26) IADL（手段的自立度）の低下	93
(27) うつ傾向	93
(28) 知的能動性の低下	94
(29) 社会的役割の低下	94

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】 95

1 調査対象者ご本人について	97
(1) 調査票記入者	97
(2) 居住地区	97
(3) 世帯類型	98
(4) 性別	98
(5) 年齢	99
(6) 要介護認定状況	99
(7) 施設等への入所・入居検討状況	100
(8) 現在抱えている傷病	101
(9) 介護保険サービスの利用の有無	102
(10) 介護保険サービスの利用状況	103
(11) 介護保険サービス未利用の理由	105
(12) 「介護保険サービス以外」のサービス利用	106
(13) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	107
(14) 訪問診療の利用の有無	108
(15) 家族・親族からの介護の頻度	108
2 主な介護者の方について	109
(1) 介護を理由とした離職の有無	109
(2) 主な介護者	110
(3) 主な介護者の性別	110
(4) 主な介護者の年齢	111
(5) 主な介護者が行っている介護	112
(6) 不安に感じる介護	113
(7) 主な介護者の勤務形態	114
(8) 介護のための働き方の調整	115
(9) 仕事と介護の両立のために効果的な支援	116
(10) 主な介護者の就労継続	117
(11) 家族介護教室の認知度	118
(12) 参加してみたい家族介護教室の内容	118
(13) 参加したい曜日	119

(14) 参加したい時間帯	119
(15) 現在の状況で、在宅介護を続けられる期間	120
3 経年比較	121
(1) 世帯類型	121
(2) 施設等への入所・入居検討状況	121
(3) 介護保険サービスの利用	122
(4) 介護保険サービス未利用の理由	123
(5) 「介護保険サービス以外」のサービス利用	124
(6) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	125
(7) 訪問診療の利用の有無	126
(8) 家族・親族からの介護の頻度	126
(9) 介護を理由とした離職の有無	127
(10) 主な介護者	128
(11) 主な介護者が行っている介護	129
(12) 不安に感じる介護	130
(13) 主な介護者の勤務形態	131
(14) 介護のための働き方の調整	132
(15) 仕事と介護の両立のために効果的な支援	133
(16) 主な介護者の就労継続	134

IV 自由記述..... 135

戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等	137
----------------------------------	-----

V 資料編..... 143

●使用した調査票	145
(1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	145
(2) 在宅介護実態調査	161

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、戸田市が第10期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、円滑な計画策定に必要な基礎資料とするための実態調査及び集計・分析を行うことを目的とする。

2 調査設計

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) 調査対象：一般高齢者（65歳以上の市民で、要介護認定者を除く。）
- (2) 標本数：2,500人
- (3) 抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送配付－郵送回収法
- (5) 調査期間：令和8年1月

【在宅介護実態調査】

- (1) 調査対象：要介護認定者（要介護認定を受けており、在宅で生活している市民）
- (2) 標本数：1,500人
- (3) 抽出方法：無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送配付－郵送回収法
- (5) 調査期間：令和8年1月

3 調査内容

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- 問1 あなたのご家族や生活状況について
- 問2 からだを動かすことについて
- 問3 食べることについて
- 問4 毎日の生活について
- 問5 地域での活動について
- 問6 就労について
- 問7 たすけあいについて
- 問8 健康について
- 問9 認知症にかかる相談窓口の把握について
- 問10 地域包括支援センターについて
- 問11 生活支援サービスについて
- 問12 終活 人生会議（ACP）やエンディングノートについて
- 問13 在宅医療・介護について
- 問14 家族介護教室について
- 問15 デジタル機器の使用について
- 問16 その他

I 調査の概要

【在宅介護実態調査】

- A票問1 調査票記入者について
 - 問2 世帯類型について
 - 問3 性別について
 - 問4 年齢について
 - 問5 要介護認定状況について
 - 問6 施設等への入所・入居検討状況について
 - 問7 現在抱えている傷病について
 - 問8 介護保険サービスの利用の有無について
 - 問9 介護保険サービスの利用状況について
 - 問10 介護保険サービス未利用の理由について
 - 問11 「介護保険サービス以外」のサービス利用について
 - 問12 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて
 - 問13 訪問診療の利用の有無について
 - 問14 家族・親族からの介護の頻度について
- B票問1 介護を理由とした離職の有無について
 - 問2 主な介護者について
 - 問3 主な介護者の性別について
 - 問4 主な介護者の年齢について
 - 問5 主な介護者が行っている介護について
 - 問6 不安に感じる介護について
 - 問7 主な介護者の勤務形態について
 - 問8 介護のための働き方の調整について
 - 問9 仕事と介護の両立のために効果的な支援について
 - 問10 主な介護者の就労継続について
 - 問11 家族介護教室の認知度について
 - 問12 参加してみたい家族介護教室の内容について
 - 問13 参加したい曜日について
 - 問14 参加したい時間帯について
 - 問15 現在の状況で、在宅介護を続けられる期間について
 - 問16 自由記述

4 回収結果

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) 標本数：2, 500人
- (2) 有効回収数：1, 607人
- (3) 有効回収率：64.3%

【在宅介護実態調査】

- (1) 標本数：1, 326人
- (2) 有効回収数：695人
- (3) 有効回収率：52.4%

5 報告書の表記及び注意点について

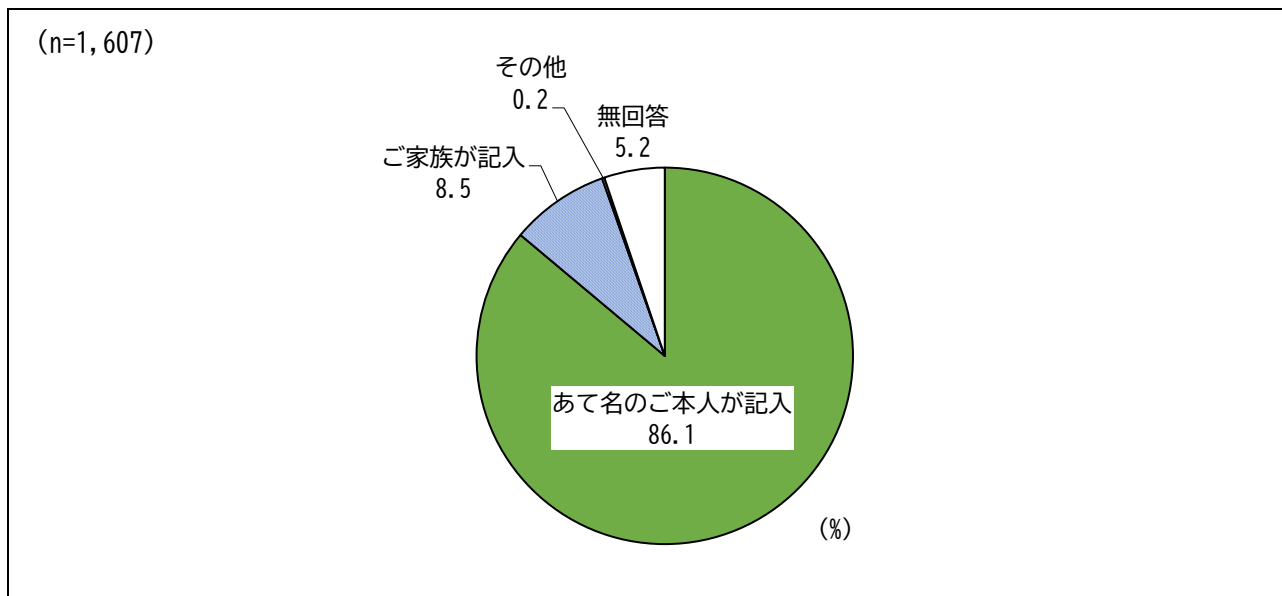
1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。

Ⅱ 調査結果 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

◎調査票記入者、ご本人の情報について

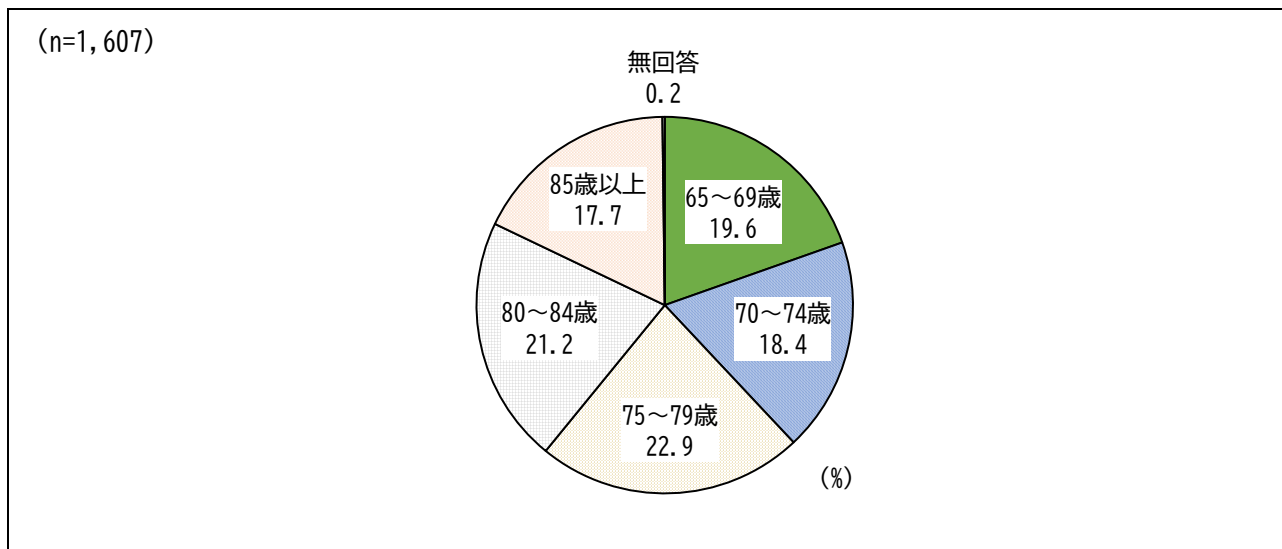
(1) 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。



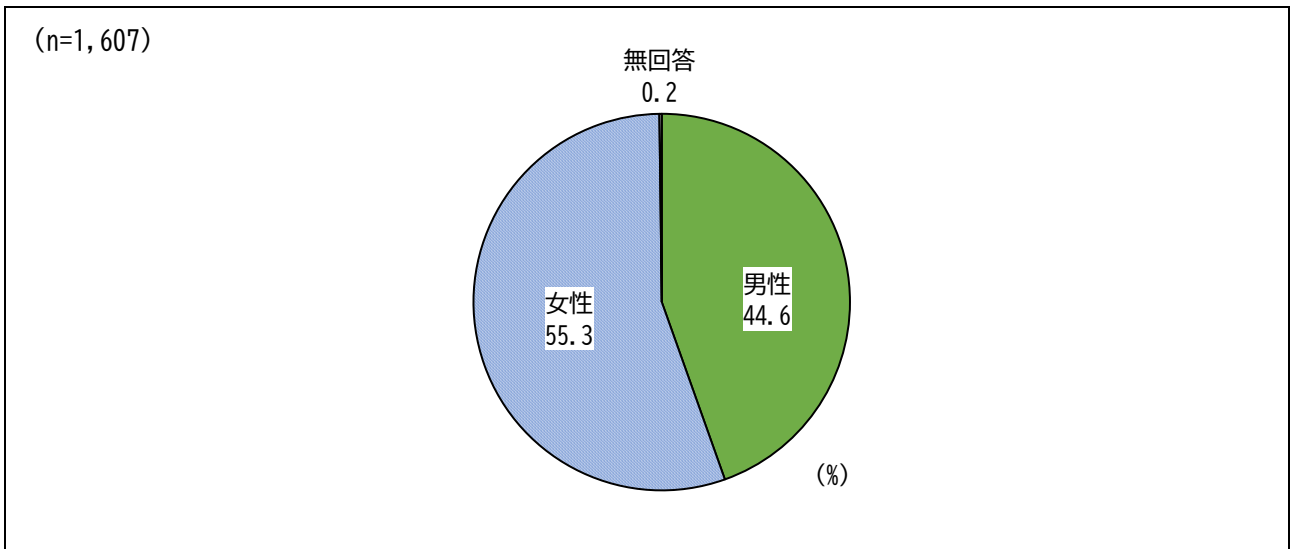
調査票の記入者は、「本人名で記入」が86.1%で大半を占めている。

(2) 年齢



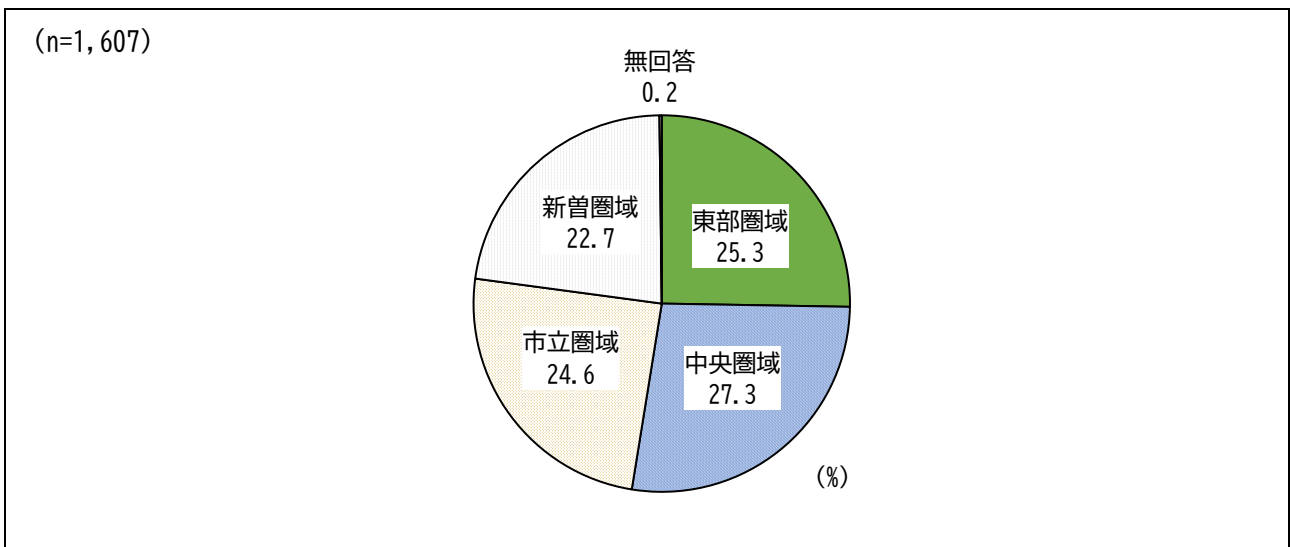
年齢は、「65~69歳」が19.6%、「70~74歳」が18.4%、「75~79歳」が22.9%、「80~84歳」が21.2%、「85歳以上」が17.7%となっている。

(3) 性別



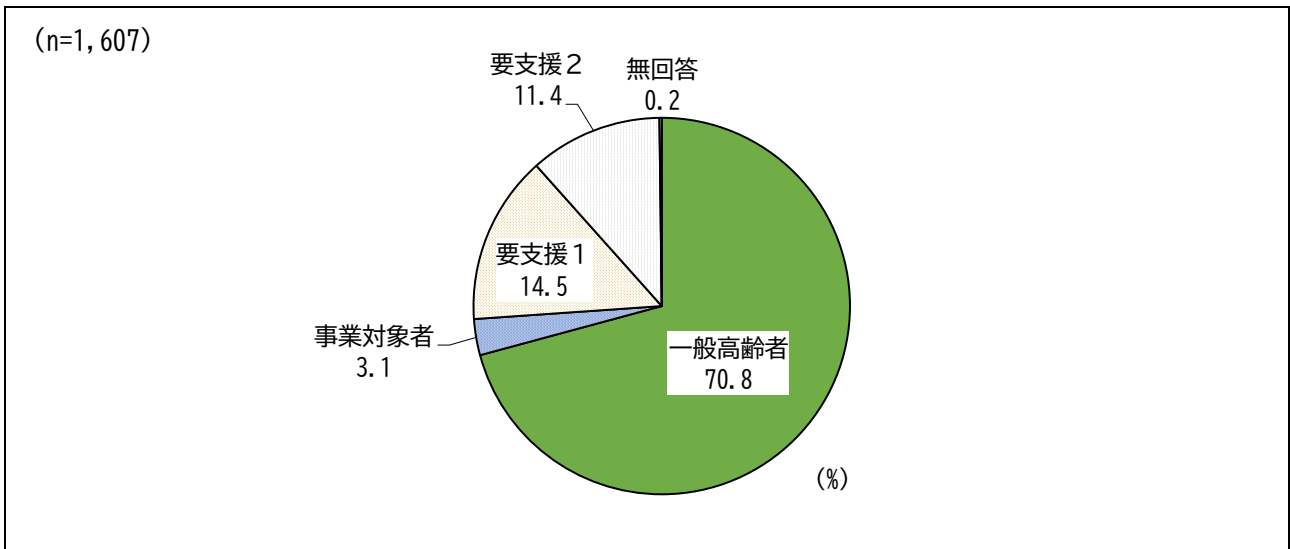
性別は、「男性」が44.6%、「女性」が55.3%となっている。

(4) 居住地区



居住地区は、「中央圏域」が27.3%、「東部圏域」が25.3%、「市立圏域」が24.6%、「新曽圏域」が22.7%となっている。

(5) 要介護認定状況

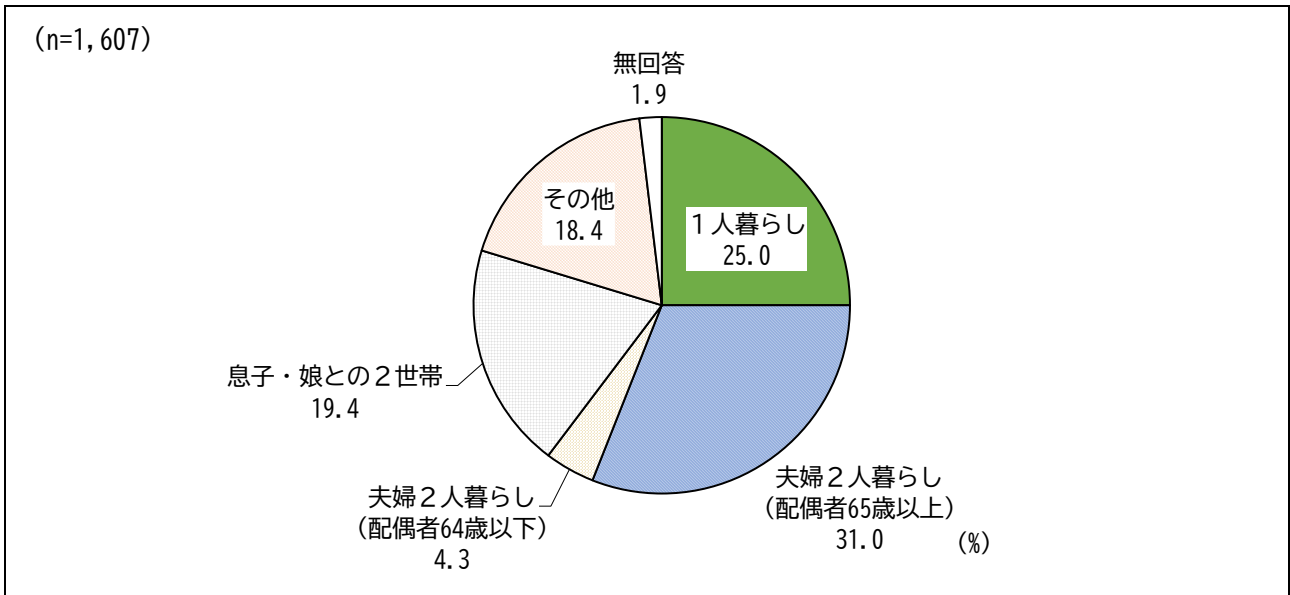


要介護認定状況は、「一般高齢者」が70.8%、「要支援1」が14.5%、「要支援2」が11.4%、「事業対象者」が3.1%となっている。

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

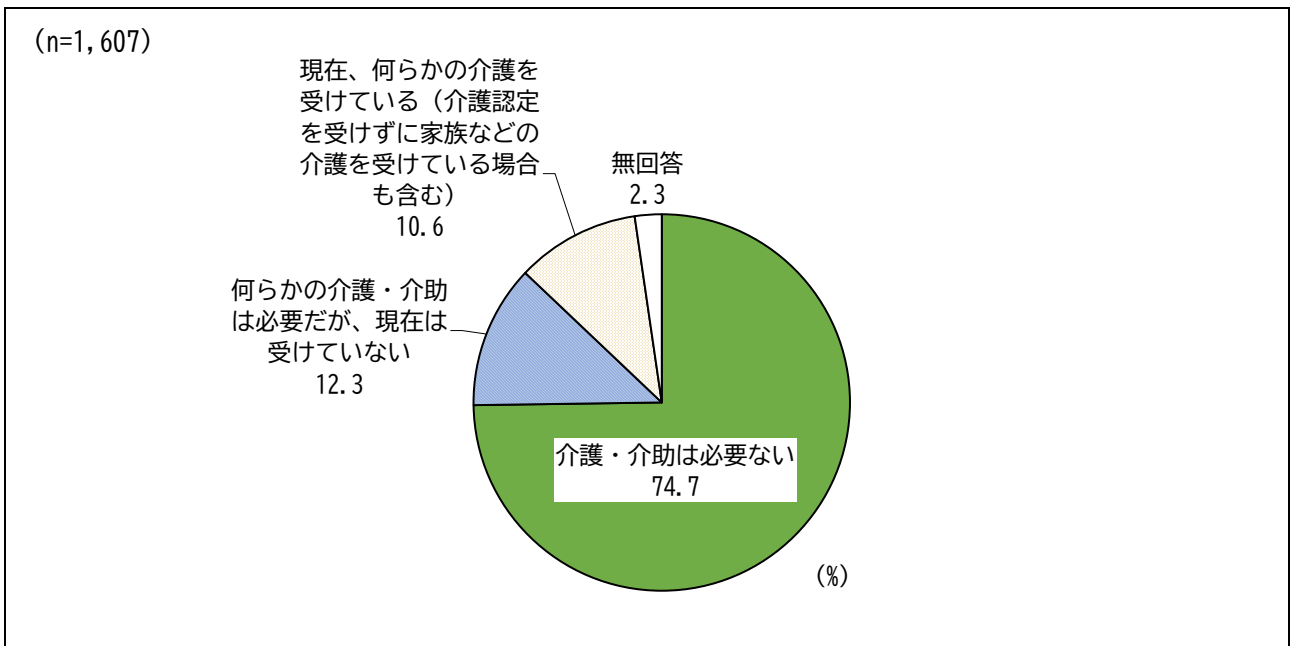
(1) 家族構成をお教えてください (○はひとつ)



家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が31.0%で最も多く、次いで「1人暮らし」が25.0%、「息子・娘との2世帯」が19.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.3%となっている。また、「その他」が18.4%となっている。

(2) 介護・介助の必要性

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○はひとつ)

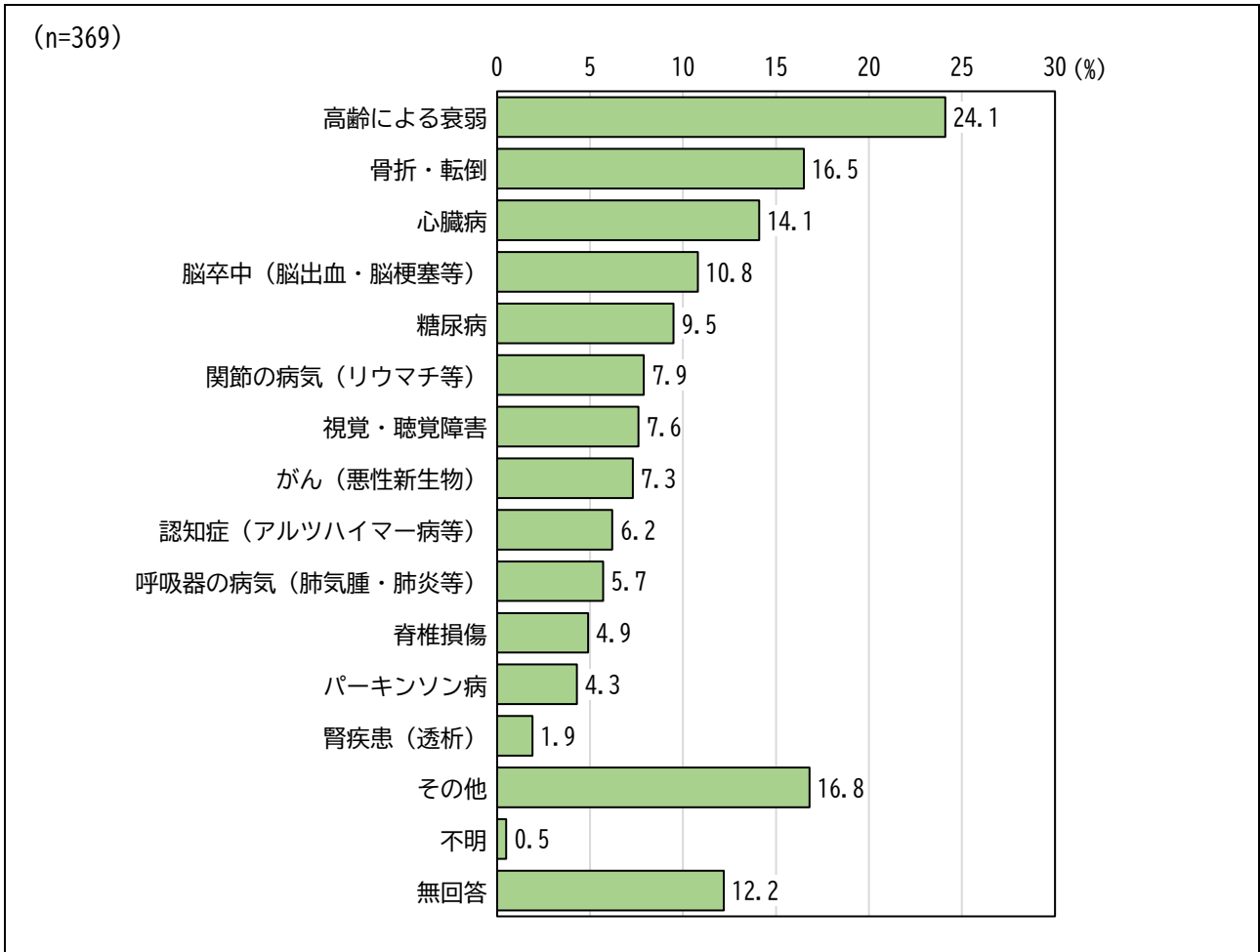


普段の生活で介護・介助を必要とするかは、「介護・介助は必要ない」が74.7%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が12.3%、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が10.6%となっている。

(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【(2) において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を選んだ介護・介助を必要とする方のみ】

(2) - ① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

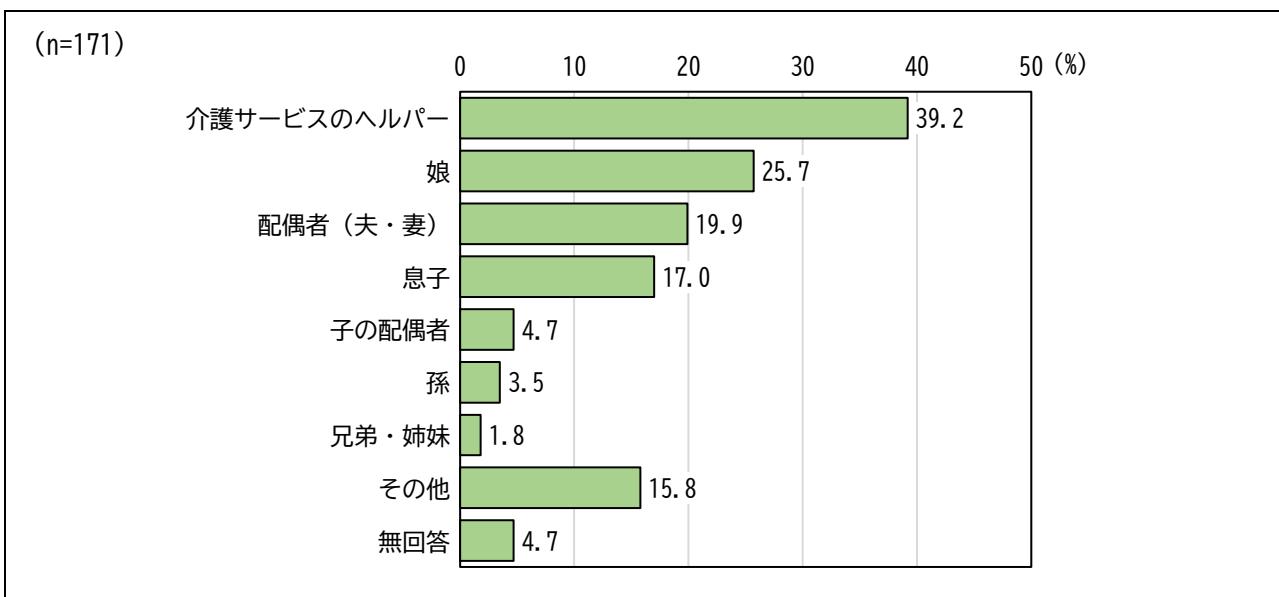


介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が24.1%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が16.5%、「心臓病」が14.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が10.8%、「糖尿病」が9.5%などとなっている。

(4) 主な介護・介助者

【(2) において「現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方のみ】

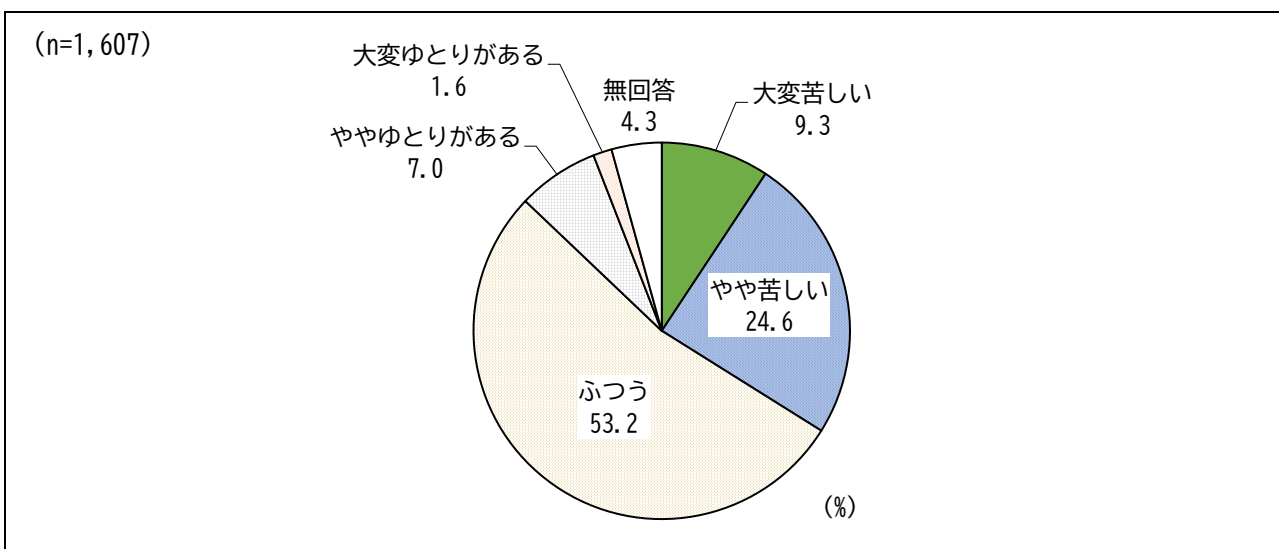
(2) -② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)



主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」が39.2%で最も多く、次いで「娘」が25.7%、「配偶者(夫・妻)」が19.9%、「息子」が17.0%、「子の配偶者」が4.7%などとなっている。

(5) 現在の暮らしの経済的状況

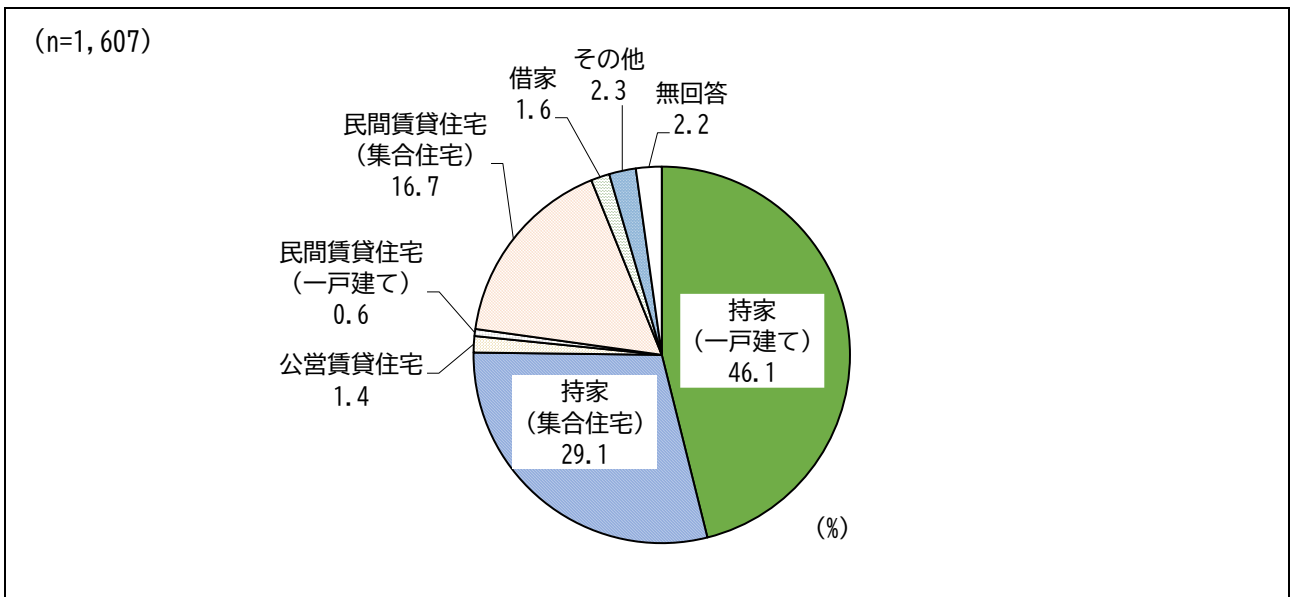
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○はひとつ)



現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が53.2%で最も多く、以下、「やや苦しい」が24.6%、「大変苦しい」が9.3%、「ややゆとりがある」が7.0%、「大変ゆとりがある」が1.6%となっている。

(6) 住居の形態

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○はひとつ)

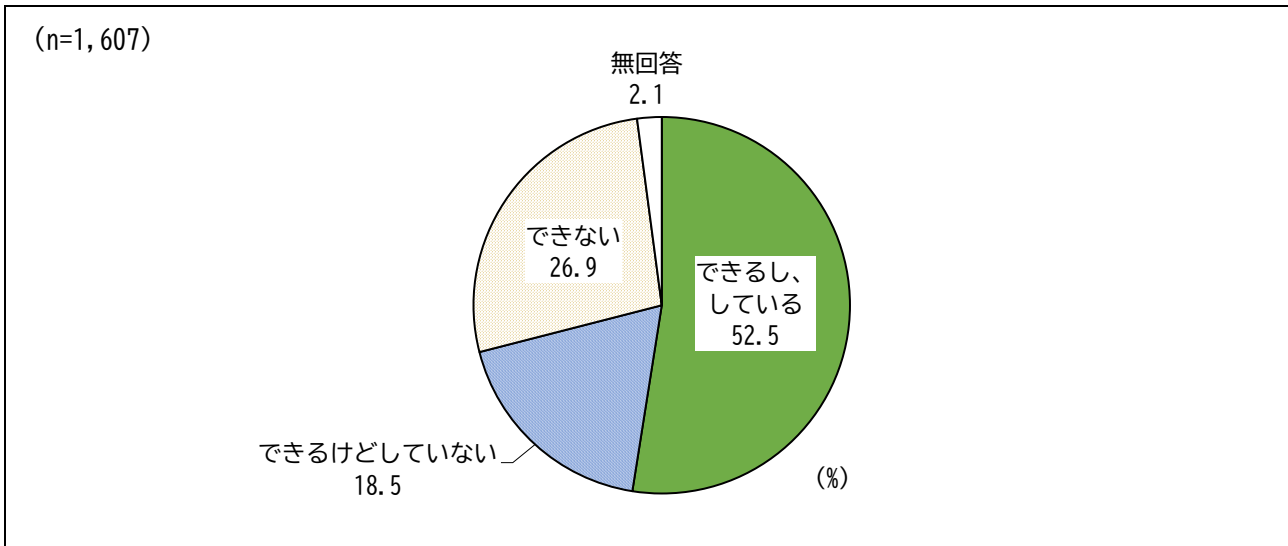


住居の形態は、「持家 (一戸建て)」が46.1%で最も多く、以下、「持家 (集合住宅)」が29.1%、「民間賃貸住宅 (集合住宅)」が16.7%などとなっている。

2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行

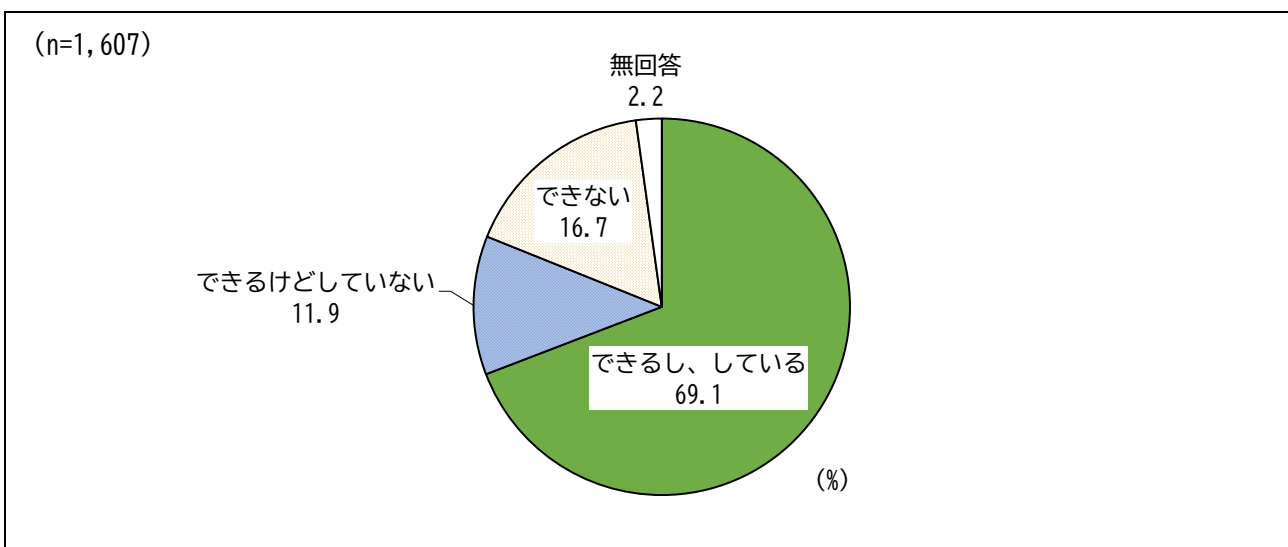
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は26.9%となっている。

(2) 起立

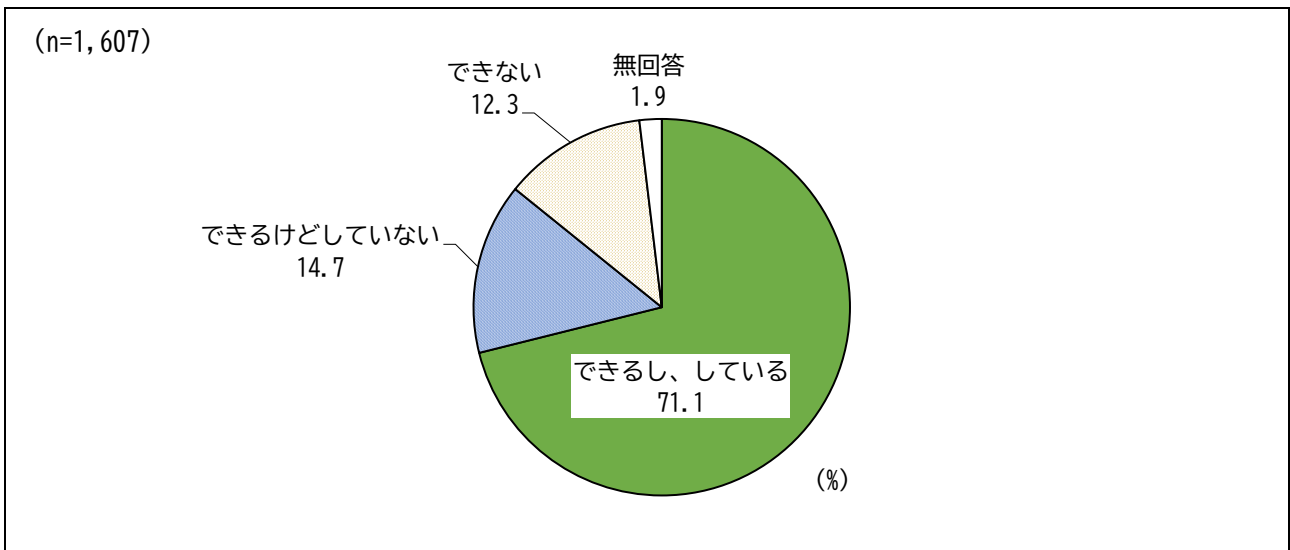
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)



椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は16.7%となっている。

(3) 継続的な歩行

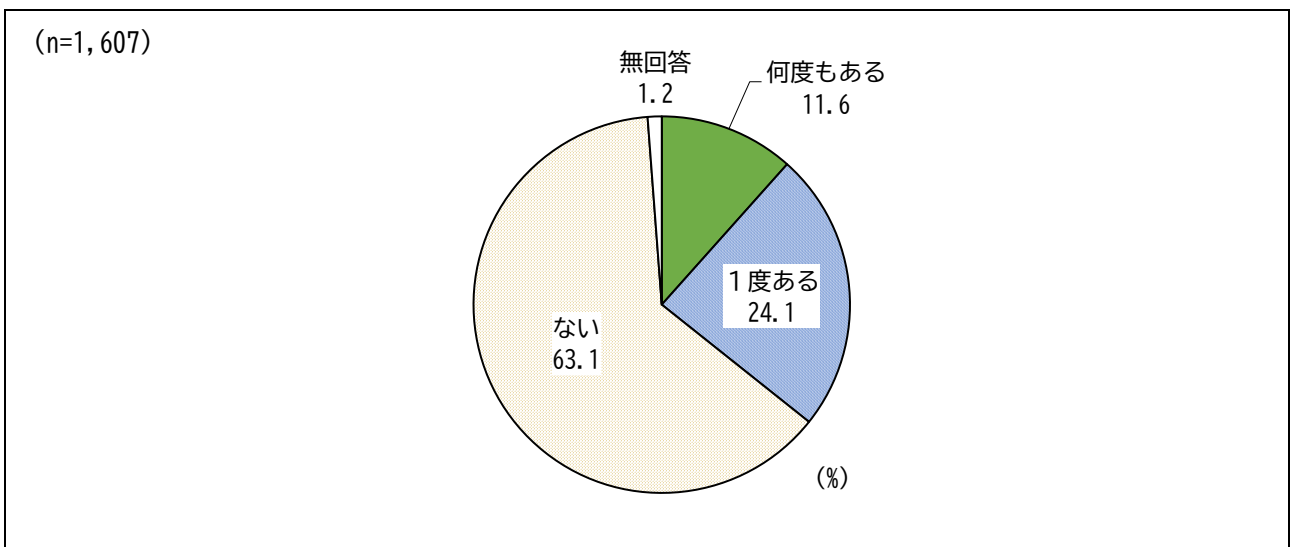
(3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)



15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は12.3%となっている。

(4) 転倒した経験

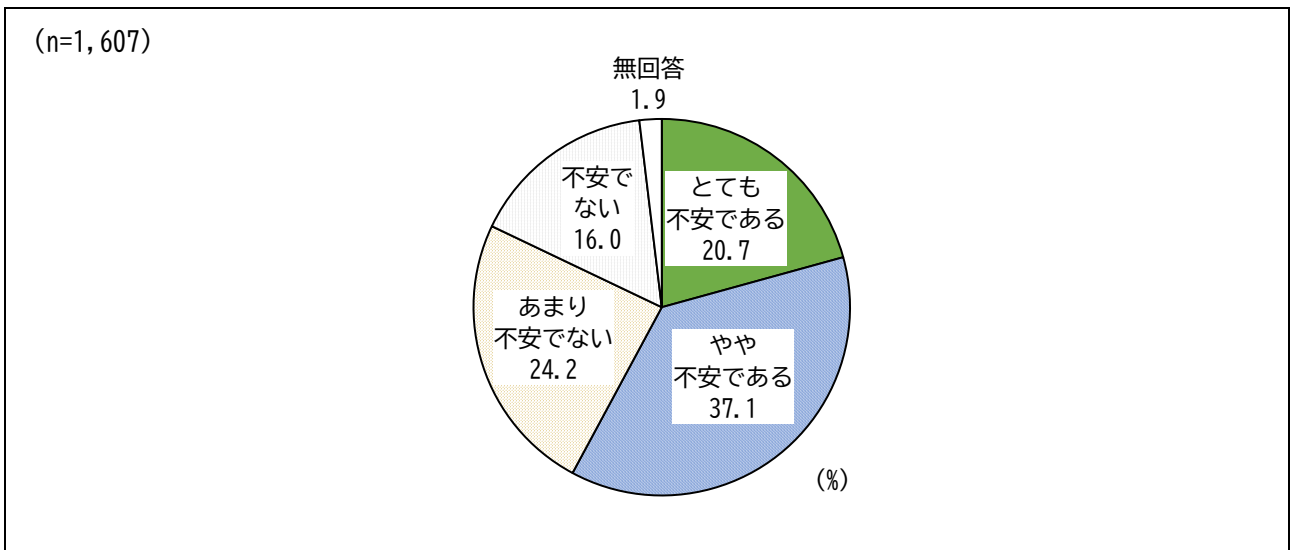
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)



この1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある』（「何度もある」と「1度ある」の合計）は35.7%となっている。

(5) 転倒に対する不安

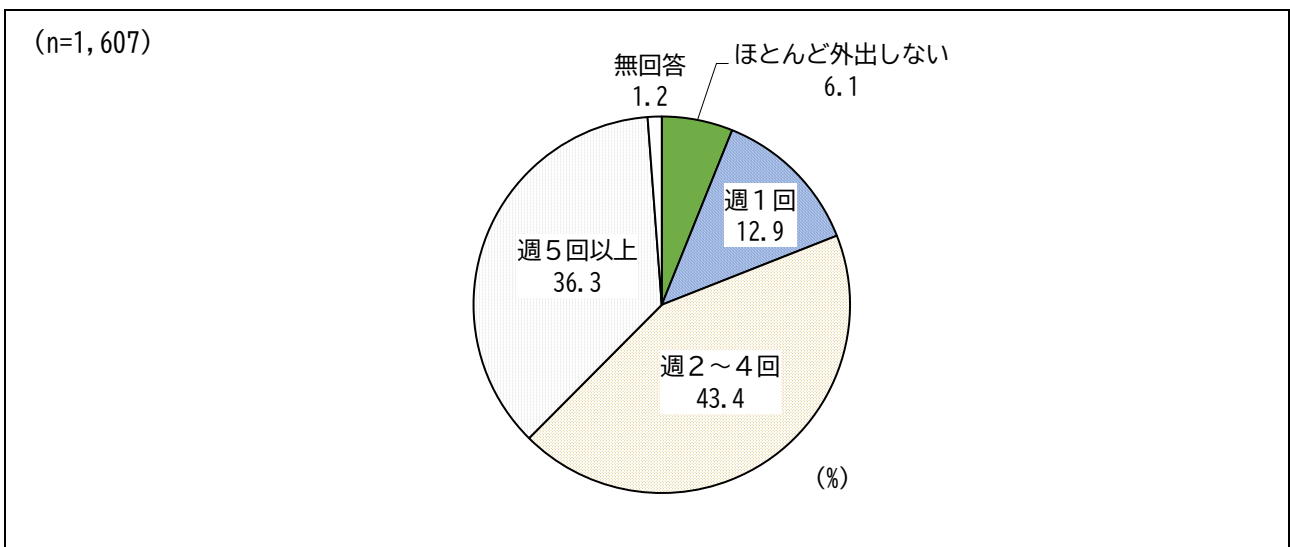
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)



転倒に対する不安について尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）は57.8%となっている。

(6) 外出しているか

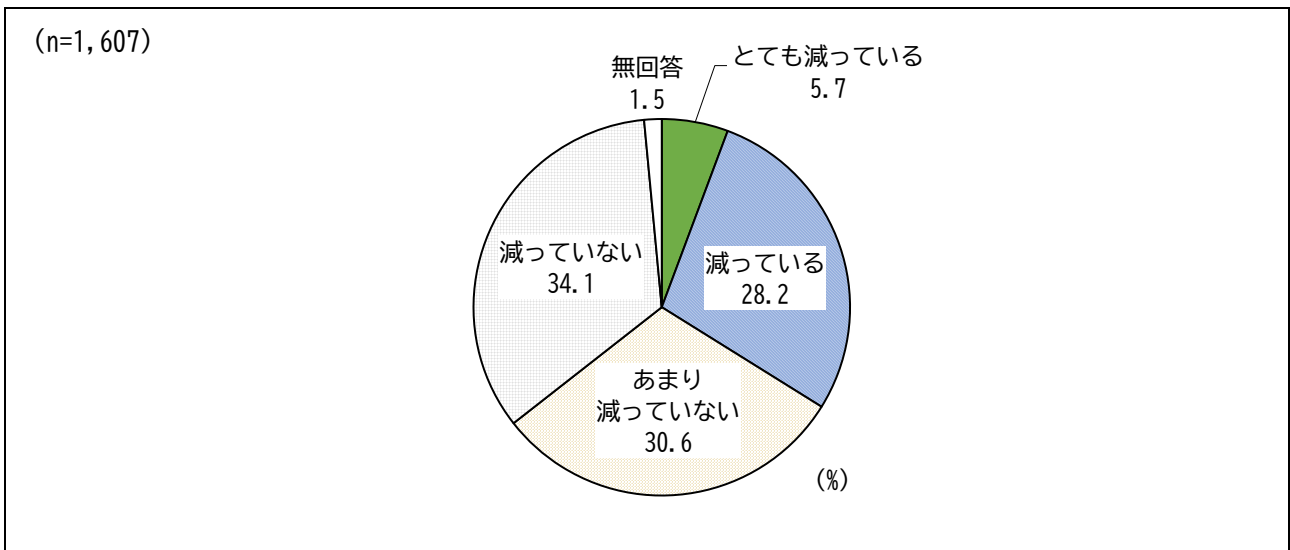
(6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)



週に1回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない』（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）は19.0%となっている。

(7) 外出頻度の減少

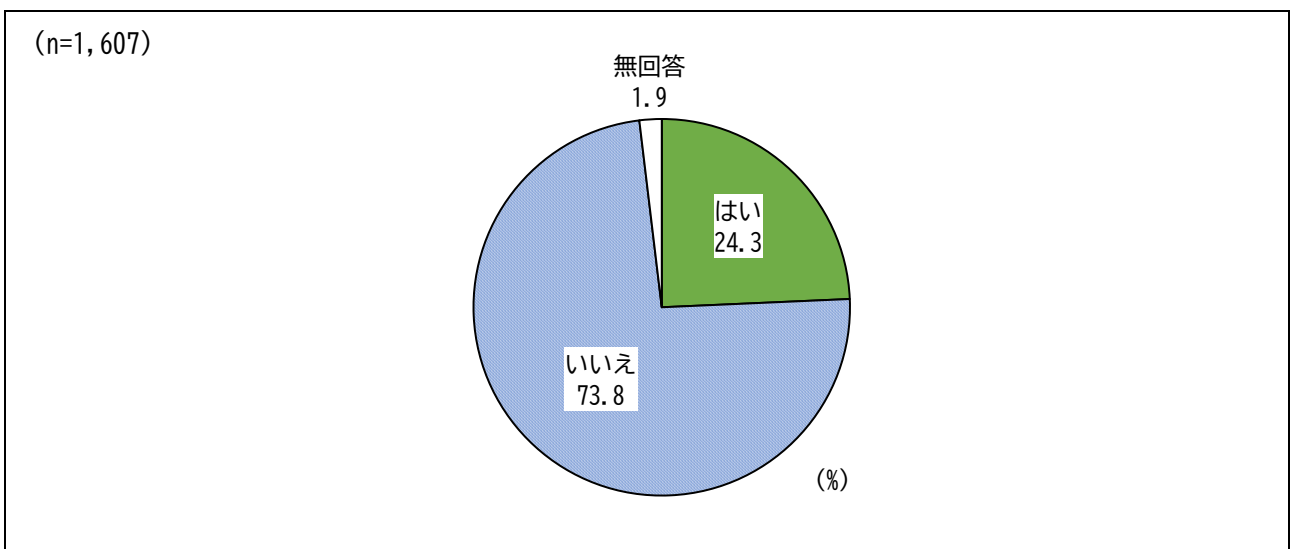
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)



昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、「減っていない」が34.1%で最も多く、以下、「あまり減っていない」が30.6%、「減っている」が28.2%、「とても減っている」が5.7%となっている。

(8) 外出を控えているか

(8) 外出を控えていますか (○はひとつ)

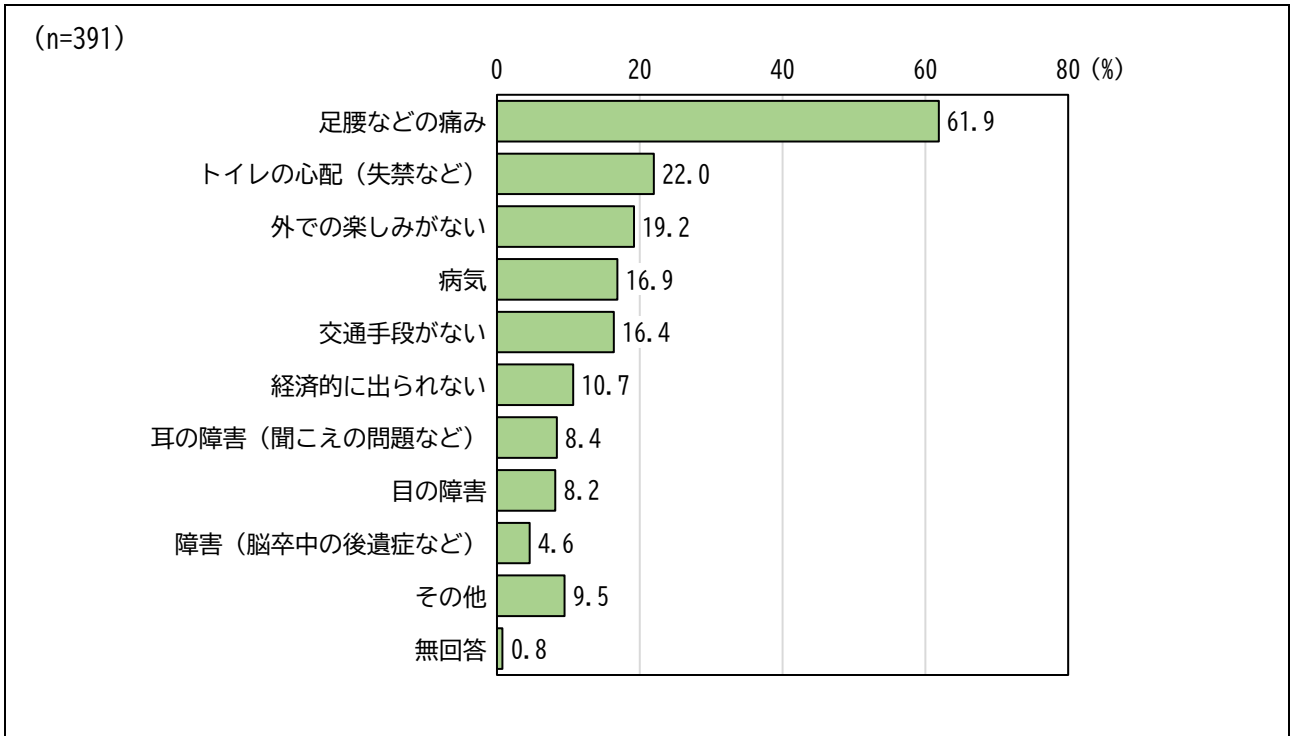


外出を控えているか尋ねたところ、24.3%が「はい」と回答している。

(9) 外出を控える理由

【(8)で「はい」(外出を控えている)を選んだ方のみ】

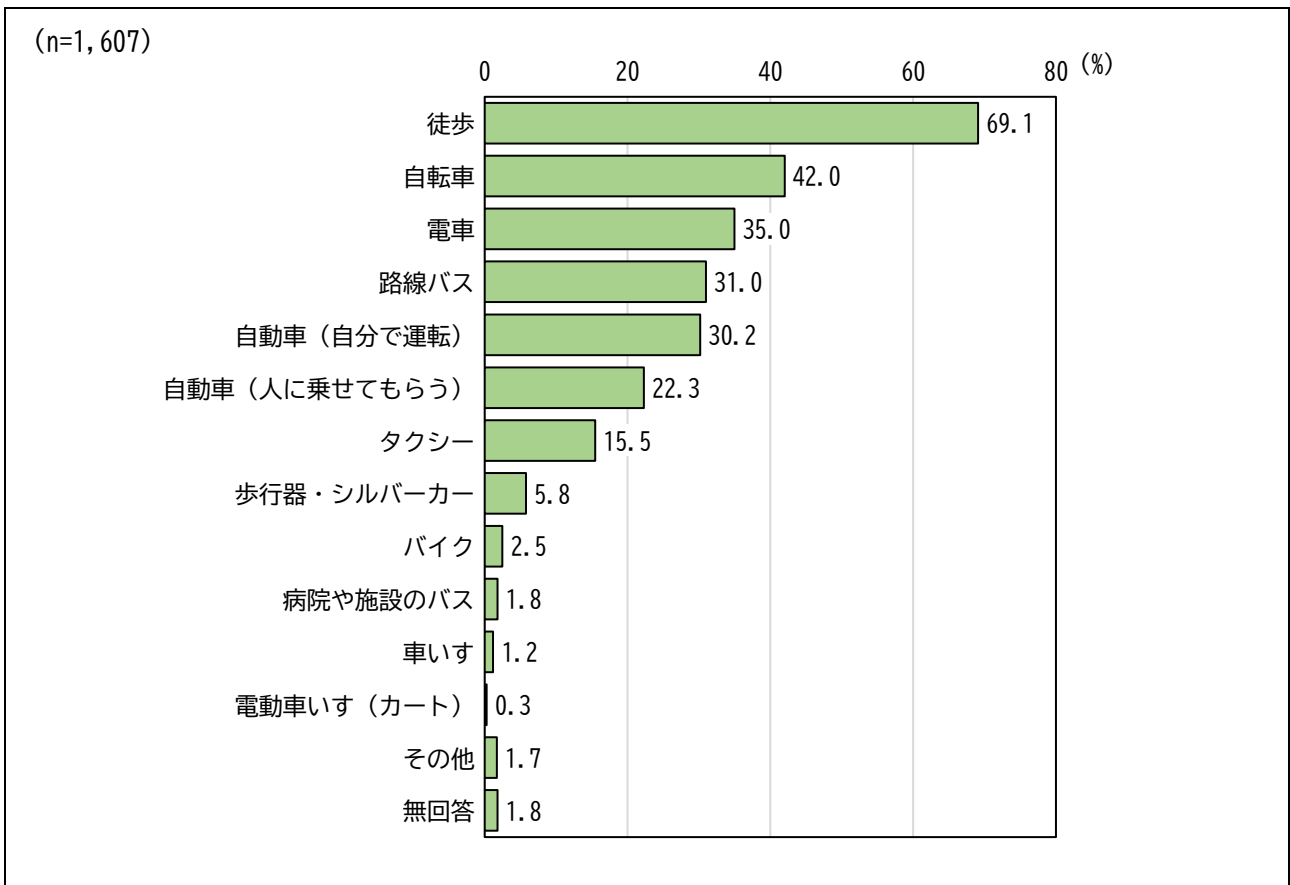
(8) - ① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)



外出を控えている理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が61.9%で最も多く、以下、「トイレの心配 (失禁など)」が22.0%、「外での楽しみがない」が19.2%、「病気」が16.9%、「交通手段がない」が16.4%などとなっている。

(10) 外出する際の移動手段

(9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



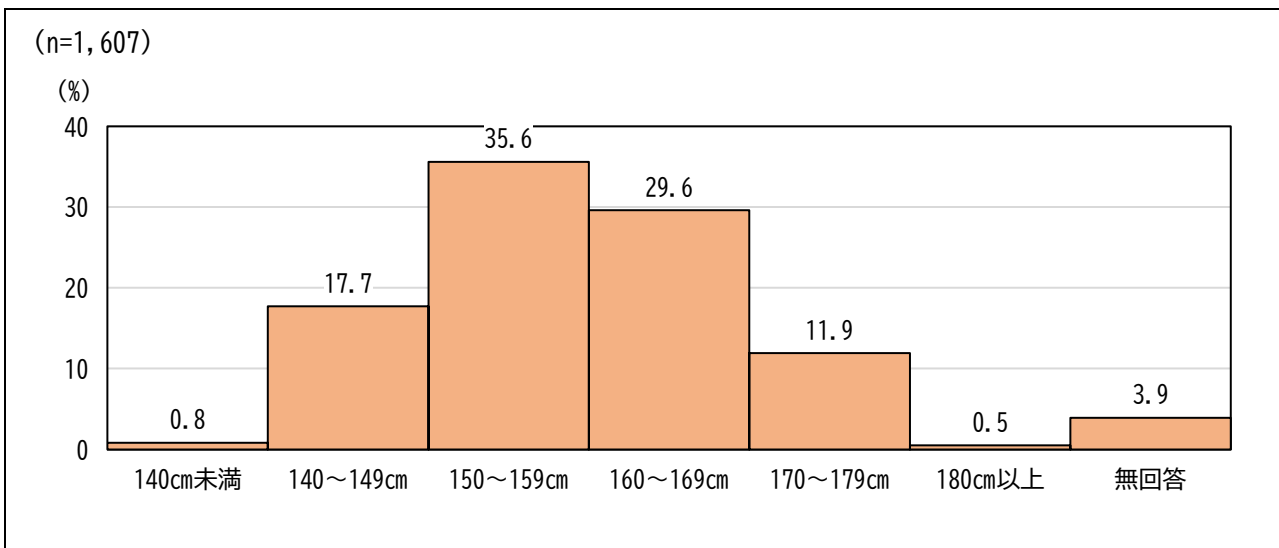
外出する際の移動手段については、「徒歩」が69.1%で最も多く、以下、「自転車」が42.0%、「電車」が35.0%、「路線バス」が31.0%、「自動車（自分で運転）」が30.2%などとなっている。

3 食べることについて

(1) 身長・体重

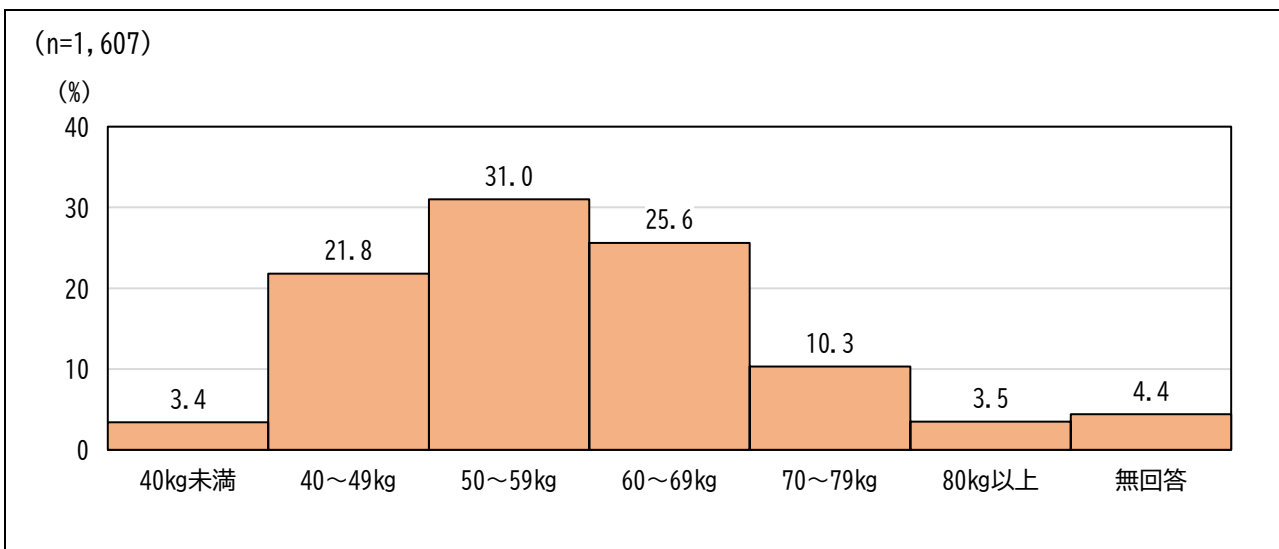
(1) 身長・体重を教えてください

《身長》



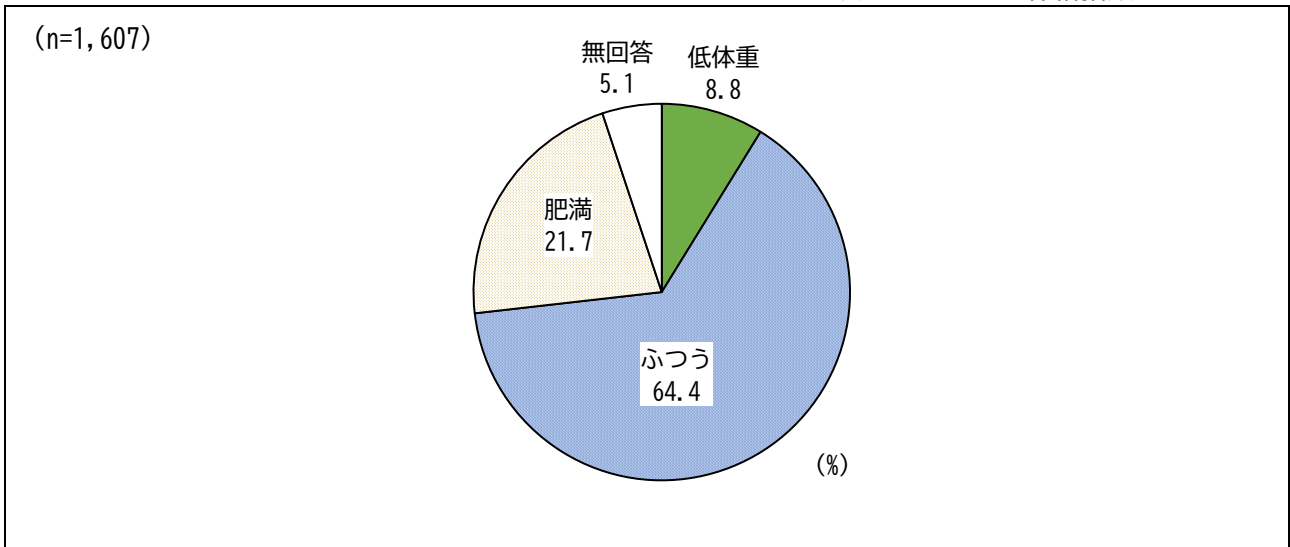
身長は、「150～159cm」が35.6%で最も多く、以下、「160～169cm」が29.6%、「140～149cm」が17.7%、「170～179cm」が11.9%、「140cm未満」が0.8%、「180cm以上」が0.5%となっている。

《体重》



体重は、「50～59kg」が31.0%で最も多く、以下、「60～69kg」が25.6%、「40～49kg」が21.8%、「70～79kg」が10.3%、「80kg以上」が3.5%、「40kg未満」が3.4%となっている。

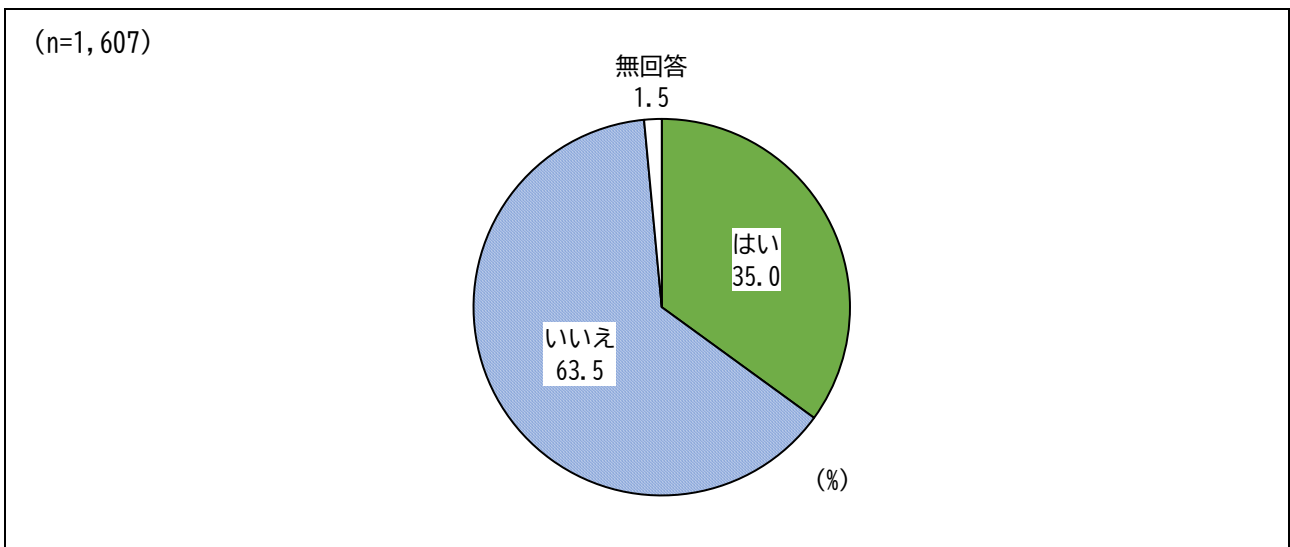
《BMI (Body Mass Index)》 = 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)} : 肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数



BMIについて、低栄養傾向のチェック該当となる「低体重」の割合は8.8%となっている。

(2) 固いものが食べにくくなったか

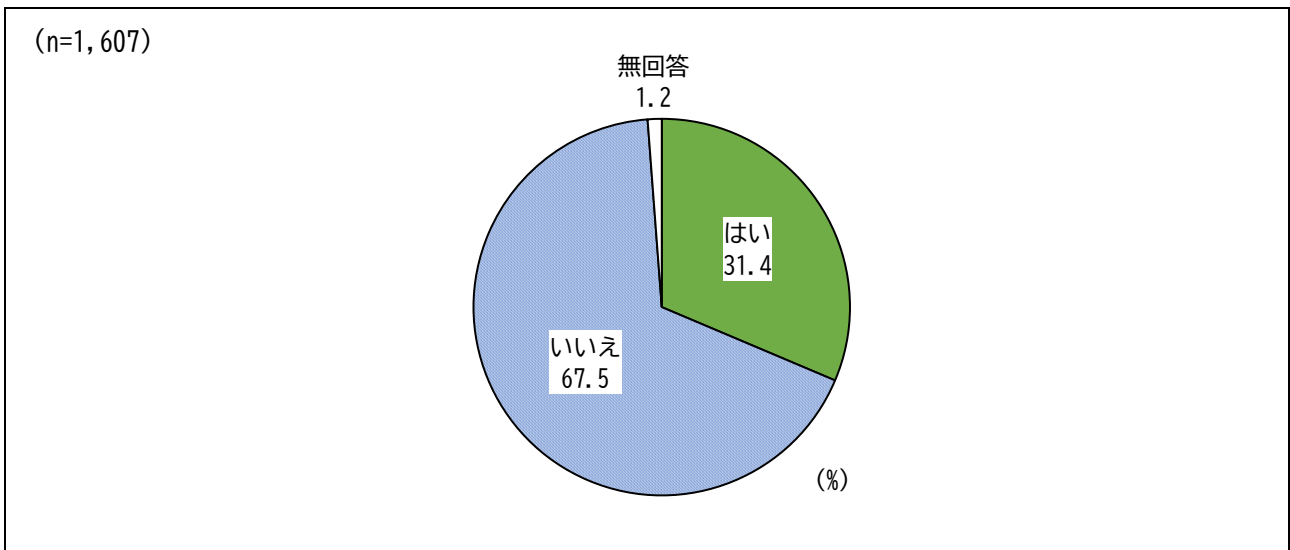
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)



半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は35.0%となっている。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

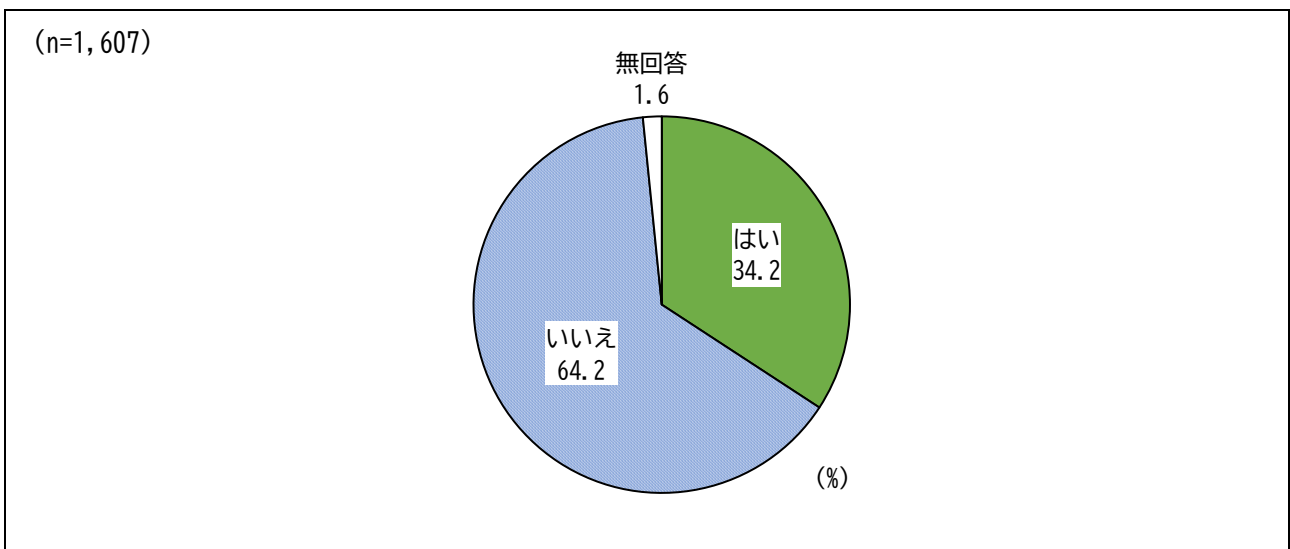
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○はひとつ)



お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は31.4%となっている。

(4) 口の渇き

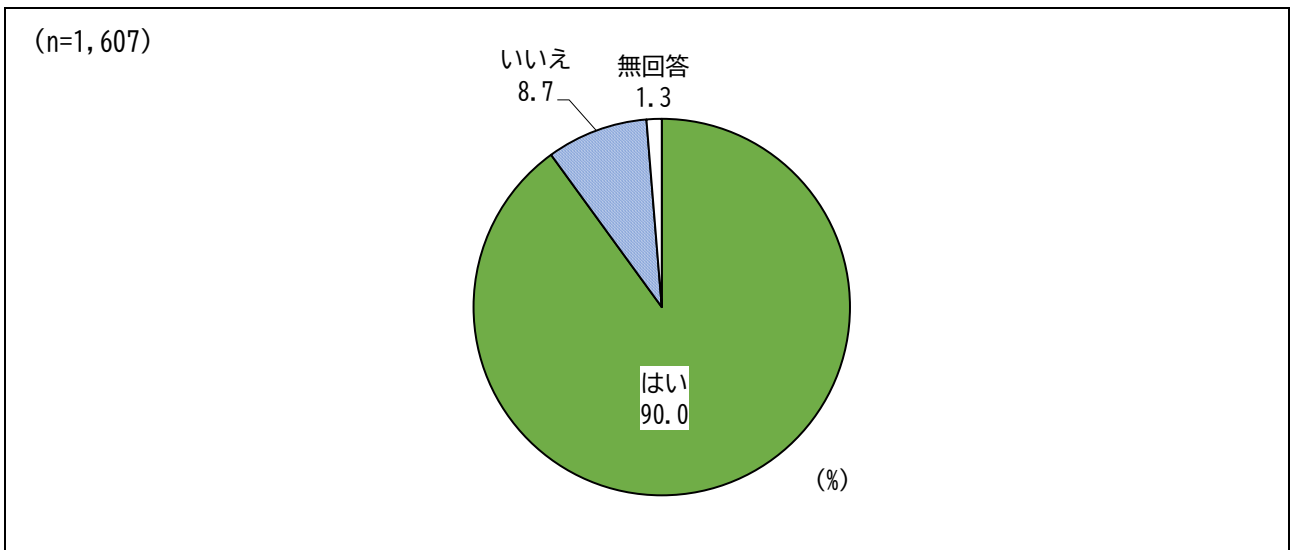
(4) 口の渇きが気になりますか (○はひとつ)



口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は34.2%となっている。

(5) 歯磨きの習慣

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○はひとつ）

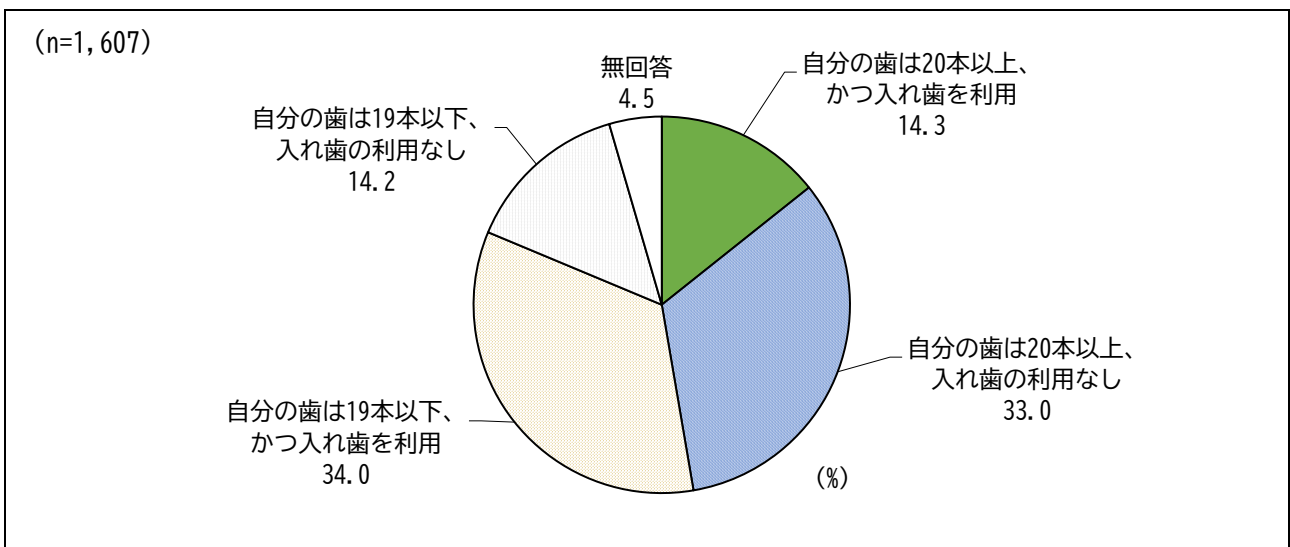


歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が90.0%、「いいえ」が8.7%となっている。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○はひとつ）

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

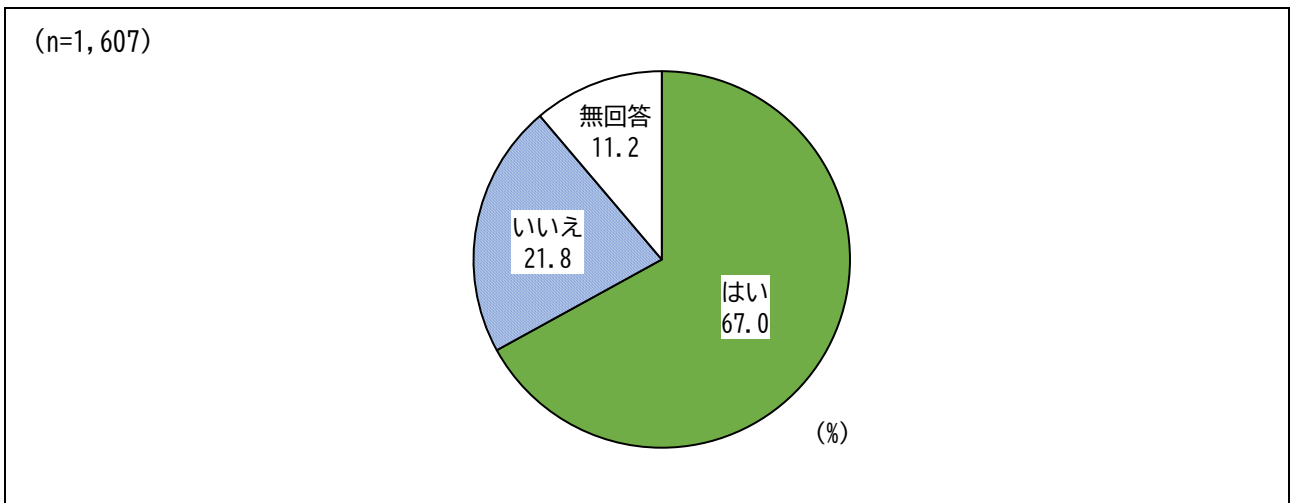


歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.0%で最も多く、以下、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が33.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が14.2%となっている。

したがって、『自分の歯は20本以上』は47.3%、『入れ歯を利用』は48.3%となっている。

(7) 噛み合わせ

(6) -① 噛み合わせは良いですか (○はひとつ)

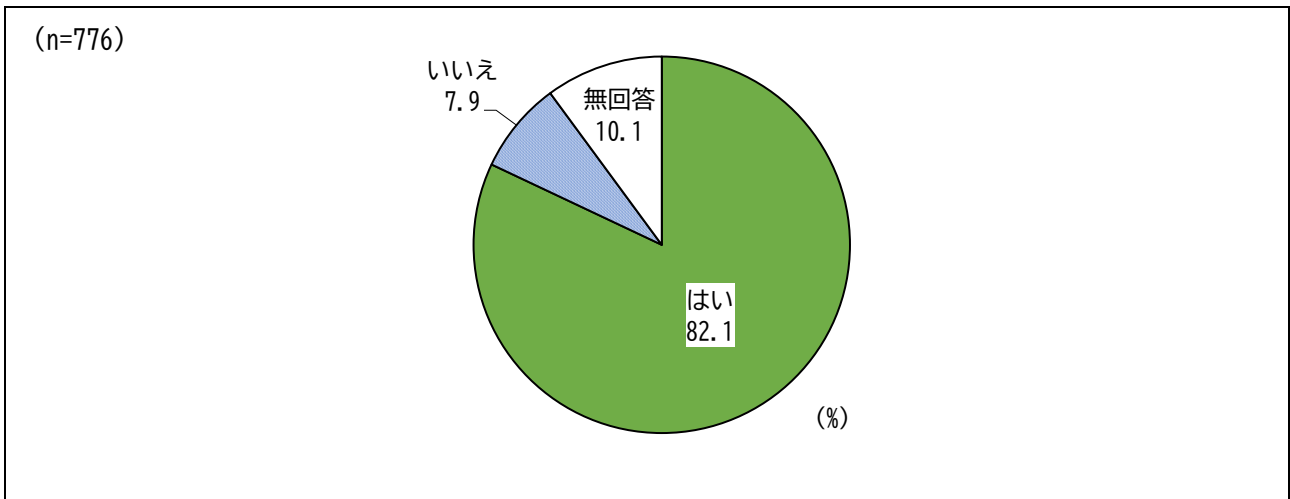


噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が67.0%、「いいえ」が21.8%となっている。

(8) 入れ歯の手入れ

【(6)において「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ方のみ】

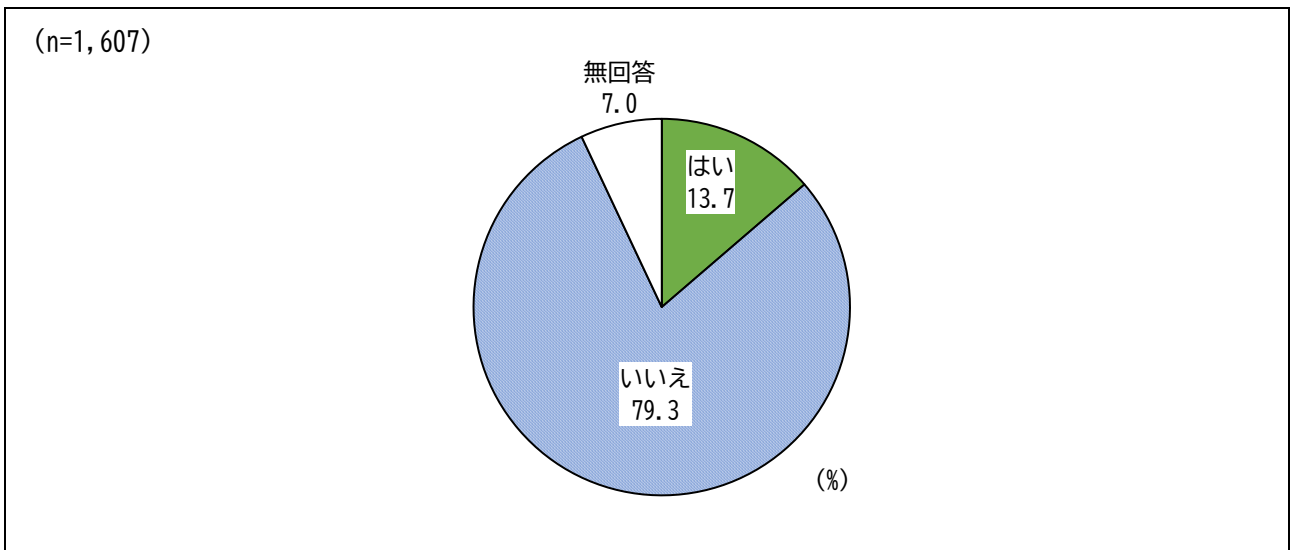
(6) -② 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○はひとつ)



入れ歯をしていると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が82.1%、「いいえ」が7.9%となっている。

(9) 体重の減少

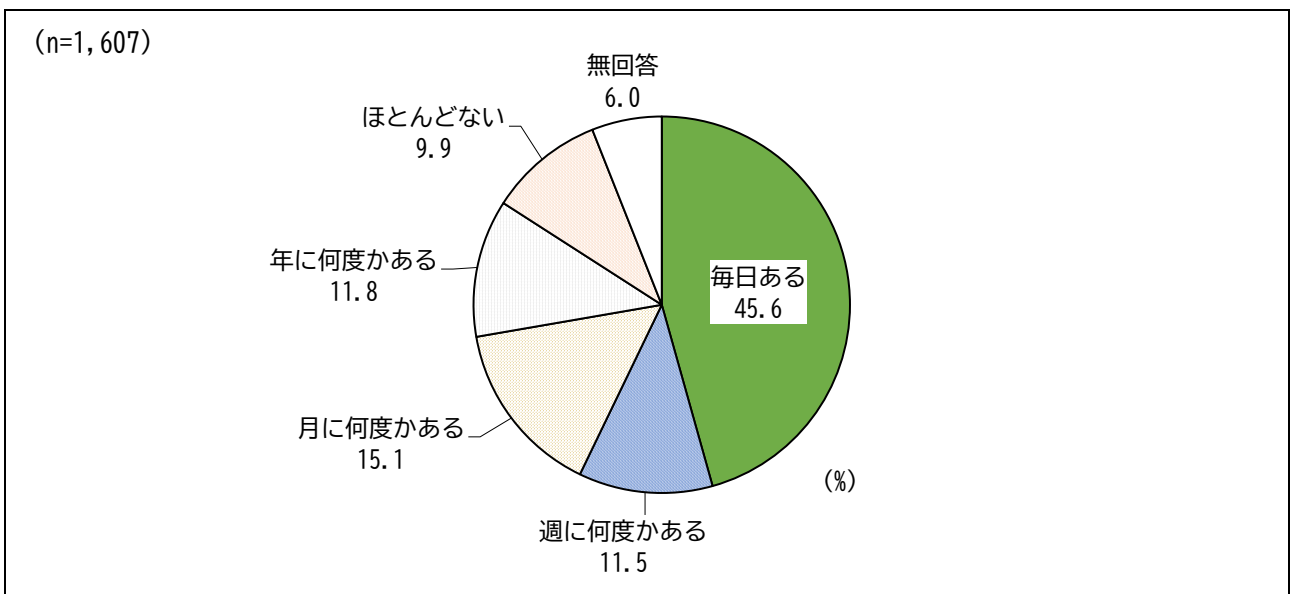
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○はひとつ）



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、低栄養傾向のチェック該当となる「はい」の割合は13.7%となっている。

(10) 誰かと食事をする機会

(8) どなたかと食事をとる機会がありますか（○はひとつ）

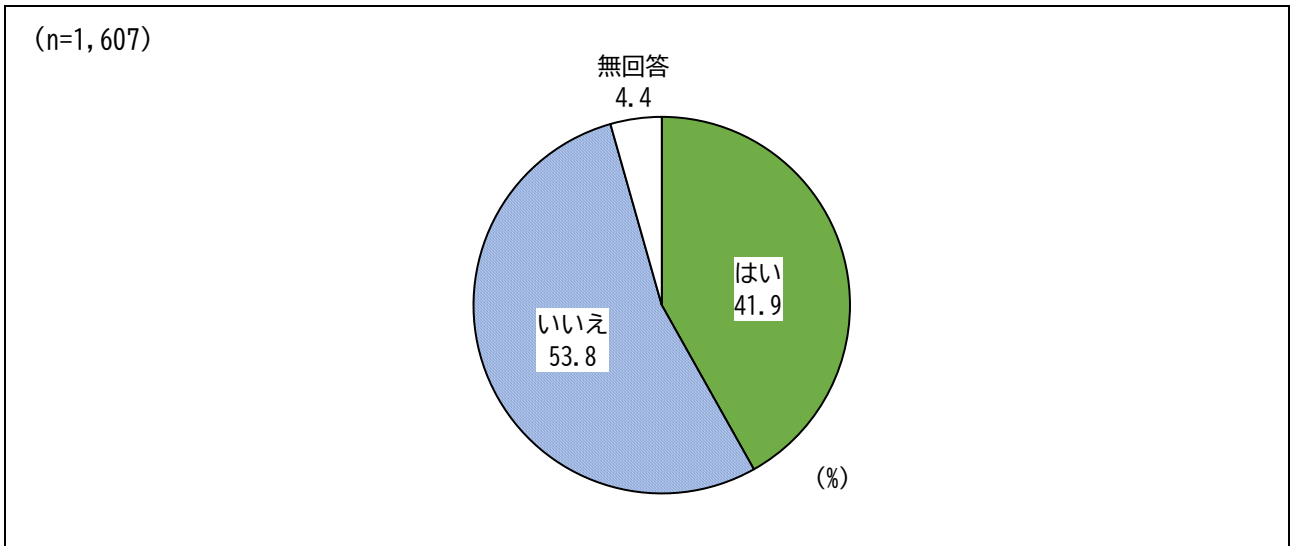


自分一人でなく誰かと食事をとる機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が45.6%で最も多く、以下、「月に何度かある」が15.1%、「年に何度かある」が11.8%、「週に何度かある」が11.5%、「ほとんどない」が9.9%となっている。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れがあるか

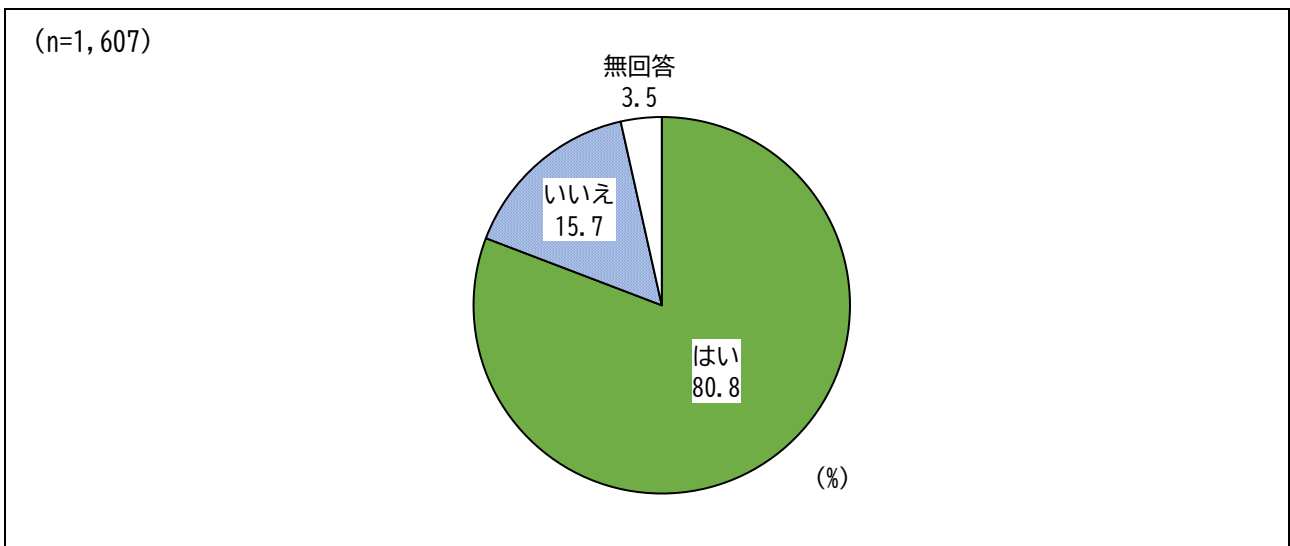
(1) 物忘れが多いと感じますか (○はひとつ)



物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は41.9%となっている。

(2) 電話をかけているか

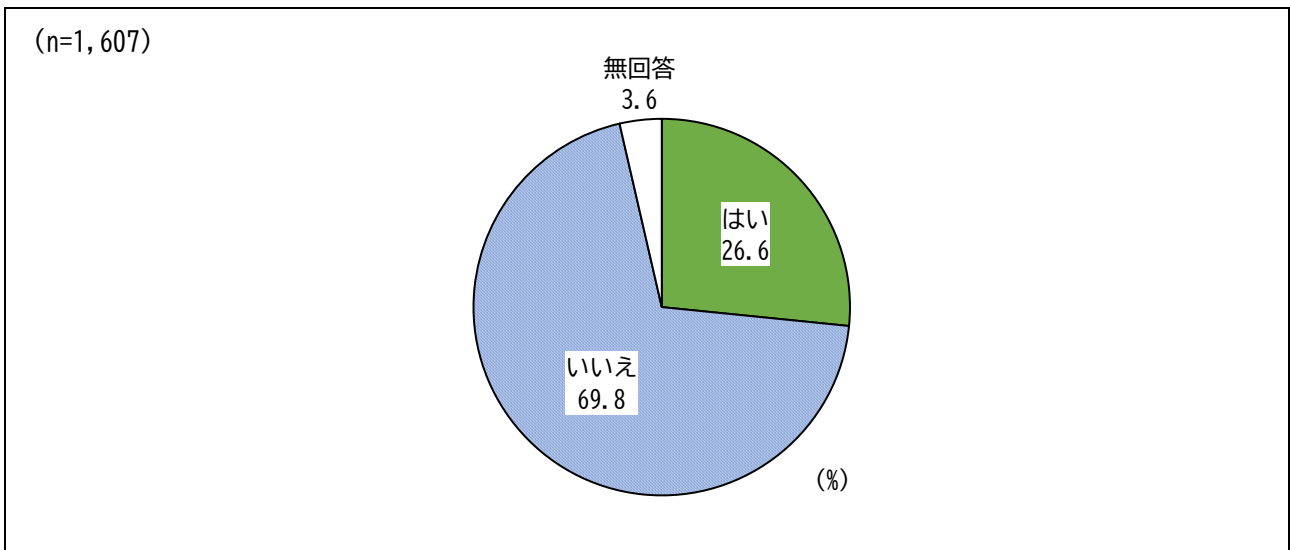
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○はひとつ)



自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は15.7%となっている。

(3) 日にちがわからないことがあるか

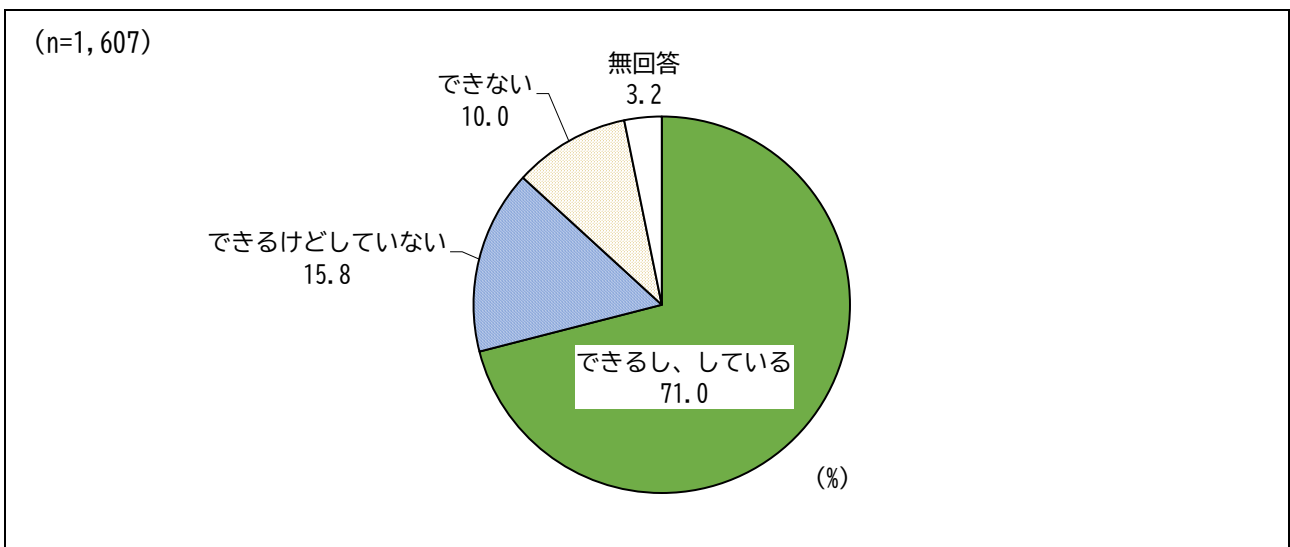
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○はひとつ)



日にちがわからないことがあるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は26.6%となっている。

(4) 1人での外出

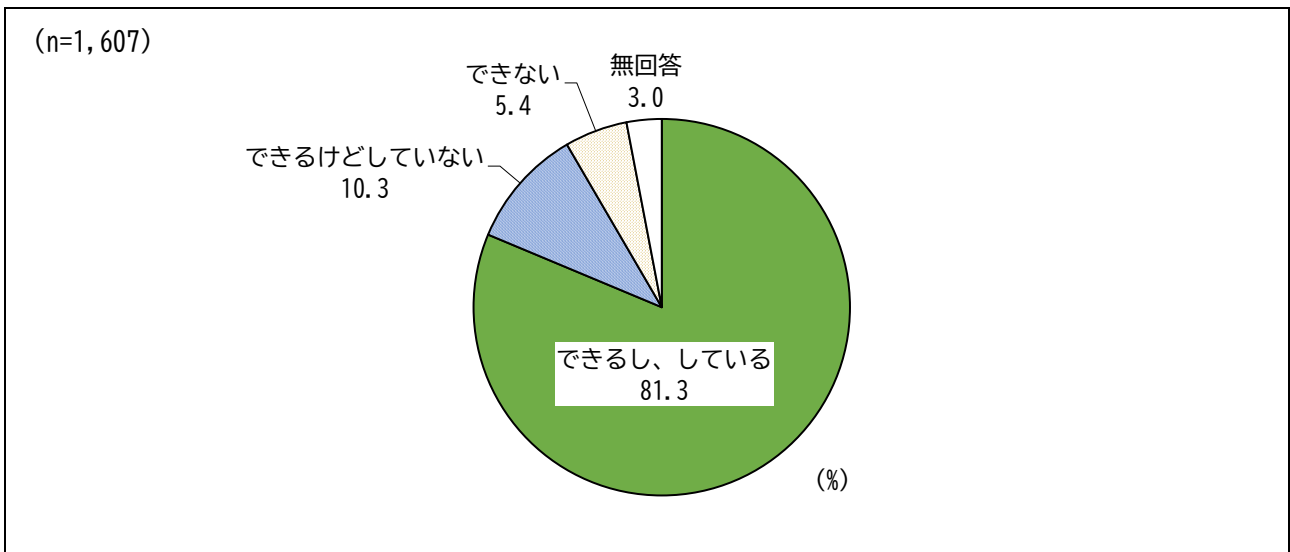
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○はひとつ)



バスや電車を使って一人で外出しているか尋ねたところ、IADL (手段的自立度) 低下のチェック該当となる「できない」の割合は10.0%となっている。

(5) 食品・日用品の買物

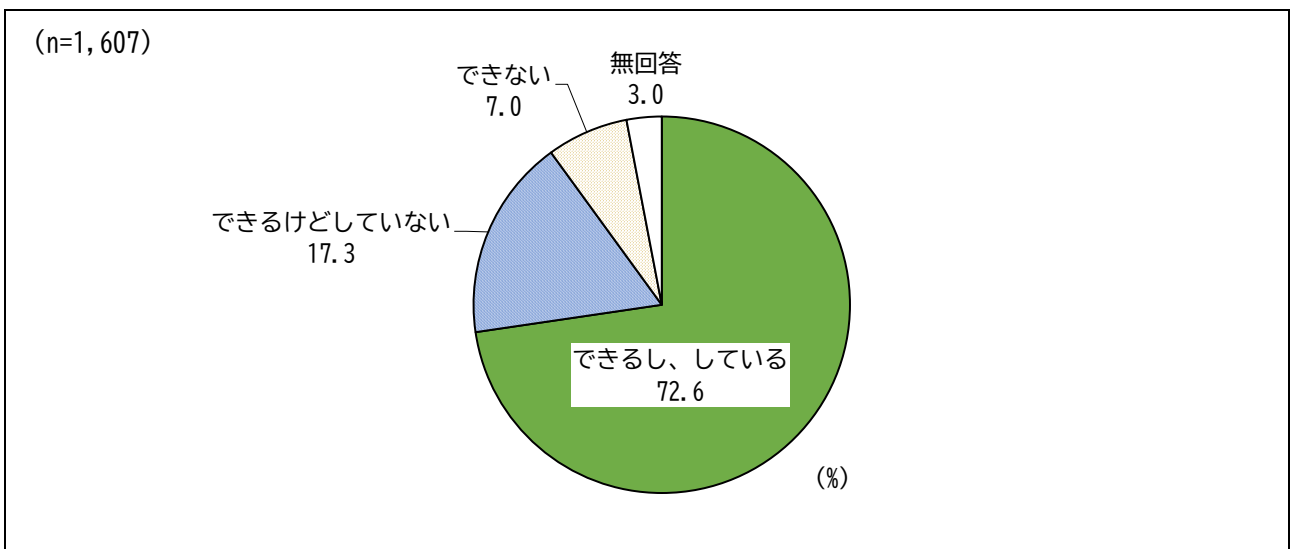
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)



自分で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は5.4%となっている。

(6) 食事の用意

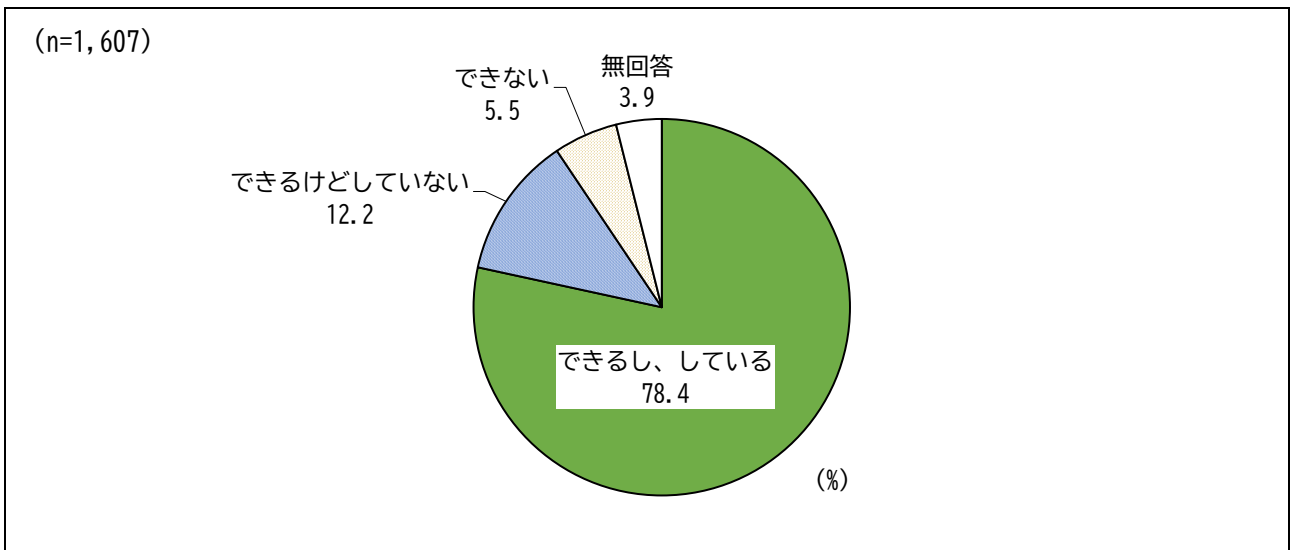
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○はひとつ)



自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は7.0%となっている。

(7) 請求書の支払い

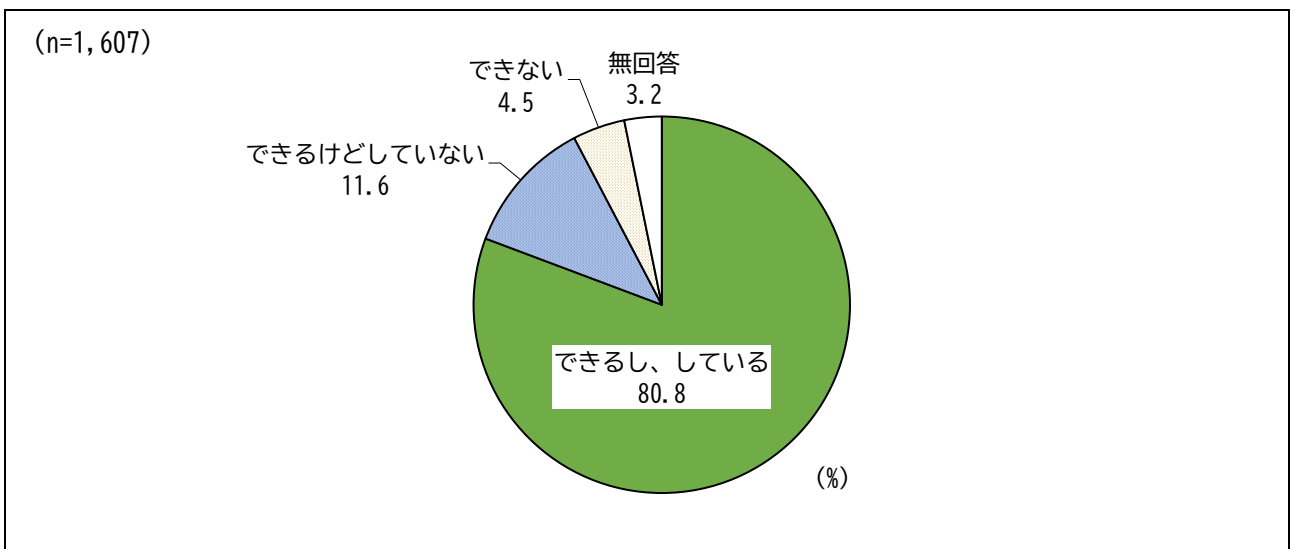
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○はひとつ)



自分で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、IADL (手段的自立度) 低下のチェック該当となる「できない」の割合は5.5%となっている。

(8) 預貯金の出し入れ

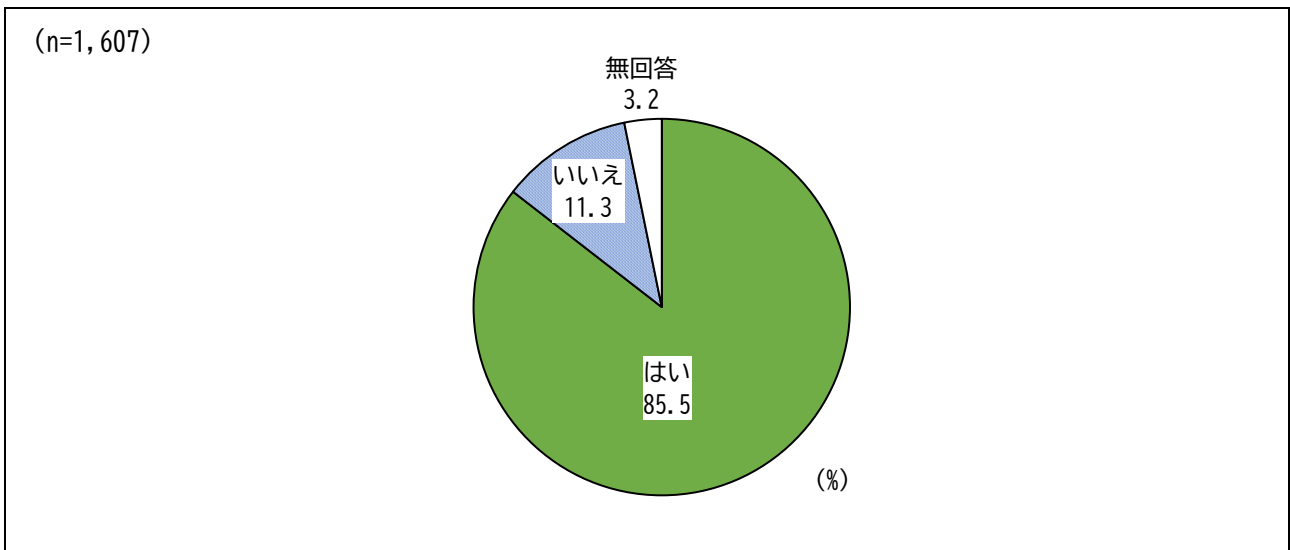
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○はひとつ)



自分で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、IADL (手段的自立度) 低下のチェック該当となる「できない」の割合は4.5%となっている。

(9) 年金などの書類が書けるか

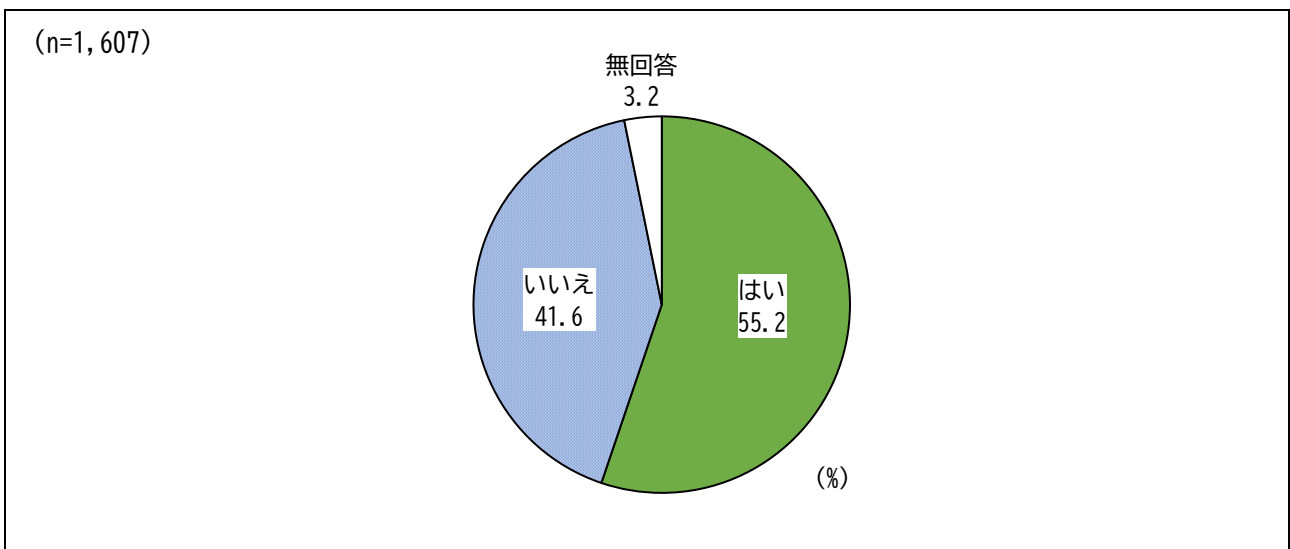
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○はひとつ）



年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は11.3%となっている。

(10) 新聞を読んでいるか

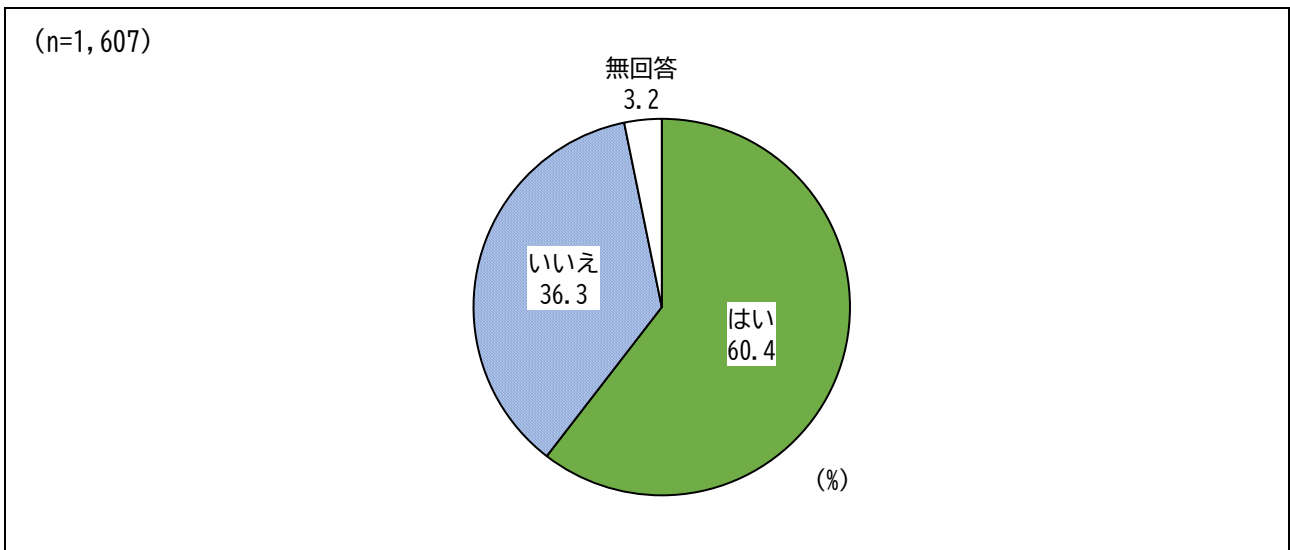
(10) 新聞を読んでいますか（○はひとつ）



新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は41.6%となっている。

(11) 本や雑誌を読んでいるか

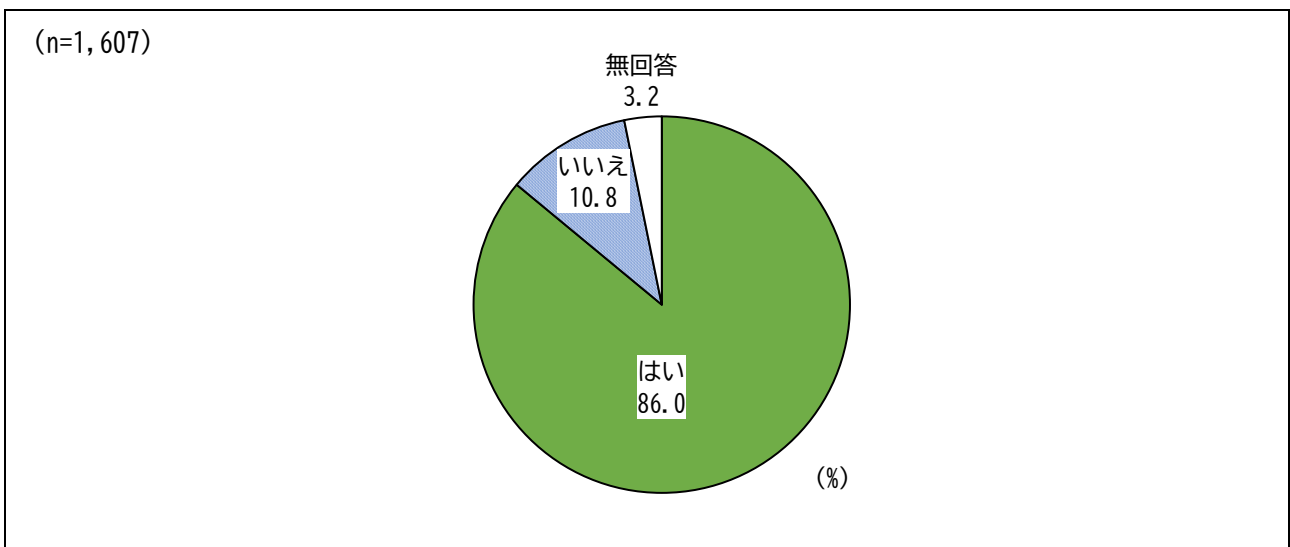
(11) 本や雑誌を読んでいますか (○はひとつ)



本や雑誌を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は36.3%となっている。

(12) 健康についての記事や番組への関心

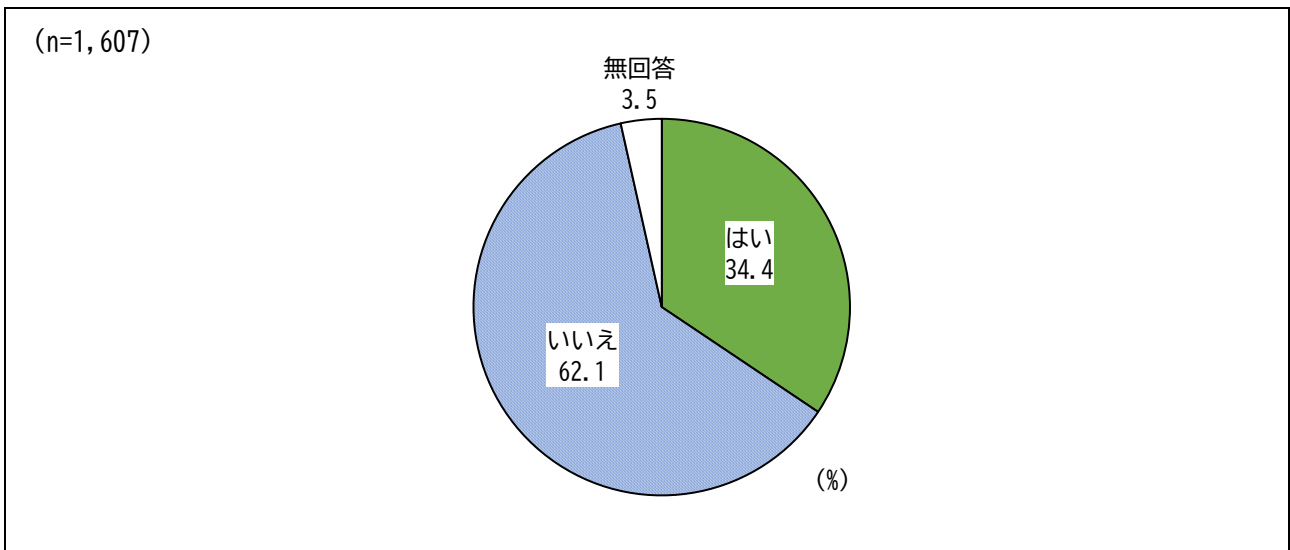
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○はひとつ)



健康についての記事や番組に関心があるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は10.8%となっている。

(13) 友人宅への訪問

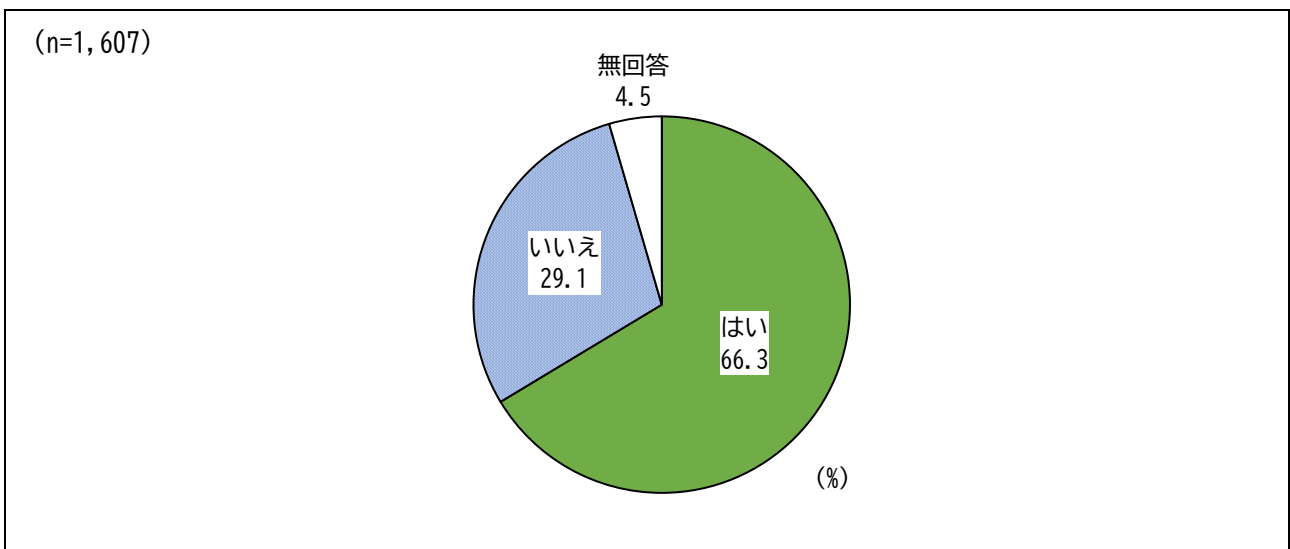
(13) 友人の家を訪ねていますか (○はひとつ)



友人宅を訪ねているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は62.1%となっている。

(14) 相談にのっているか

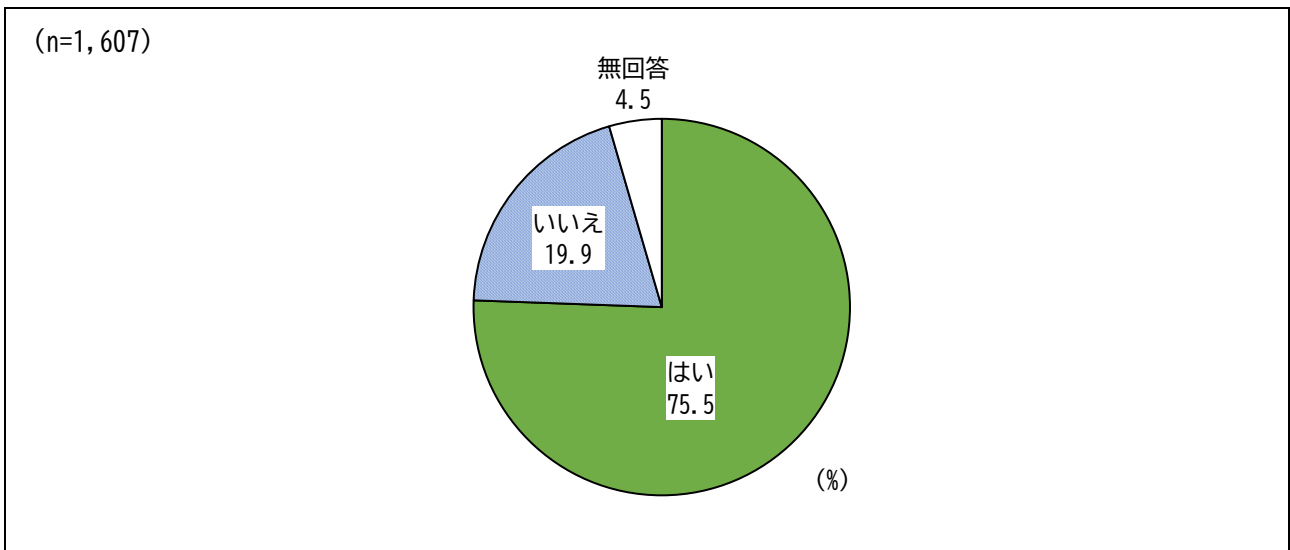
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○はひとつ)



家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は29.1%となっている。

(15) 病人の見舞いができるか

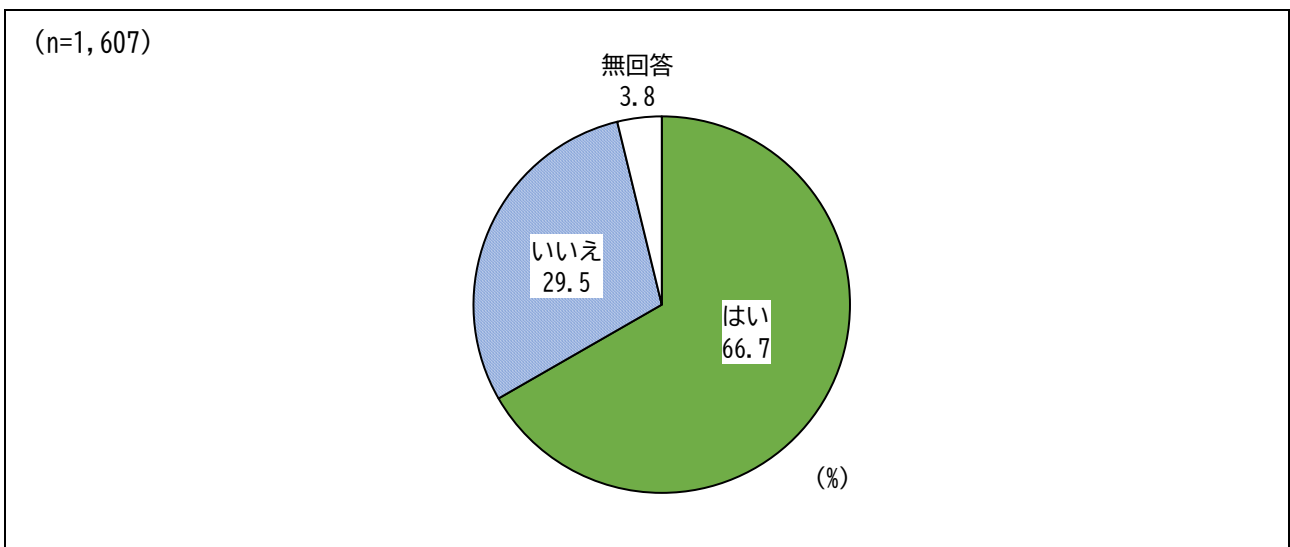
(15) 病人を見舞うことができますか (○はひとつ)



病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は19.9%となっている。

(16) 若い人への話しかけ

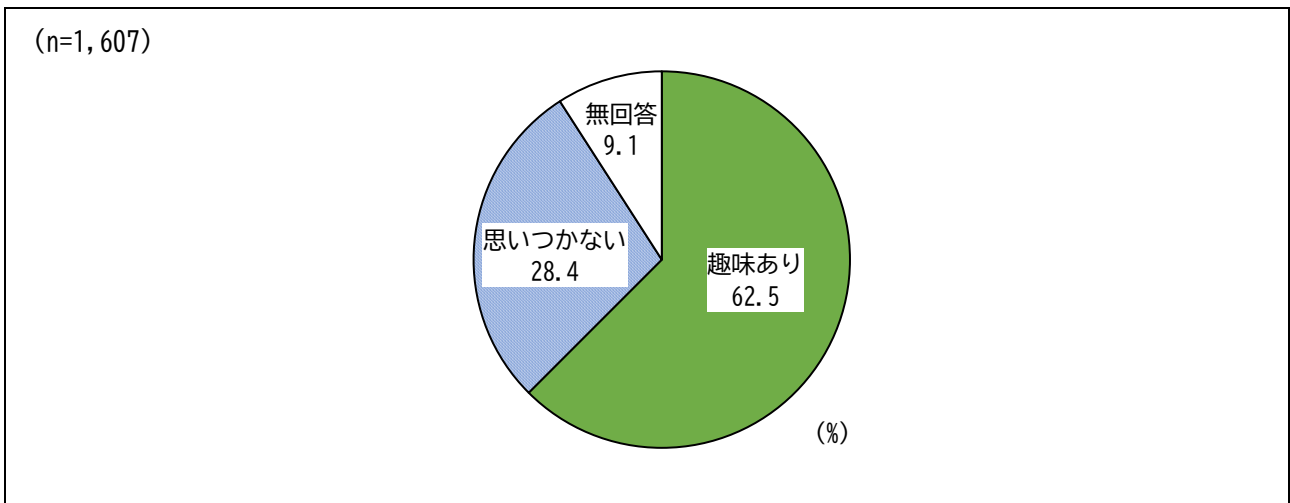
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○はひとつ)



若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は29.5%となっている。

(17) 趣味はあるか

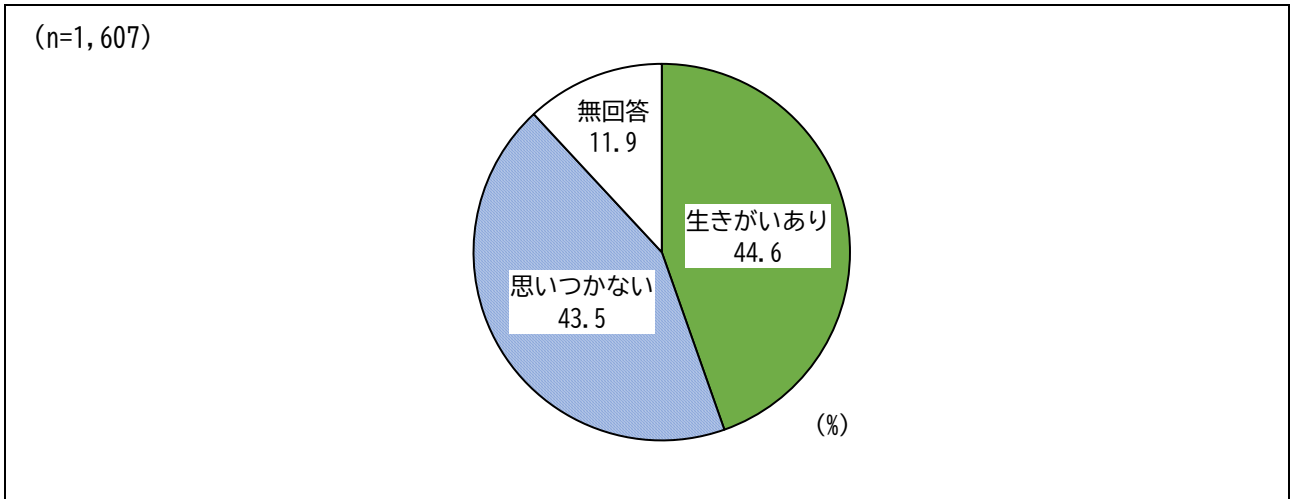
(17) 趣味はありますか (○はひとつ)



趣味はあるか尋ねたところ、「趣味あり」が62.5%、「思いつかない」が28.4%となっている。

(18) 生きがいはあるか

(18) 生きがいがありますか (○はひとつ)



生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が44.6%、「思いつかない」が43.5%となっている。

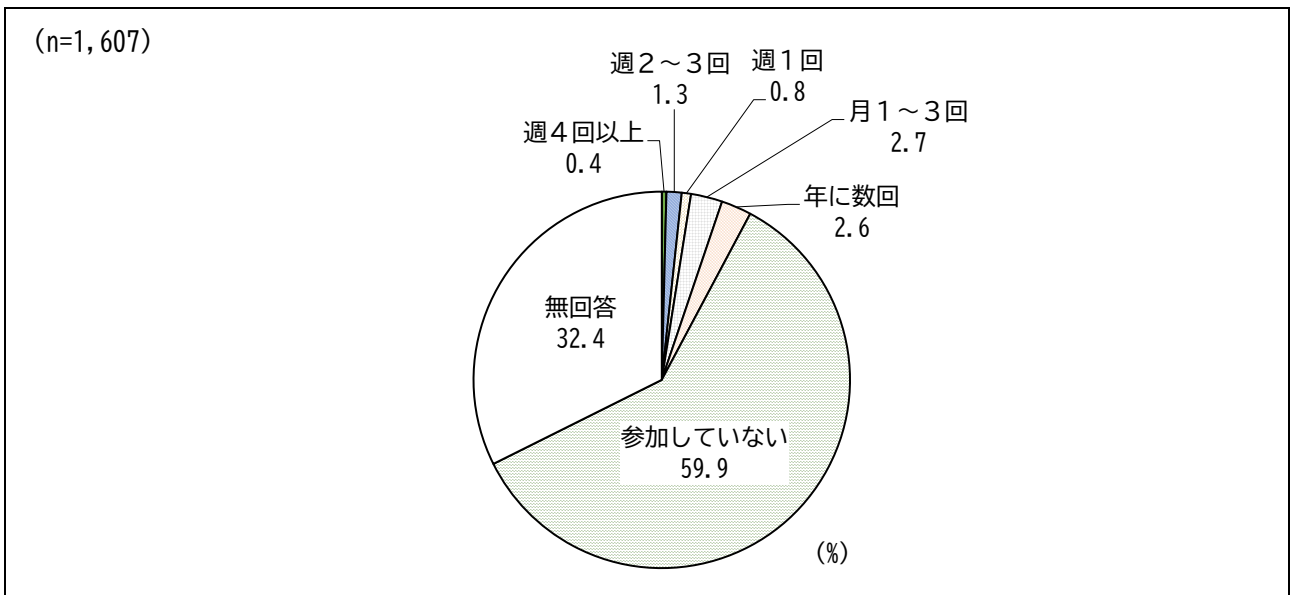
5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください

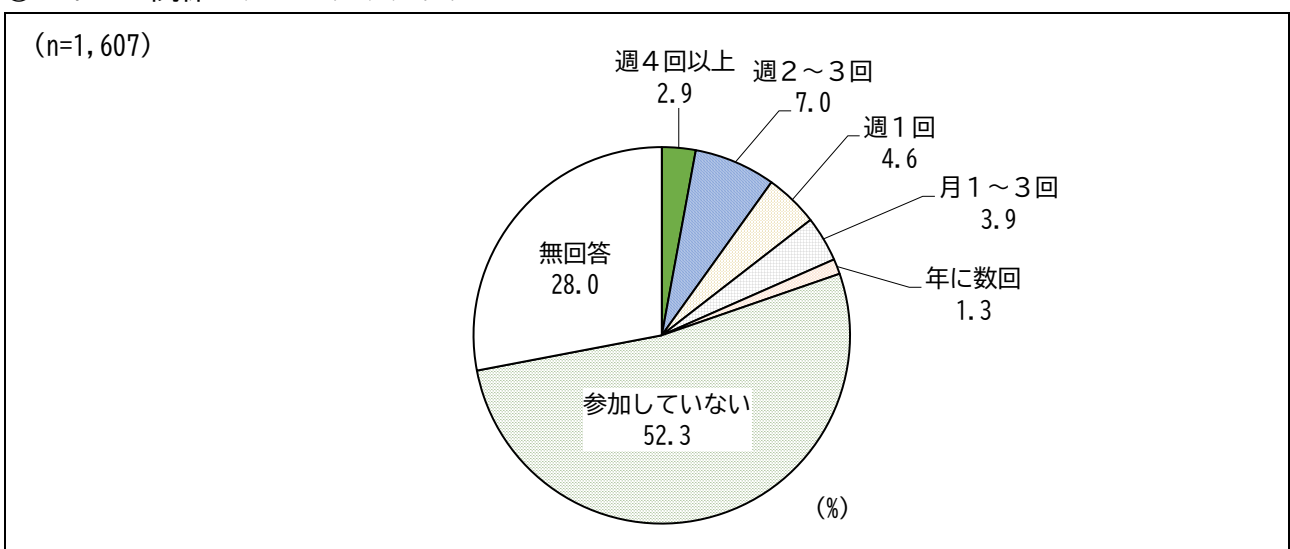
①ボランティアのグループ



ボランティアのグループについては、全体の7.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が2.7%で最も多くなっている。

一方、59.9%は「参加していない」と回答している。

②スポーツ関係のグループやクラブ

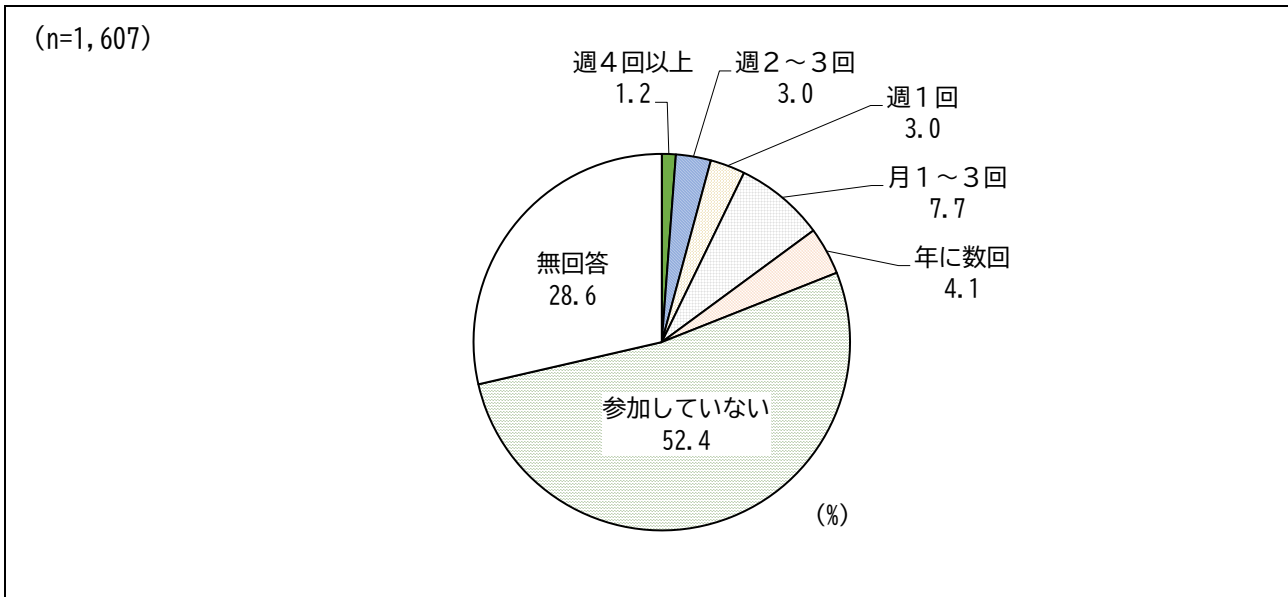


スポーツ関係のグループやクラブについては、全体の19.7%が活動に参加しており、参加頻度としては「週2～3回」が7.0%で最も多くなっている。

一方、52.3%は「参加していない」と回答している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

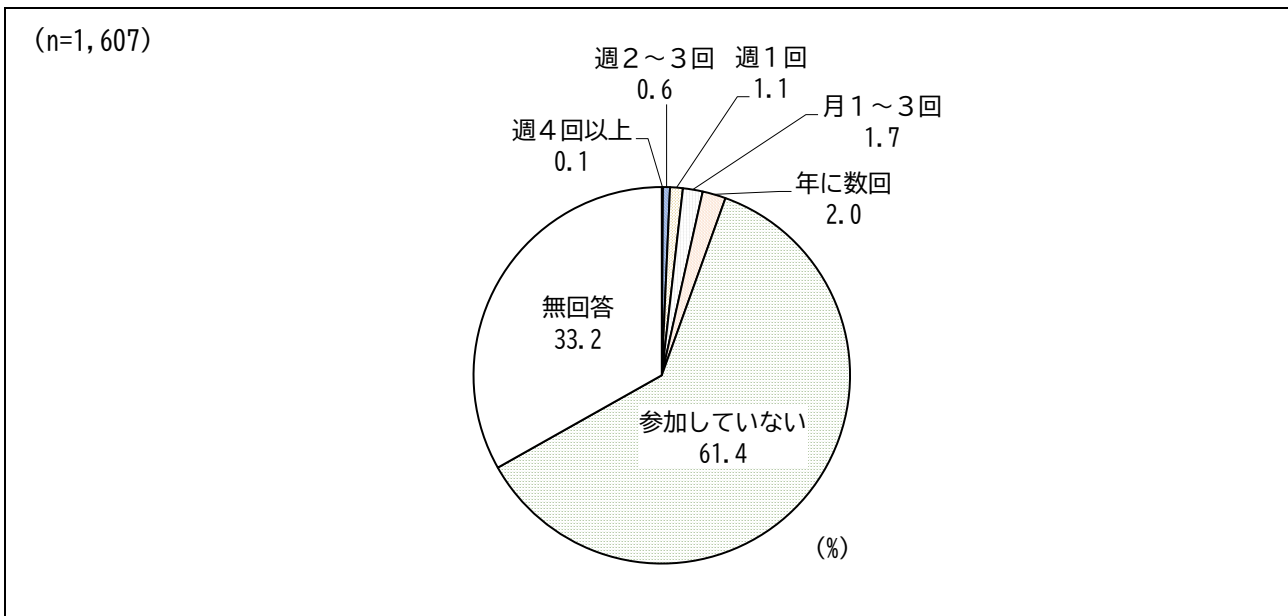
③趣味関係のグループ



趣味関係のグループについては、全体の19.0%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が7.7%で最も多くなっている。

一方、52.4%は「参加していない」と回答している。

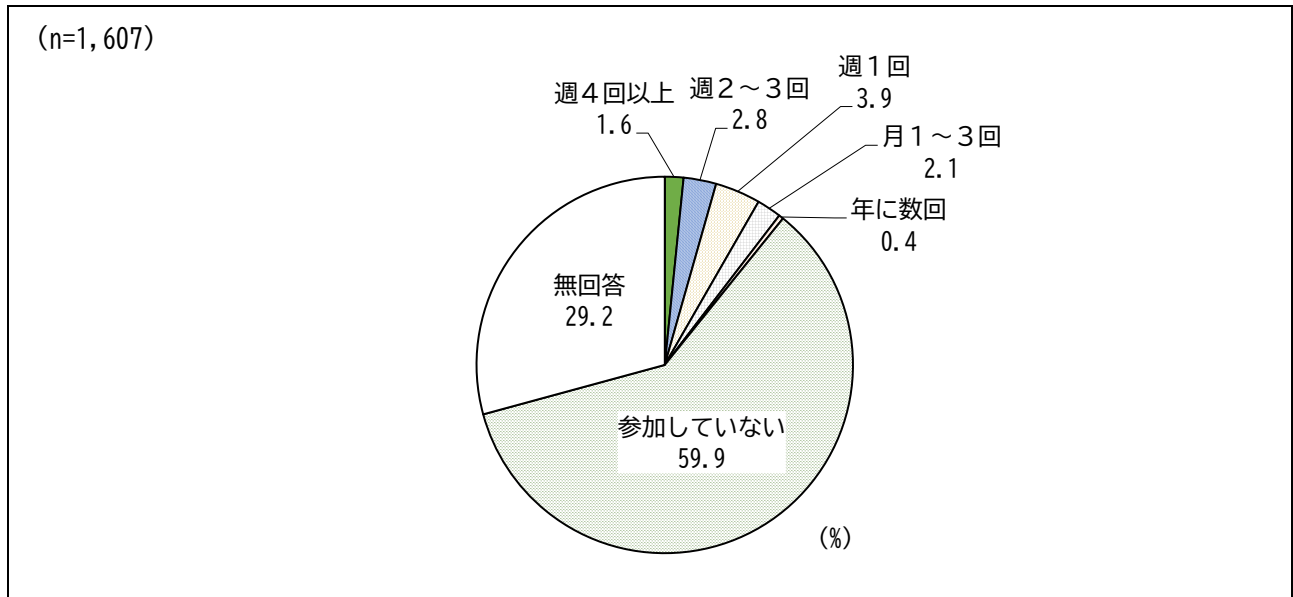
④学習・教養サークル



学習・教養サークルについては、全体の5.5%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が2.0%で最も多くなっている。

一方、61.4%は「参加していない」と回答している。

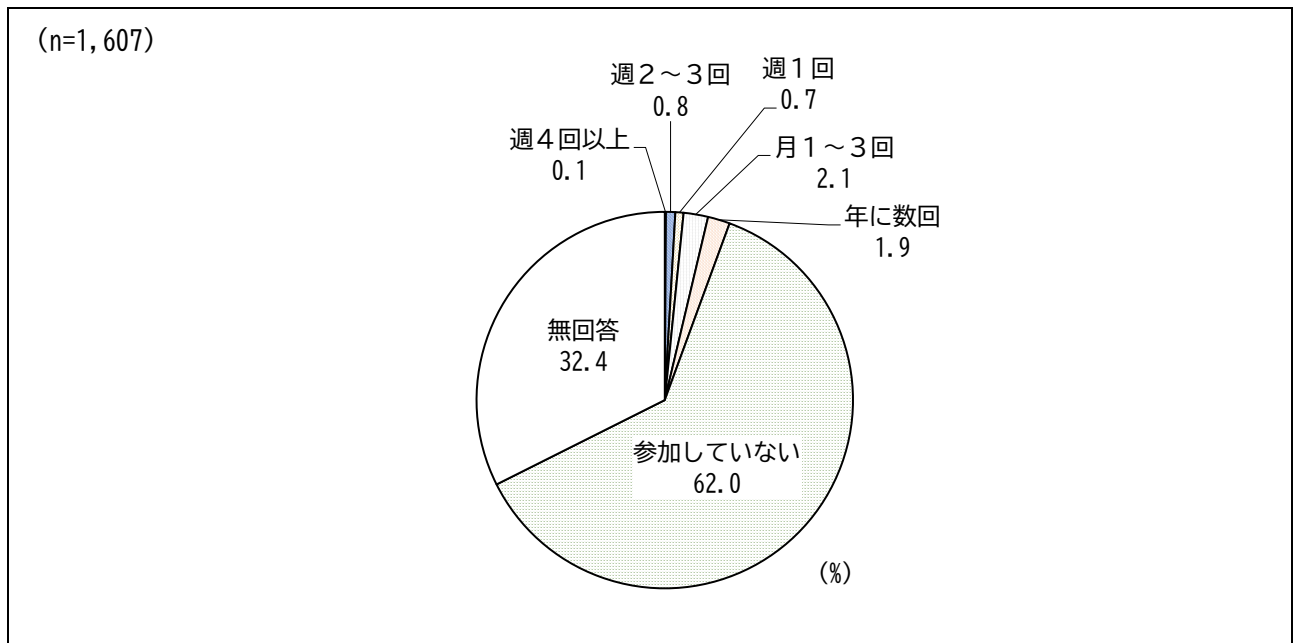
⑤ TODA元気体操やラジオ体操など介護予防のための通いの場



介護予防のための通いの場については、全体の10.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「週1回」が3.9%で最も多くなっている。

一方、59.9%は「参加していない」と回答している。

⑥ 老人クラブ

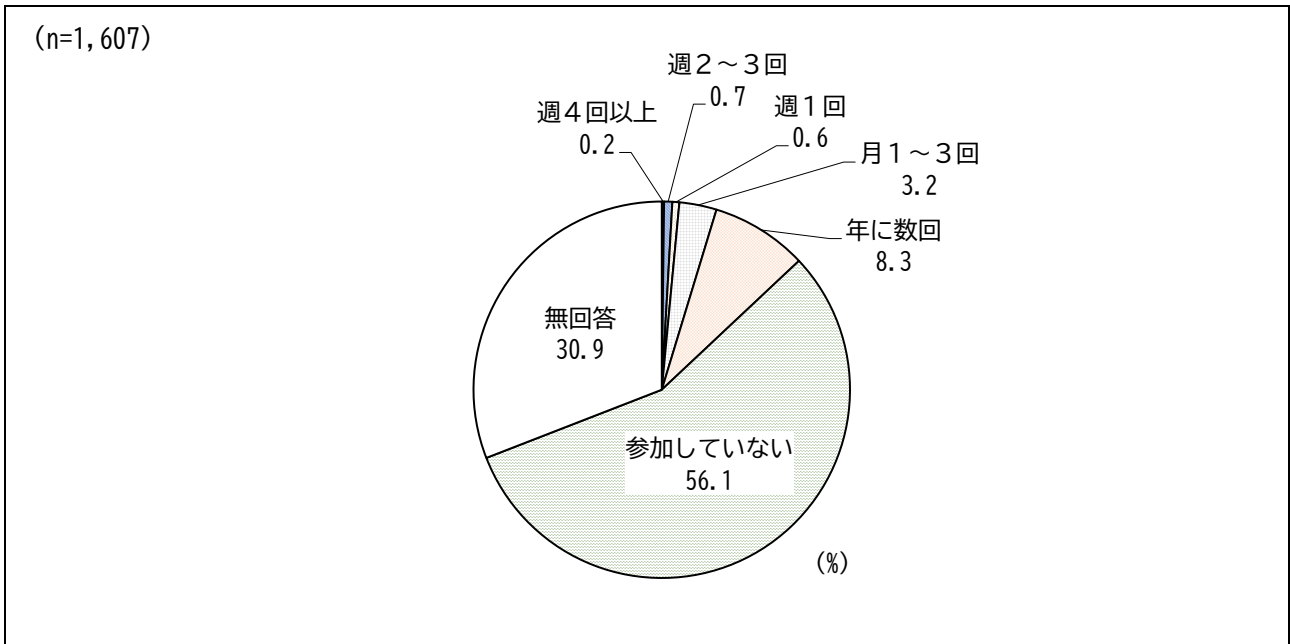


老人クラブについては、全体の5.6%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が2.1%で最も多くなっている。

一方、62.0%は「参加していない」と回答している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

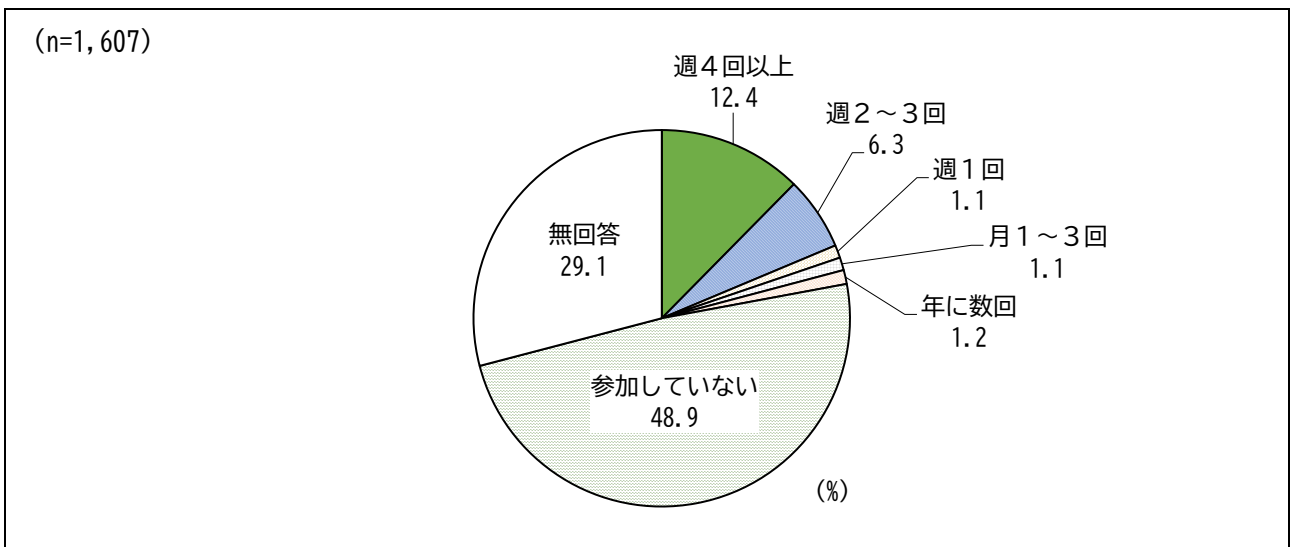
⑦町内会・自治会



町内会・自治会については、全体の13.0%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が8.3%で最も多くなっている。

一方、56.1%は「参加していない」と回答している。

⑧収入のある仕事

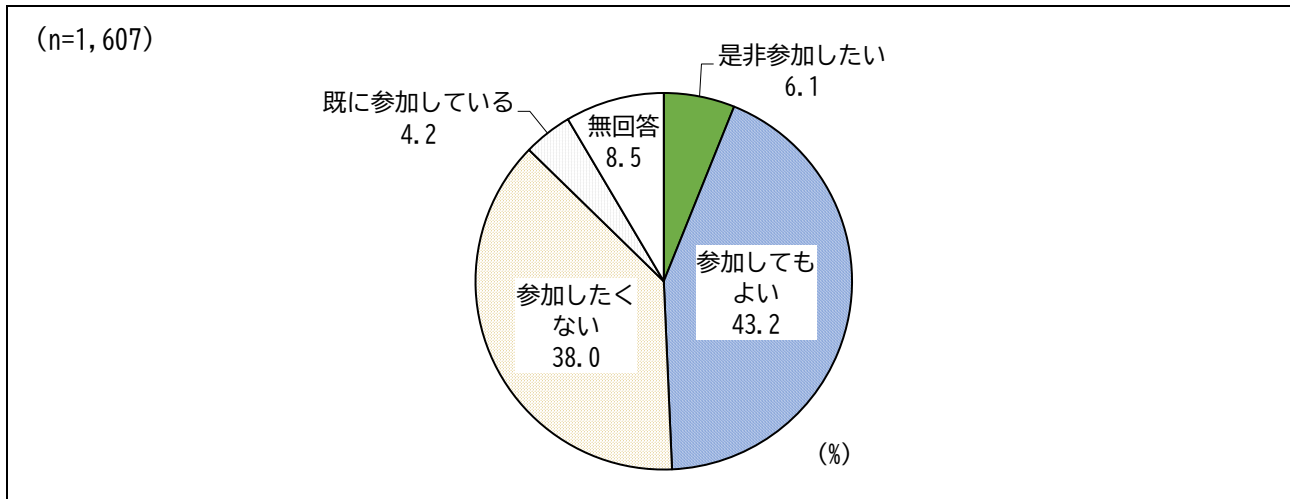


収入のある仕事については、全体の22.1%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が12.4%で最も多くなっている。

一方、48.9%は「参加していない」と回答している。

(2) 地域活動への参加者としての参加希望

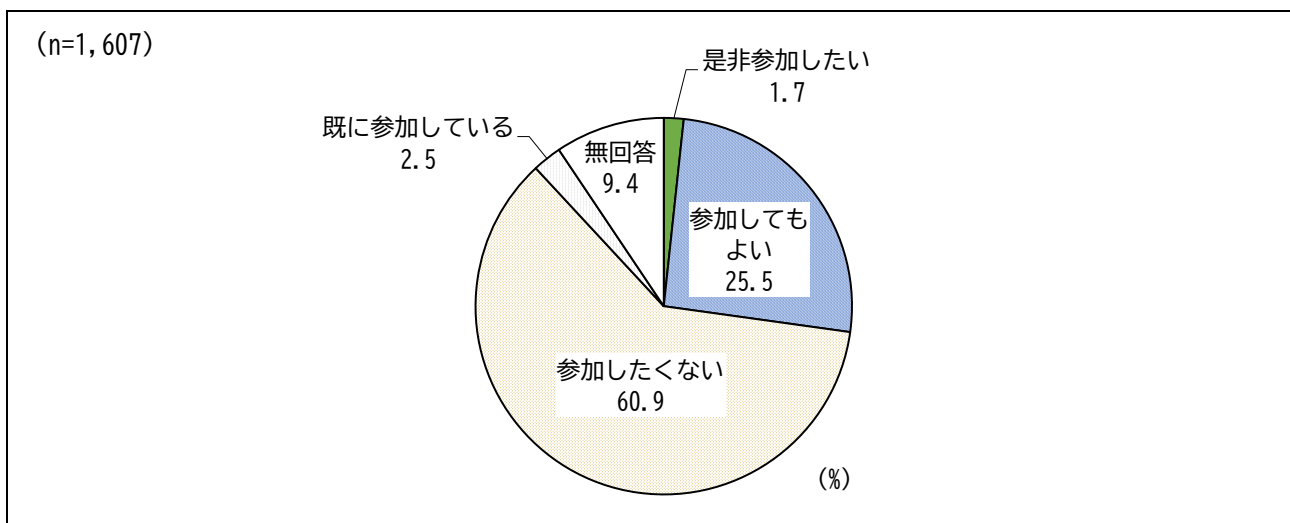
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○はひとつ）



地域住民による活動に参加者として参加してみたいかを尋ねたところ「参加してもよい」が43.2%で最も多く、以下、「参加したくない」が38.0%、「是非参加したい」が6.1%、「既に参加している」が4.2%となっている。

(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○はひとつ）

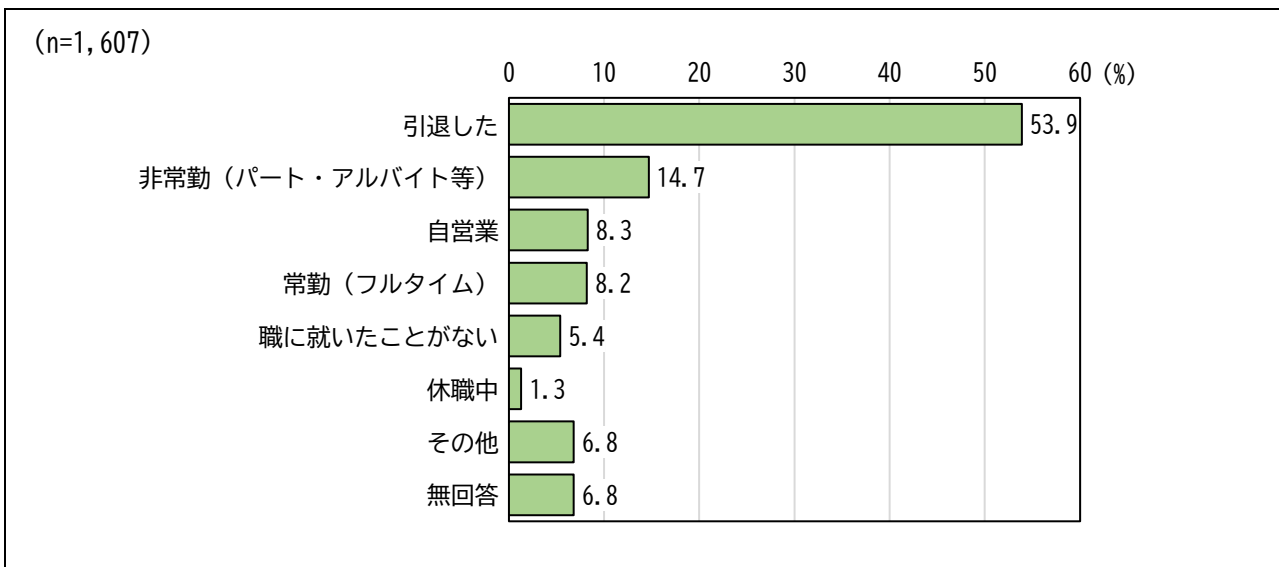


地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかを尋ねたところ、「参加したくない」が60.9%で最も多く、以下、「参加してもよい」が25.5%、「既に参加している」が2.5%、「是非参加したい」が1.7%となっている。

6 就労について

(1) 就労状態

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

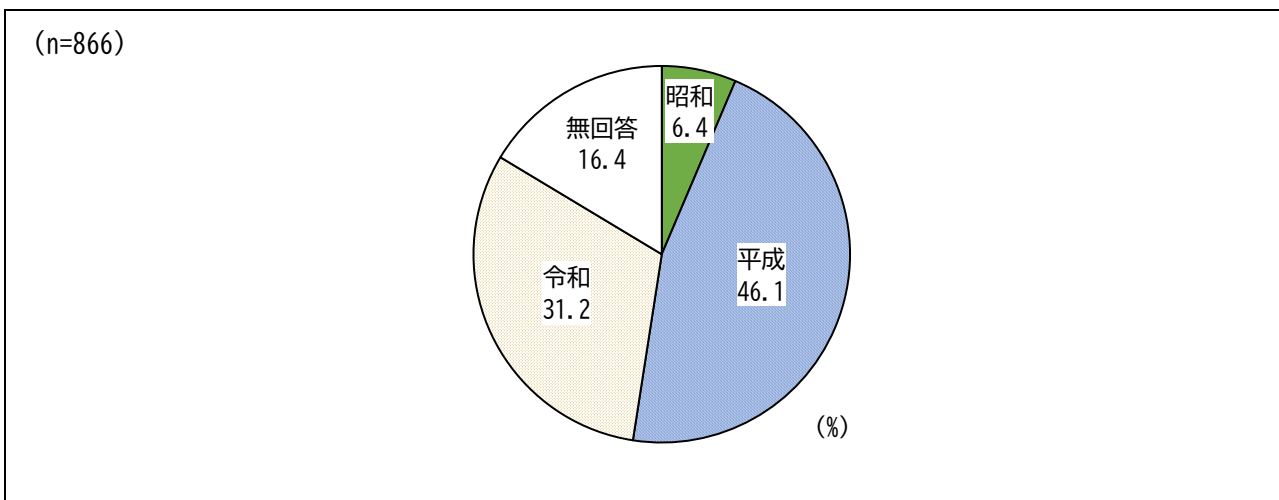


就労状態は、「引退した」が53.9%で最も多く、以下、「非常勤(パート・アルバイト等)」が14.7%、「自営業」が8.3%、「常勤(フルタイム)」が8.2%、「職に就いたことがない」が5.4%などとなっている。

(2) 引退時期

【(1)において「引退した」の方のみ】

(1) - ① あなたはいつ引退しましたか

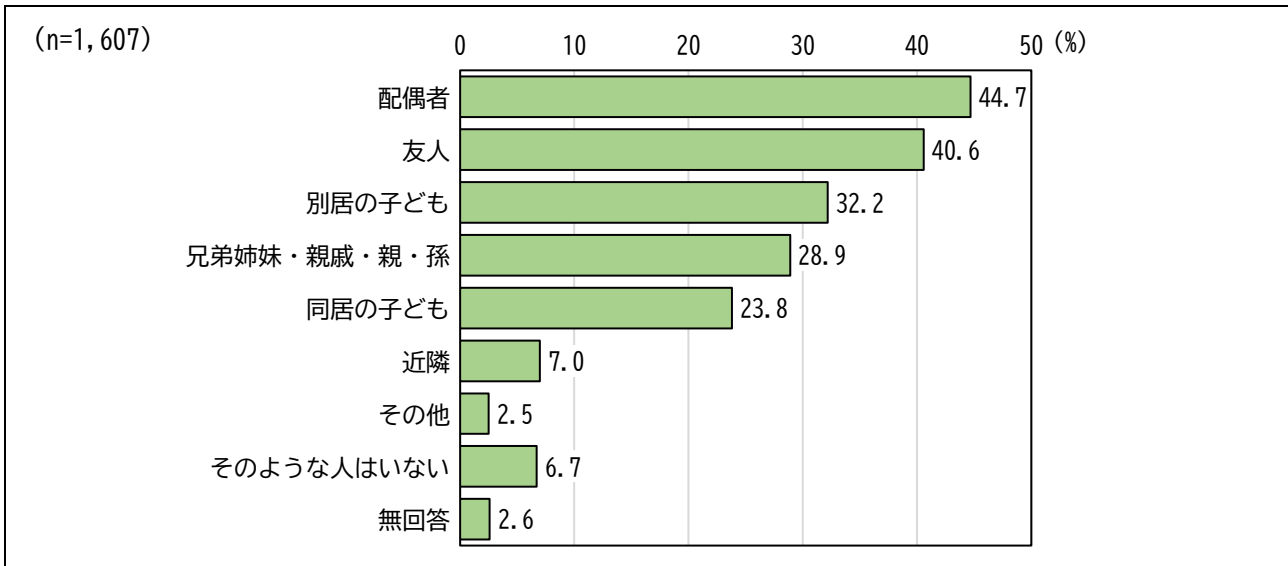


引退時期を元号で見ると、「平成」が46.1%で最も多く、以下、「令和」が31.2%、「昭和」が6.4%となっている。

7 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

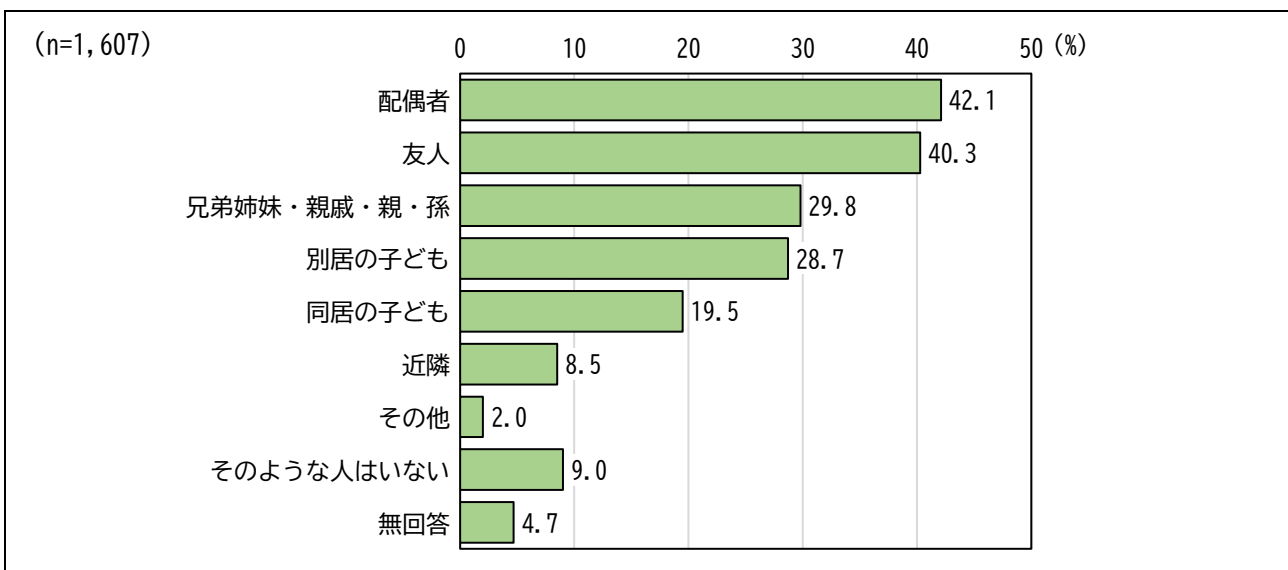
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



心配事や愚痴を聞いてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が44.7%で最も多く、以下、「友人」が40.6%、「別居の子ども」が32.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.9%、「同居の子ども」が23.8%などとなっている。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

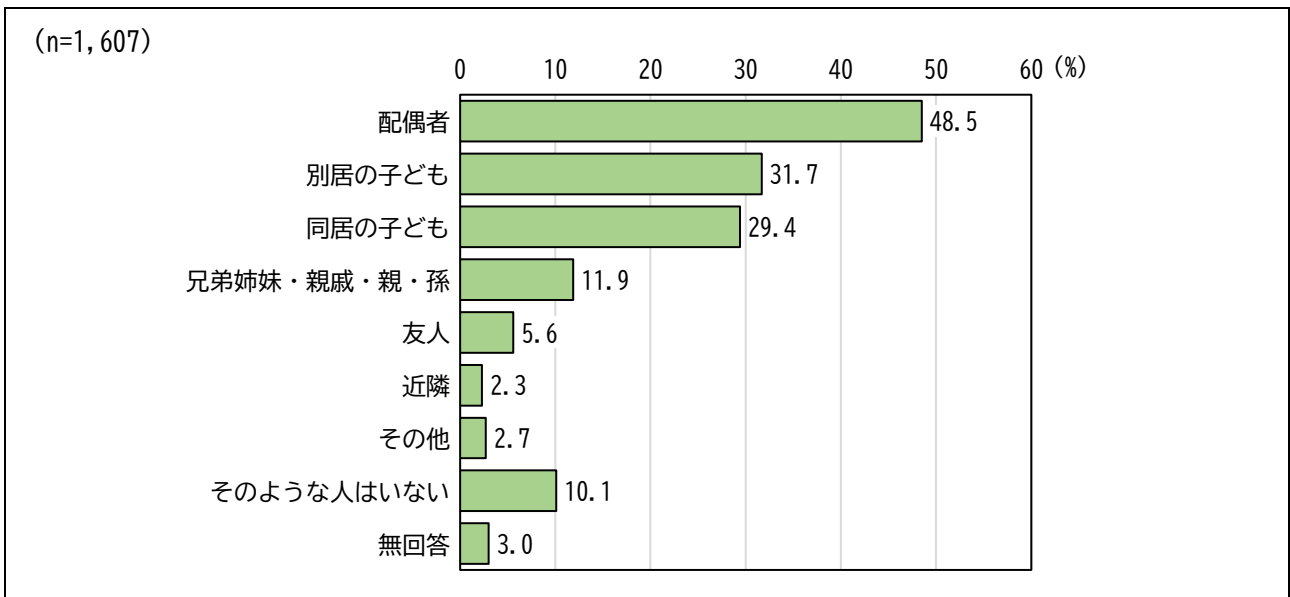
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が42.1%で最も多く、以下、「友人」が40.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.8%、「別居の子ども」が28.7%、「同居の子ども」が19.5%などとなっている。

(3) 看病や世話をしてくれる人

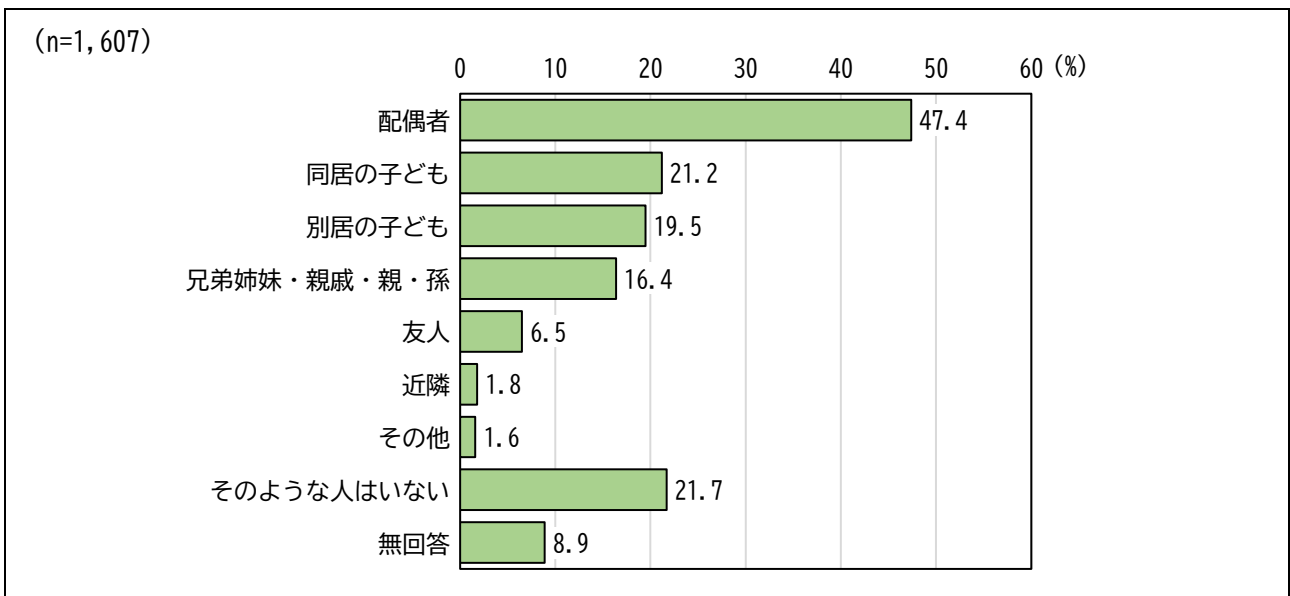
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が48.5%で最も多く、以下、「別居の子ども」が31.7%、「同居の子ども」が29.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が11.9%、「そのような人はいない」が10.1%などとなっている。

(4) 看病や世話をしてあげる人

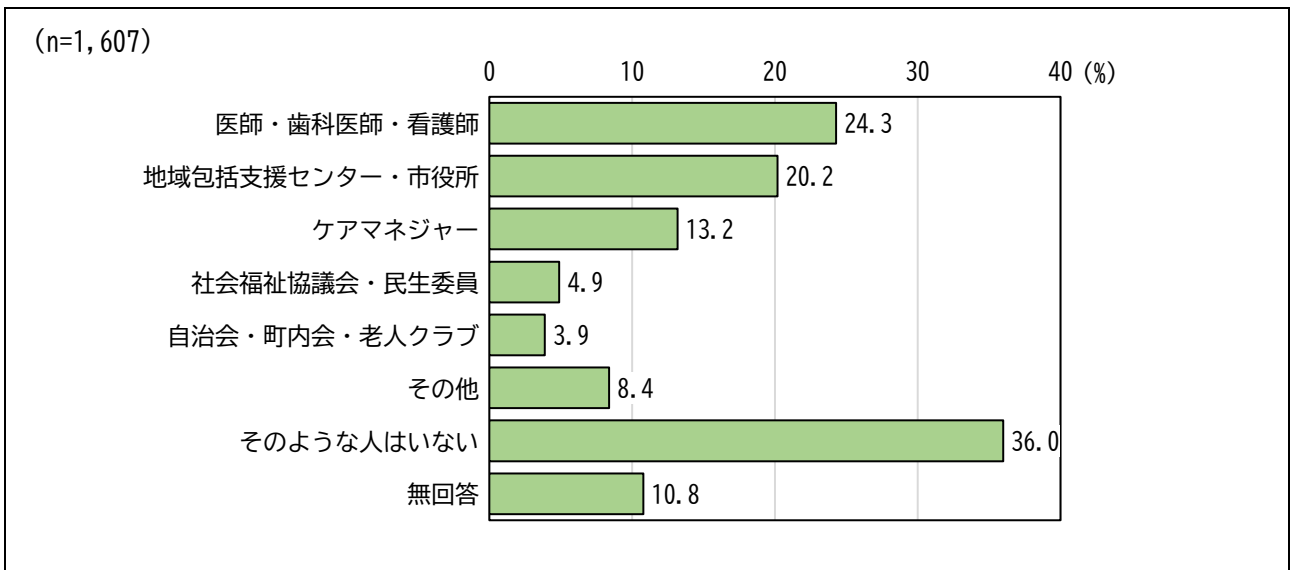
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）



反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が47.4%で最も多く、以下、「そのような人はいない」が21.7%、「同居の子ども」が21.2%、「別居の子ども」が19.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が16.4%などとなっている。

(5) 相談相手

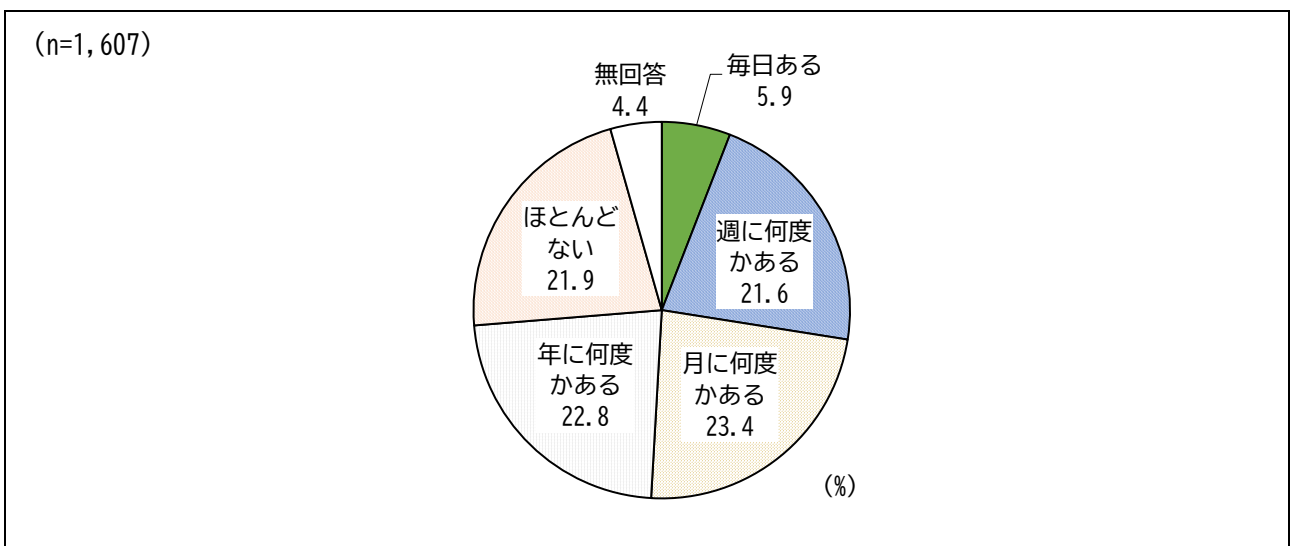
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）



家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「そのような人はいない」が36.0%で最も多く、以下、「医師・歯科医師・看護師」が24.3%、「地域包括支援センター・市役所」が20.2%、「ケアマネジャー」が13.2%などとなっている。

(6) 友人・知人と会う頻度

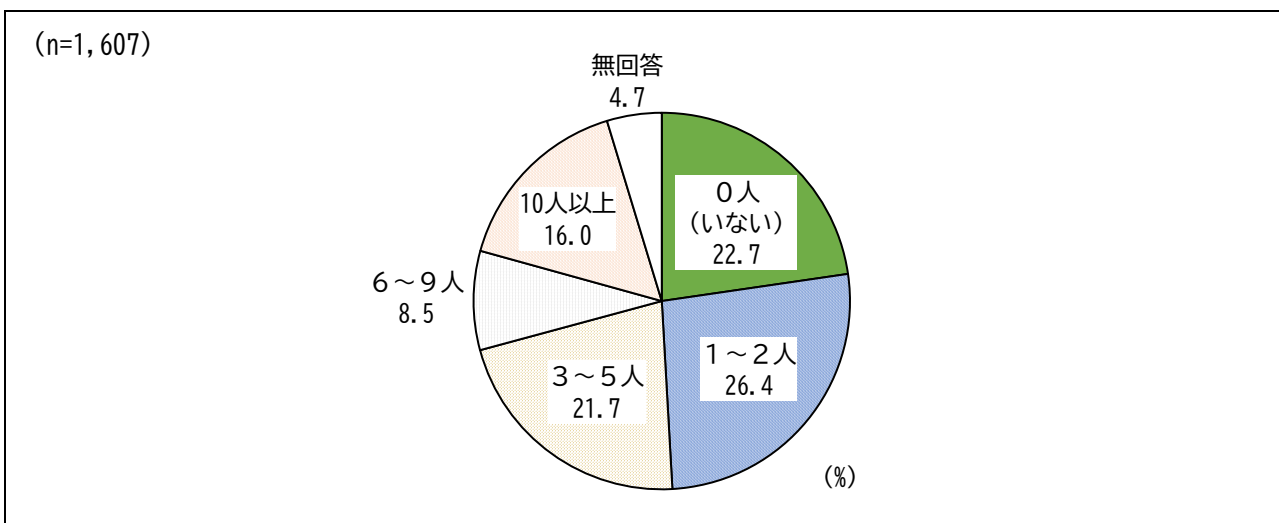
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（○はひとつ）



友人・知人と会う頻度については、「月に何度もある」が23.4%で最も多く、以下、「年に何度もある」が22.8%、「ほとんどない」が21.9%、「週に何度もある」が21.6%、「毎日ある」が5.9%となっている。

(7) 1か月間に会った友人・知人

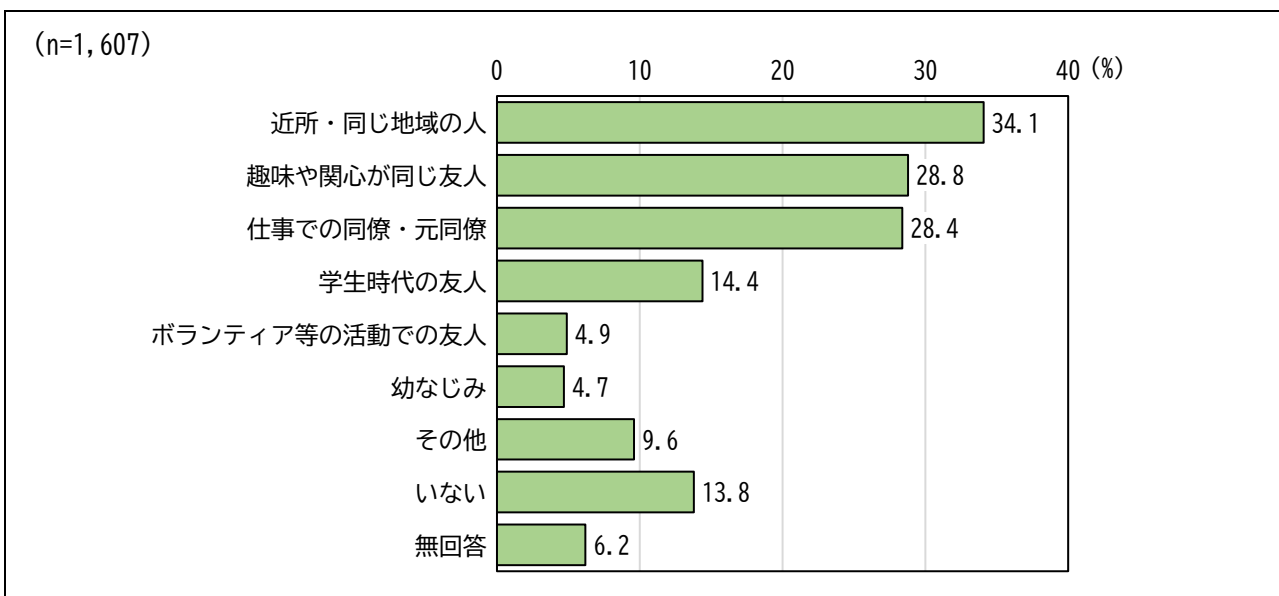
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（〇はひとつ）
（同じ人には何度会っても1人と数えることとします）



この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「1～2人」が26.4%で最も多く、以下、「0人 (いない)」が22.7%、「3～5人」が21.7%、「10人以上」が16.0%、「6～9人」が8.5%となっている。

(8) よく会う友人・知人との関係

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

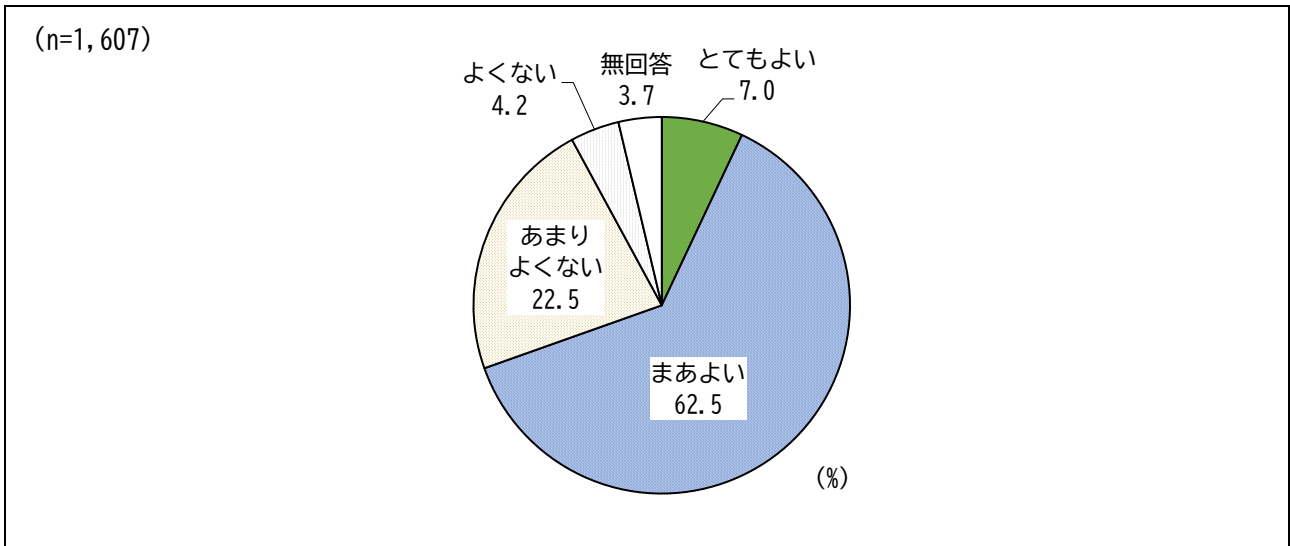


よく会う友人・知人はどのような関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が34.1%で最も多く、以下、「趣味や関心が同じ友人」が28.8%、「仕事での同僚・元同僚」が28.4%、「学生時代の友人」が14.4%、「いない」が13.8%などとなっている。

8 健康について

(1) 主観的健康感

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)

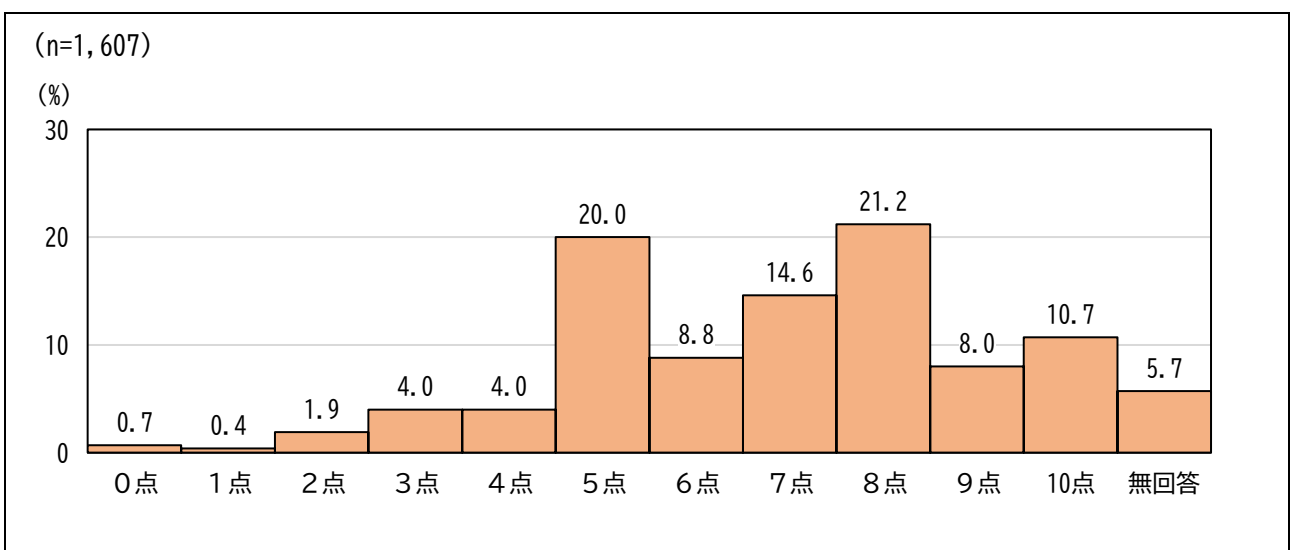


現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が62.5%で最も多く、以下、「あまりよくない」が22.5%、「とてもよい」が7.0%、「よくない」が4.2%となっている。

(2) 主観的幸福感

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

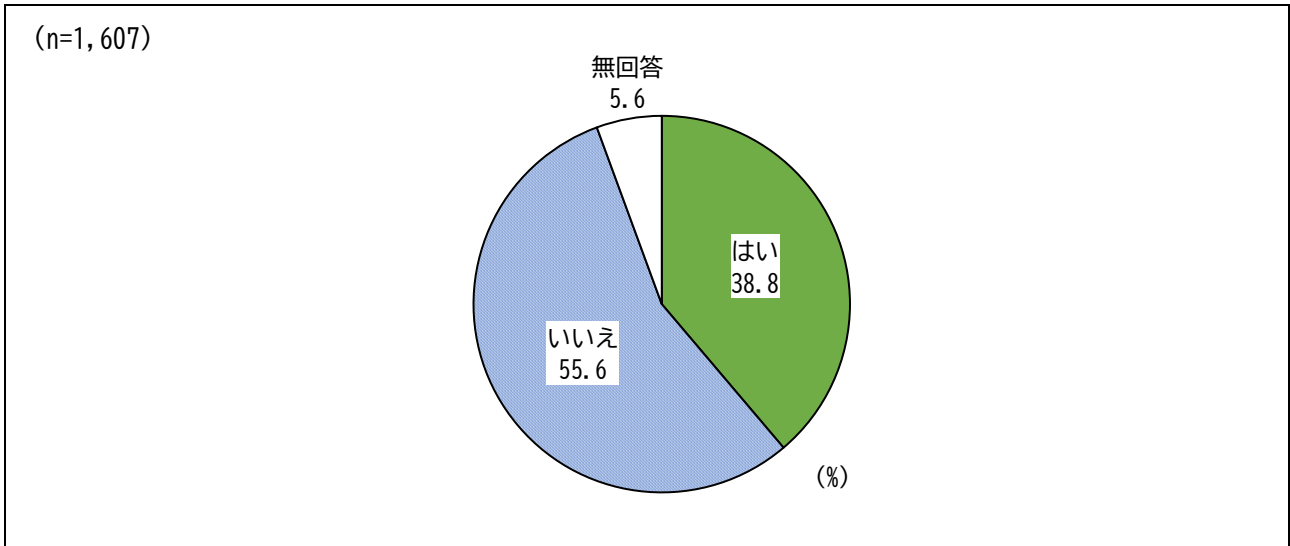
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



現在、どの程度幸せかを点数で尋ねたところ、「8点」が21.2%で最も多く、以下、「5点」が20.0%、「7点」が14.6%、「10点」が10.7%、「6点」が8.8%などとなっている。

(3) 最近1か月間の気分の状態

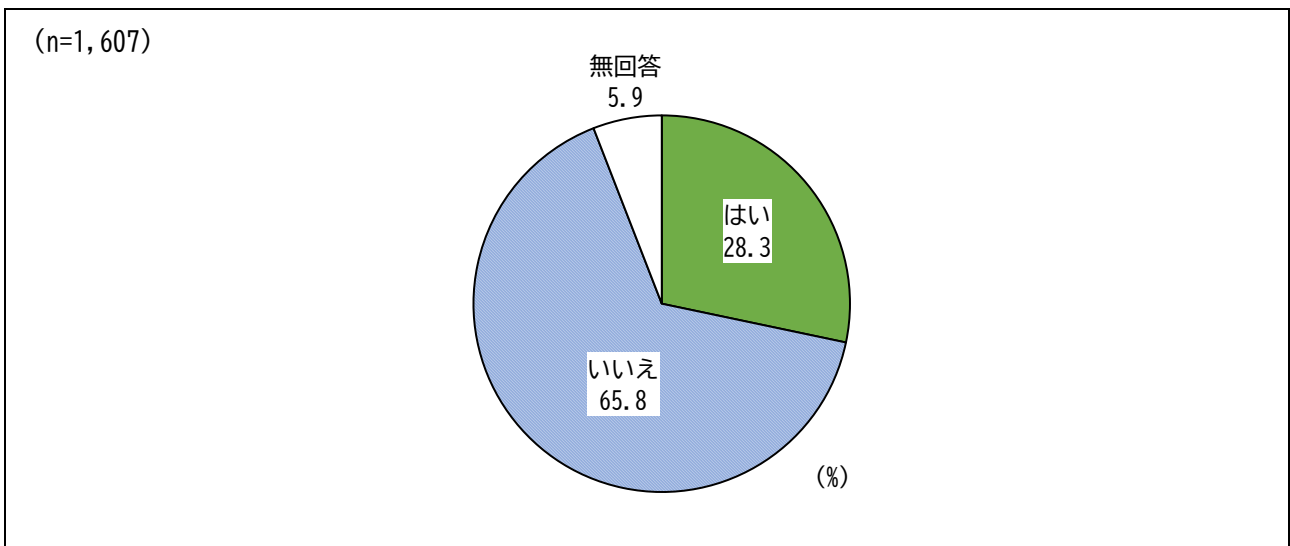
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(○はひとつ)



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は38.8%となっている。

(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態

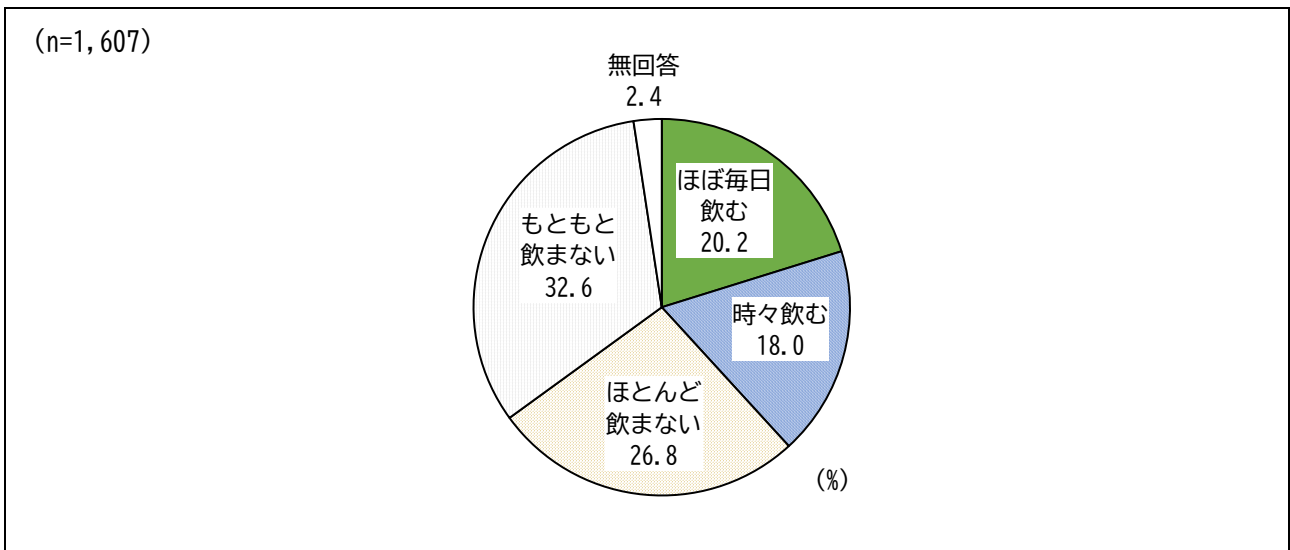
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)



物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は28.3%となっている。

(5) 飲酒の状況

(5) お酒は飲みますか (○はひとつ)

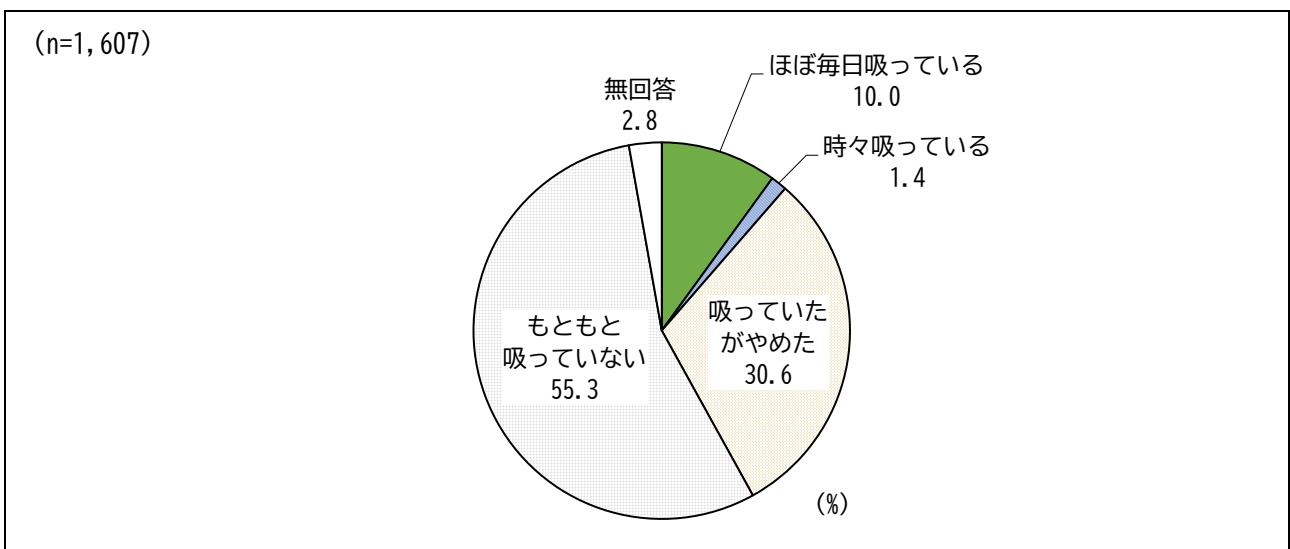


飲酒については、「もともと飲まない」が 32.6%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が26.8%、「ほぼ毎日飲む」が20.2%、「時々飲む」が18.0%となっている。

したがって、『飲酒する』（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）は38.2%であることが分かる。

(6) 喫煙の状況

(6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)

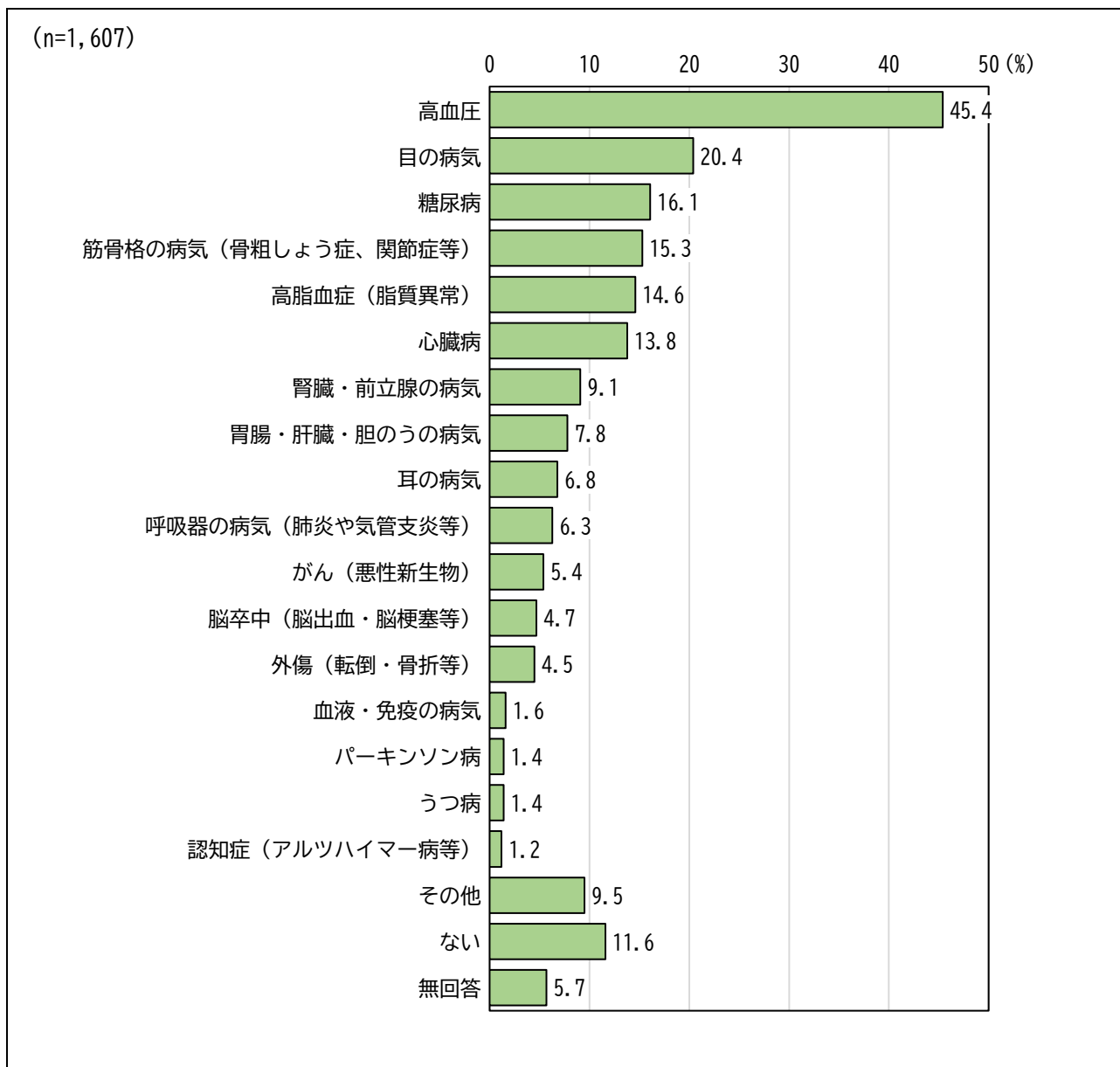


喫煙については、「もともと吸っていない」が55.3%で最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が30.6%、「ほぼ毎日吸っている」が10.0%、「時々吸っている」が1.4%となっている。

したがって、『喫煙者』（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は11.4%であることが分かる。

(7) 治療中の病気

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

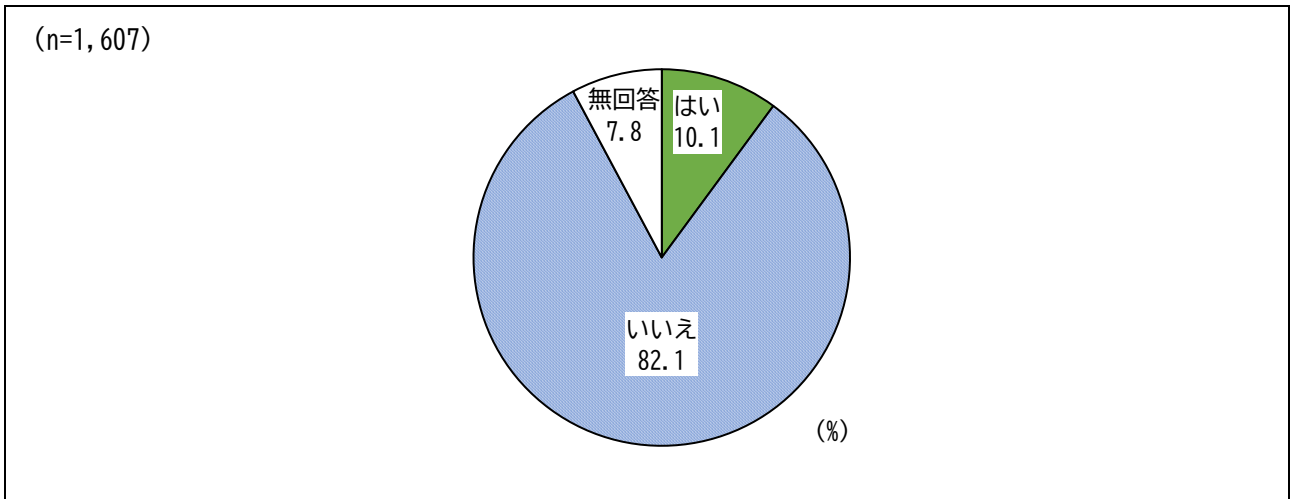


現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が45.4%で最も多く、以下、「目の病気」が20.4%、「糖尿病」が16.1%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が15.3%、「高脂血症 (脂質異常)」が14.6%、「心臓病」が13.8%、「ない」が11.6%などとなっている。

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

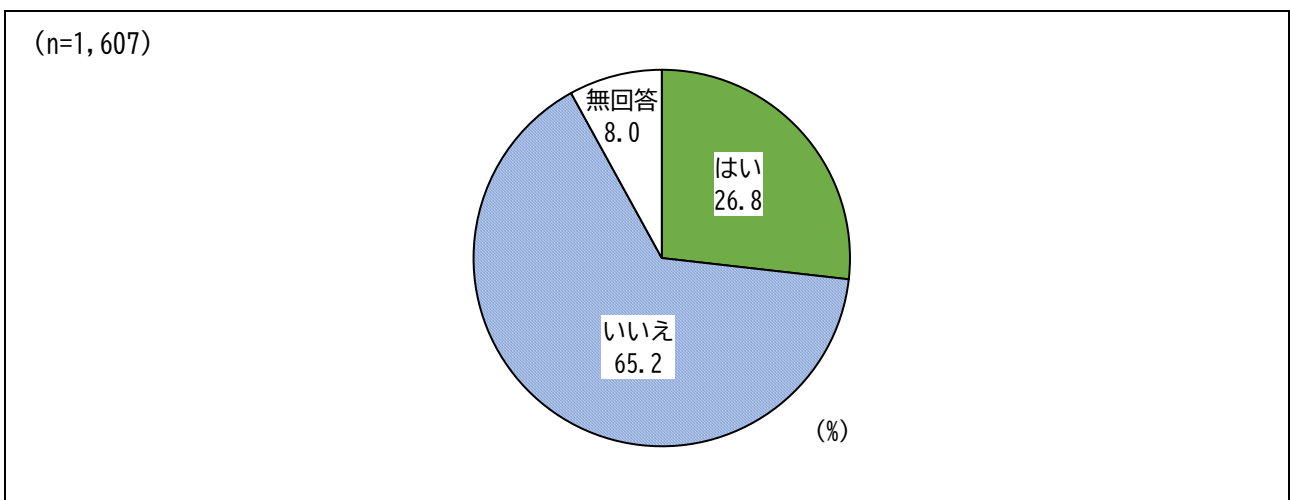
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○はひとつ)



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかを尋ねたところ、「はい」は10.1%となっている。

(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

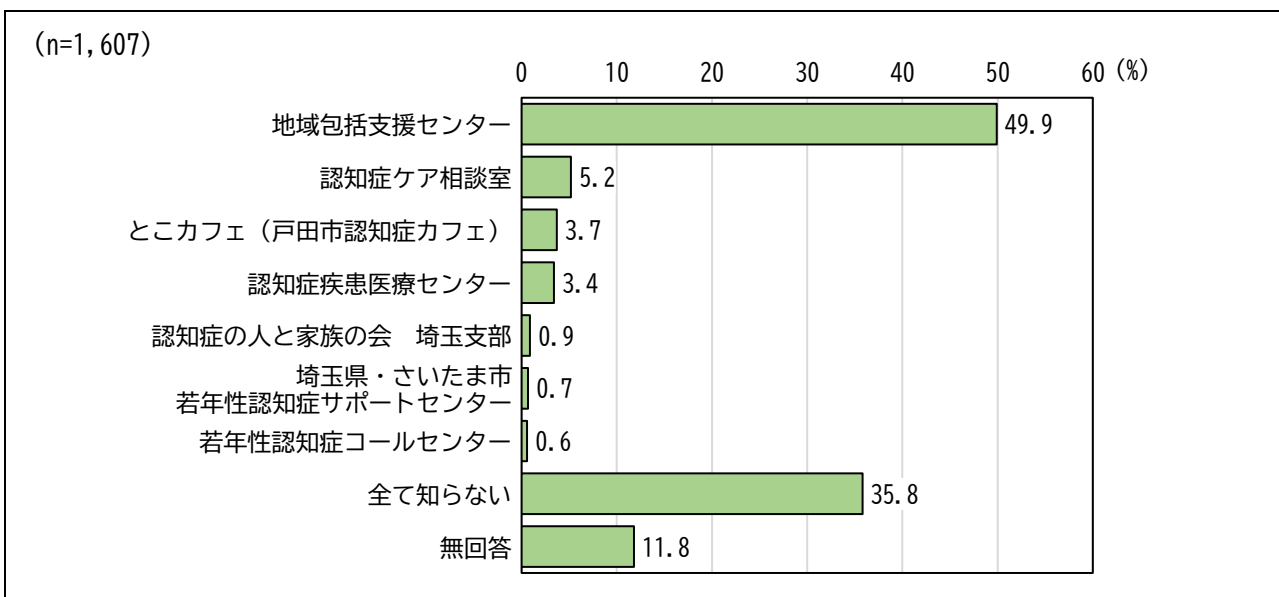
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はひとつ)



認知症に関する相談窓口の認知度を尋ねたところ、「はい」が26.8%、「いいえ」が65.2%で「いいえ」の方が多くなっている。

(3) 認知症に関する相談窓口で知っているもの

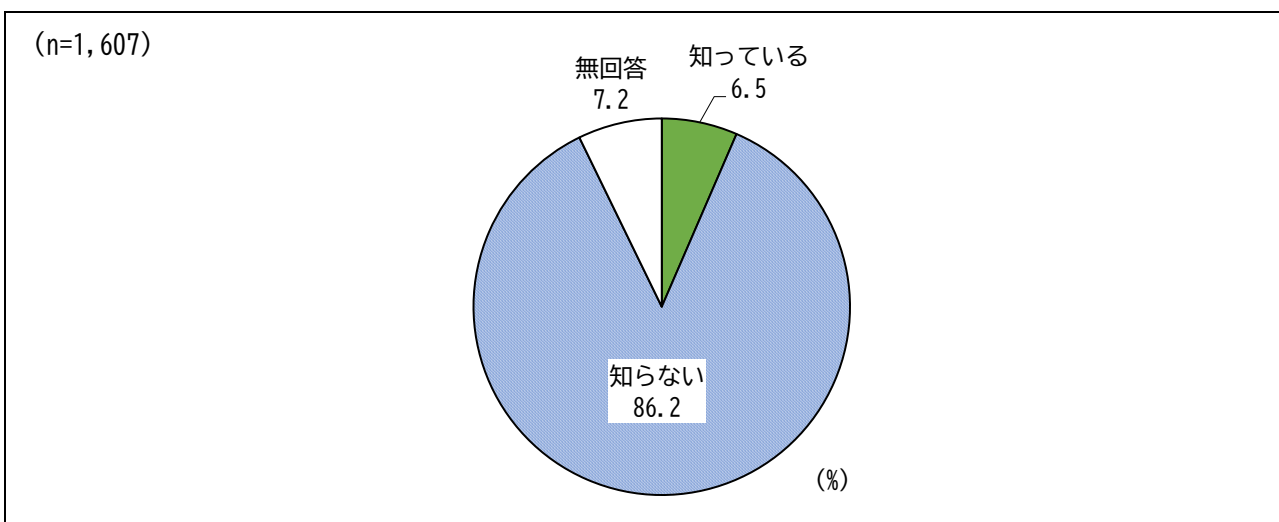
(3) 下記は認知症に関する相談窓口です。名前や存在を知っているものを選んでください
(いくつでも)



認知症に関する相談窓口で知っているものは、「地域包括支援センター」が49.9%で最も多く、次いで、「全て知らない」が35.8%、「認知症ケア相談室」が5.2%、「とこカフェ (戸田市認知症カフェ)」が3.7%、「認知症疾患医療センター」が3.4%などとなっている。

(4) 「新しい認知症観」の認知度

(4) 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか (○はひとつ)

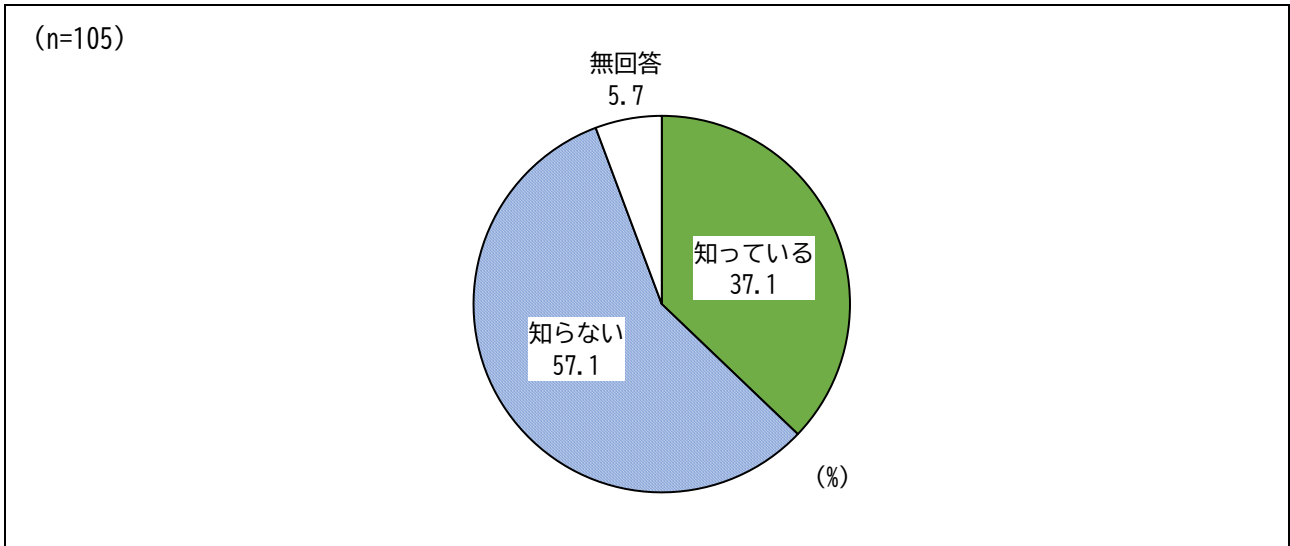


「新しい認知症観」の認知度は、「知っている」が6.5%、「知らない」が86.2%となっている。

(5) 「新しい認知症観」の内容の認知度

【(4)において「知っている」を選んだ方のみ】

(5) 「新しい認知症観」の内容について知っていますか (○はひとつ)

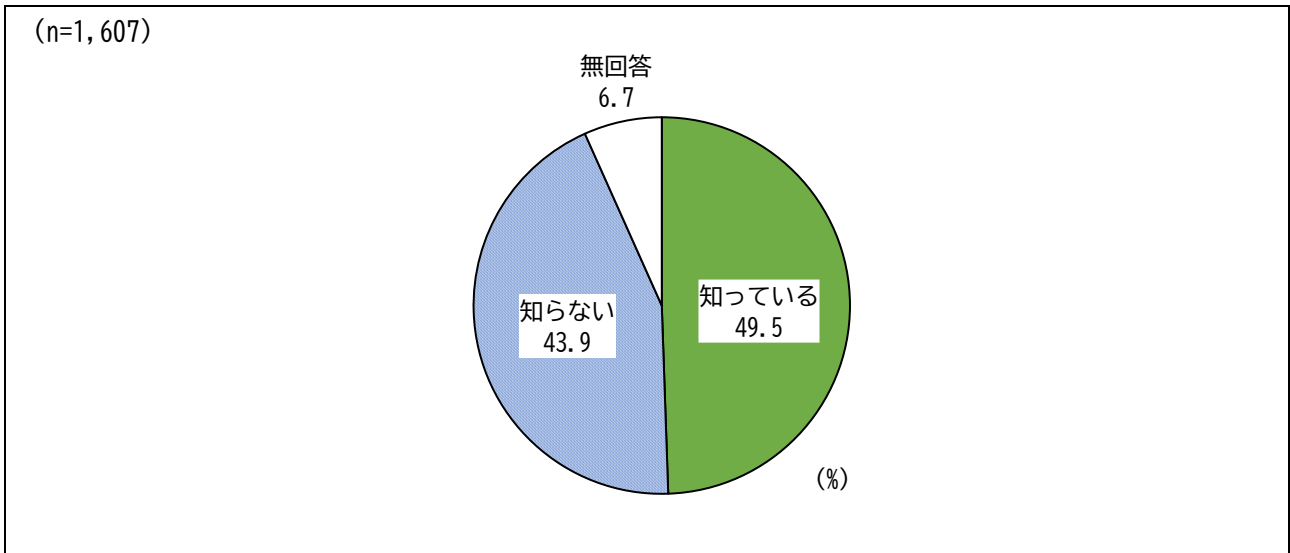


「新しい認知症観」の内容の認知度は、「知っている」が37.1%、「知らない」が57.1%となっている。

10 地域包括支援センターについて

(1) 「地域包括支援センター」の認知度

(1) あなたの地域にある「地域包括支援センター」を知っていますか（○はひとつ）

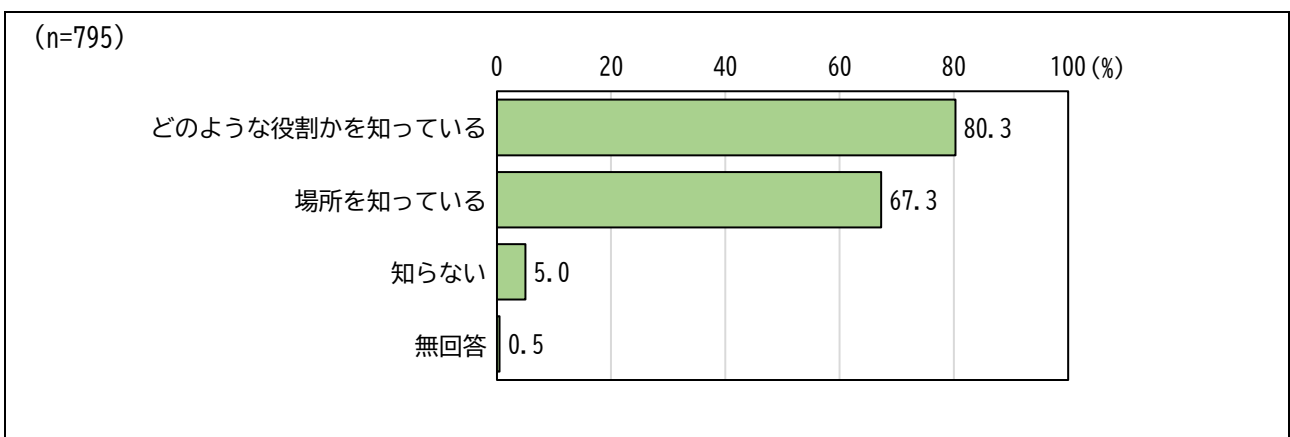


「地域包括支援センター」の認知度は、「知っている」が49.5%、「知らない」が43.9%となっている。

(2) 「地域包括支援センター」で知っていること

【(1)において「知っている」を選んだ方のみ】

(2) 「地域包括支援センター」についてどこまで知っていますか（いくつでも）

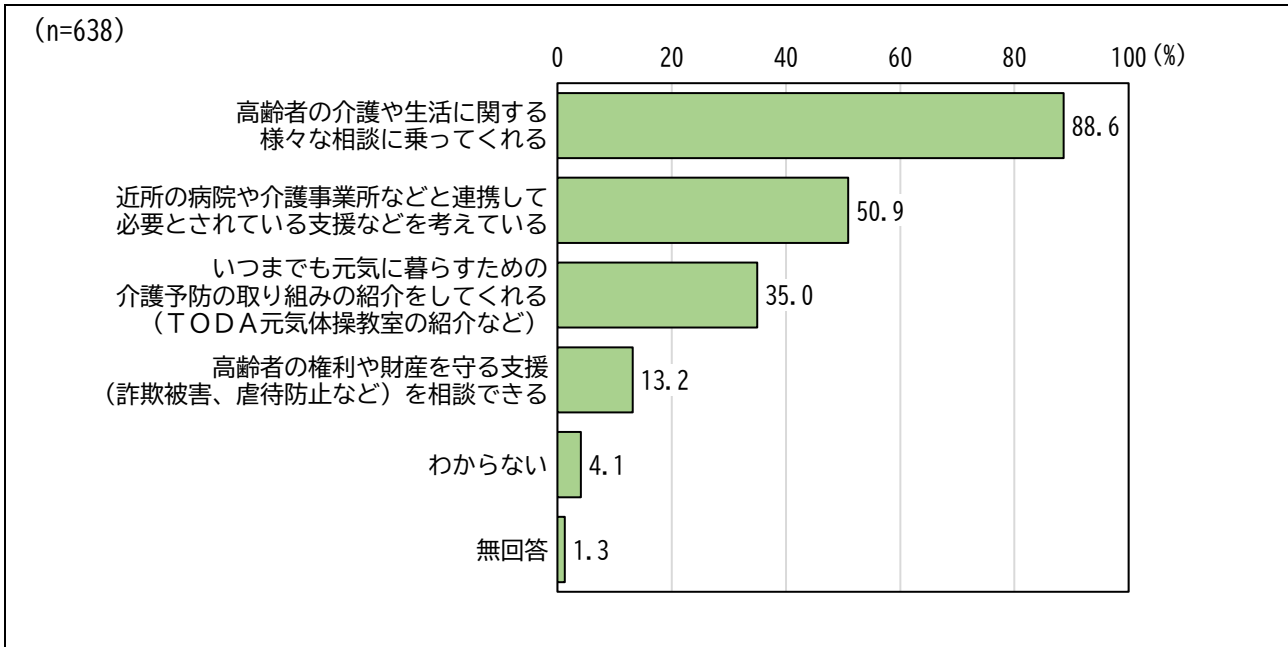


「地域包括支援センター」で知っていることは、「どのような役割かを知っている」が80.3%で最も多く、「場所を知っている」が67.3%、「知らない」が5.0%となっている。

(3) 「地域包括支援センター」の役割の認知度

【(2) において「どのような役割かを知っている」を選んだ方のみ】

(3) 地域包括支援センターについて、あなたが知っている役割を選んでください (いくつでも)

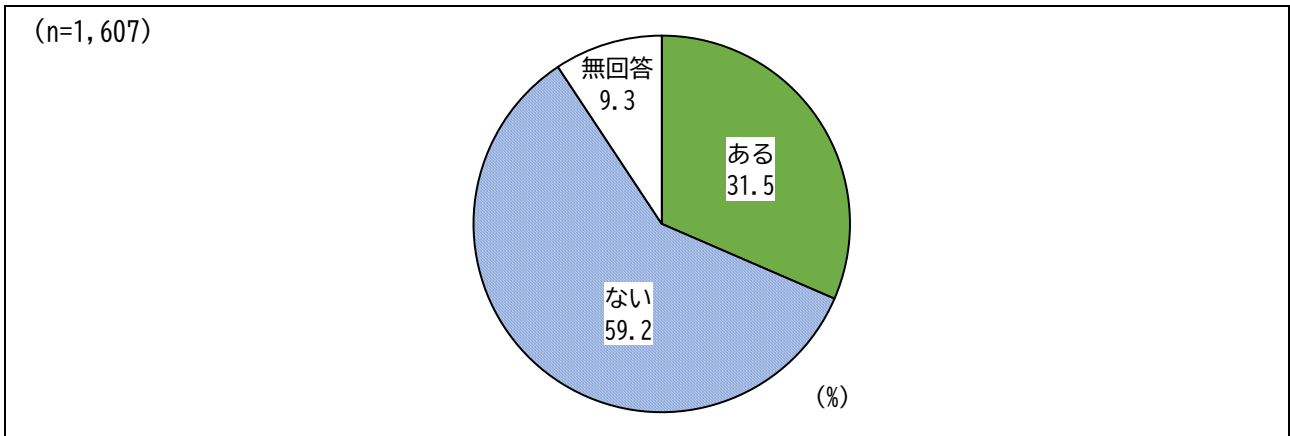


「地域包括支援センター」の役割の認知度は、「高齢者の介護や生活に関する様々な相談に乗ってくれる」が88.6%で最も多く、次いで、「近所の病院や介護事業所などと連携して必要とされている支援などを考えている」が50.9%、「いつまでも元気に暮らすための介護予防の取り組みの紹介をしてくれる (TODA元気体操教室の紹介など)」が35.0%、「高齢者の権利や財産を守る支援 (詐欺被害、虐待防止など) を相談できる」が13.2%などとなっている。

11 生活支援サービスについて

(1) 日常生活での困りごとの有無

(1) 日常生活で、ちょっとした困りごとはありますか (○はひとつ)

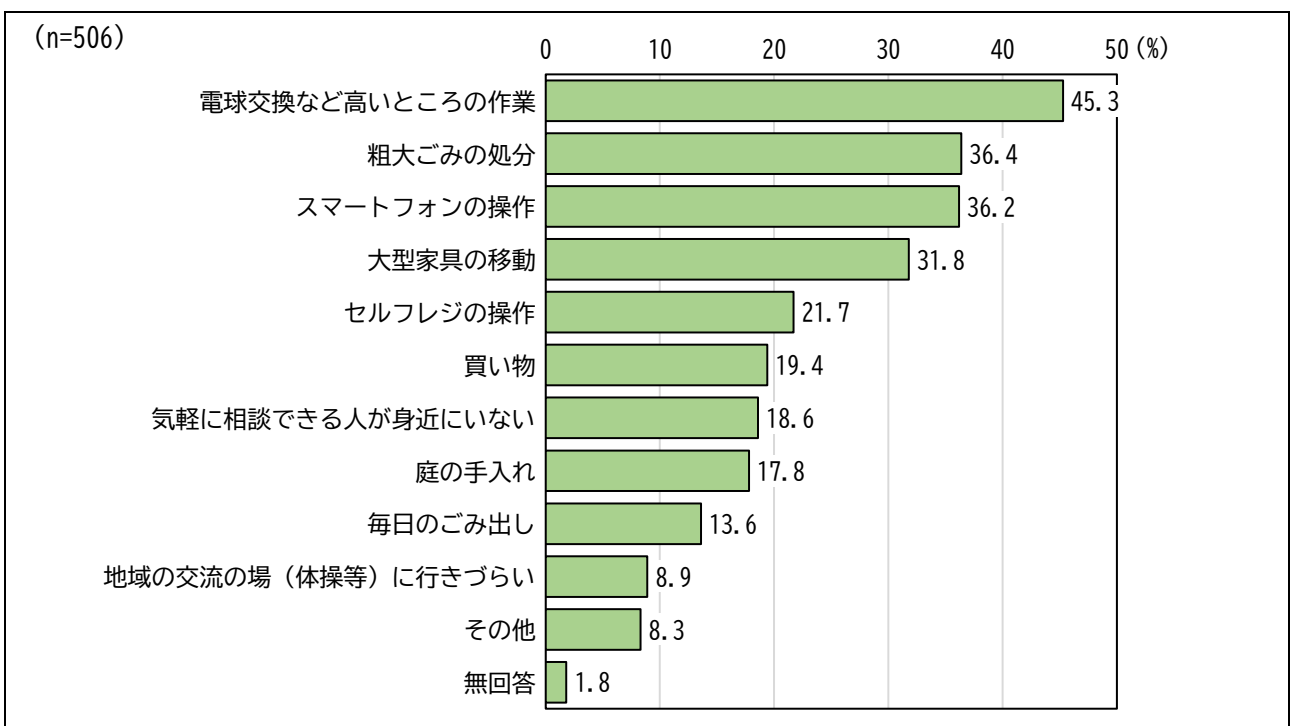


日常生活での困りごとの有無は、「ある」が31.5%、「ない」が59.2%となっている。

(2) 困りごとの内容

【(1)において「ある」(ちょっとした困りごとがある)を選んだ方のみ】

(2) どのような困りごとがありますか (いくつでも)

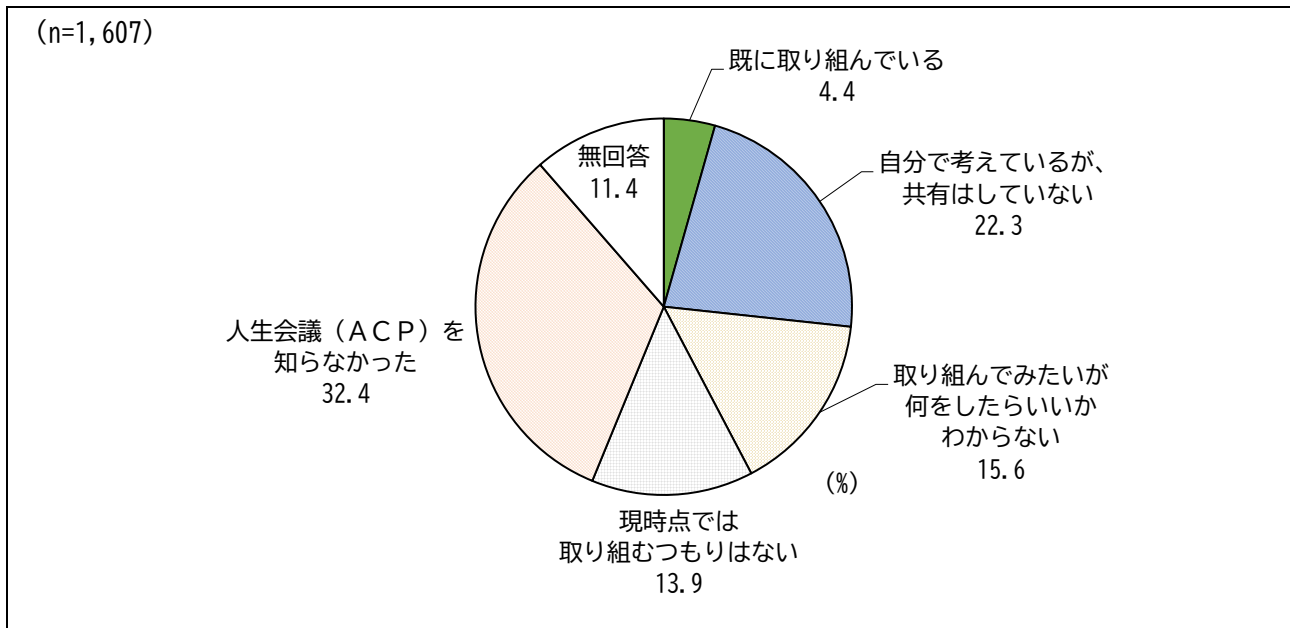


困りごとの内容は、「電球交換など高いところの作業」が45.3%で最も多く、次いで、「粗大ごみの処分」が36.4%、「スマートフォンの操作」が36.2%、「大型家具の移動」が31.8%、「セルフレジの操作」が21.7%などとなっている。

12 終活 人生会議（ACP）やエンディングノートについて

（1）人生会議（ACP）について

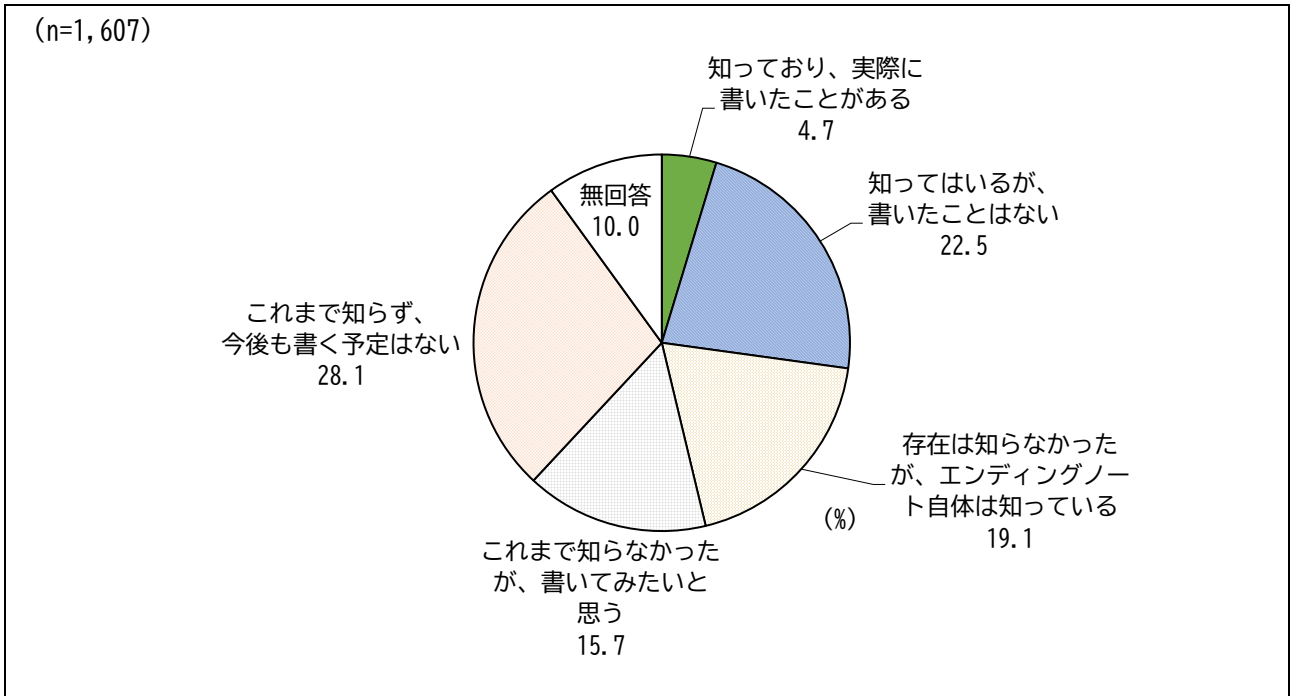
（1）人生会議（ACP）は、もしもの時に備えて、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等親しい人や医療・介護の専門職のチームと繰り返し話し合い、共有しておく取組のことで、人生会議（ACP）について、現在の状況に最も近いものを選んでください（○はひとつ）



人生会議（ACP）については、「人生会議（ACP）を知らなかった」が32.4%で最も多く、次いで、「自分で考えているが、共有はしていない」が22.3%、「取り組んでみたいが何をしたらいいかわからない」が15.6%、「現時点では取り組むつもりはない」が13.9%、「既に取り組んでいる」が4.4%となっている。

(2) エンディングノートについて

(2) 戸田市版エンディングノートについて、現在の状況に最も近いものを選んでください
(○はひとつ)

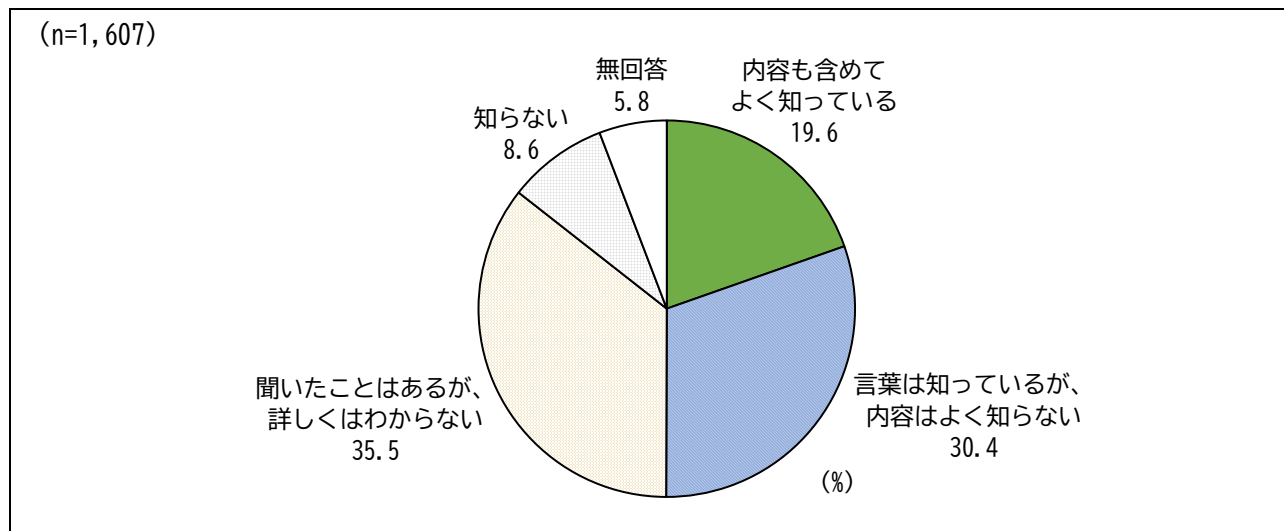


エンディングノートについては、「これまで知らず、今後も書く予定はない」が28.1%で最も多く、次いで、「知っているが、書いたことはない」が22.5%、「存在は知らなかったが、エンディングノート自体は知っている」が19.1%、「これまで知らなかったが、書いてみたいと思う」が15.7%、「知っており、実際に書いたことがある」が4.7%となっている。

13 在宅医療・介護について

(1) 「在宅医療」の認知度

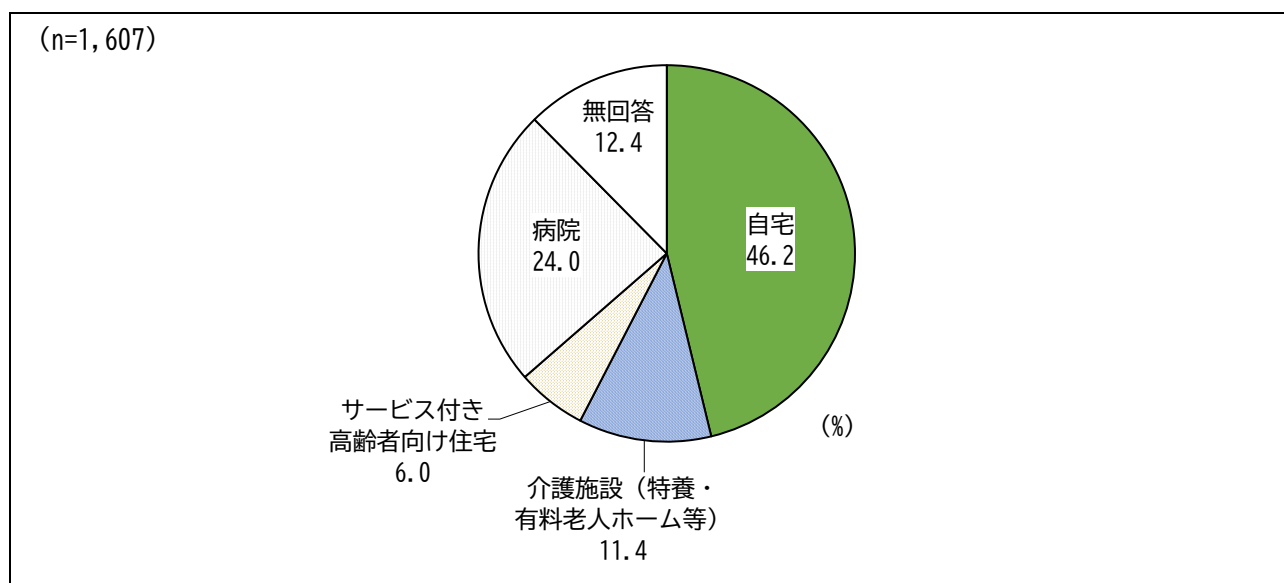
(1) あなたは「在宅医療（訪問医療や訪問看護）」について知っていますか（○はひとつ）



「在宅医療」の認知度は、「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」が35.5%で最も多く、次いで、「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が30.4%、「内容も含めてよく知っている」が19.6%、「知らない」が8.6%となっている。

(2) 人生の最期を迎えたい場所

(2) 医療や介護の体制が整っていると仮定した場合、あなたが人生の最期を迎えようとするとき、どこで最期を迎えたいですか（○はひとつ）

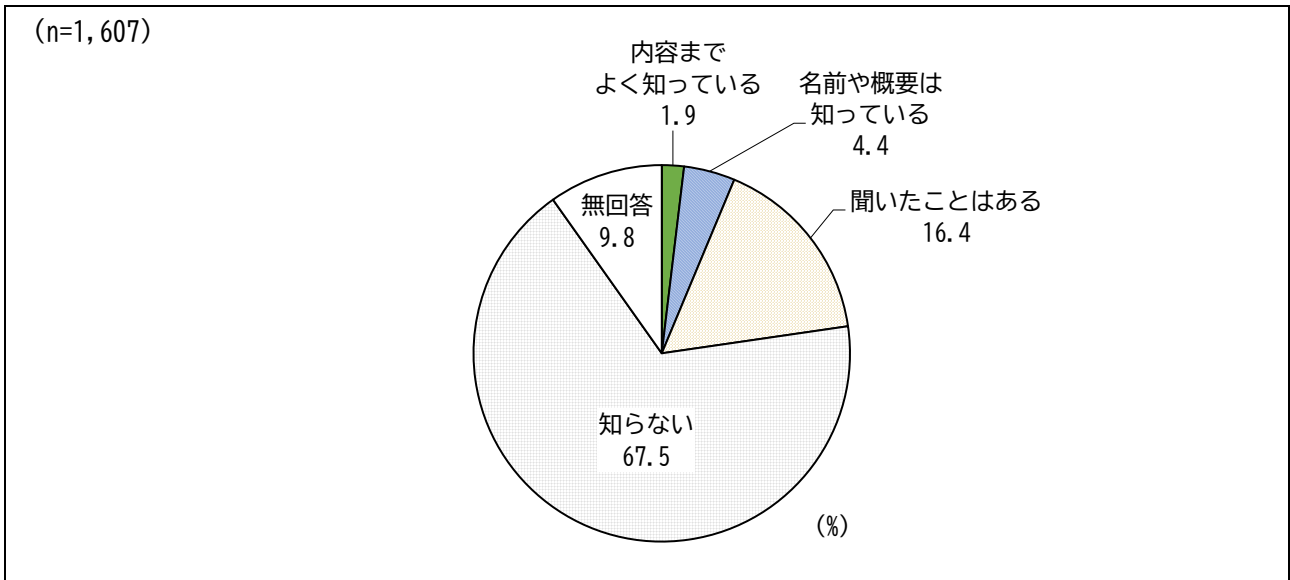


人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」が46.2%で最も多く、次いで、「病院」が24.0%、「介護施設（特養・有料老人ホーム等）」が11.4%、「サービス付き高齢者向け住宅」が6.0%となっている。

14 家族介護教室について

(1) 家族介護教室の認知度

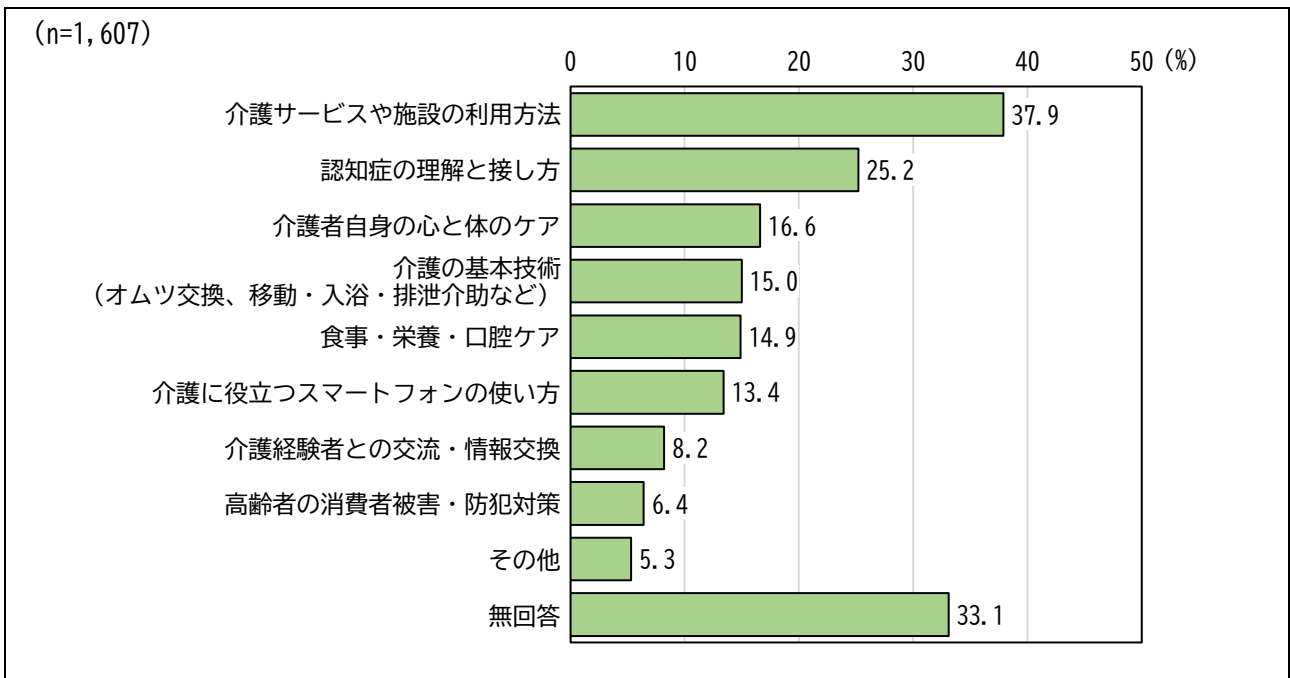
(1) 高齢者を介護している家族や近隣で援助している方、これから高齢者の介護をされる予定のある方等を対象に、介護に役立つコツや知識をお伝えする家族介護教室を定期的を開催しています。家族介護教室を知っていますか（○はひとつ）



家族介護教室の認知度は、「知らない」が67.5%で最も多く、「聞いたことはある」が16.4%、「名前や概要は知っている」が4.4%、「内容までよく知っている」が1.9%となっている。

(2) 参加してみたい家族介護教室の内容

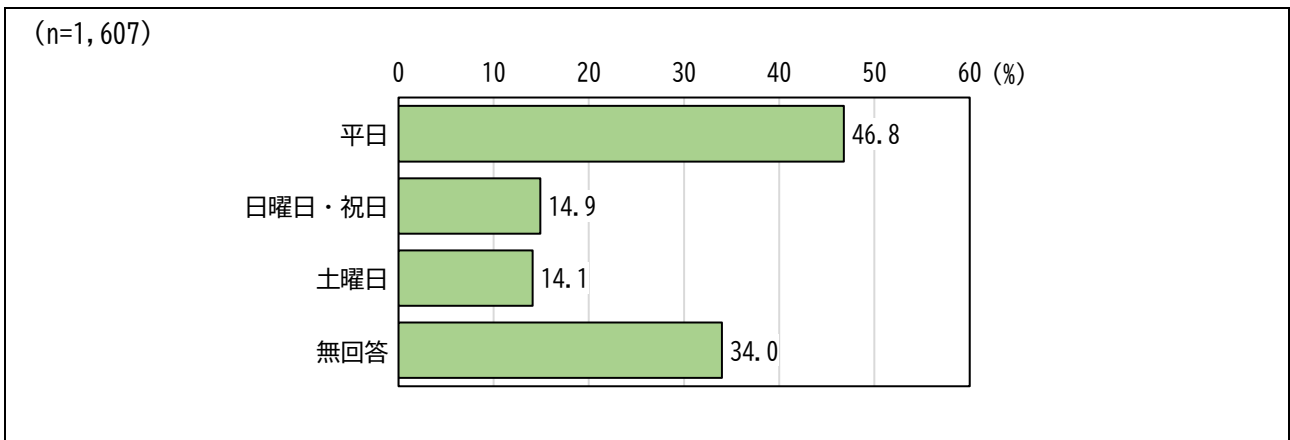
(2) どのような内容であれば参加してみたいですか (いくつでも)



参加してみたい家族介護教室の内容は、「介護サービスや施設の利用方法」が37.9%で最も多く、次いで、「認知症の理解と接し方」が25.2%、「介護者自身の心と体のケア」が16.6%、「介護の基本技術（オムツ交換、移動・入浴・排泄介助など）」が15.0%、「食事・栄養・口腔ケア」が14.9%などとなっている。

(3) 参加したい曜日

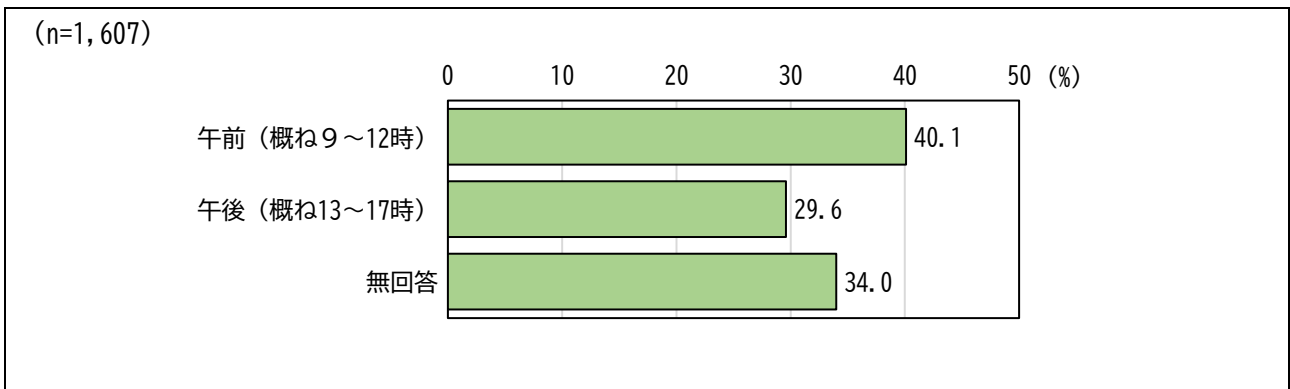
(3) 参加するとしたら、どのような曜日が望ましいですか (いくつでも)



参加したい曜日は、「平日」が46.8%で最も多く、次いで「日曜日・祝日」が14.9%、「土曜日」が14.1%となっている。

(4) 参加したい時間帯

(4) 参加するとしたら、どのような時間帯が望ましいですか (いくつでも)

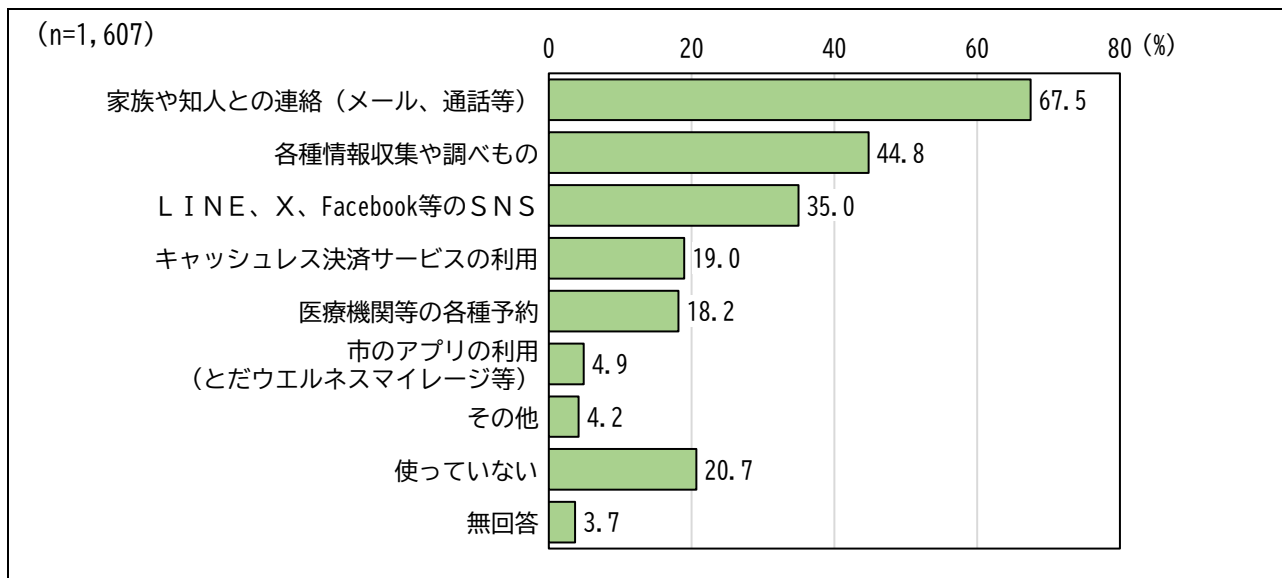


参加したい時間帯は、「午後 (概ね13~17時)」が40.1%、「午前 (概ね9~12時)」が29.6%となっている。

15 デジタル機器の使用について

(1) デジタル機器の使用目的

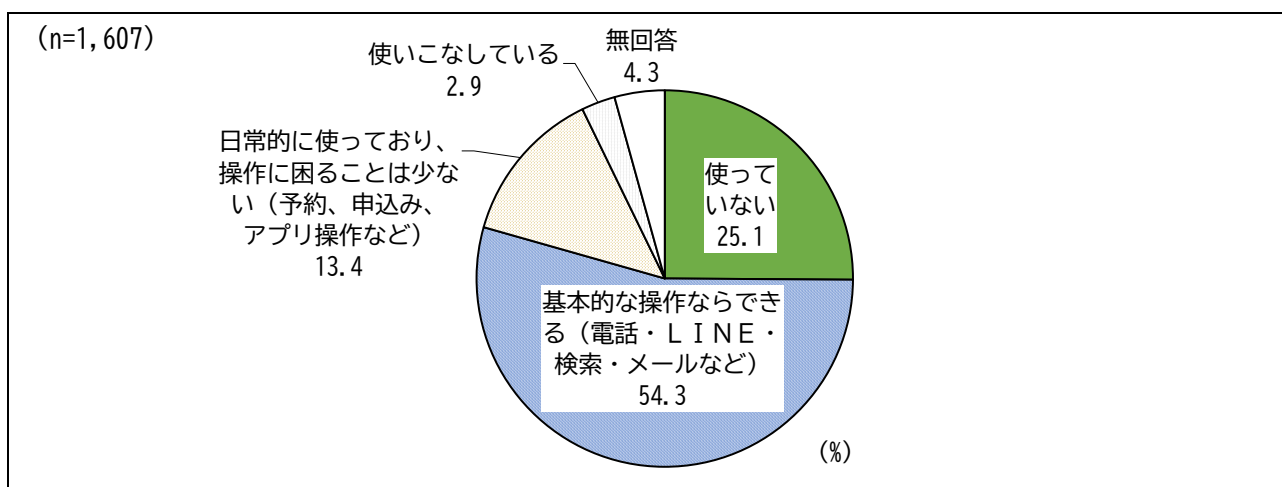
(1) スマートフォンやパソコンをどのような目的で使っていますか (○はひとつ)



デジタル機器の使用目的は、「家族や知人との連絡 (メール、通話等)」が67.5%で最も多く、次いで、「各種情報収集や調べもの」が44.8%、「L I N E、X、Facebook等のSNS」が35.0%、「キャッシュレス決済サービスの利用」が19.0%、「医療機関等の各種予約」が18.2%などとなっている。

(2) デジタル機器の操作

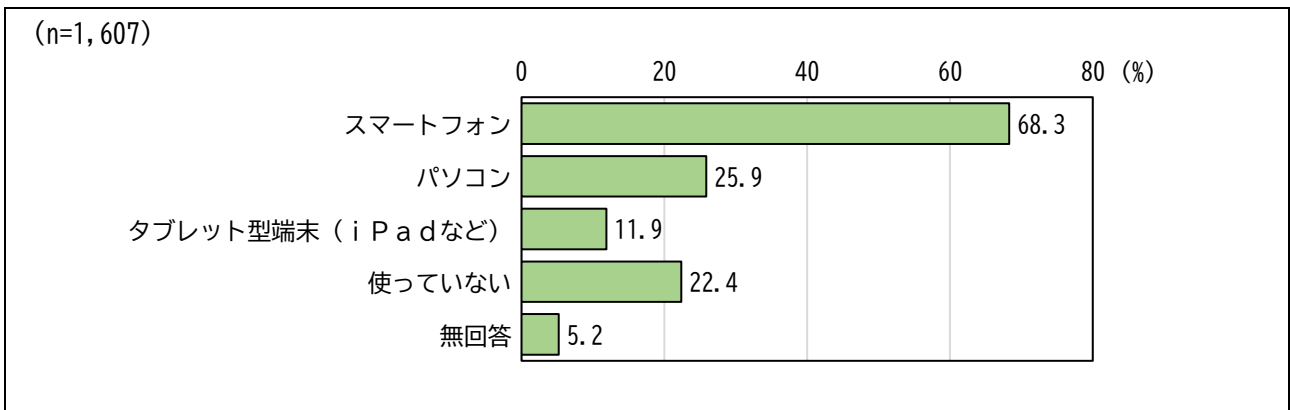
(2) スマートフォンやパソコンの操作にどの程度慣れていますか (○はひとつ)



デジタル機器の操作は、「基本的な操作ならできる (電話・L I N E・検索・メールなど)」が54.3%で最も多く、次いで、「使っていない」が25.1%、「日常的に使っており、操作に困ることは少ない (予約、申込み、アプリ操作など)」が13.4%、「使いこなしている」が2.9%となっている。

(3) 使用しているデジタル機器

(3) 次の中で使用しているデジタル機器はどれですか (いくつでも)



使用しているデジタル機器は、「スマートフォン」が68.3%で最も多く、次いで、「パソコン」が25.9%、「使っていない」が22.4%、「タブレット型端末 (iPadなど)」が11.9%となっている。

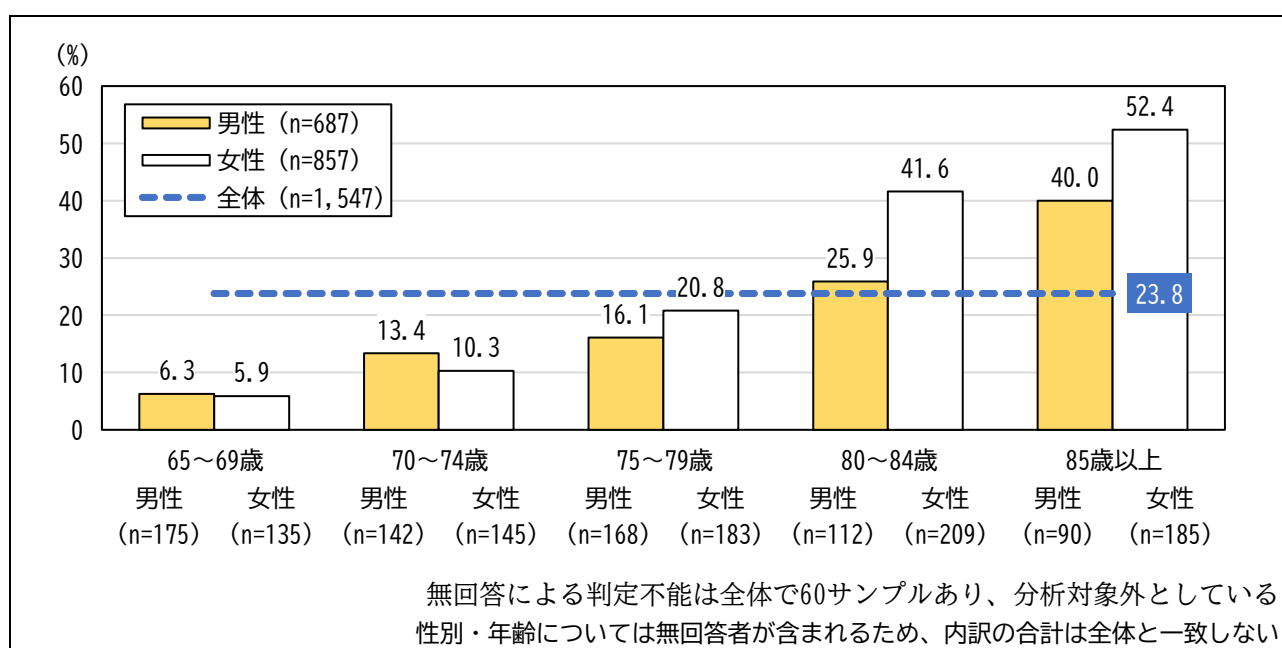
16 リスク分析

(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	17頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	17頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	18頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	18頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	19頁



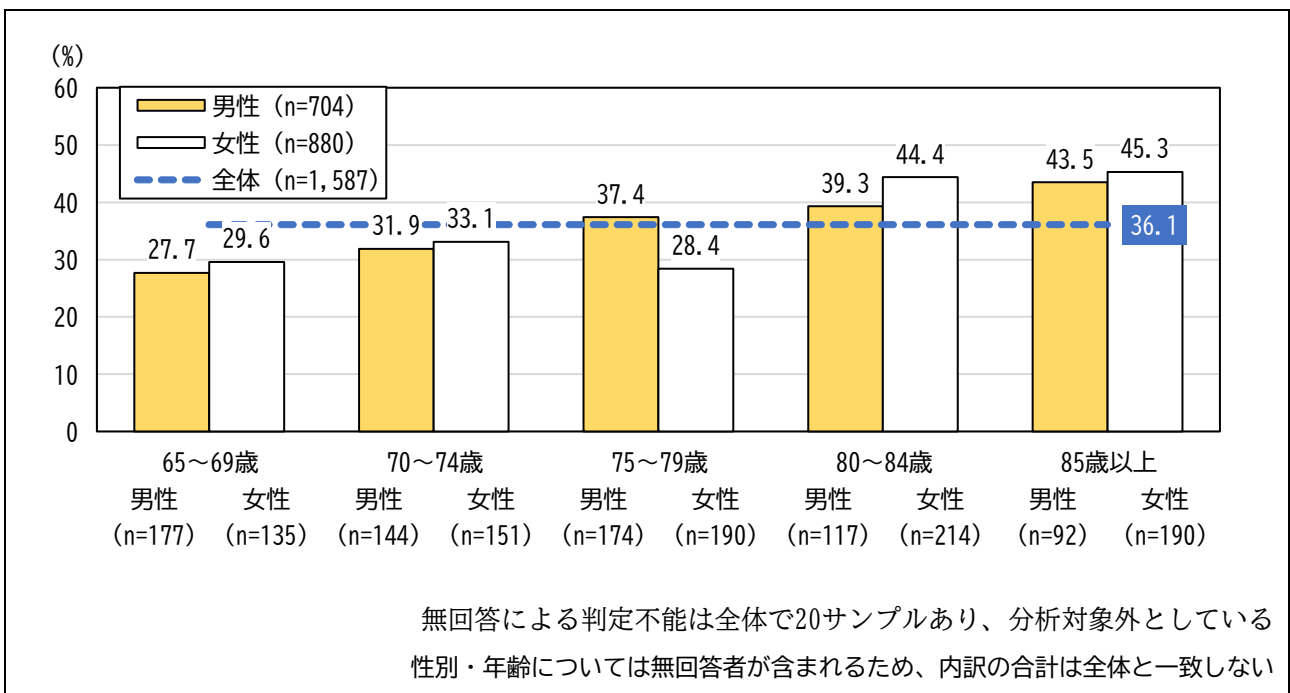
運動器機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では40.0%、女性では52.4%が有リスクとなっている。

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	18頁



転倒リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では43.5%、女性では45.3%が有リスクとなっている。

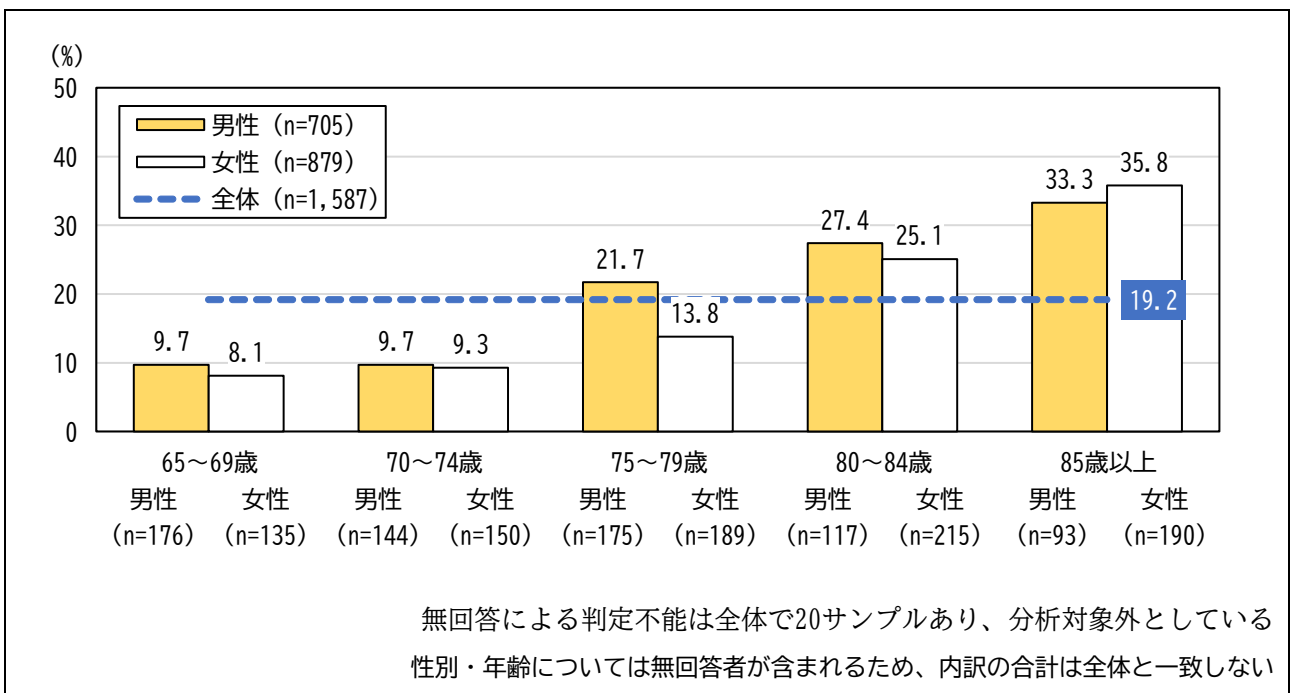
男性では75歳以上の各年齢で全体平均を上回っているが、女性では80歳以上で全体平均を上回っている。

(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	19頁



閉じこもり傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では33.3%、女性では35.8%が有リスクとなっている。

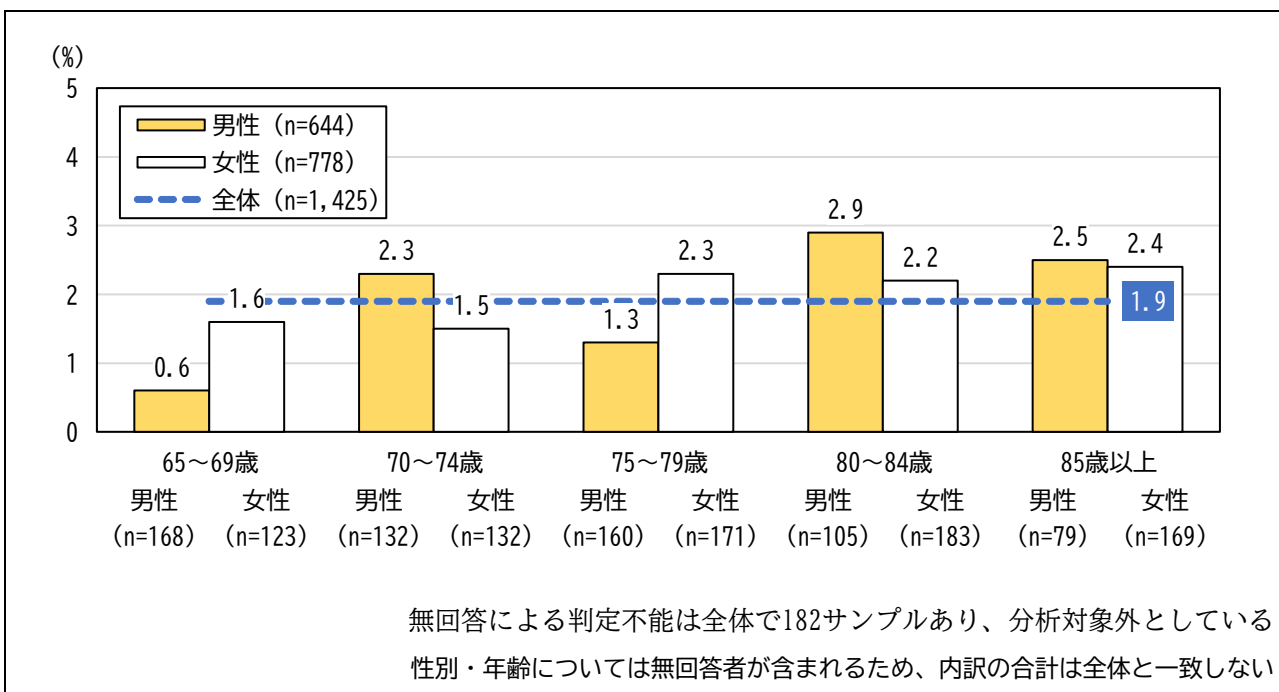
男性では75歳以上の各年齢で全体平均を上回っているが、女性では80歳以上で全体平均を上回っている。

(4) 低栄養

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷ {身長（m）×身長（m）}）が18.5以下の場合、低栄養が疑われる	24頁
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	28頁



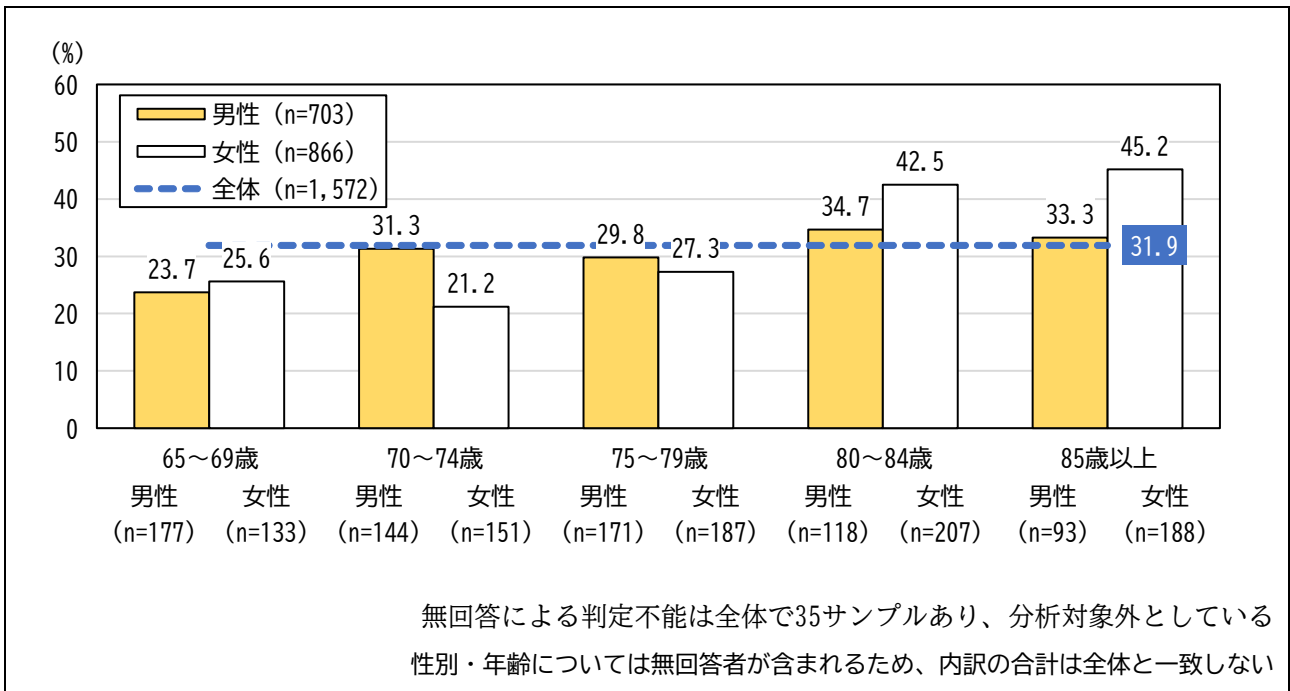
低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が1.9%と他のリスクに比べて高い数値ではないが、男性では「80～84歳」で2.9%、女性では「85歳以上」で2.4%と最も高くなっている。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	24頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	25頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	25頁



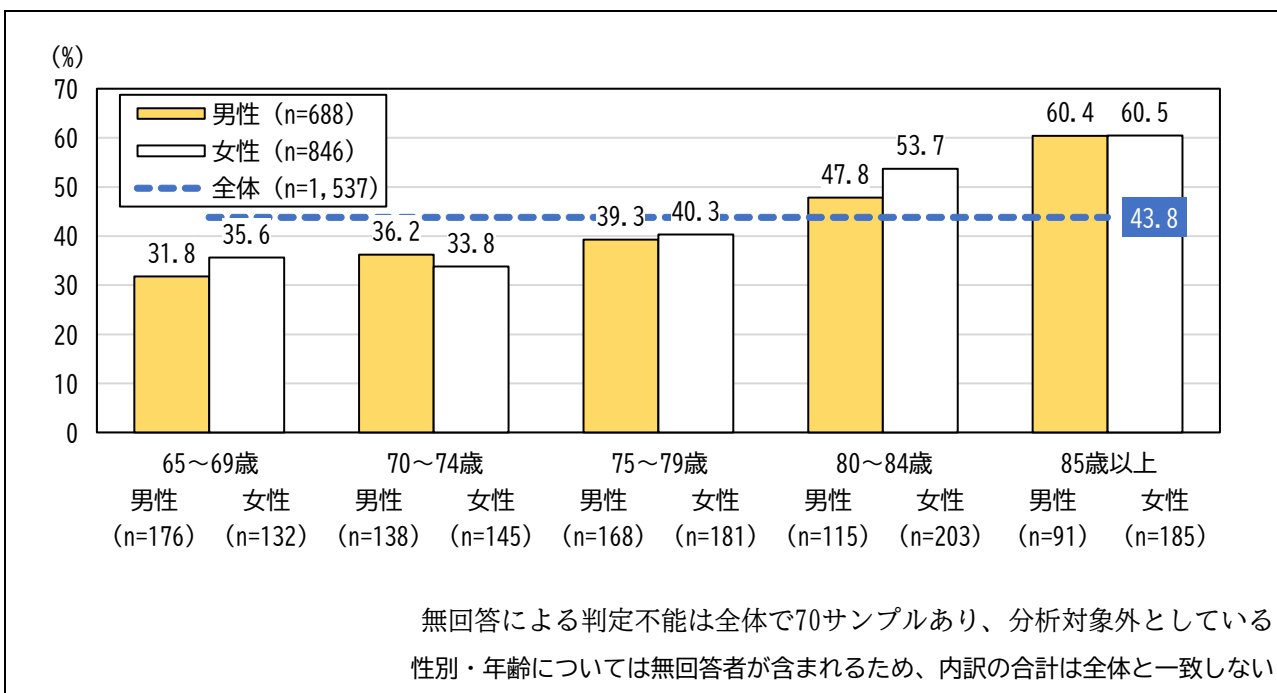
口腔機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では「80～84歳」で34.7%、女性では「85歳以上」で45.2%と最も高くなっている。

(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	29頁



認知機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では60.4%、女性では60.5%が有リスクとなっている。

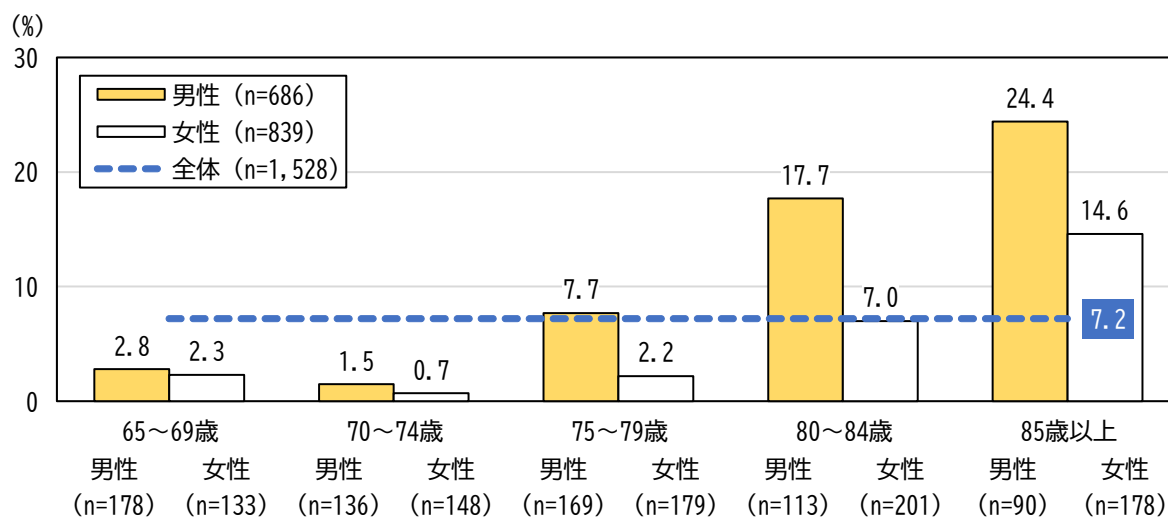
(7) IADL（手段的自立度）の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	30頁
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	31頁
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	31頁
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	32頁
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	32頁



無回答による判定不能は全体で79サンプルあり、分析対象外としている性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

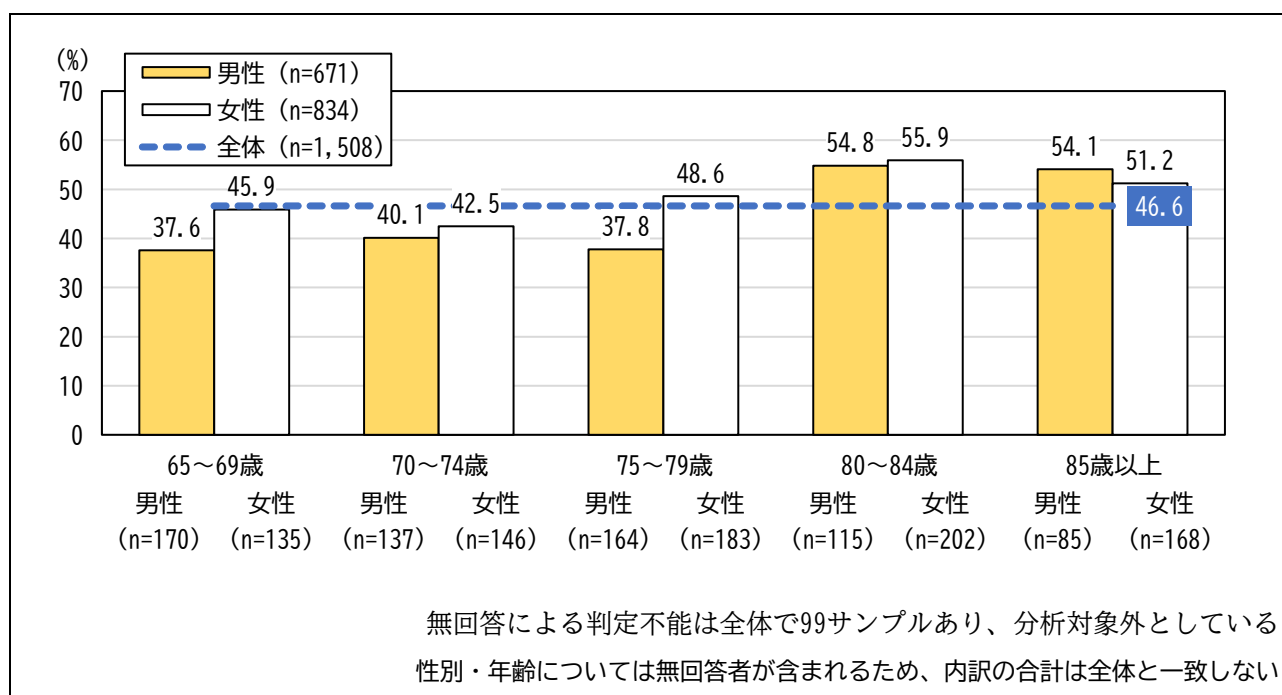
IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、特に男性で後期高齢者が比較的多く該当する傾向がみられる。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、男性では24.4%、女性では14.6%が低下者となっている。

(8) うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	49頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	49頁



うつ傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに「80～84歳」で最も数値が高くなっており、男性では54.8%、女性では55.9%が有リスクとなっている。

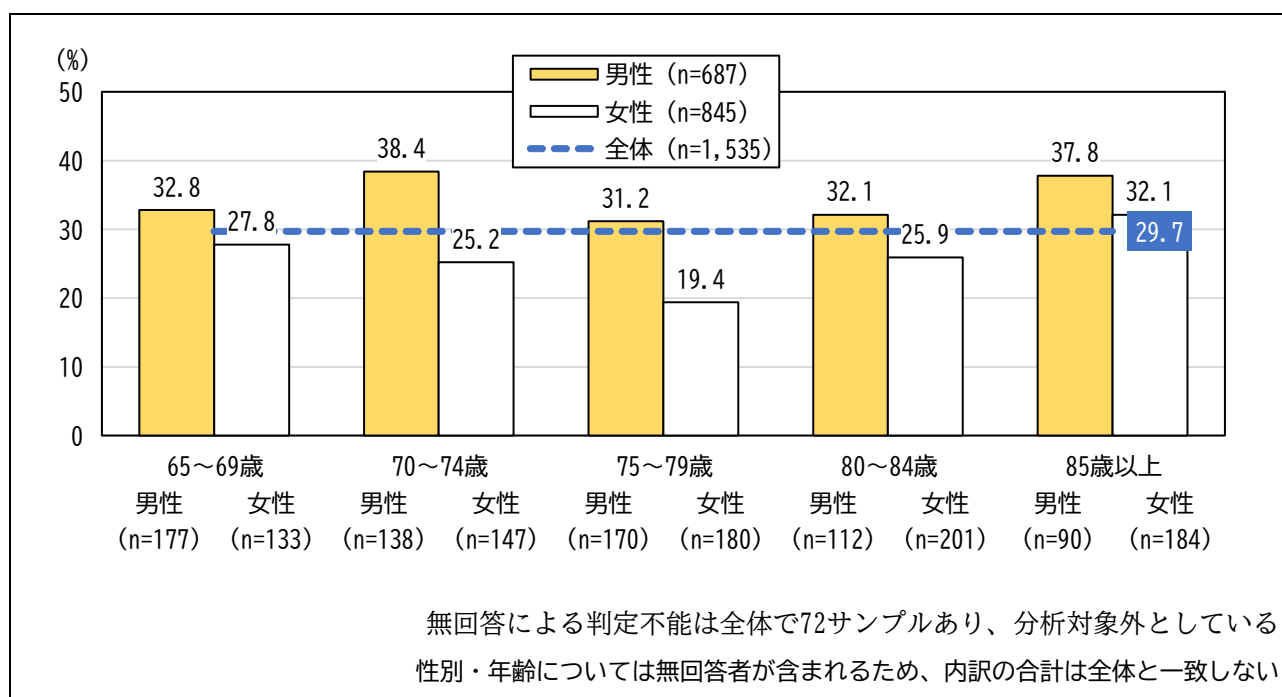
(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢	参照
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	33頁
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	33頁
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	34頁
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	34頁



知的能動性の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性はすべての年齢で平均を上回っており、特に「70～74歳」で38.4%、「85歳以上」で37.8%とリスクが高くなっている。女性については「85歳以上」が32.1%で最も高くなっている。

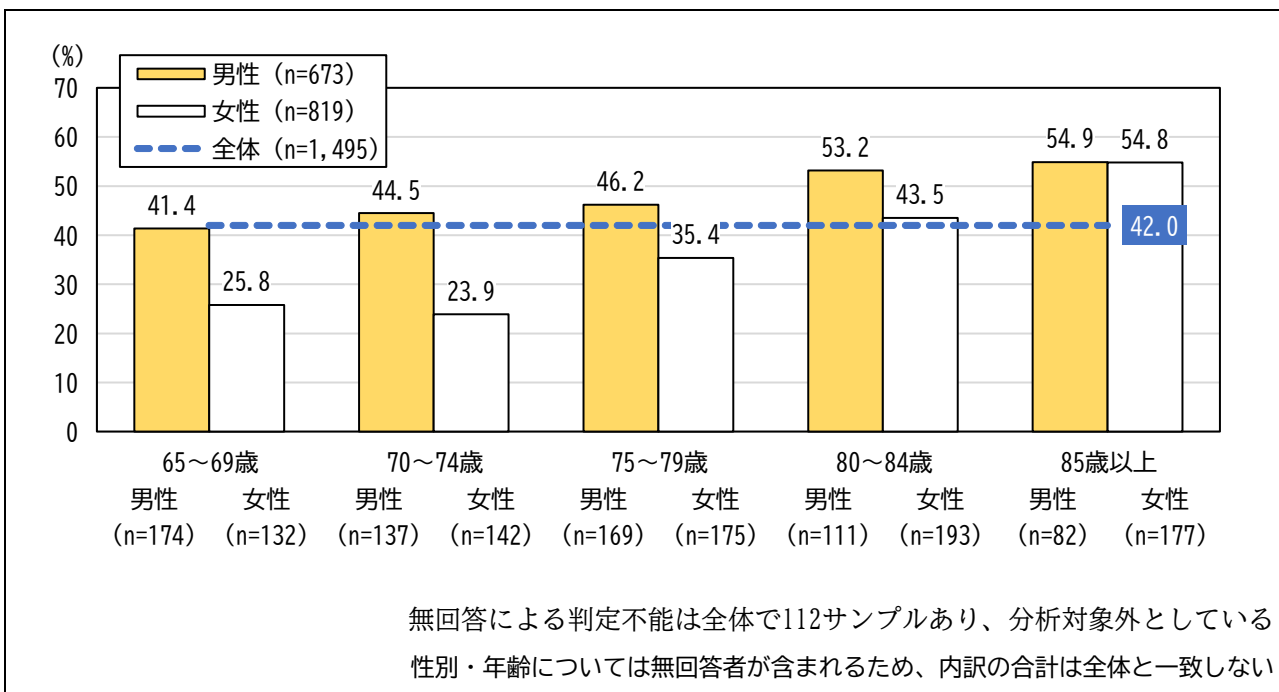
(10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

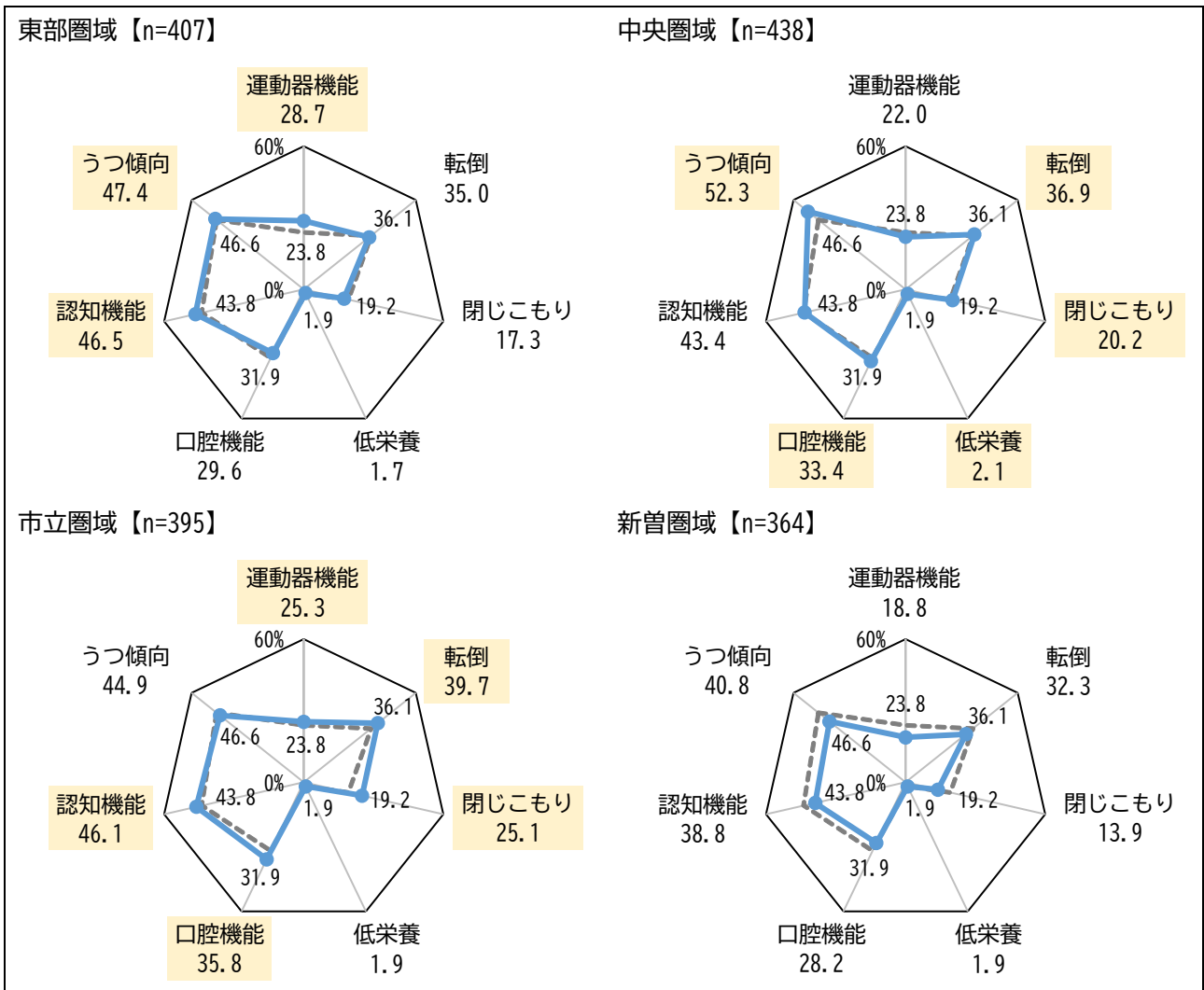
設問内容	選択肢	参照
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	35頁
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	35頁
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	36頁
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	36頁



社会的役割の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、男性の「80～84歳」及び「85歳以上」、女性の「85歳以上」において5割以上が有リスクとなっている。

また、男性では前期高齢者の該当割合も女性に比べて高いことに加え、「70～74歳」で男女の有リスク割合に最も差が出ていることが特徴的である。

(11) 圏域別リスク該当者割合



※点線：全体平均
実線：圏域の割合

圏域別のリスク該当者割合をみると、東部圏域では「運動器機能」、「認知機能」、「うつ傾向」のリスク該当者割合が全体より高くなっている。

中央圏域では「転倒」、「閉じこもり」、「低栄養」、「口腔機能」、「うつ傾向」のリスク該当者割合が全体より高くなっている。

市立圏域では「運動器機能」、「転倒」、「閉じこもり」、「口腔機能」、「認知機能」のリスク該当者割合が全体より高くなっている。

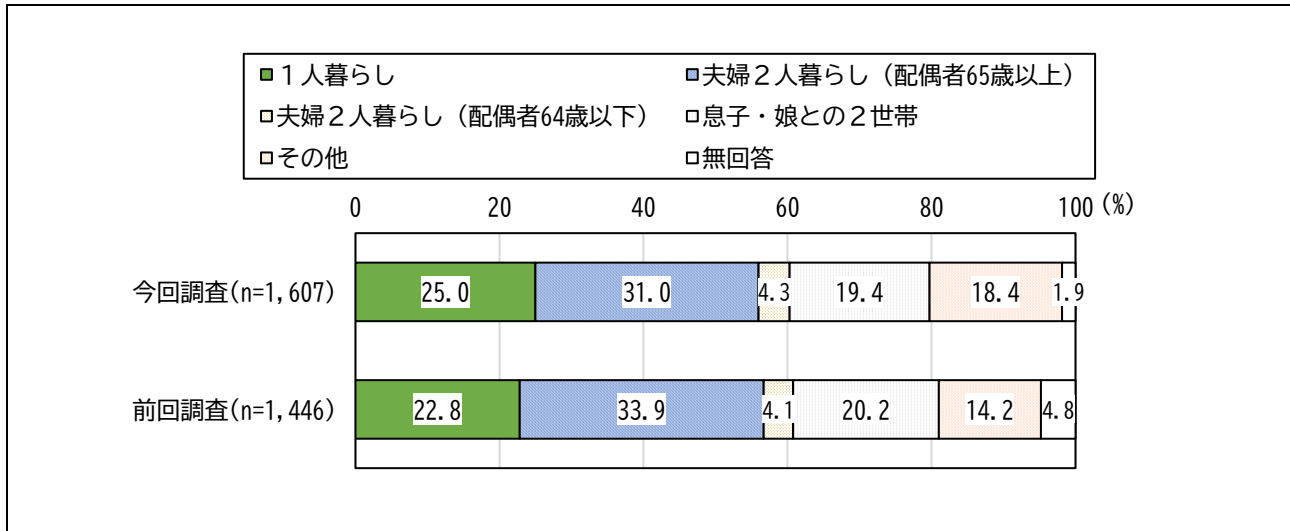
新曽圏域ではすべての項目で、リスク該当者割合が全体より低くなっている。

17 経年比較

今回調査結果のうち、主要項目について、前回調査結果（令和4年度調査）との経年比較を行いました。

（1）家族構成

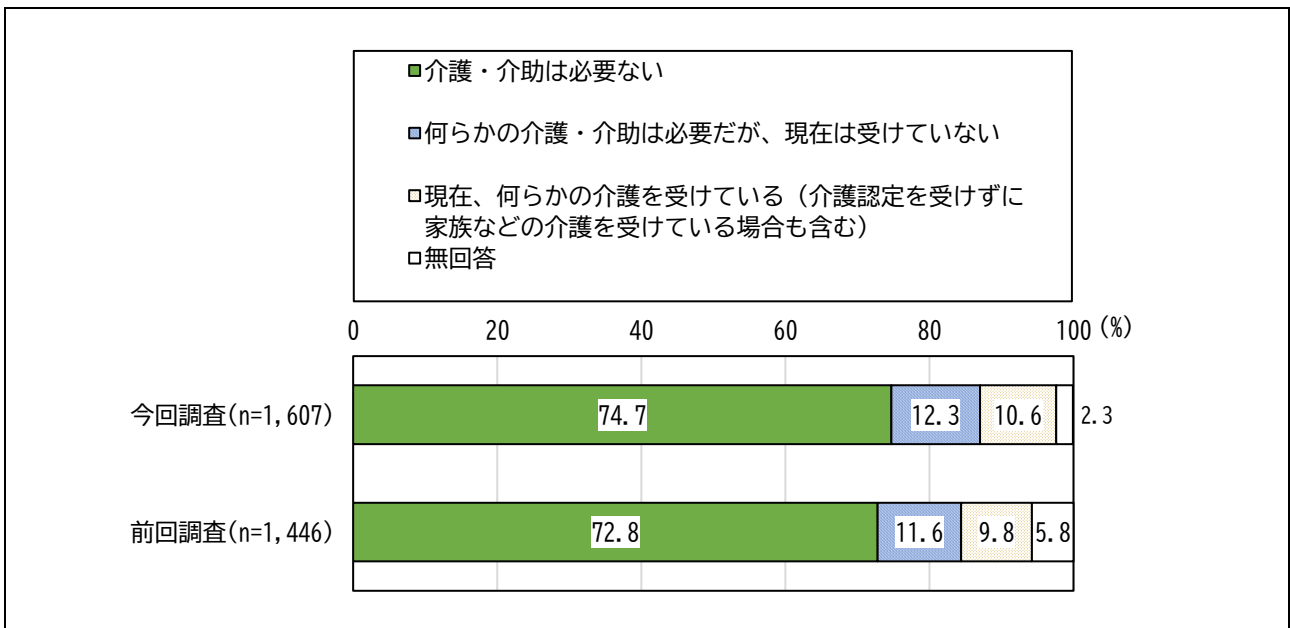
問 家族構成をお教えてください



家族構成について、前回調査に比べて今回調査では「その他」が4.2ポイント増加している。

(2) 介護・介助の必要性

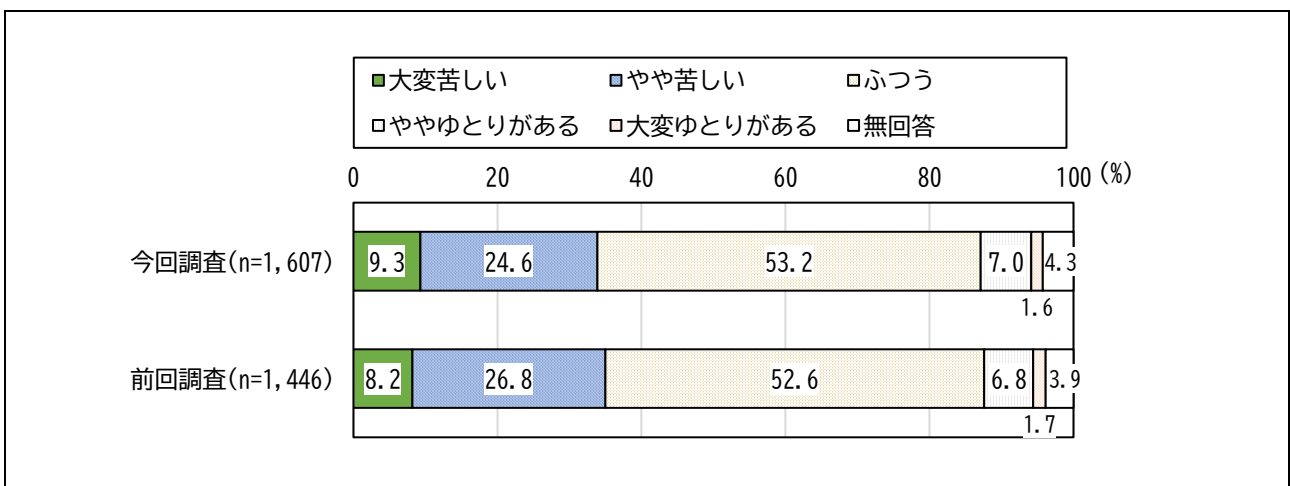
問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



介護・介助の必要性について、前回調査に比べて今回調査では無回答以外の各項目がやや増加しているものの、大きな変化はみられない。

(3) 現在の暮らしの経済的状況

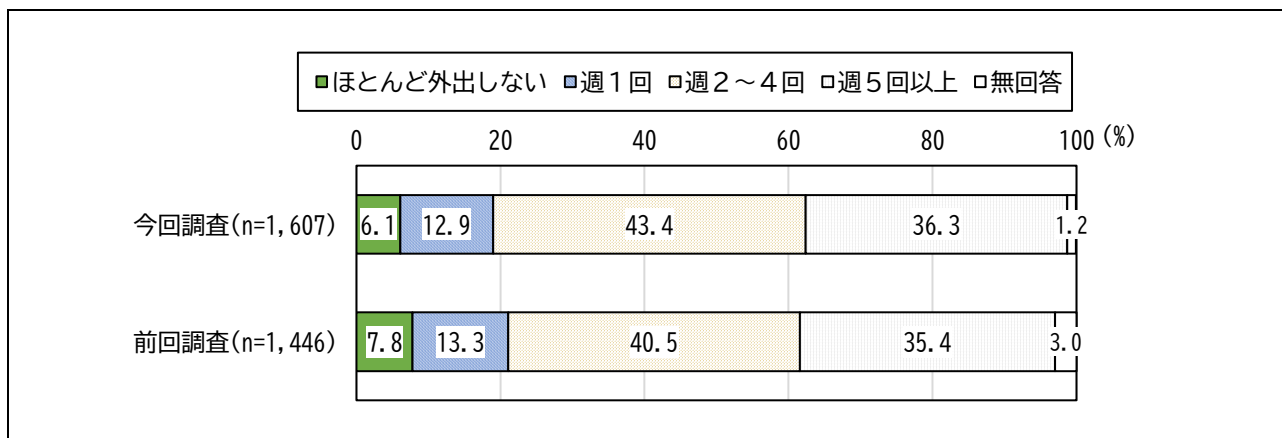
問 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



現在の暮らしの経済的状況について、前回調査に比べて今回調査では「大変苦しい」と「ふつう」がやや増加し、「やや苦しい」がやや減少しているものの、大きな変化はみられない。

(4) 外出しているか

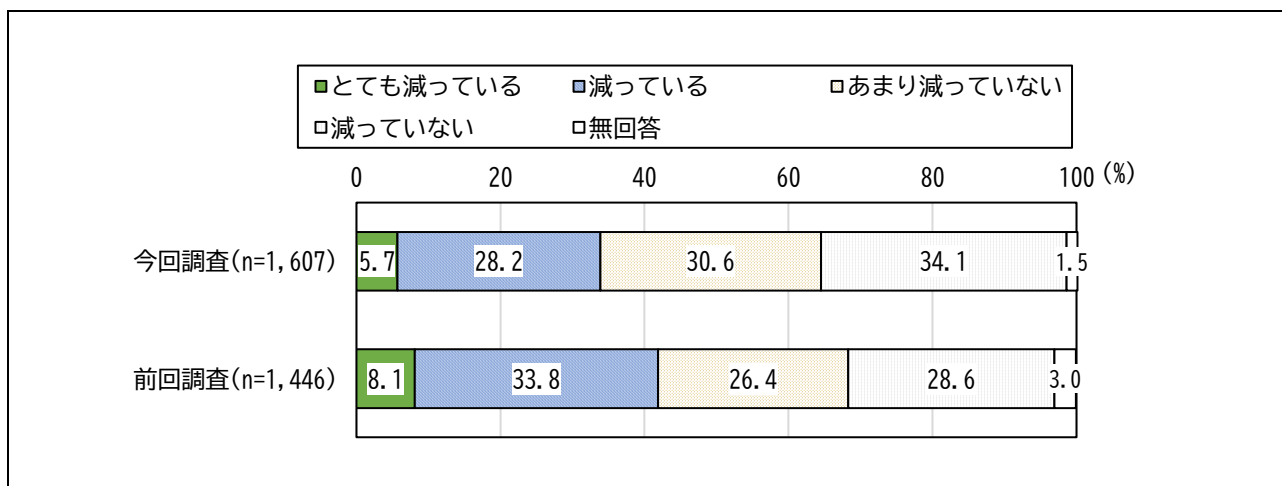
問 週に1回以上は外出していますか



週に1回以上の外出について、前回調査に比べて今回調査では「週2~4回」と「週5回以上」がやや増加し、「ほとんど外出しない」と「週1回」がやや減少しているものの、大きな変化はみられない。

(5) 外出頻度の減少

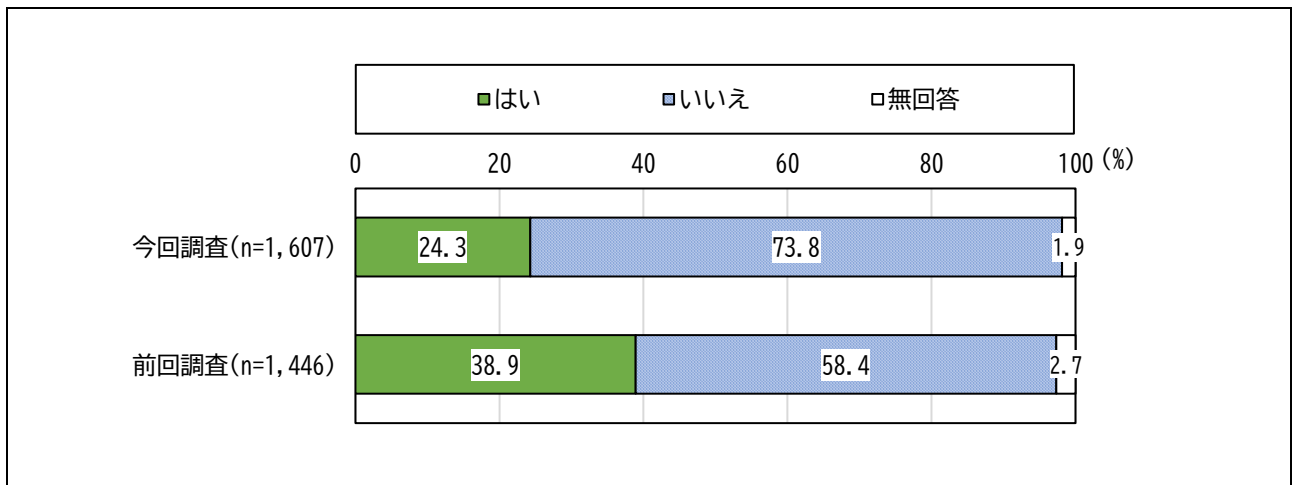
問 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



昨年と比べた外出の回数について、前回調査に比べて今回調査では「あまり減っていない」と「減っていない」がともに増加し、「とても減っている」と「減っている」がともに減少しており、外出頻度は減少していないことがうかがえる。

(6) 外出を控えているか

問 外出を控えていますか

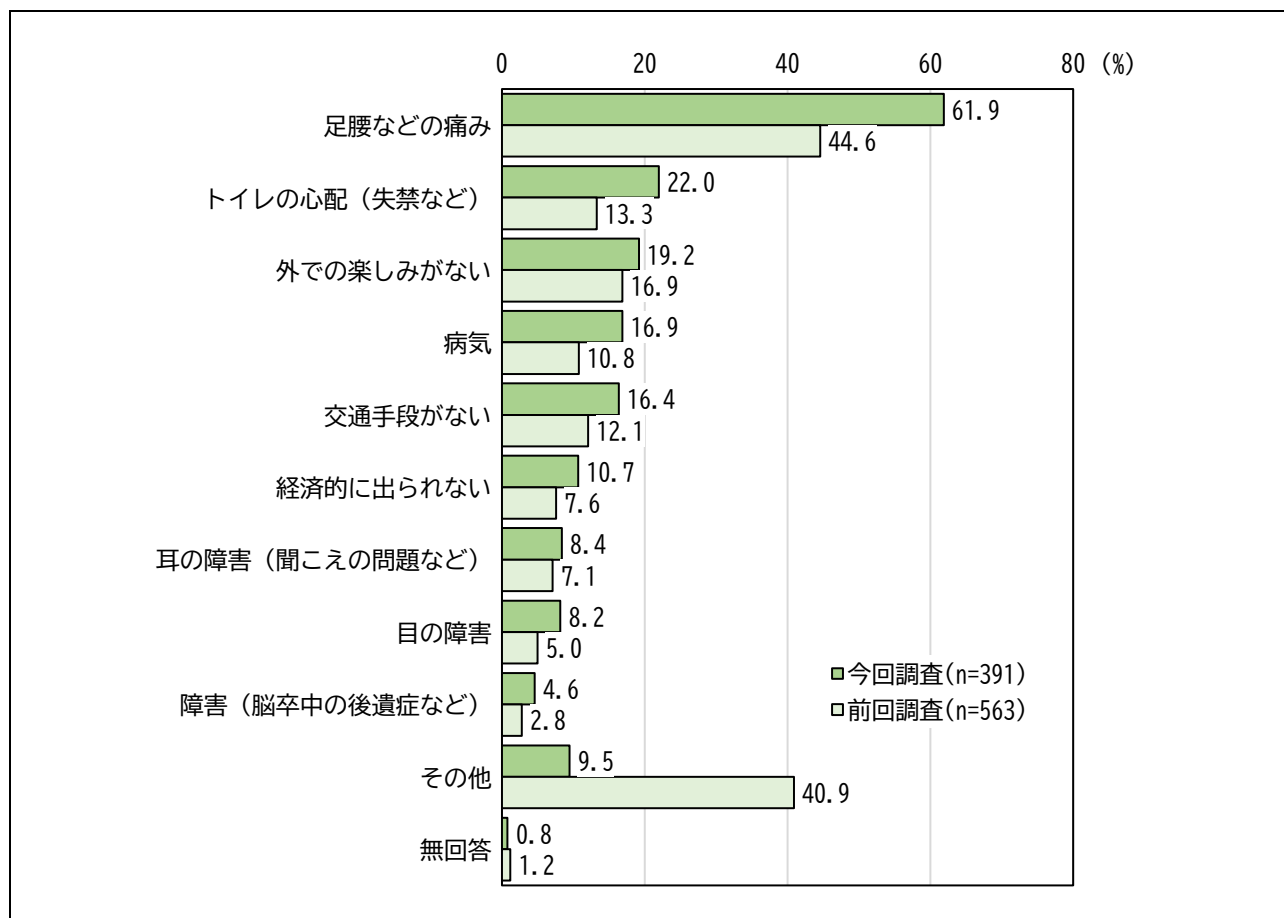


外出を控えているかについて、前回調査に比べて今回調査では「はい」が14.6ポイント減少し、「いいえ」が15.4ポイント増加している。

(7) 外出を控える理由

【(6)で「はい」(外出を控えている)を選んだ方のみ】

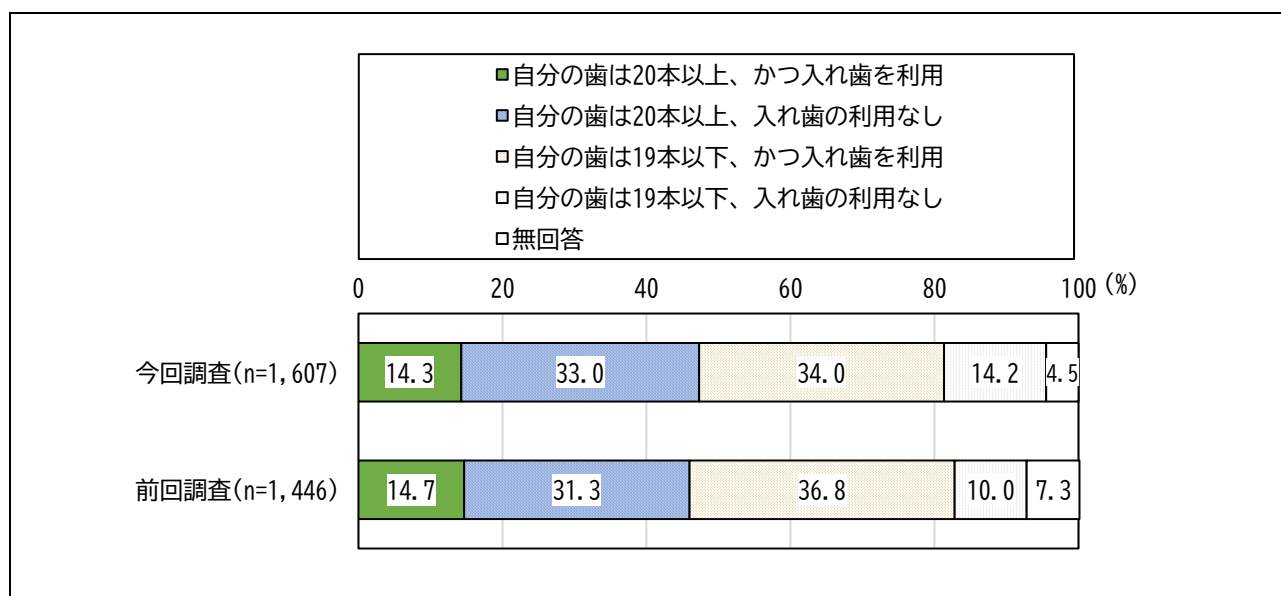
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)



外出を控える理由について、前回調査、今回調査ともに「足腰などの痛み」が最も多くなっており、さらに今回調査では前回調査よりも17.3ポイント増加している。また、「トイレの心配(失禁など)」と「病気」も5ポイント以上増加している。一方、前回調査に比べて今回調査では「その他」が非常に減少しているが、これは前回調査で「新型コロナウイルス感染症」に関する回答が多かったためとなっている。

(8) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○はひとつ）
 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

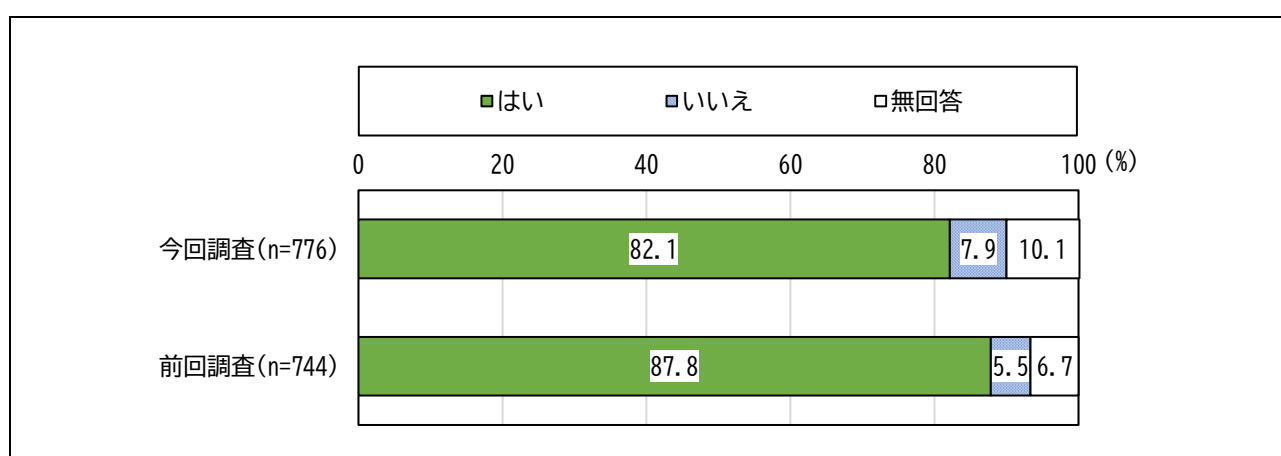


歯の数と入れ歯の利用状況について、前回調査に比べて今回調査では「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が4.2ポイント増加し、『入れ歯の使用なし』では5.9ポイントの増加となっている。

(9) 入れ歯の手入れ

【(8)において「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ方のみ】

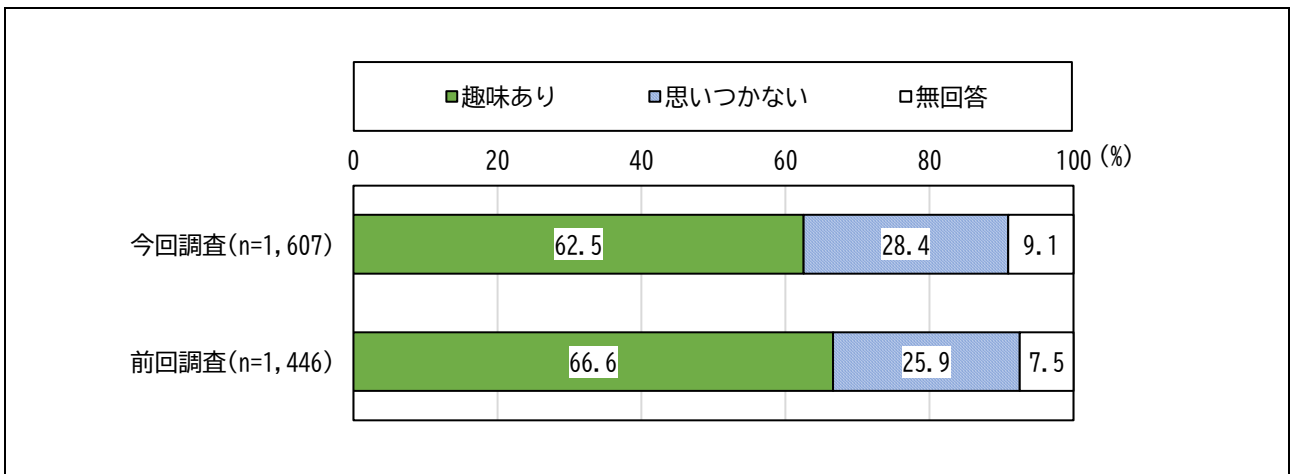
問 毎日入れ歯の手入れをしていますか（○はひとつ）



入れ歯をしている人が毎日入れ歯の手入れをしているかについて、前回調査に比べて今回調査では「はい」が5.7ポイント減少している。

(10) 趣味はあるか

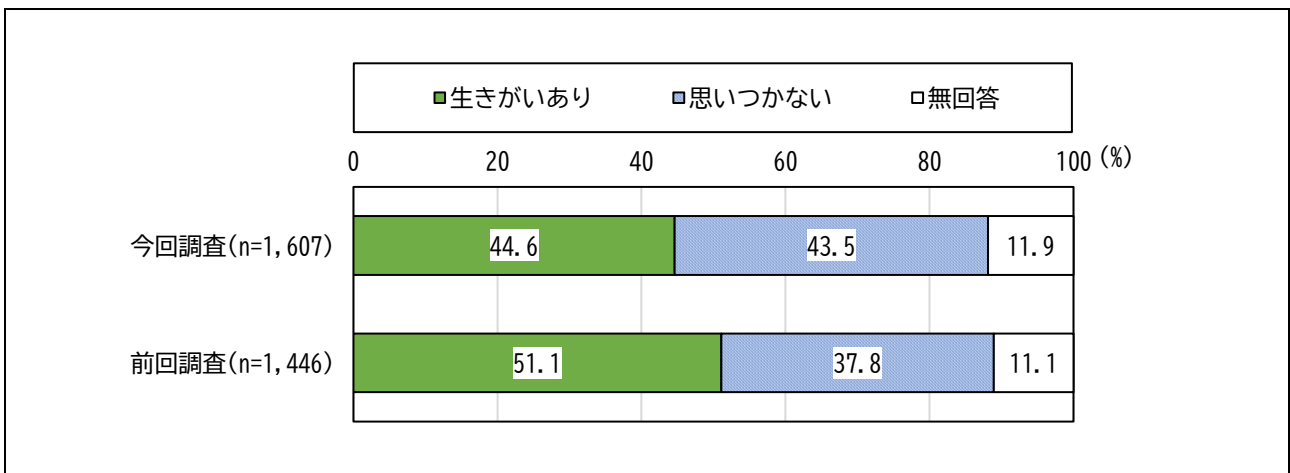
問 趣味はありますか (○はひとつ)



趣味はあるかについて、前回調査に比べて今回調査では「趣味あり」が4.1ポイント減少している。

(11) 生きがいはあるか

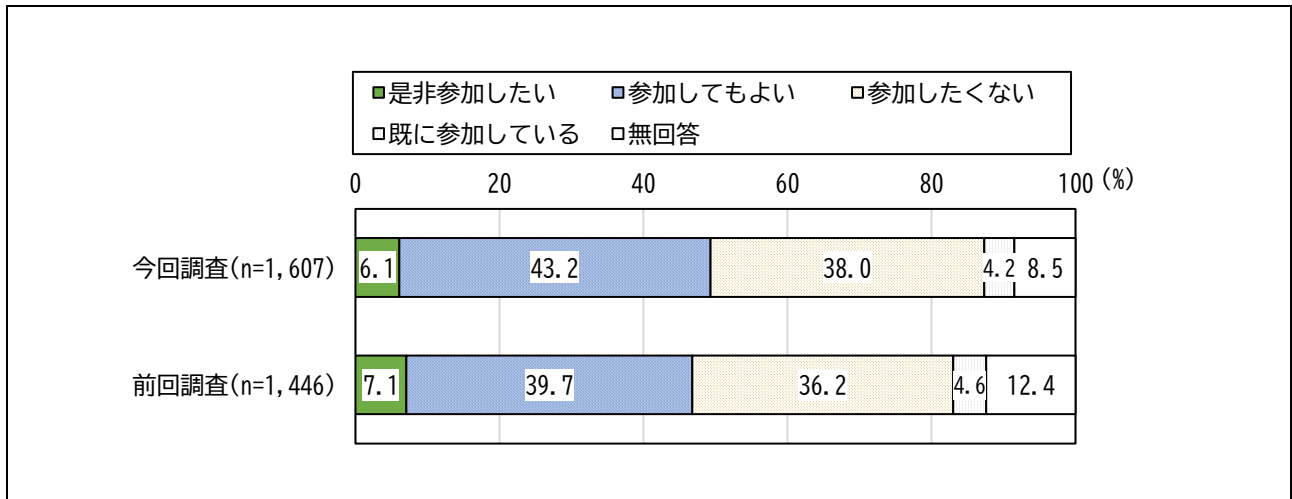
問 生きがいがありますか (○はひとつ)



生きがいはあるかについて、前回調査に比べて今回調査では「生きがいあり」が6.5ポイント減少し、「思いつかない」が5.7ポイント増加している。

(12) 地域活動への参加者としての参加希望

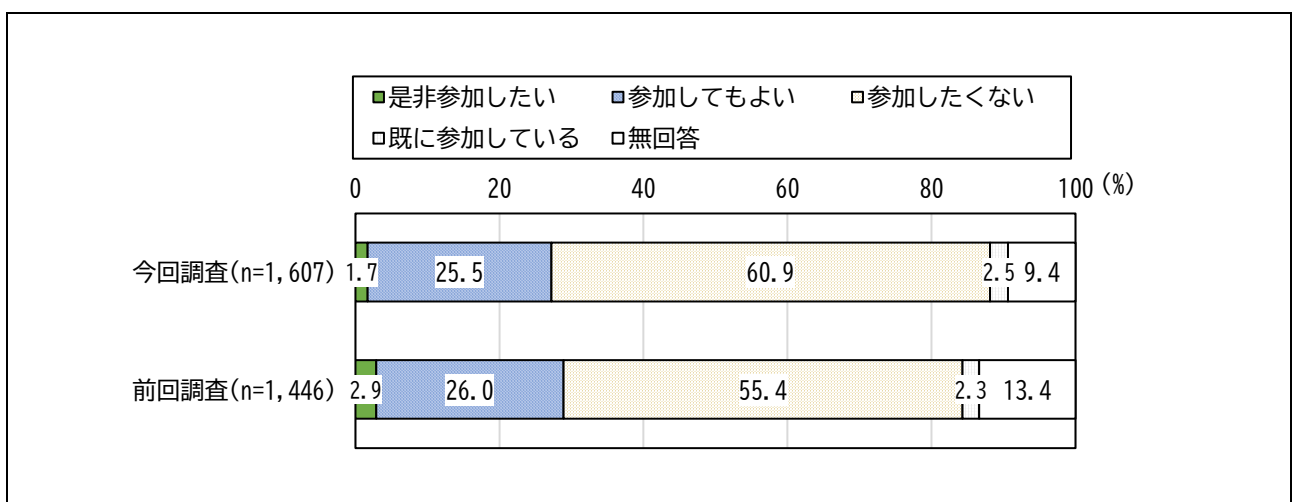
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



地域活動への参加者としての参加希望について、前回調査に比べて今回調査では無回答が減少し、「参加してもよい」が3.5ポイント増加している。

(13) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

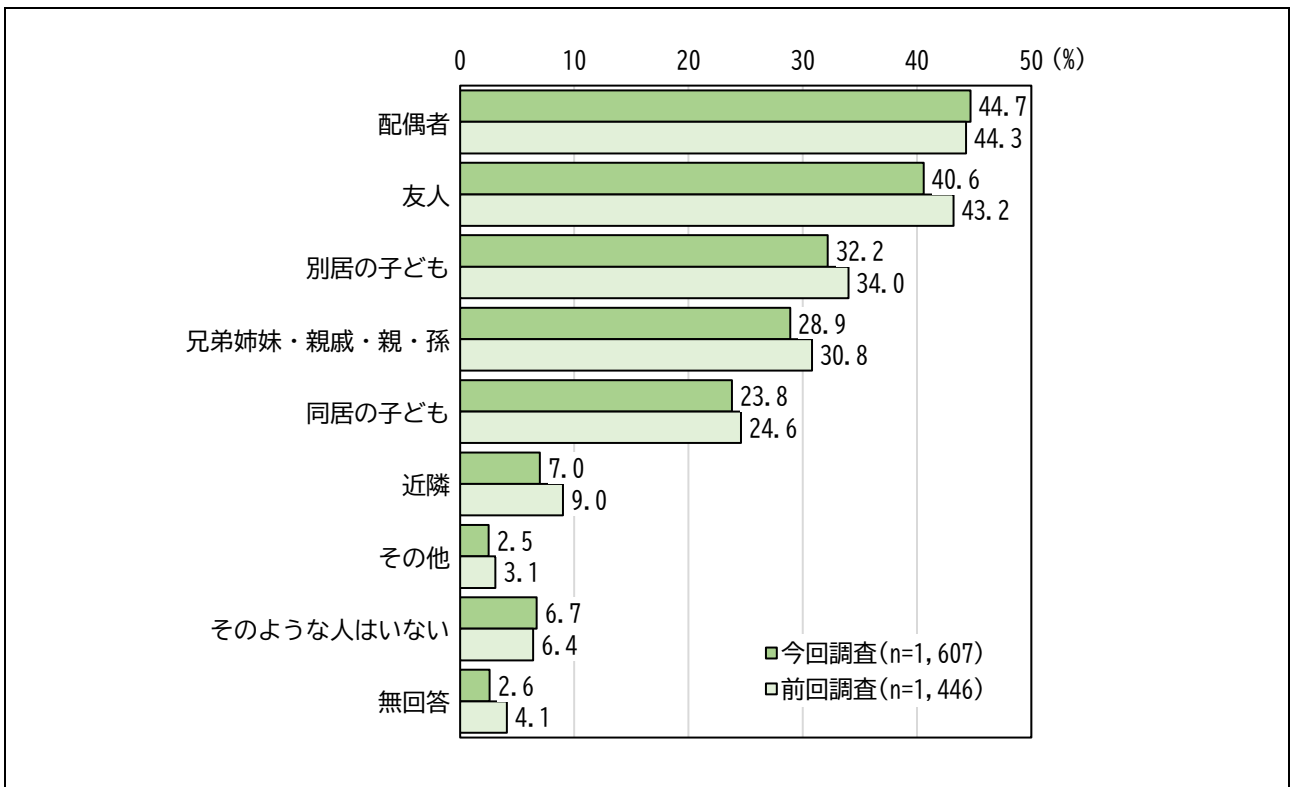
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



地域活動への企画・運営者としての参加希望について、前回調査に比べて今回調査では無回答が減少し、「参加したくない」が5.5ポイント増加している。

(14) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

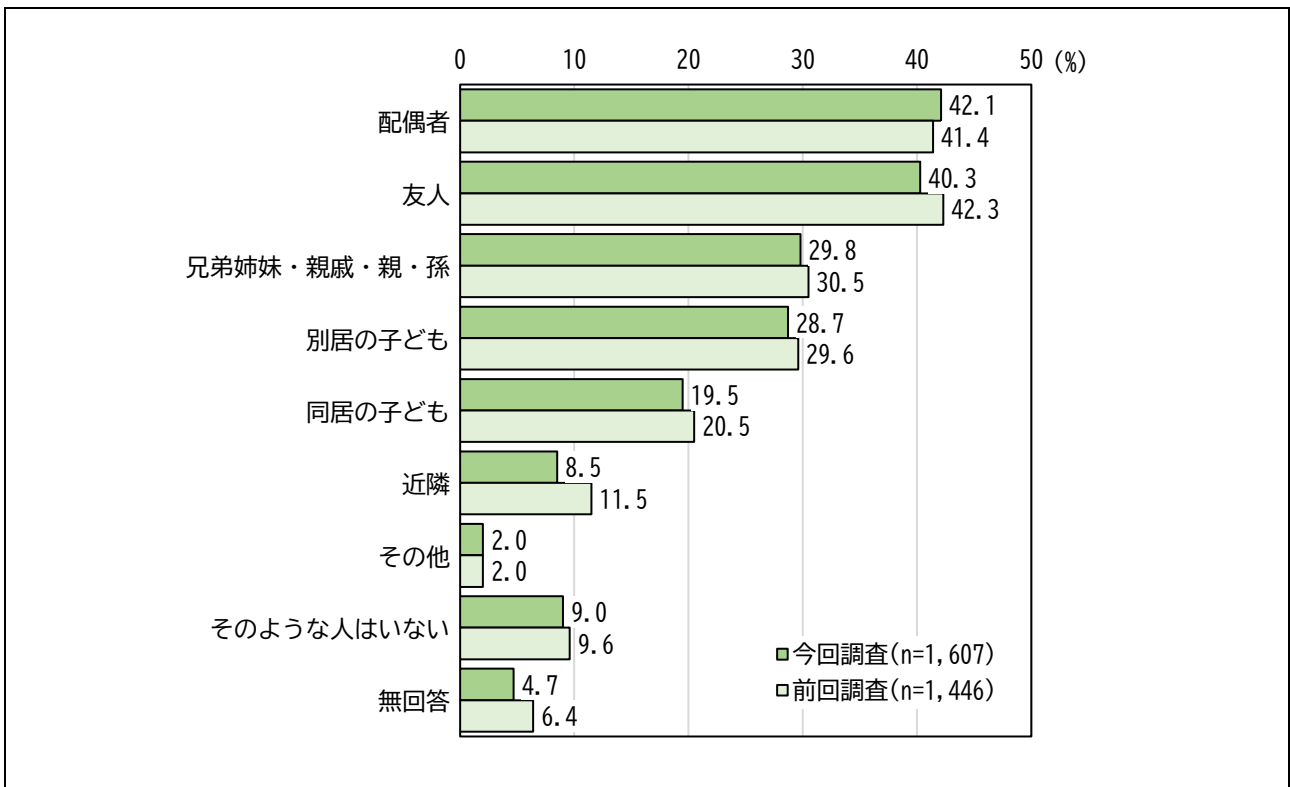
問 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



心配事や愚痴を聞いてくれる人について、前回調査、今回調査ともに「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「配偶者」以外の全ての人が減少している。

(15) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

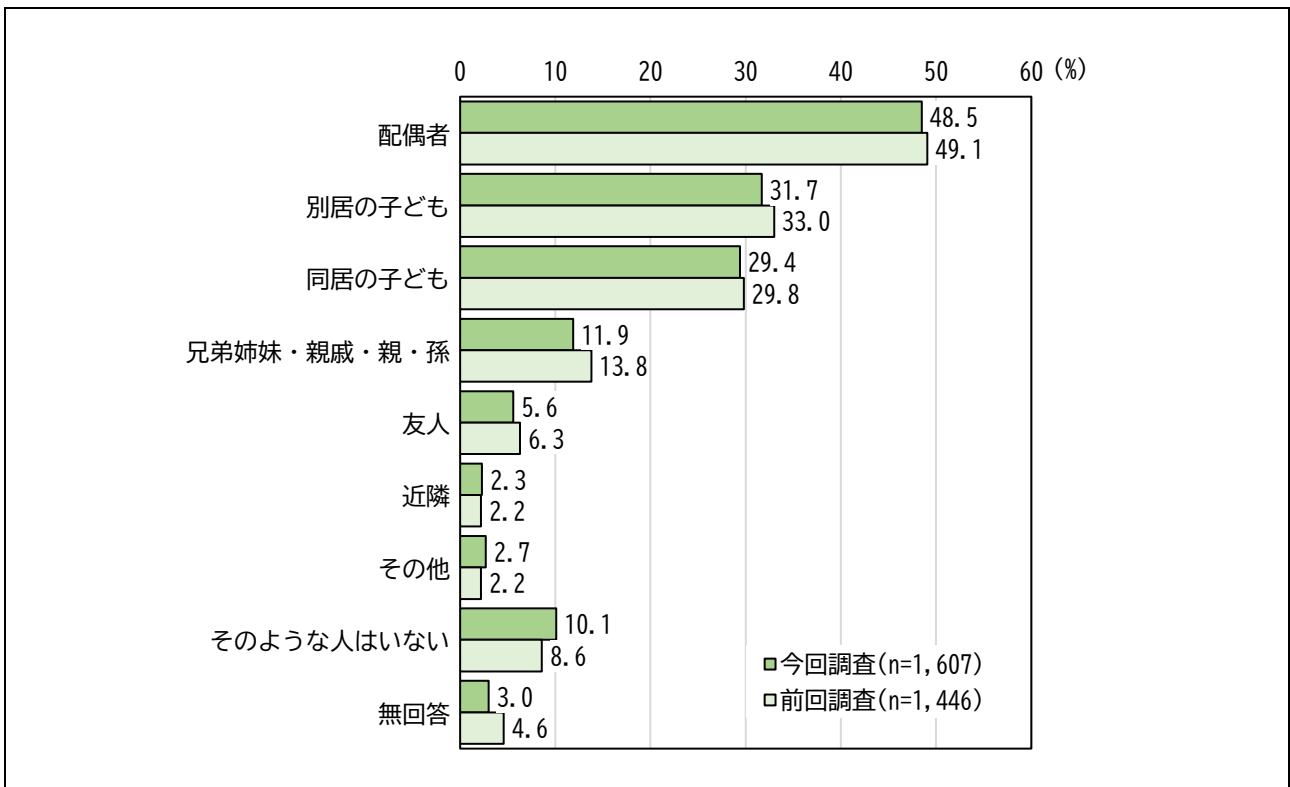
問 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人について、前回調査では「友人」が最も多かったが、今回調査では「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「配偶者」以外の全ての人々が減少している。

(16) 看病や世話をしてくれる人

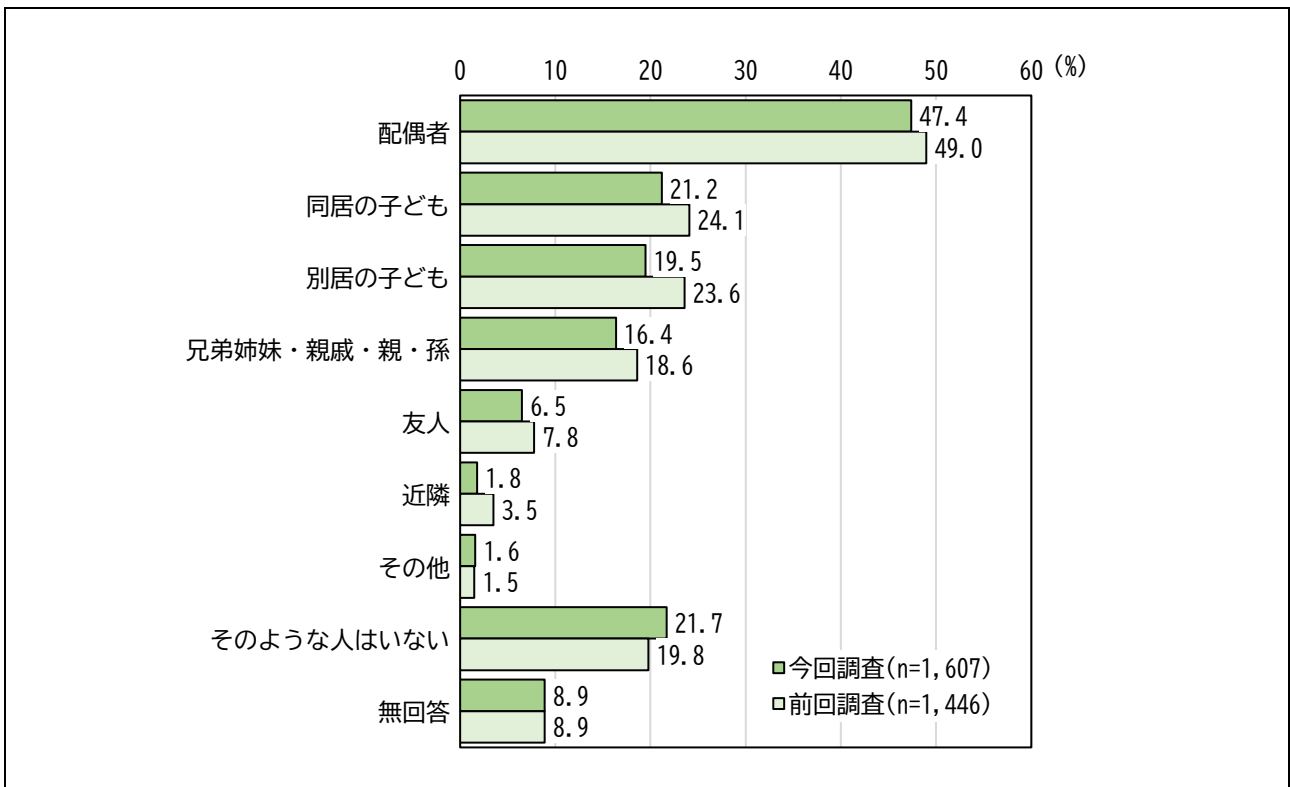
問 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、前回調査、今回調査ともに「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査と今回調査では大きな変化はみられない。

(17) 看病や世話をしあける人

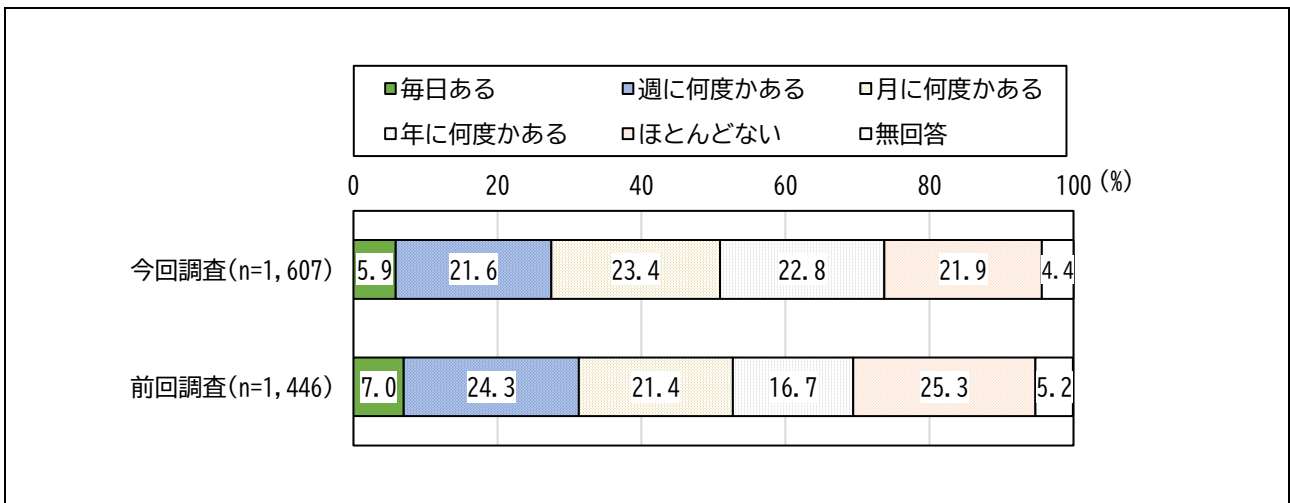
問 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）



反対に、看病や世話をしあける人について、前回調査、今回調査ともに「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では全ての人が減少している。

(18) 友人・知人と会う頻度

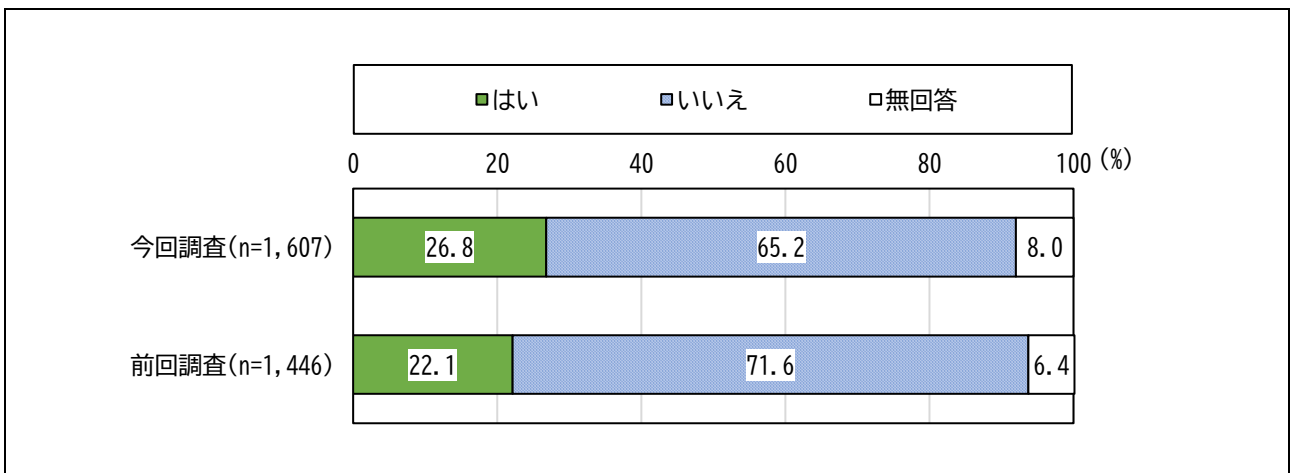
問 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（○はひとつ）



友人・知人と会う頻度について、前回調査に比べて今回調査では「毎日ある」、「週に何度かある」及び「ほとんどない」がやや減少し、「年に何度かある」が6.1ポイント増加している。

(19) 認知症に関する相談窓口の認知度

問 認知症に関する相談窓口を知っていますか



認知症に関する相談窓口の認知度について、前回調査に比べて今回調査では「はい」が4.7ポイント増加している。

(20) 運動器機能の低下

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,547)	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8
	前回調査(n=1,387)	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5
男性	今回調査(n=687)	6.3	13.4	16.1	25.9	40.0
	前回調査(n=601)	6.6	8.6	18.9	32.7	47.6
女性	今回調査(n=857)	5.9	10.3	20.8	41.6	52.4
	前回調査(n=785)	7.6	10.7	25.1	44.3	58.6

運動器機能の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が1.7ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では70～74歳で前回調査を4.8ポイント上回っているが、それ以外のすべての年齢で前回調査を下回っている。女性ではすべての年齢で前回調査を下回っている。

(21) 転倒リスク

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,587)	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1
	前回調査(n=1,406)	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9
男性	今回調査(n=704)	27.7	31.9	37.4	39.3	43.5
	前回調査(n=608)	24.0	23.5	41.2	34.7	51.2
女性	今回調査(n=880)	29.6	33.1	28.4	44.4	45.3
	前回調査(n=797)	18.8	19.6	34.5	44.7	51.6

転倒リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が2.2ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳、70～74歳、80～84歳で前回調査を上回っており、特に70～74歳では8.4ポイント多くなっている。女性では65～69歳と70～74歳で前回調査を10ポイント以上上回っている。

(22) 閉じこもり傾向

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,587)	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2
	前回調査(n=1,403)	21.7	21.7	21.7	21.7	21.7
男性	今回調査(n=705)	9.7	9.7	21.7	27.4	33.3
	前回調査(n=607)	4.9	15.8	25.9	25.5	38.6
女性	今回調査(n=879)	8.1	9.3	13.8	25.1	35.8
	前回調査(n=795)	11.8	14.5	12.8	30.4	42.9

閉じこもり傾向のリスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が2.5ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳と80～84歳で前回調査を上回っており、特に65～69歳では4.8ポイント多くなっている。女性では75～79歳で前回調査を上回っているが、それ以外の年齢では前回調査を下回っている。




























































(23) 低栄養

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,425)	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
	前回調査(n=1,321)	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
男性	今回調査(n=644)	0.6	2.3	1.3	2.9	2.5
	前回調査(n=579)	0.0	0.6	2.4	3.2	6.8
女性	今回調査(n=778)	1.6	1.5	2.3	2.2	2.4
	前回調査(n=741)	5.2	3.6	3.6	1.9	5.9

低栄養のリスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が1.2ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳と70～74歳、女性では80～84歳で前回調査を上回っている。





























































(24) 口腔機能の低下

		(%)									
		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
全体平均	今回調査(n=1,572)	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9	 31.9
	前回調査(n=1,416)	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0	 30.0
男性	今回調査(n=703)	 23.7	 31.3	 29.8	 34.7	 34.7	 34.7	 34.7	 34.7	 34.7	 34.7
	前回調査(n=610)	 22.8	 23.5	 34.8	 32.7	 32.7	 32.7	 32.7	 32.7	 32.7	 32.7
女性	今回調査(n=866)	 25.6	 21.2	 27.3	 42.5	 42.5	 42.5	 42.5	 42.5	 42.5	 42.5
	前回調査(n=805)	 18.9	 23.7	 24.6	 37.2	 37.2	 37.2	 37.2	 37.2	 37.2	 37.2

口腔機能の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が1.9ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳、70～74歳、80～84歳で前回調査を上回っており、特に70～74歳では7.8ポイント多くなっている。女性では70～74歳以外の年齢で前回調査を上回っており、特に65～69歳と80～84歳で5ポイント以上多くなっている。

(25) 認知機能の低下

		(%)									
		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
全体平均	今回調査(n=1,537)	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8	 43.8
	前回調査(n=1,402)	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2	 44.2
男性	今回調査(n=688)	 31.8	 36.2	 39.3	 47.8	 47.8	 47.8	 47.8	 47.8	 47.8	 47.8
	前回調査(n=609)	 25.4	 39.4	 40.0	 51.0	 51.0	 51.0	 51.0	 51.0	 51.0	 51.0
女性	今回調査(n=846)	 35.6	 33.8	 40.3	 53.7	 53.7	 53.7	 53.7	 53.7	 53.7	 53.7
	前回調査(n=792)	 33.1	 39.9	 45.1	 47.6	 47.6	 47.6	 47.6	 47.6	 47.6	 47.6

認知機能の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が0.4ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳で前回調査を6.4ポイント上回っている。女性では65～69歳、80～84歳、85歳以上で前回調査を上回っており、特に80～84歳で6.1ポイント多くなっている。

(26) IADL（手段的自立度）の低下

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,528)	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
	前回調査(n=1,360)	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
男性	今回調査(n=686)	2.8	1.5	7.7	17.7	24.4
	前回調査(n=585)	1.7	4.3	9.9	14.6	25.3
女性	今回調査(n=839)	2.3	0.7	2.2	7.0	14.6
	前回調査(n=774)	1.7	3.4	2.3	6.3	27.1

IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が1.3ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに65～69歳及び80～84歳で前回調査を上回っている。

(27) うつ傾向

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,508)	46.6	46.6	46.6	46.6	46.6
	前回調査(n=1,352)	48.7	48.7	48.7	48.7	48.7
男性	今回調査(n=671)	37.6	40.1	37.8	54.8	54.1
	前回調査(n=584)	43.0	39.8	52.3	44.7	50.7
女性	今回調査(n=834)	45.9	42.5	48.6	55.9	51.2
	前回調査(n=767)	46.2	49.7	50.0	56.3	52.7

うつ傾向のリスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が2.1ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では70～74歳、80～84歳、85歳以上で前回調査を上回っており、特に80～84歳では10.1ポイント多くなっている。女性ではすべての年齢で前回調査を下回っている。

(28) 知的能動性の低下

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,535)	29.7	29.7	29.7	29.7	29.7
	前回調査(n=1,377)	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9
男性	今回調査(n=687)	32.8	38.4	31.2	32.1	37.8
	前回調査(n=597)	27.5	28.7	21.6	30.0	39.2
女性	今回調査(n=845)	27.8	25.2	19.4	25.9	32.1
	前回調査(n=779)	21.8	25.3	12.2	18.3	34.7

知的能動性の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が4.8ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では85歳以上を除く年齢で前回調査を上回っており、特に70～74歳と75～79歳では10ポイント近く、65～69歳でも5.3ポイント多くなっている。女性では65～69歳、75～79歳、80～84歳で前回調査を5ポイント以上上回っている。

(29) 社会的役割の低下

		(%)				
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,495)	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
	前回調査(n=1,297)	45.3	45.3	45.3	45.3	45.3
男性	今回調査(n=673)	41.4	44.5	46.2	53.2	54.9
	前回調査(n=573)	40.5	50.9	51.6	54.9	66.2
女性	今回調査(n=819)	25.8	23.9	35.4	43.5	54.8
	前回調査(n=723)	28.9	32.9	31.2	45.8	62.4

社会的役割の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が3.3ポイント減少している。

性別・年齢別に該当割合をみると、男性では65～69歳、女性では75～79歳で前回調査を上回っている。

アンケート調査結果から算出した各種リスク者割合について、今回調査では転倒リスクにおける男性70～74歳及び女性65～74歳、うつ傾向における男性80～84歳、知的能動性の低下における男性70～79歳で前回調査に比べて10ポイント前後の増加がみられ、これらの層に向けた介護予防、健康づくりの取り組みを強化することが必要であると考えられる。

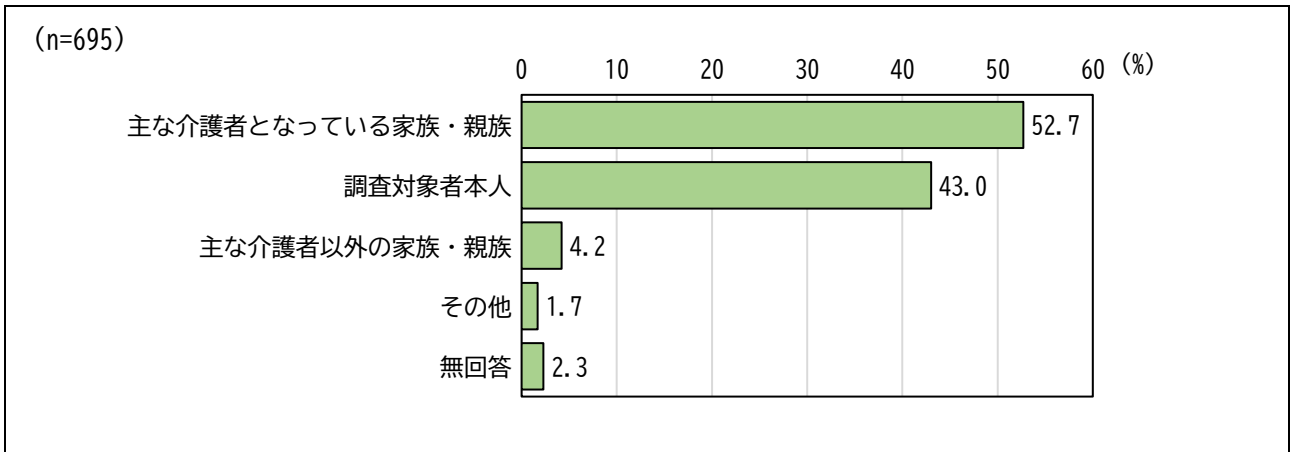
Ⅲ 調査結果

【在宅介護実態調査】

1 調査対象者ご本人について

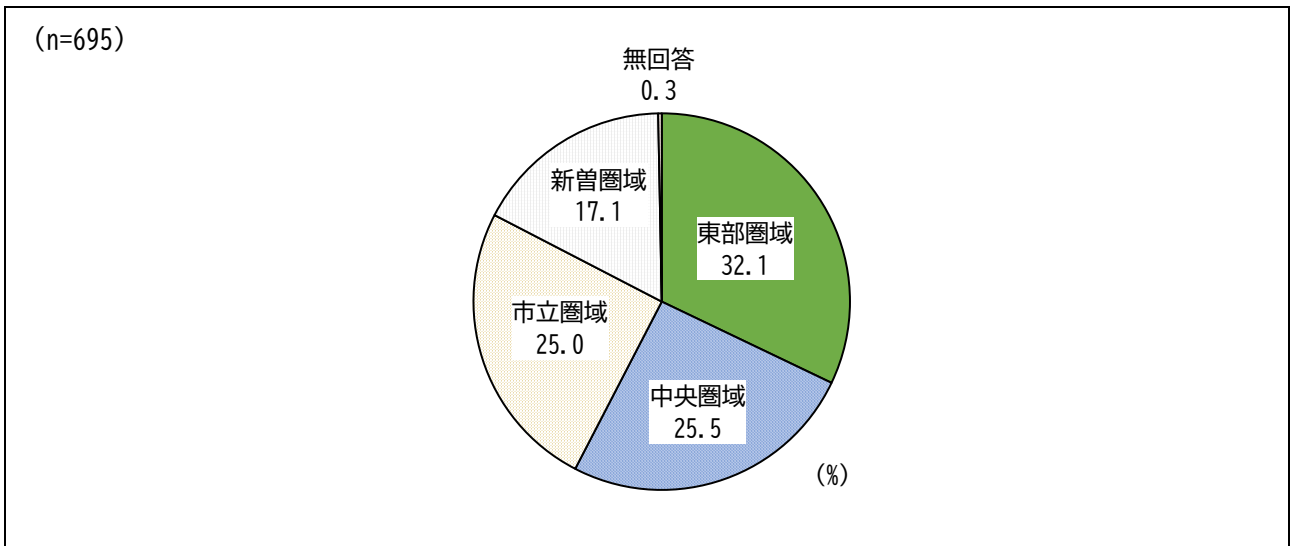
(1) 調査票記入者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）



調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が52.7%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が43.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.2%などとなっている。

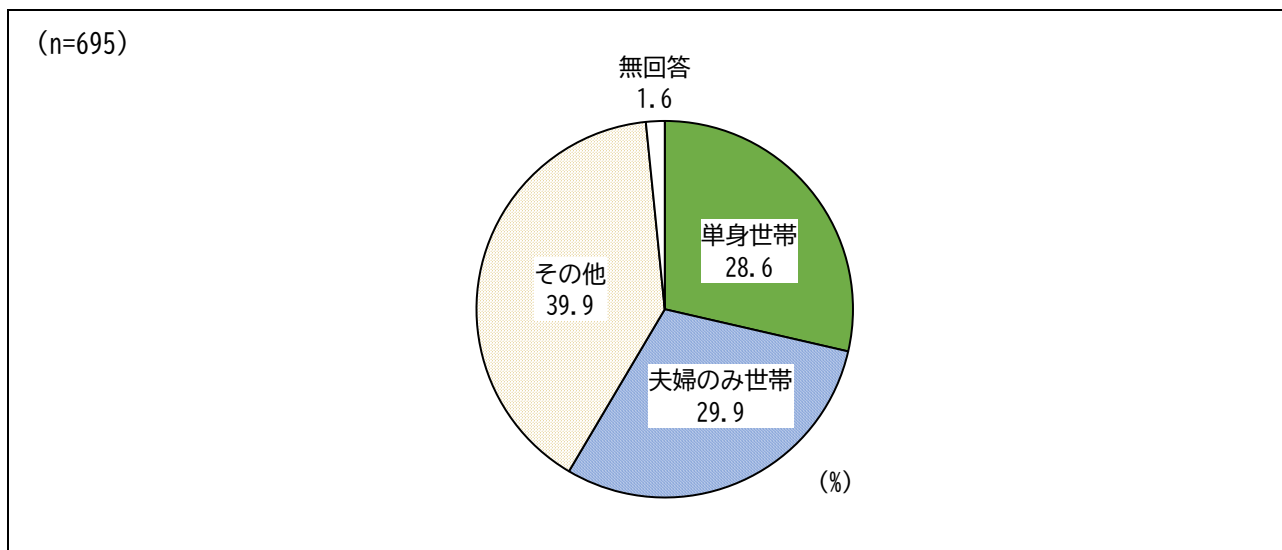
(2) 居住地区



居住地区は、「東部圏域」が32.1%、「中央圏域」が25.5%、「市立圏域」が25.0%、「新曽圏域」が17.1%となっている。

(3) 世帯類型

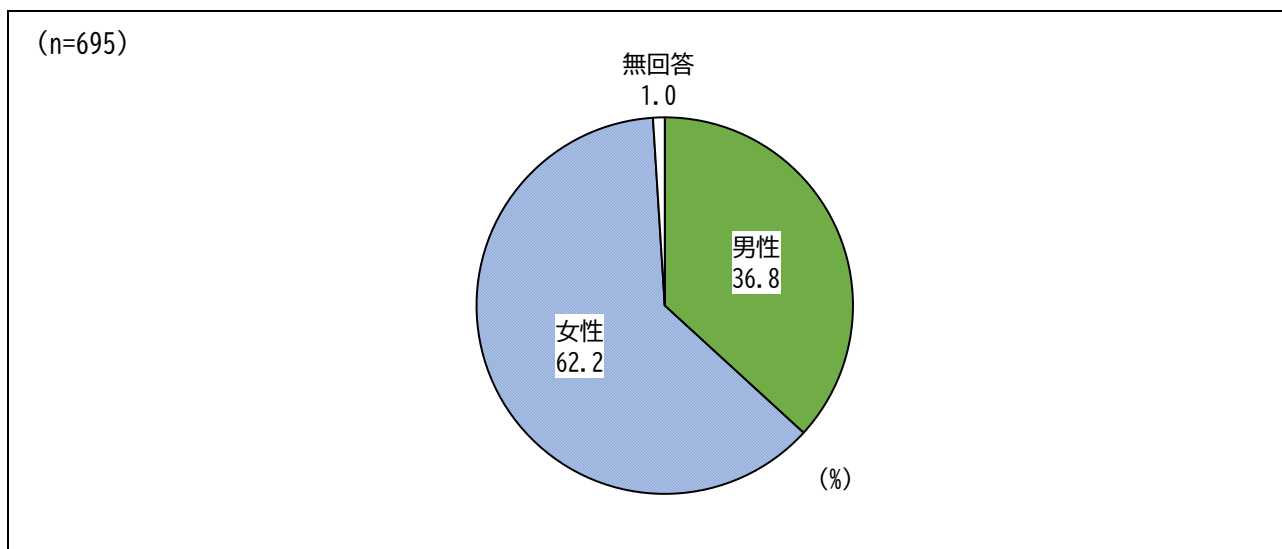
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



世帯類型は、「単身世帯」が28.6%、「夫婦のみ世帯」が29.9%、「その他」が39.9%となっている。

(4) 性別

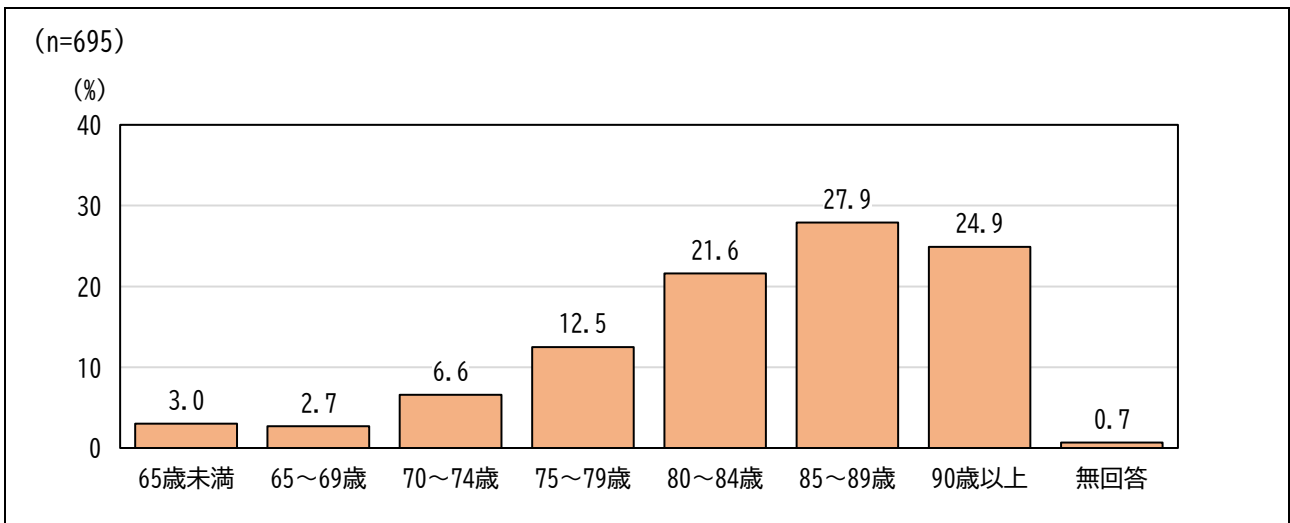
問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）



性別は、「男性」が36.8%、「女性」が62.2%となっている。

(5) 年齢

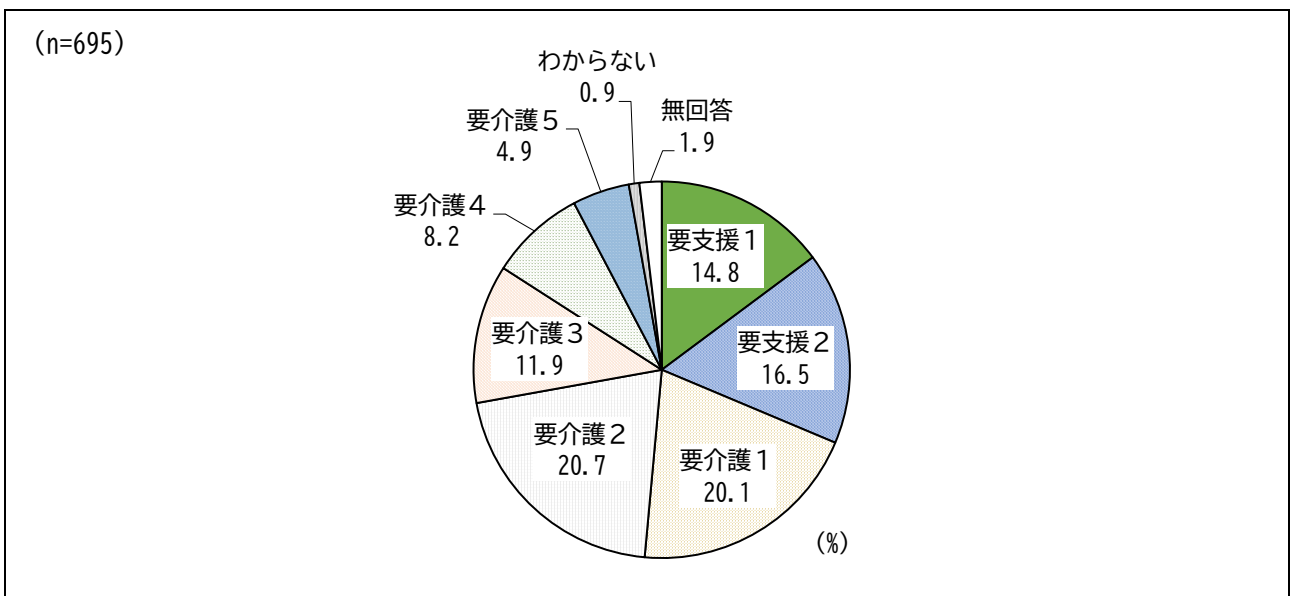
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



年齢は、「85～89歳」が27.9%で最も多く、次いで「90歳以上」が24.9%、「80～84歳」が21.6%、「75～79歳」が12.5%、「70～74歳」が6.6%などとなっている。

(6) 要介護認定状況

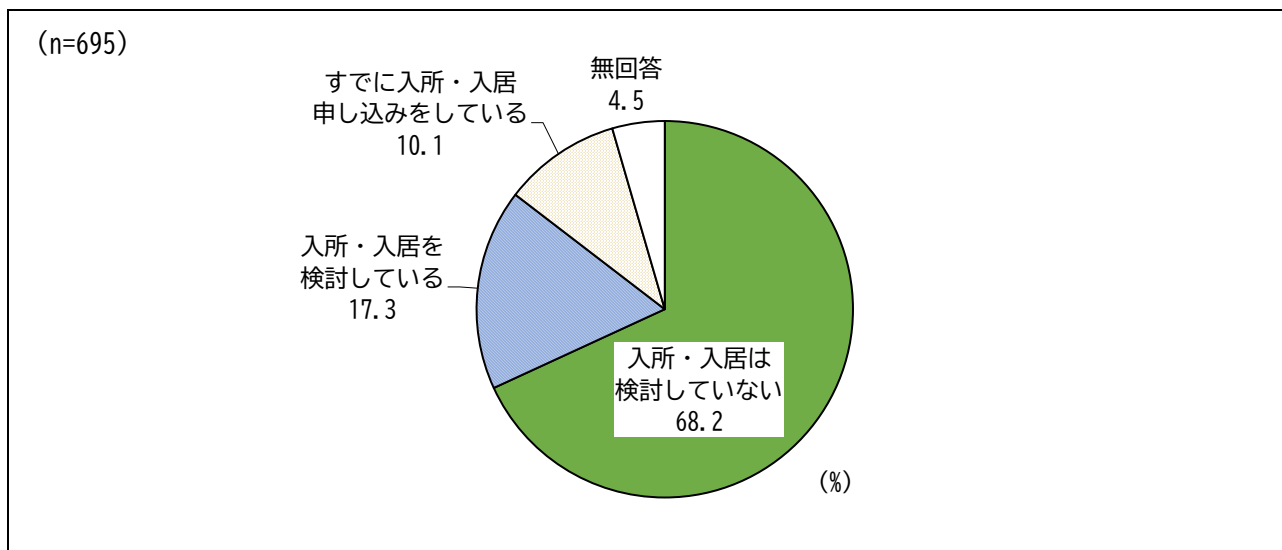
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）



要介護認定状況は、「要介護2」が20.7%で最も多く、次いで「要介護1」が20.1%、「要支援2」が16.5%、「要支援1」が14.8%、「要介護3」が11.9%などとなっている。

(7) 施設等への入所・入居検討状況

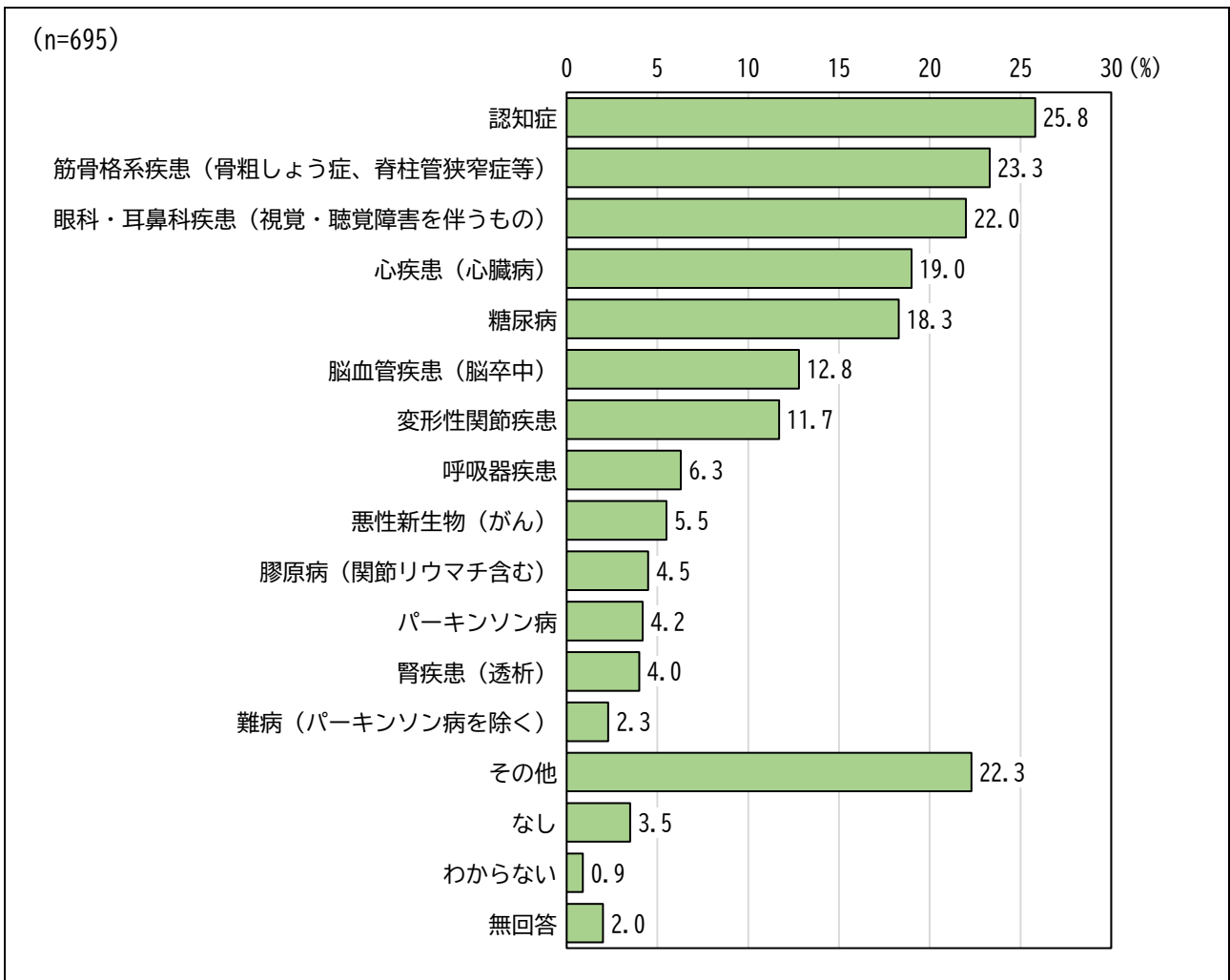
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）



施設等への入所・入居検討状況は、「入所・入居は検討していない」が68.2%、「入所・入居を検討している」が17.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.1%となっている。

(8) 現在抱えている傷病

問7 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）



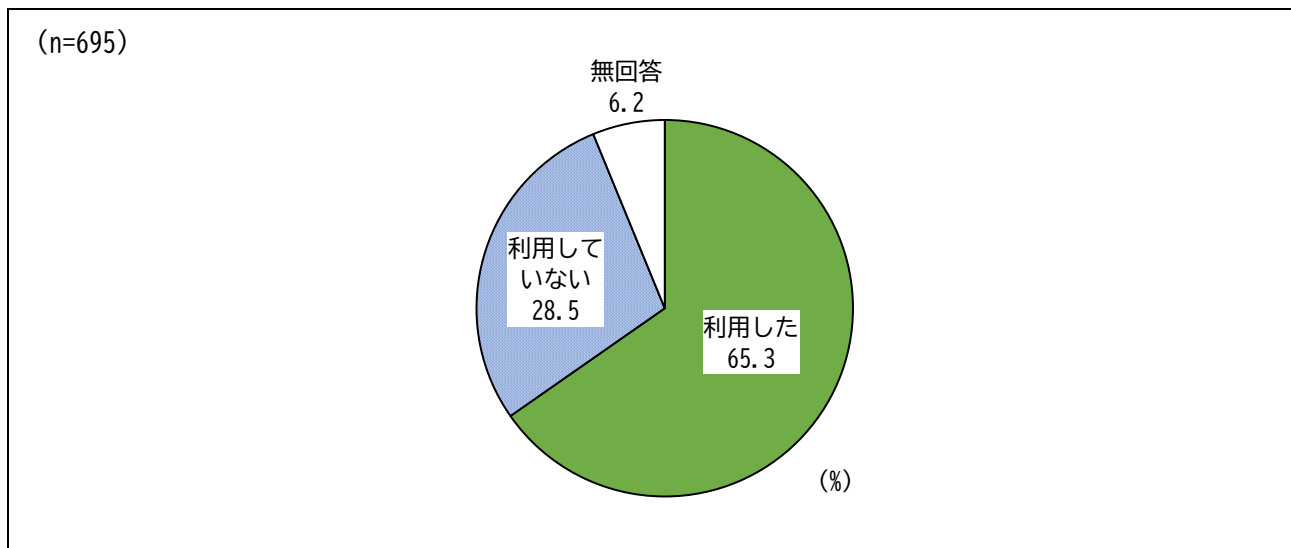
現在抱えている傷病は、「認知症」が25.8%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.0%、「心疾患（心臓病）」が19.0%、「糖尿病」が18.3%などとなっている。

また、「その他」が22.3%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(9) 介護保険サービスの利用の有無

問8 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

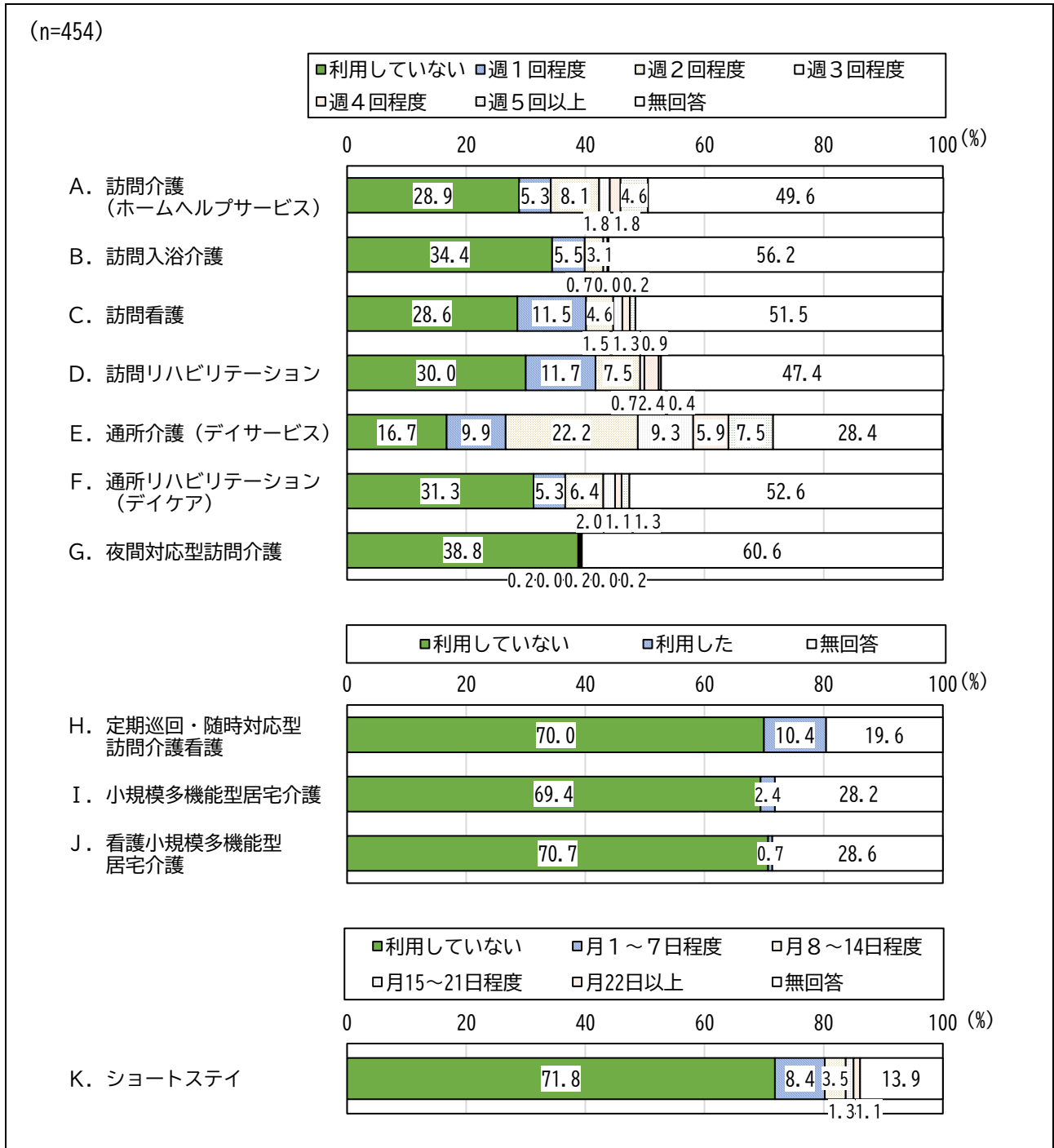


介護保険サービスの利用の有無は、「利用した」が65.3%、「利用していない」が28.5%となっている。

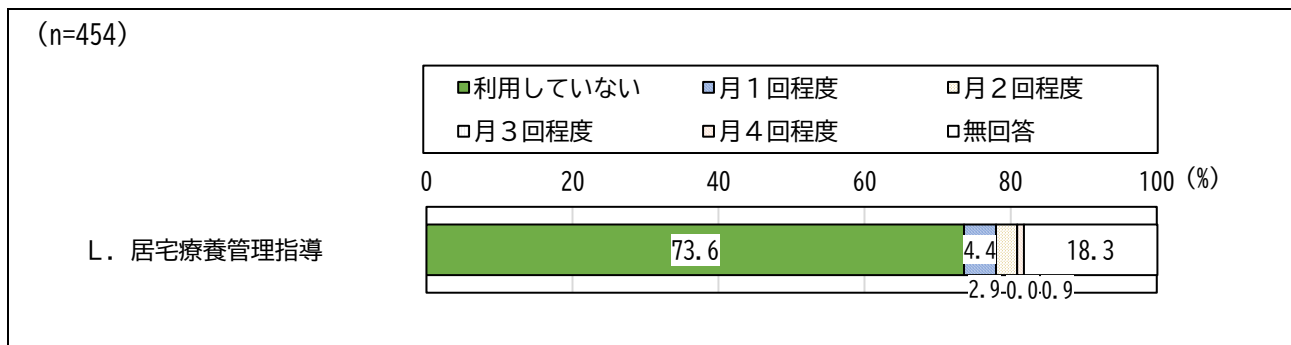
(10) 介護保険サービスの利用状況

問9 問8で「利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回（利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。



Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

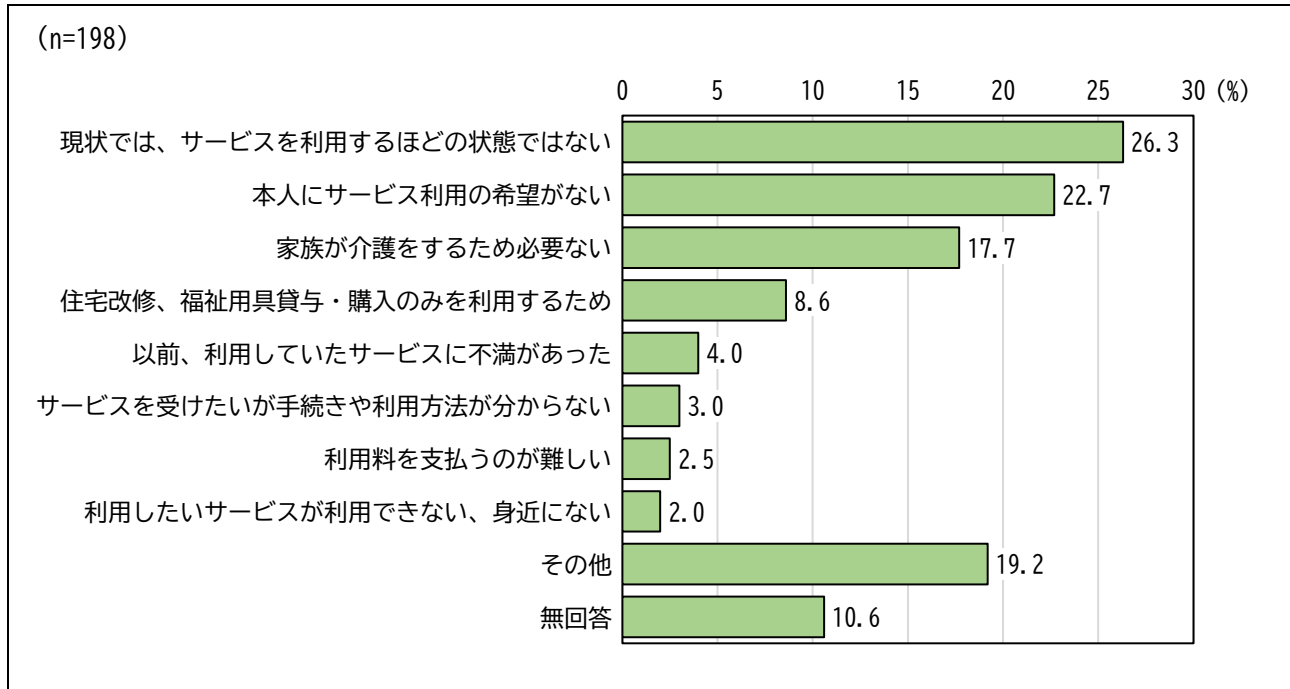


介護保険サービスの利用状況について、利用した割合は「E. 通所介護（デイサービス）」が54.8%で最も多く、次いで「D. 訪問リハビリテーション」が22.7%、「A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）」が21.6%、「C. 訪問看護」が19.8%などとなっている。

(11) 介護保険サービス未利用の理由

問10 問8で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

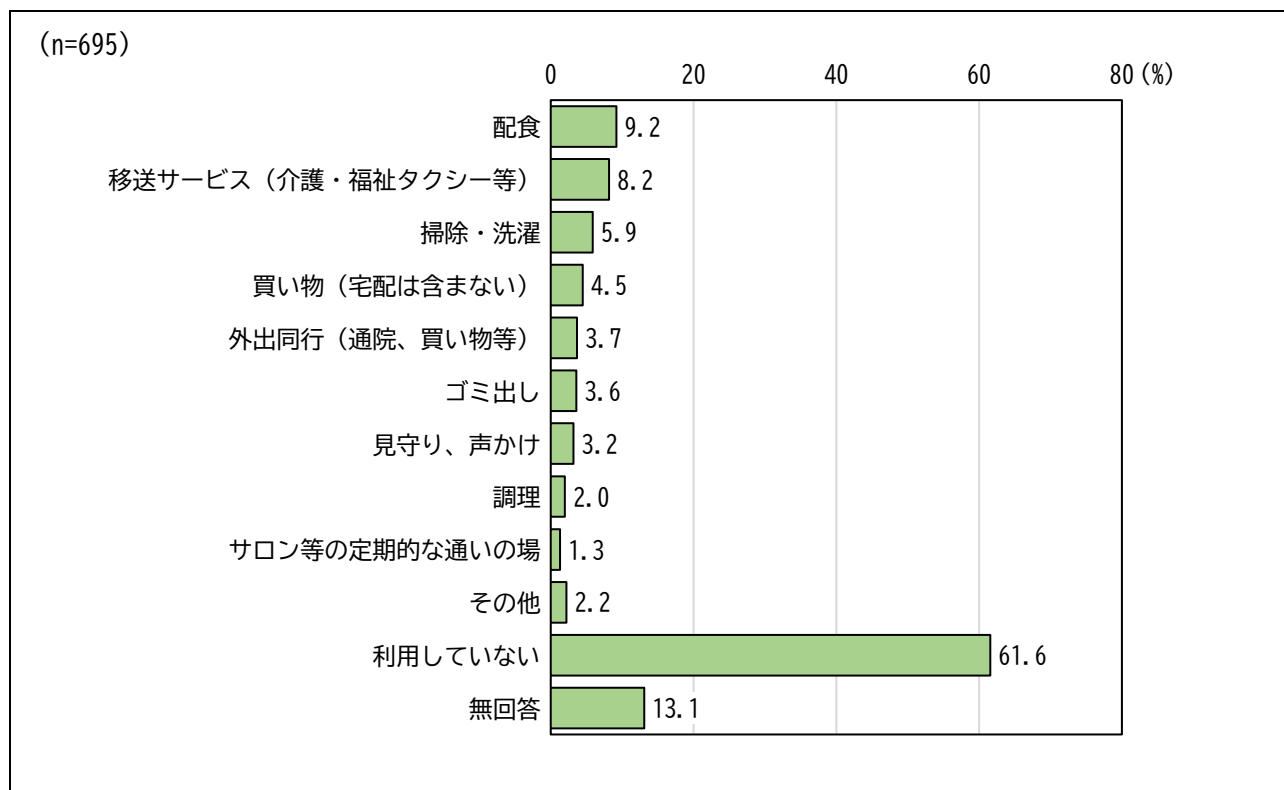


介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が26.3%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.7%、「家族が介護をするため必要ない」が17.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が8.6%などとなっている。

また、「その他」が19.2%となっている。

(12) 「介護保険サービス以外」のサービス利用

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

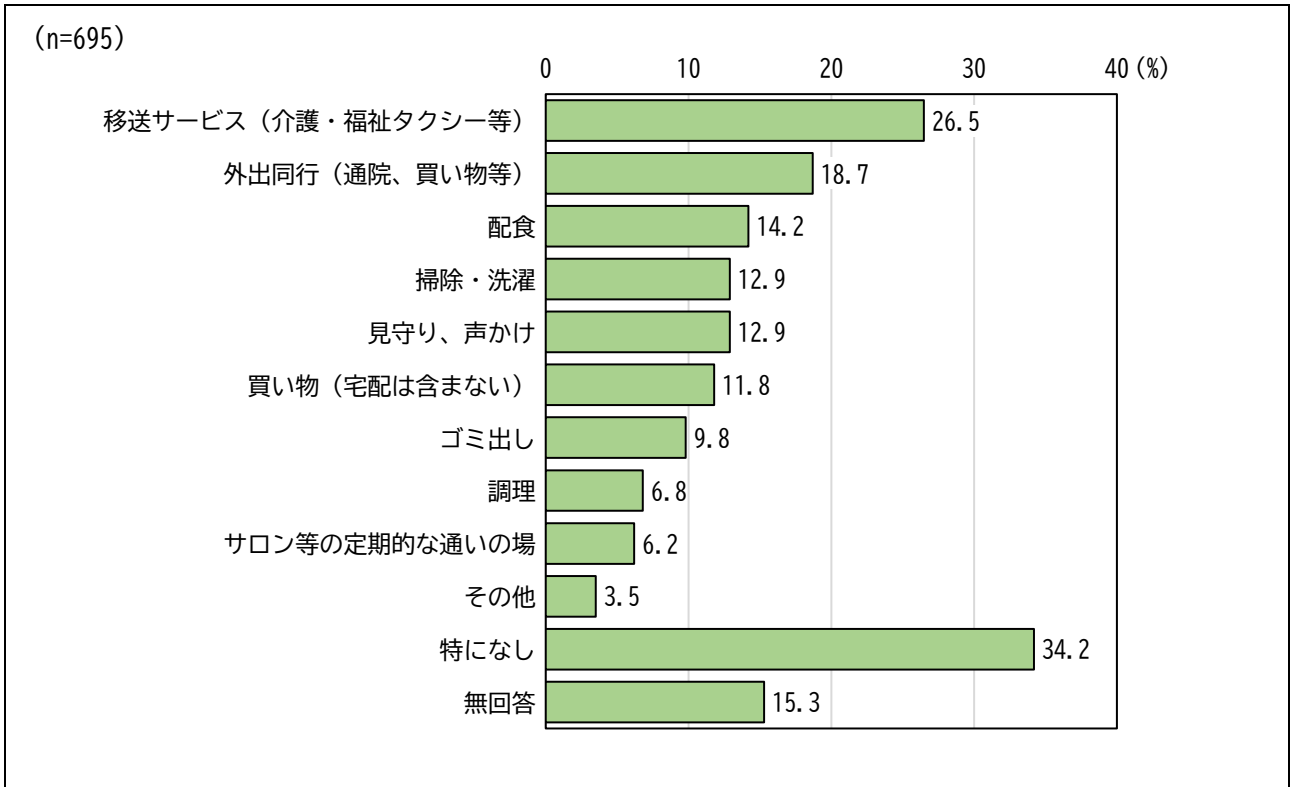


「介護保険サービス以外」のサービス利用は、「配食」が9.2%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.2%、「掃除・洗濯」が5.9%、「買い物（宅配は含まない）」が4.5%、「外出同行（通院、買い物等）」が3.7%などとなっている。

また、「利用していない」が61.6%となっている。

(13) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問12 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



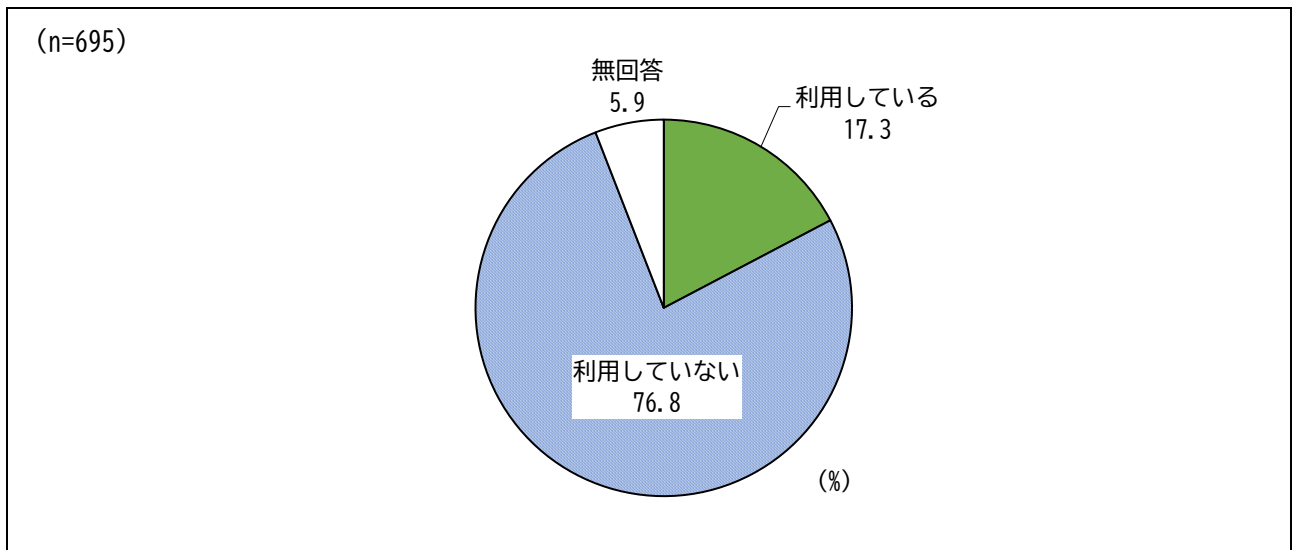
在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.5%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が18.7%、「配食」が14.2%、「掃除・洗濯」と「見守り、声かけ」がそれぞれ12.9%などとなっている。

また、「特になし」が34.2%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(14) 訪問診療の利用の有無

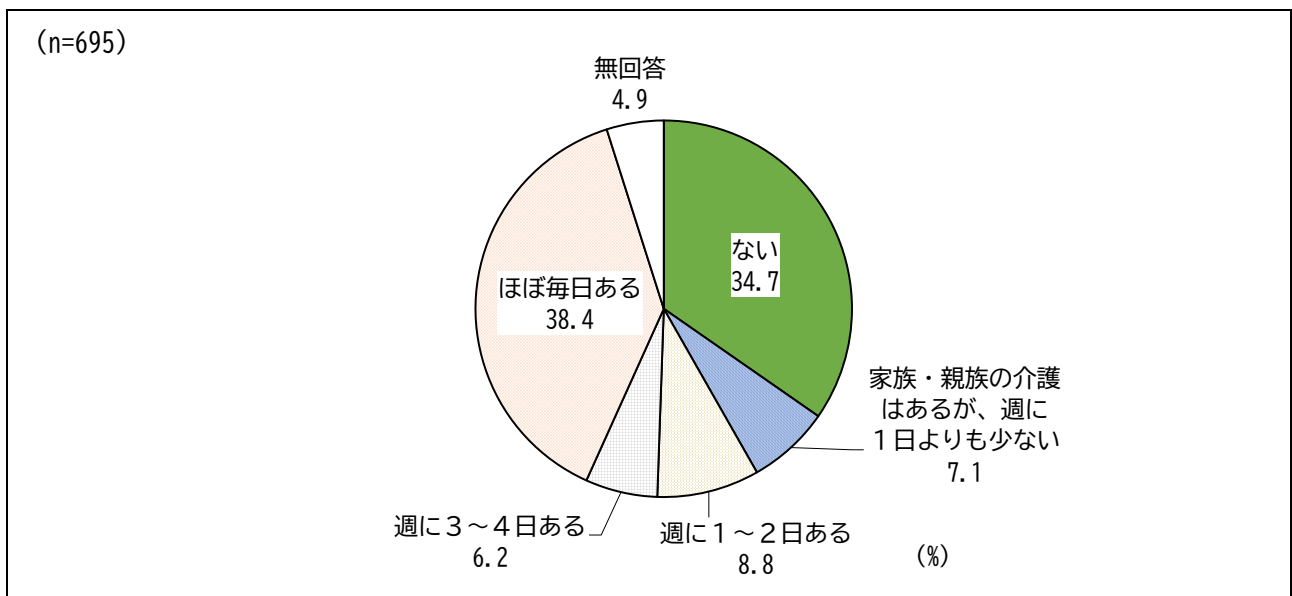
問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



訪問診療の利用の有無は、「利用している」が17.3%、「利用していない」が76.8%となっている。

(15) 家族・親族からの介護の頻度

問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

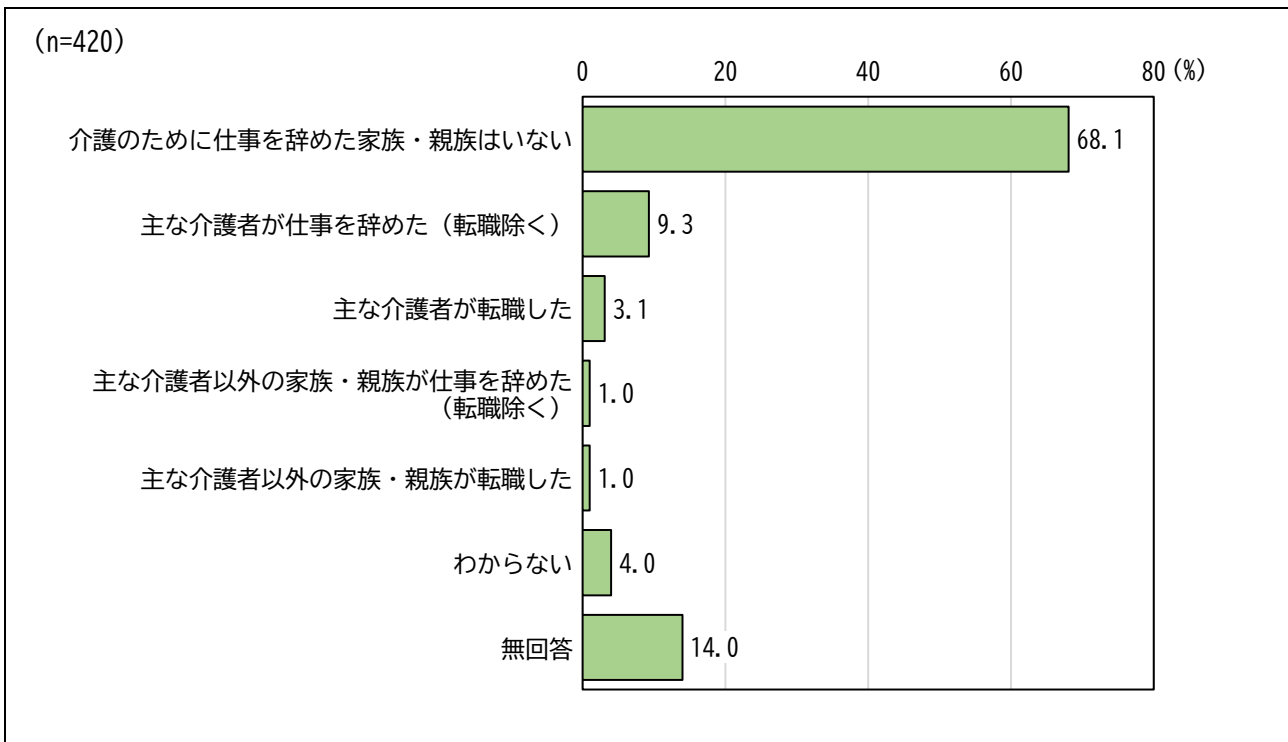


家族・親族からの介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が38.4%で最も多く、次いで「週に1～2日ある」が8.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が7.1%、「週に3～4日ある」が6.2%となっている。また、「ない」が34.7%となっている。

2 主な介護者の方について

(1) 介護を理由とした離職の有無

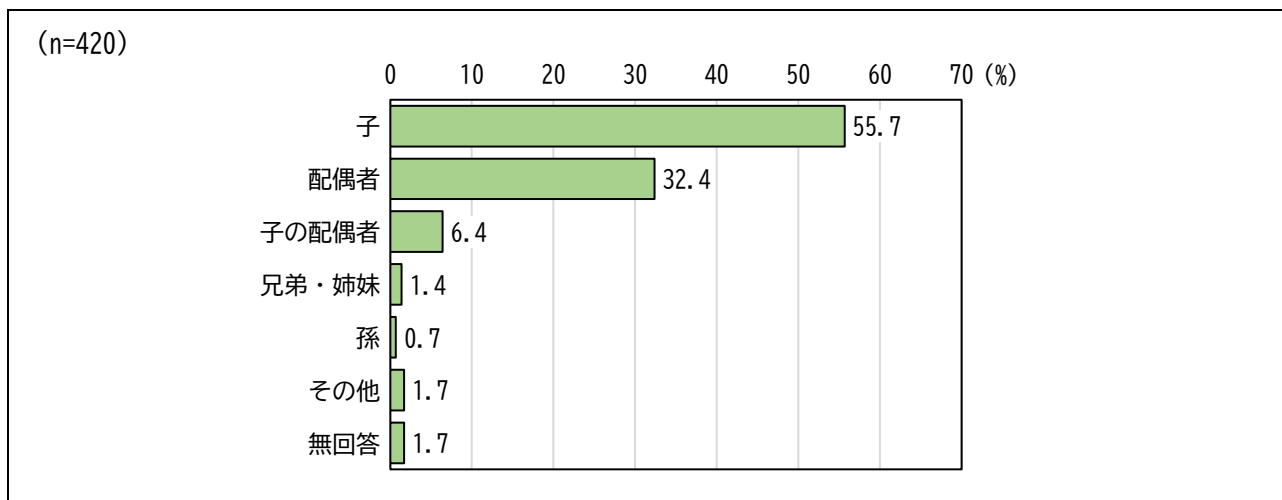
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



介護を理由とした離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が68.1%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が9.3%、「主な介護者が転職した」が3.1%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」と「主な介護者以外の家族・親族が転職した」がそれぞれ1.0%などとなっている。

(2) 主な介護者

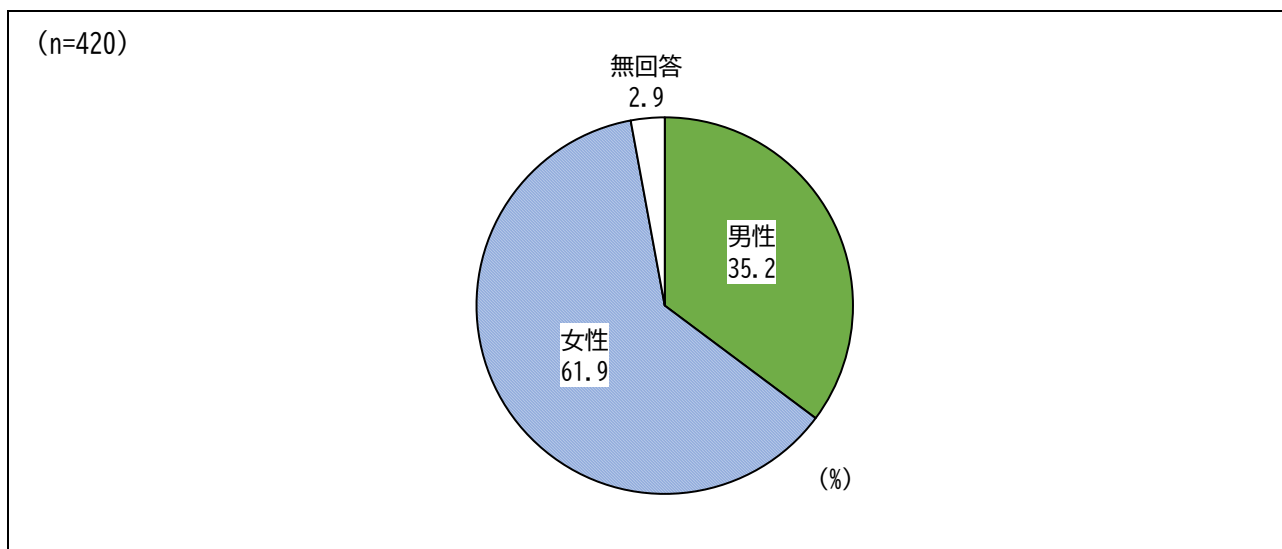
問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



主な介護者は、「子」が55.7%で最も多く、次いで「配偶者」が32.4%、「子の配偶者」が6.4%などとなっている。

(3) 主な介護者の性別

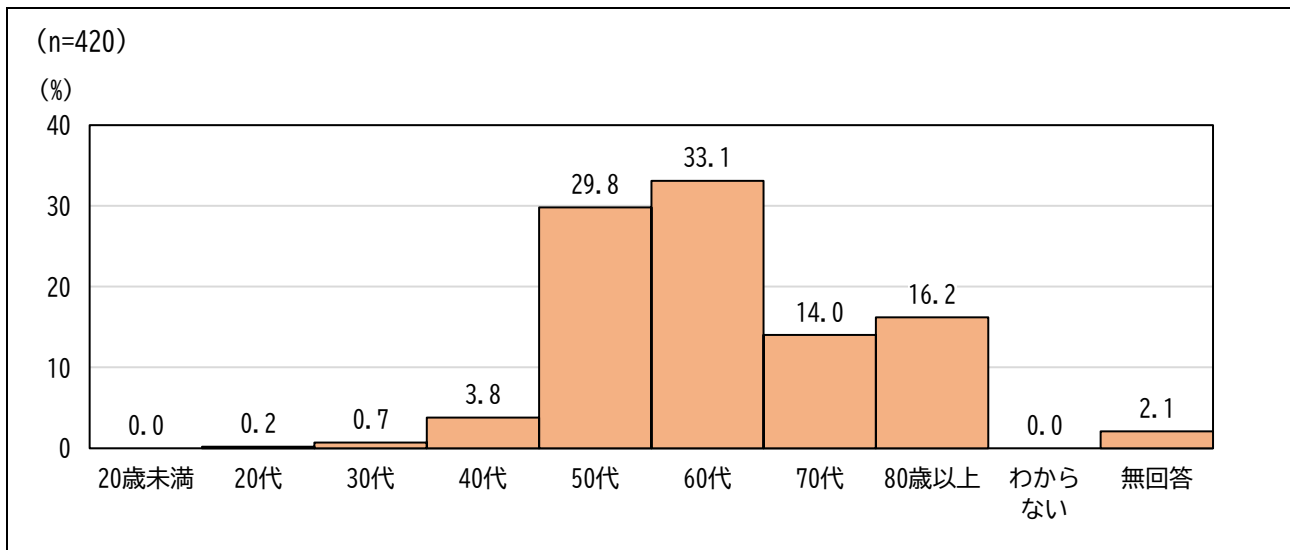
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



主な介護者の性別は、「男性」が35.2%、「女性」が61.9%となっている。

(4) 主な介護者の年齢

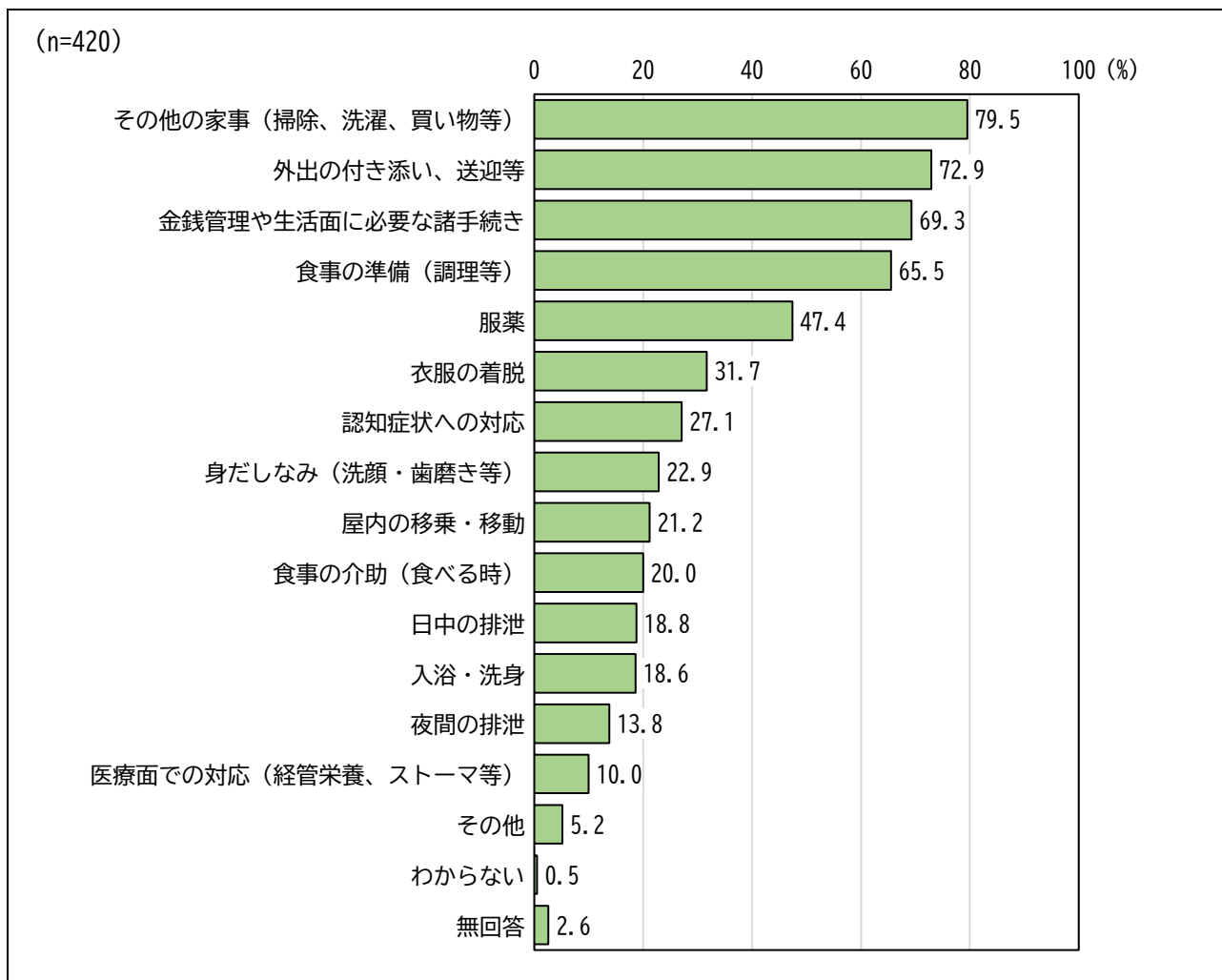
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



主な介護者の年齢は、「60代」が33.1%で最も多く、次いで「50代」が29.8%、「80歳以上」が16.2%、「70代」が14.0%、「40代」が3.8%などとなっている。

(5) 主な介護者が行っている介護

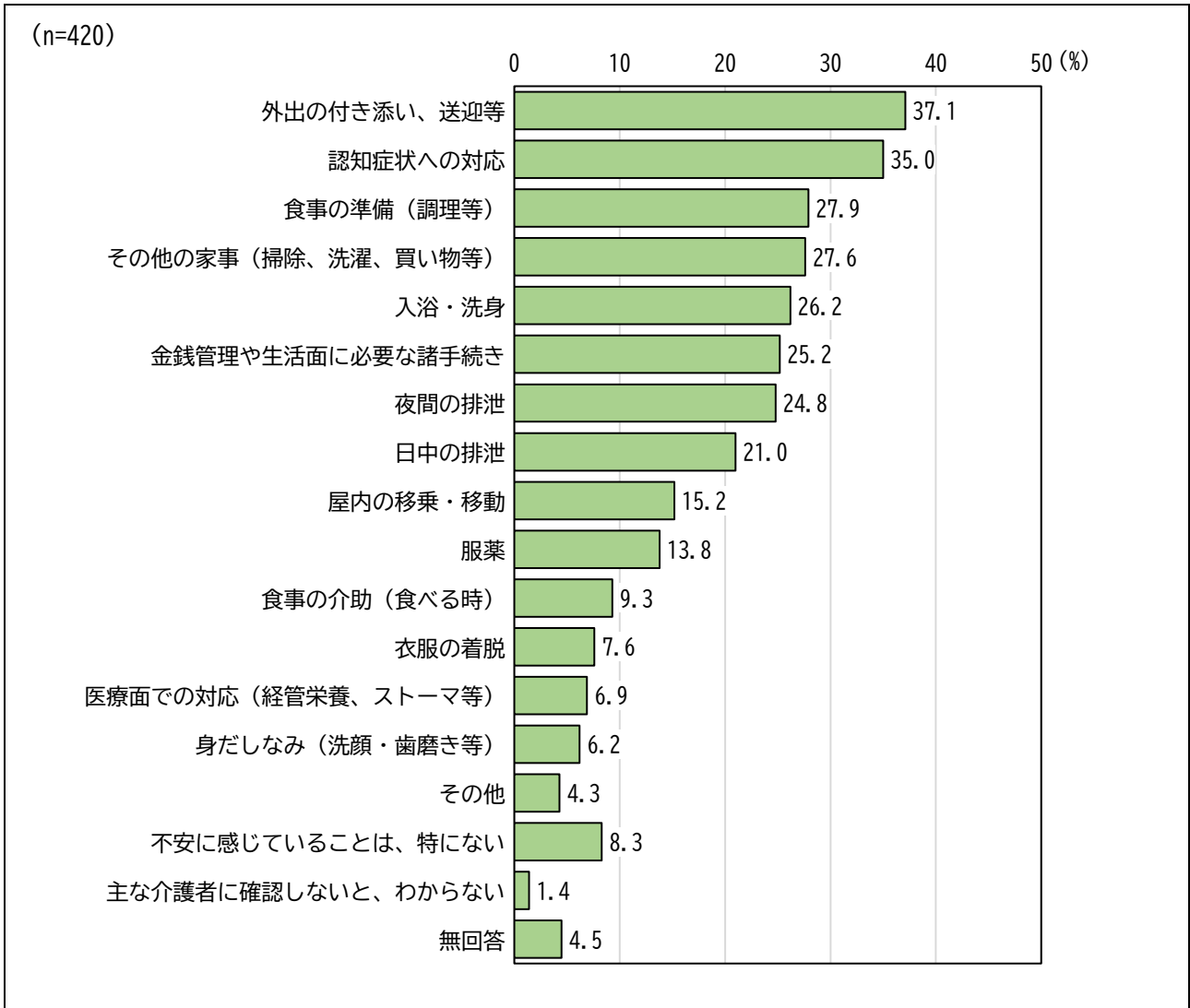
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が72.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.3%、「食事の準備（調理等）」が65.5%、「服薬」が47.4%などとなっている。

(6) 不安を感じる介護

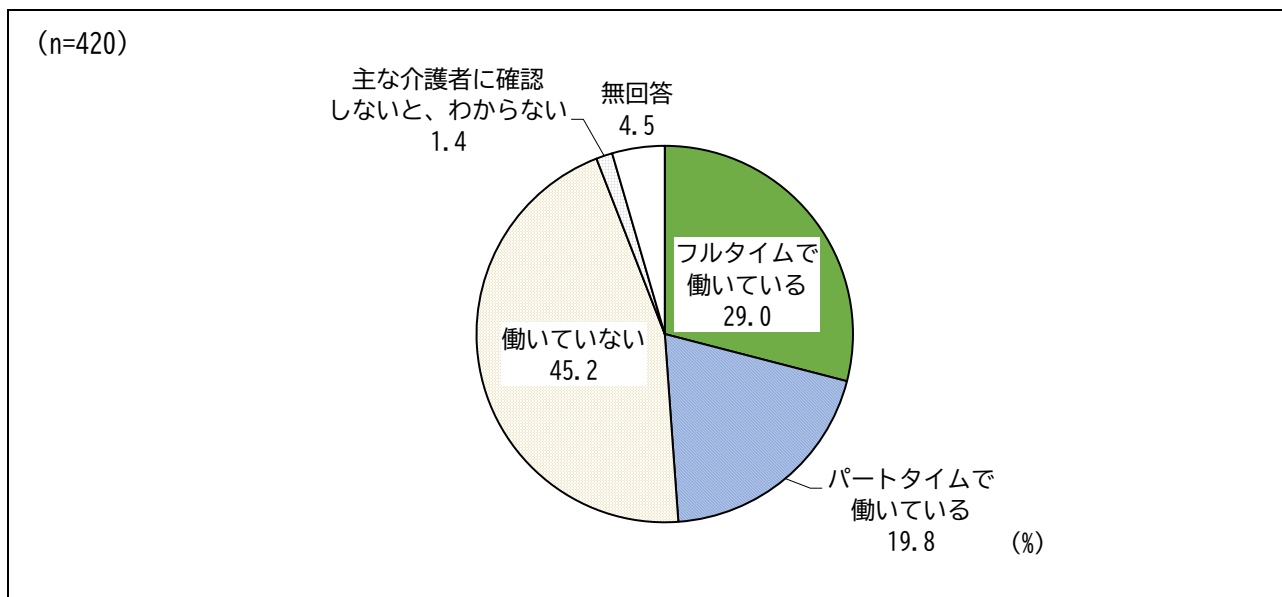
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



主な介護者が不安を感じる介護は、「外出の付き添い、送迎等」が37.1%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が35.0%、「食事の準備（調理等）」が27.9%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が27.6%、「入浴・洗身」が26.2%などとなっている。

(7) 主な介護者の勤務形態

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

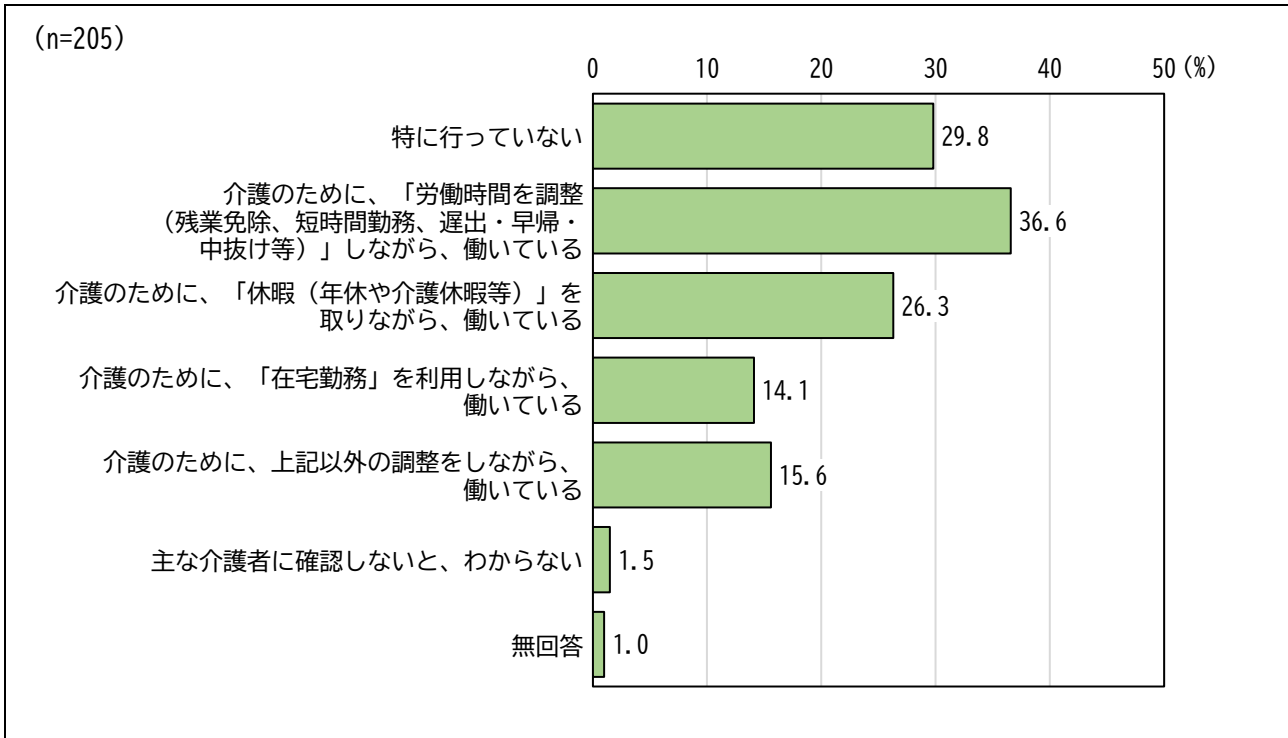


主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が29.0%、「パートタイムで働いている」が19.8%、「働いていない」が45.2%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.4%となっている。

(8) 介護のための働き方の調整

問8 問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(複数選択可)



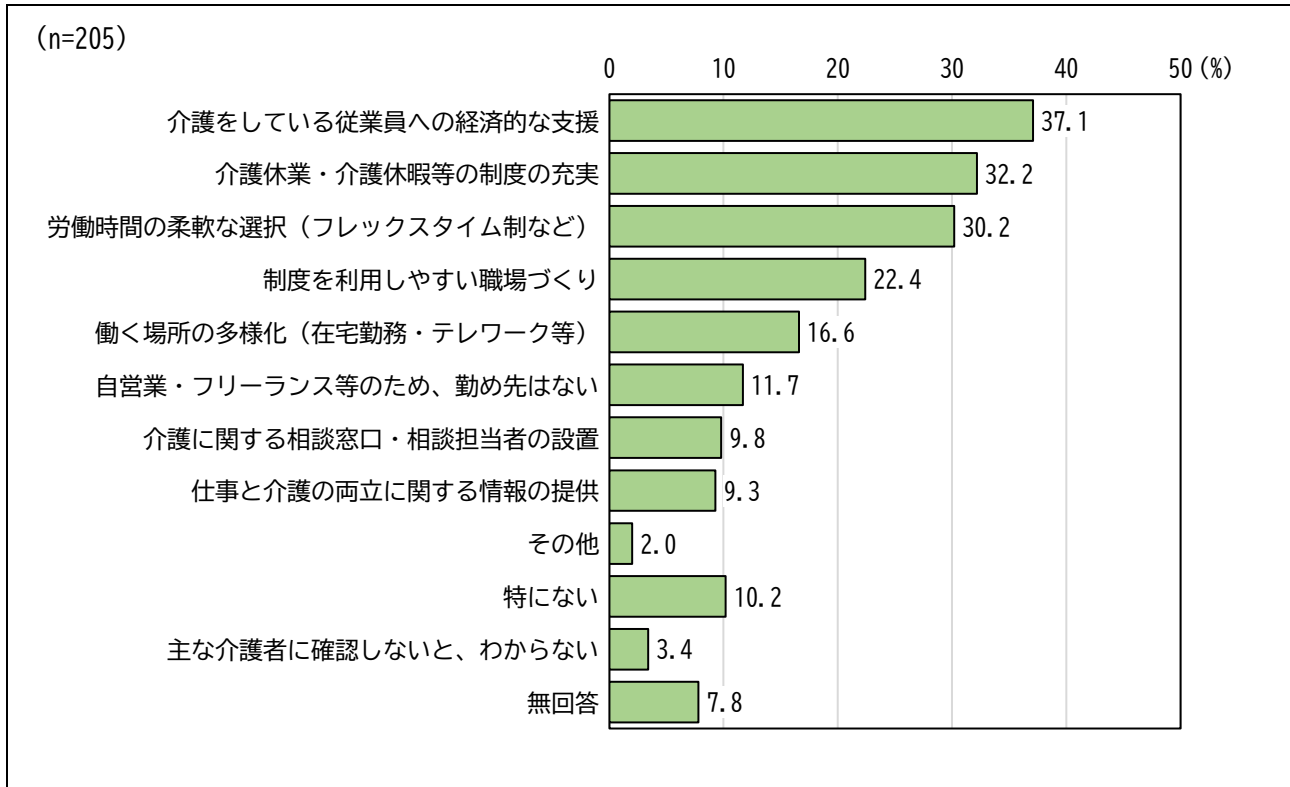
介護のための働き方の調整は、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が36.6%で最も多く、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が26.3%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が15.6%、「介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている」が14.1%などとなっている。

また、「特に行っていない」が29.8%となっている。

(9) 仕事と介護の両立のために効果的な支援

問9 問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

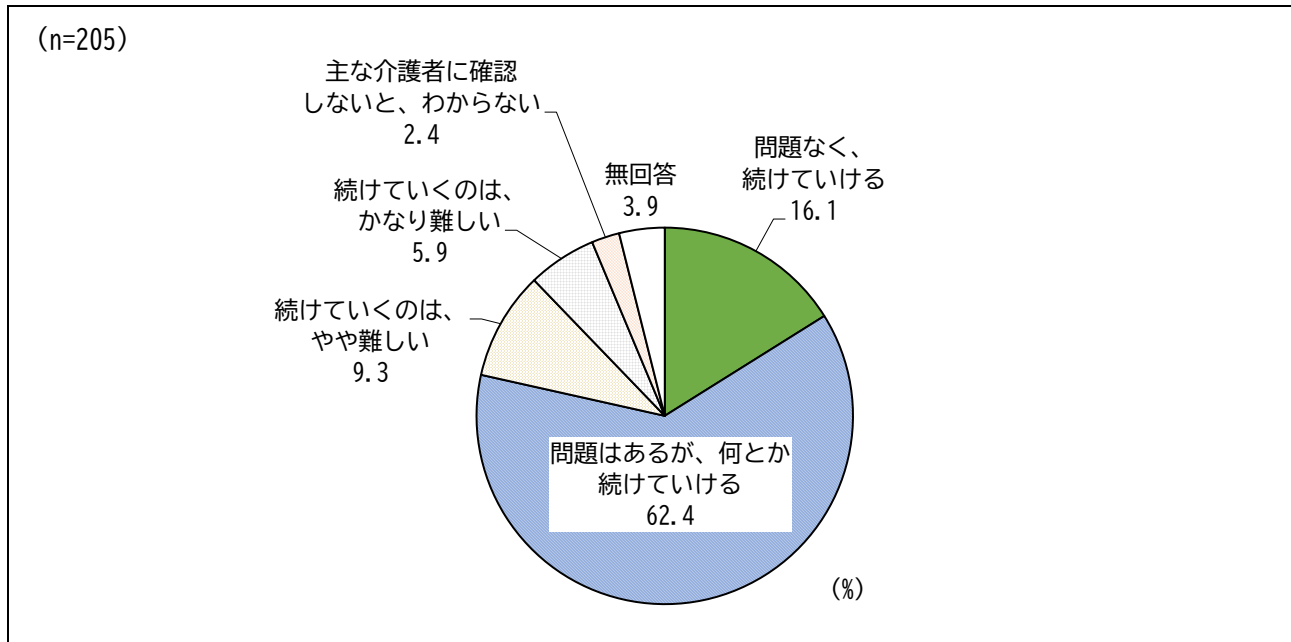


介護と仕事の両立のために効果的な支援は、「介護をしている従業員への経済的な支援」が37.1%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.2%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.4%、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等）」が16.6%などとなっている。

(10) 主な介護者の就労継続

問10 問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

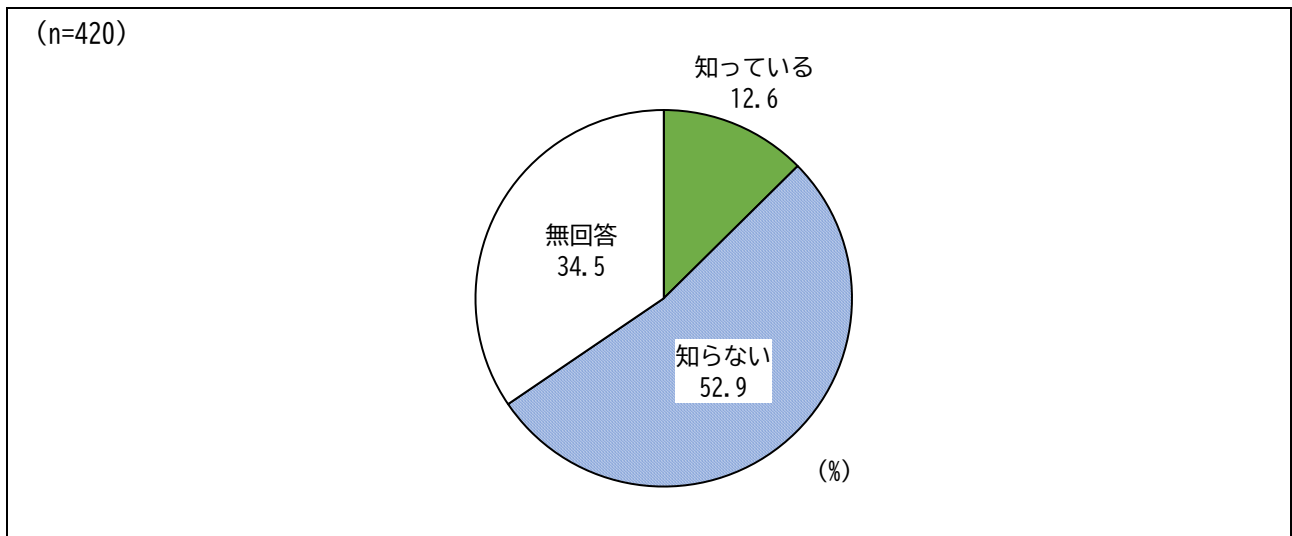


主な介護者の就労継続は、「問題なく、続けていける」が16.1%、「問題はあるが、何とか続けていける」が62.4%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.9%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が2.4%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(11) 家族介護教室の認知度

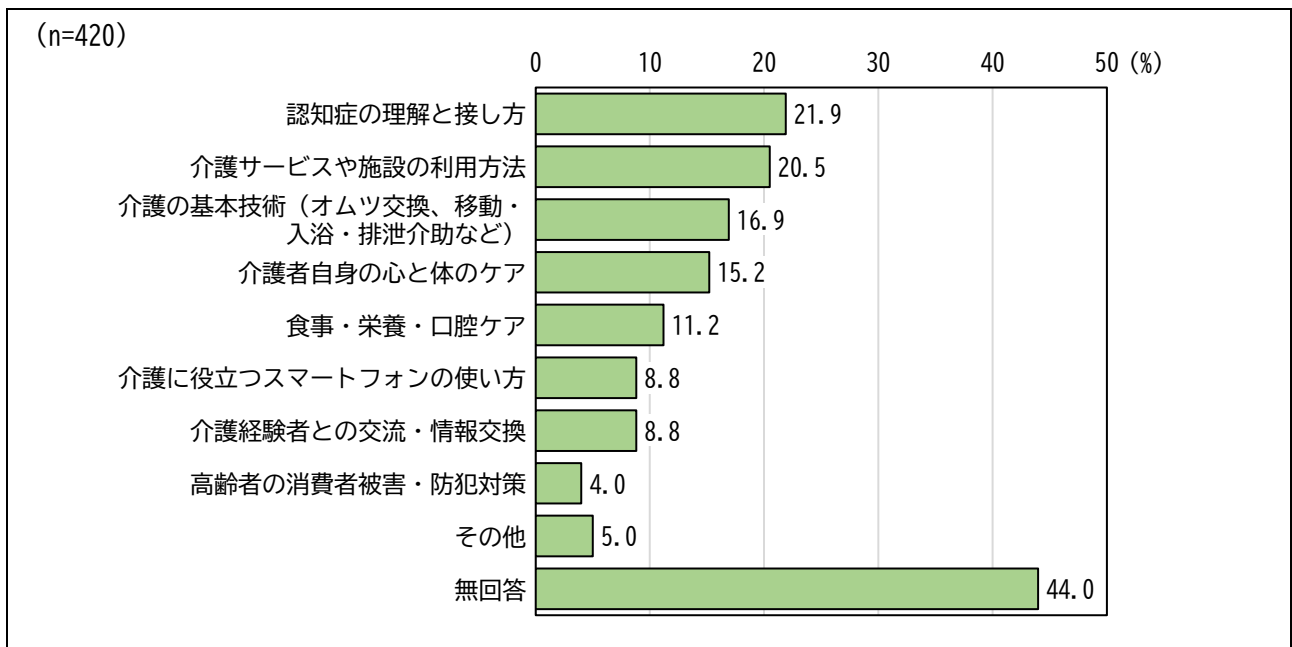
問11 家族介護教室を知っていますか（1つを選択）



家族介護教室の認知度は、「知っている」が12.6%、「知らない」が52.9%となっている。

(12) 参加してみたい家族介護教室の内容

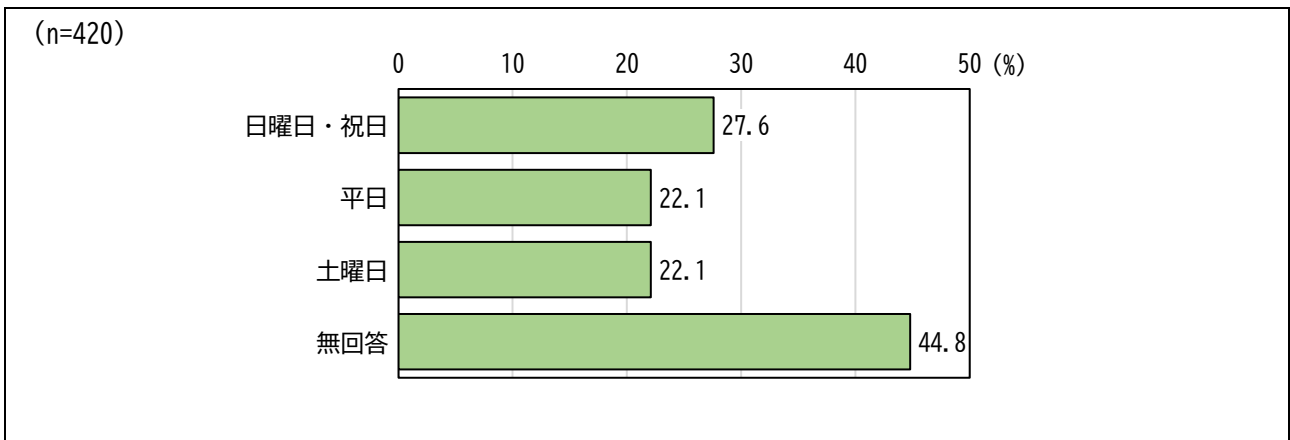
問12 家族介護教室に参加するとしたら、どのような内容であれば参加してみたいですか（複数選択可）



参加してみたい家族介護教室の内容は、「認知症の理解と接し方」が21.9%で最も多く、次いで「介護サービスや施設の利用方法」が20.5%、「介護の基本技術（オムツ交換、移動・入浴・排泄介助など）」が16.9%、「介護者自身の心と体のケア」が15.2%、「食事・栄養・口腔ケア」が11.2%などとなっている。

(13) 参加したい曜日

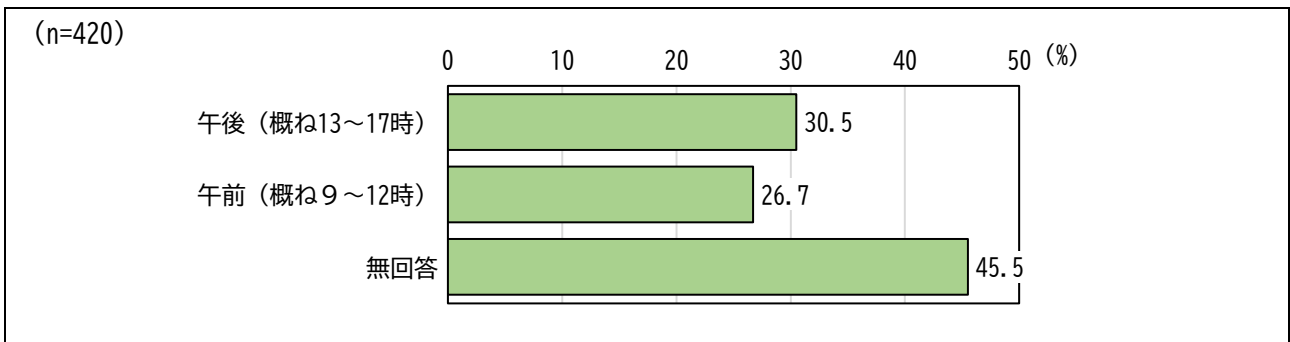
問13 家族介護教室に参加するとしたら、どのような曜日が望ましいですか（複数選択可）



参加したい曜日は、「日曜日・祝日」が27.6%で最も多く、次いで「平日」と「土曜日」がそれぞれ22.1%となっている。

(14) 参加したい時間帯

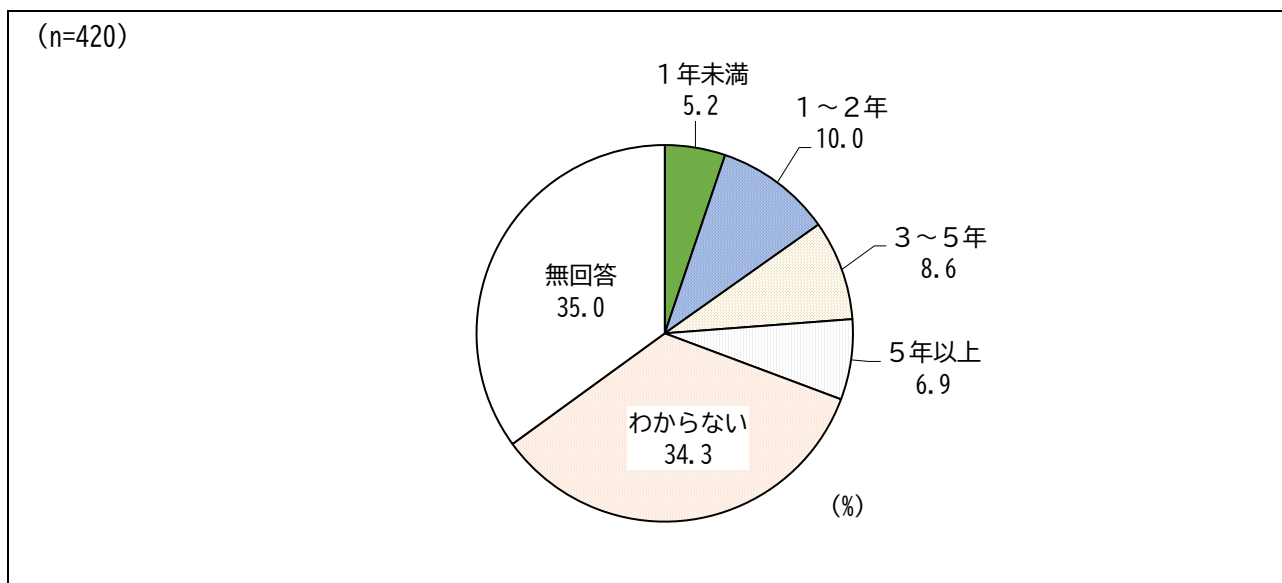
問14 家族介護教室に参加するとしたら、どのような時間帯が望ましいですか（複数選択可）



参加したい時間帯は、「午後（概ね13～17時）」が30.5%、「午前（概ね9～12時）」が26.7%となっている。

(15) 現在の状況で、在宅介護を続けられる期間

問15 主な介護者の方は現在の状況で、あとどのくらい在宅介護を続けられると思いますか
(1つを選択)



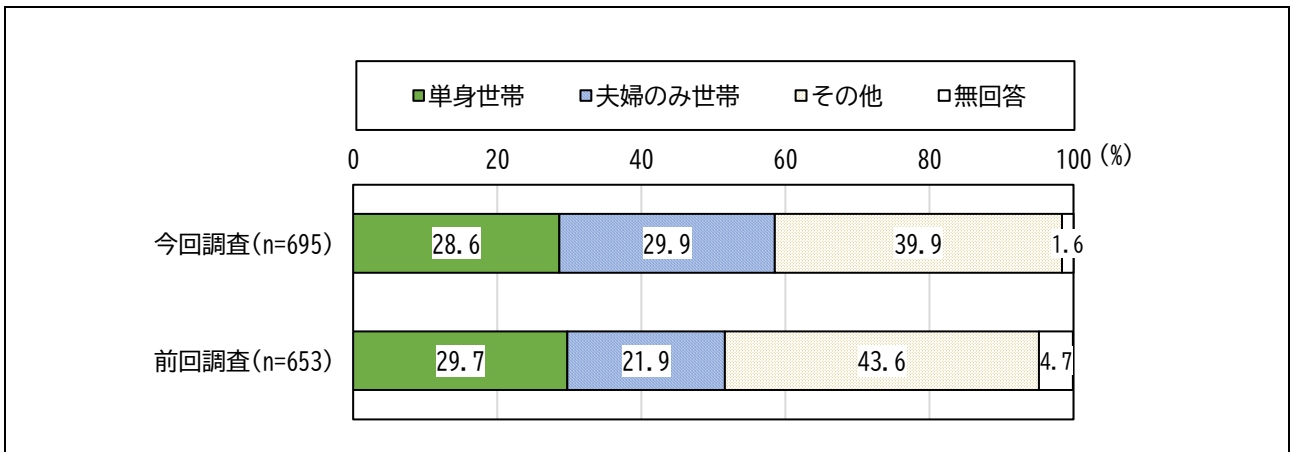
現在の状況で、在宅介護を続けられる期間は、「わからない」が34.3%で最も多くなっている。イメージできる中では、「1～2年」が10.0%、「3～5年」が8.6%、「5年以上」が6.9%、「1年未満」が5.2%となっている。

3 経年比較

今回調査結果のうち、主要項目について、前回調査結果（令和4年度調査）との経年比較を行いました。

(1) 世帯類型

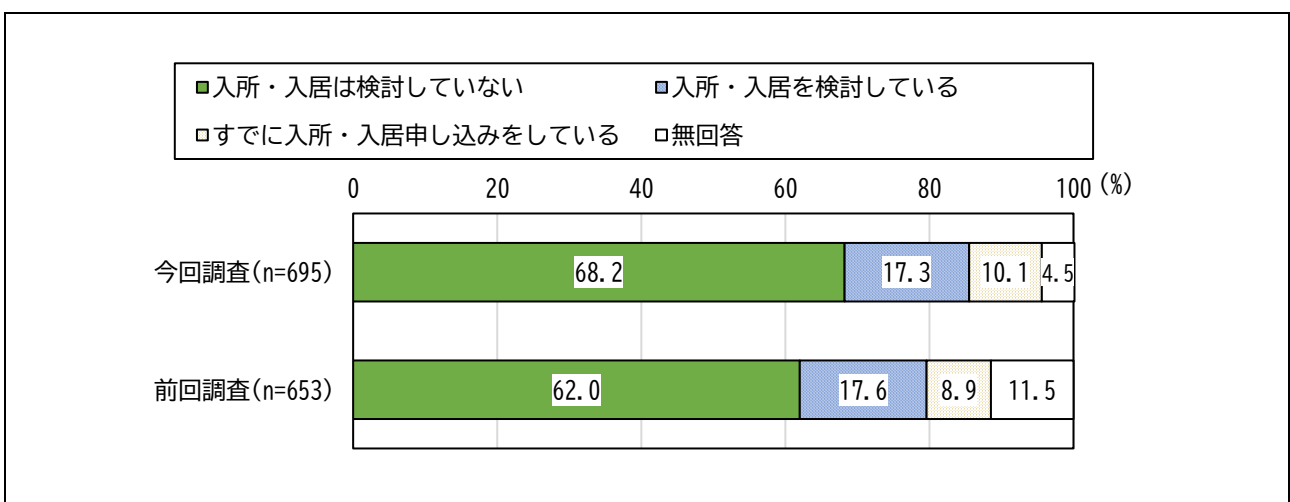
問 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



世帯類型について、前回調査に比べて今回調査では「夫婦のみ世帯」が8.0ポイント増加し、「その他」が3.7ポイント減少している。

(2) 施設等への入所・入居検討状況

問 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

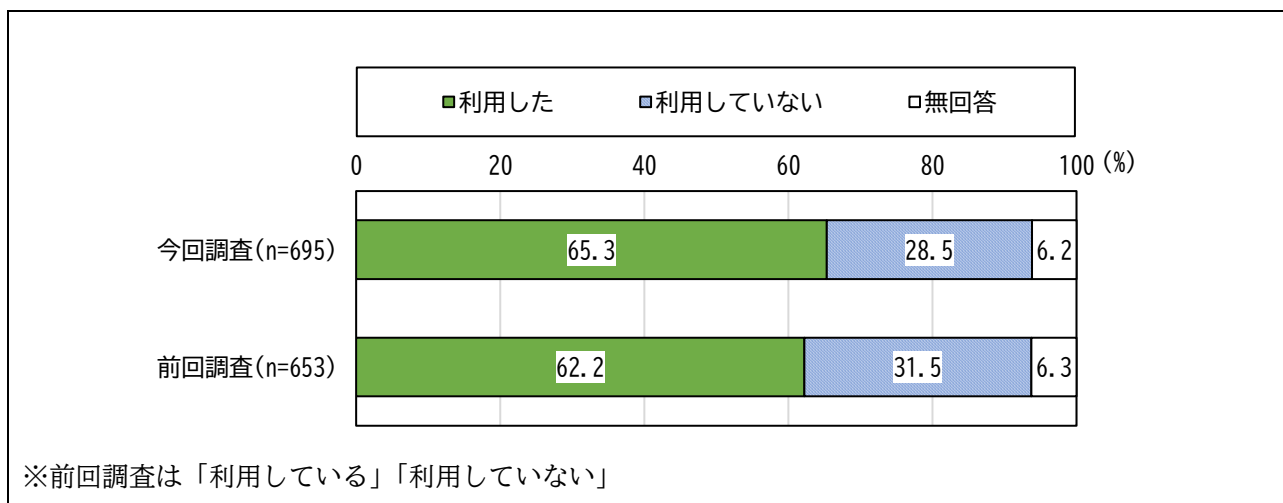


施設等への入所・入居検討状況について、前回調査に比べて今回調査では「入所・入居は検討していない」が6.2ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(3) 介護保険サービスの利用

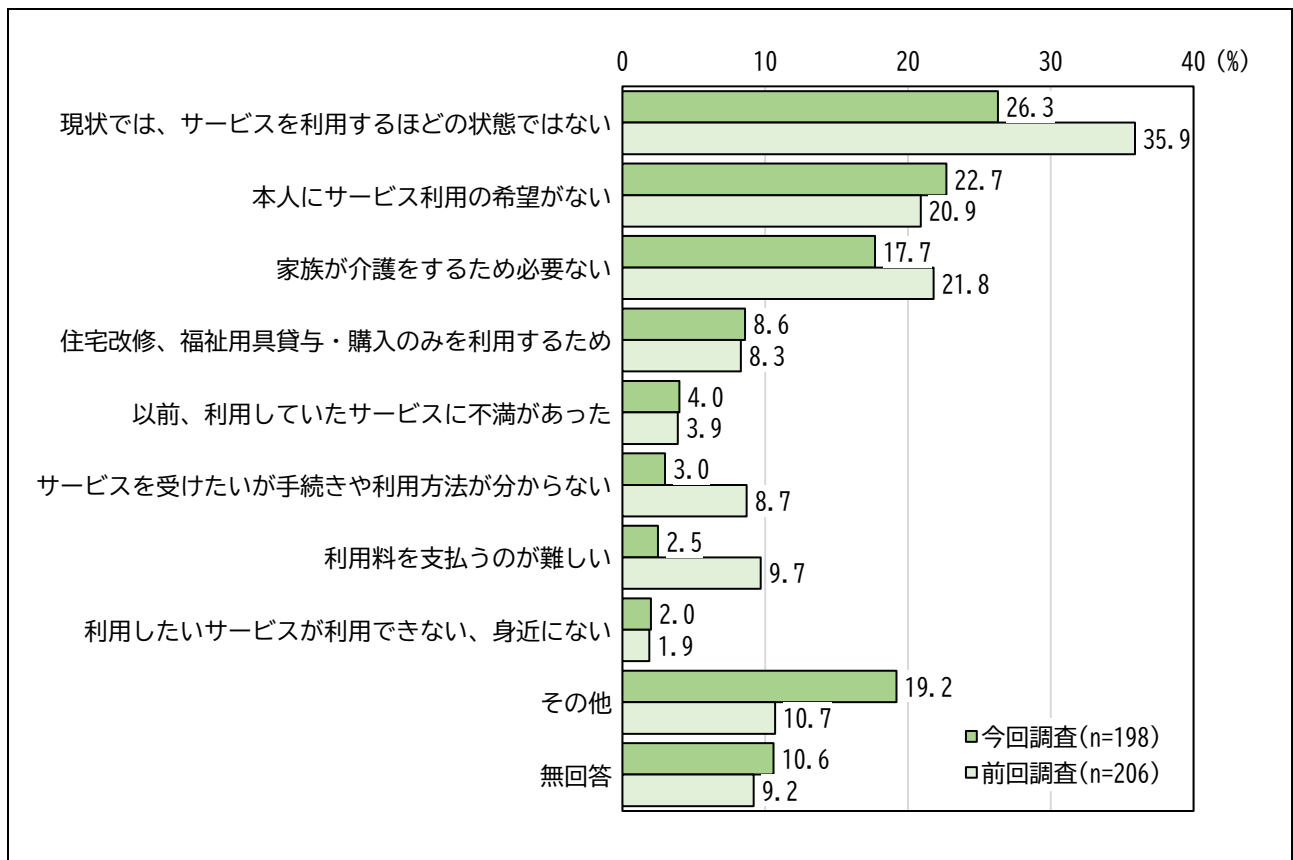
問 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか
(1つを選択)



介護保険サービスの利用について、前回調査に比べて今回調査では「利用した」が3.1ポイント増加している。

(4) 介護保険サービス未利用の理由

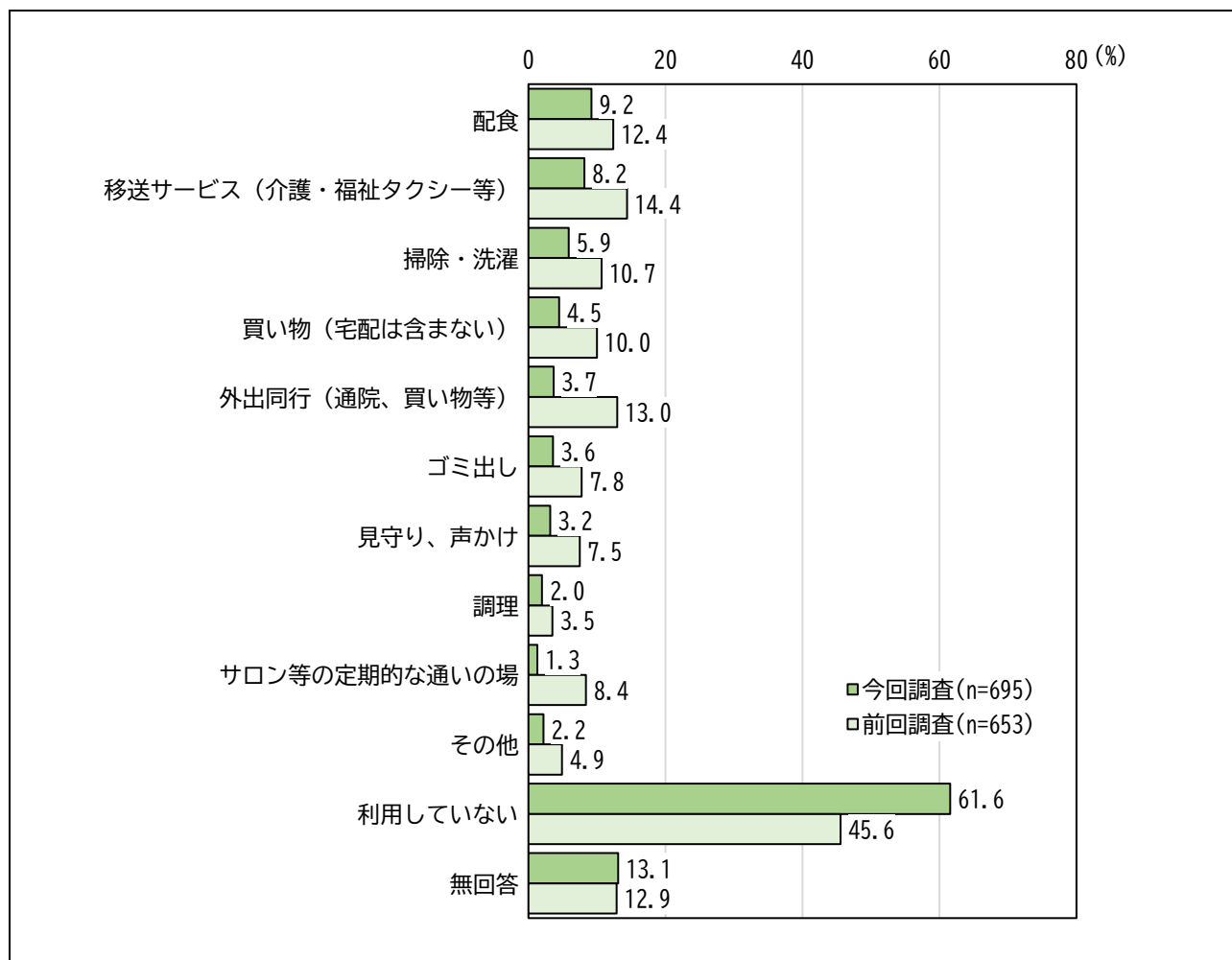
問 (3)で「利用していない」と回答した方にお伺いします。
 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



介護保険サービス未利用の理由について、前回調査、今回調査ともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多くなっているが、前回調査に比べて今回調査では9.6ポイント減少している。また、「利用料を支払うのが難しい」と「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」も5ポイント以上減少している。

(5) 「介護保険サービス以外」のサービス利用

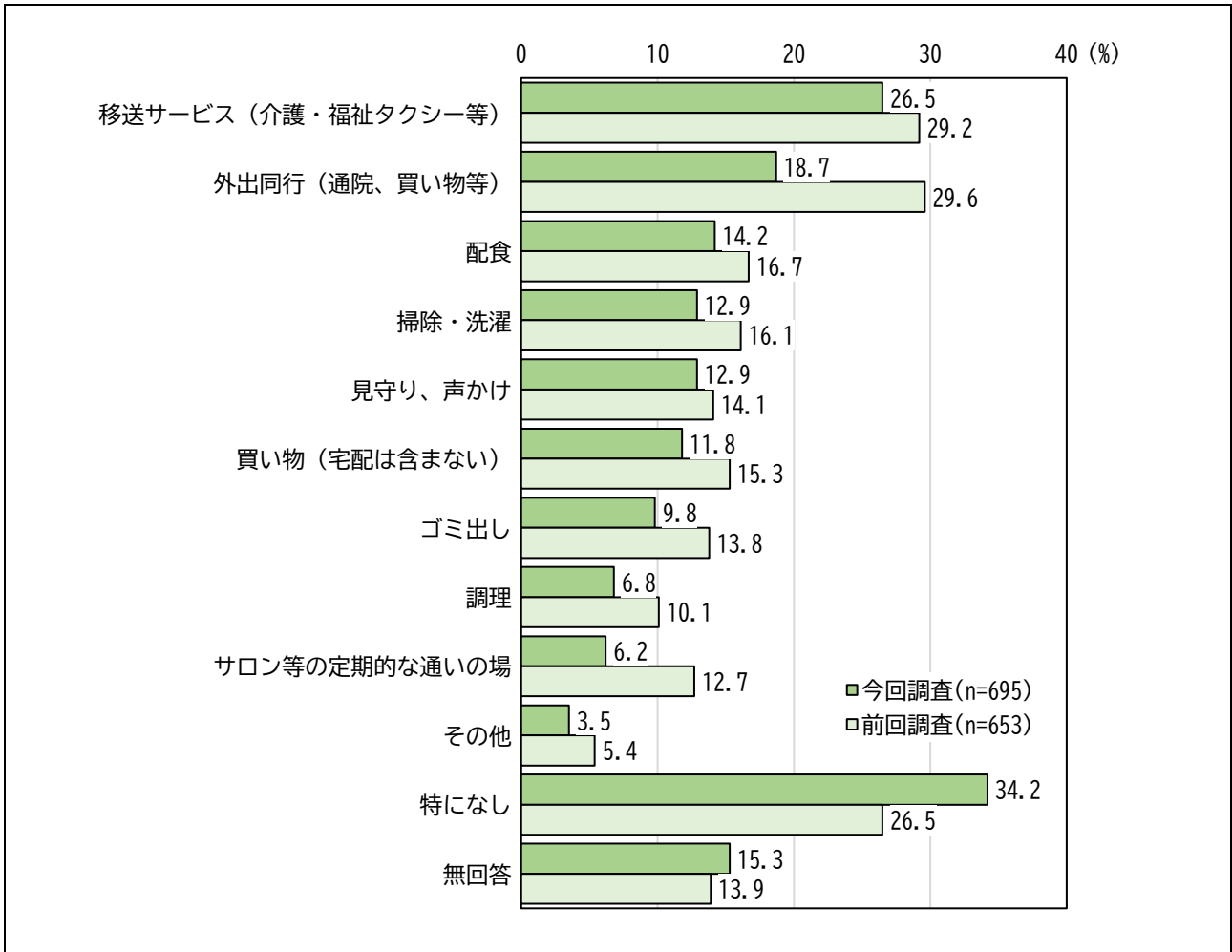
問 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)



「介護保険サービス以外」のサービス利用について、前回調査に比べて今回調査ではすべてのサービスが減少し、特に「外出同行 (通院、買い物等)」、「サロン等の定期的な通いの場」、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」、「買い物 (宅配は含まない)」が5ポイント以上減少した。一方、「利用していない」が16.0ポイント増加している。

(6) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

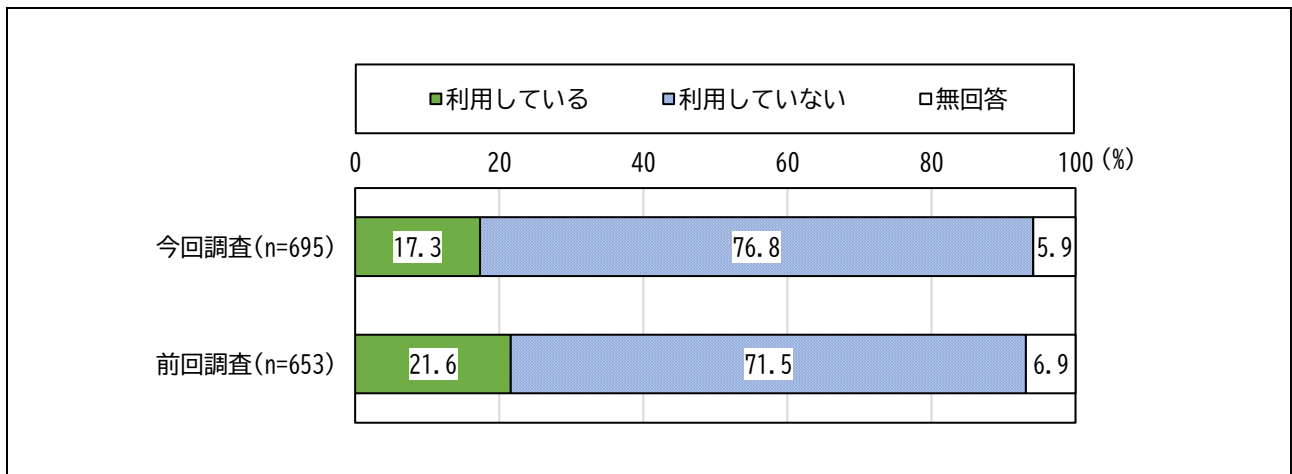


在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、前回調査に比べて今回調査ではすべての支援・サービスが減少し、特に「外出同行（通院、買い物等）」は10.9ポイント、「サロン等の定期的な通いの場」は6.5ポイント減少した。一方、「特になし」が7.7ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(7) 訪問診療の利用の有無

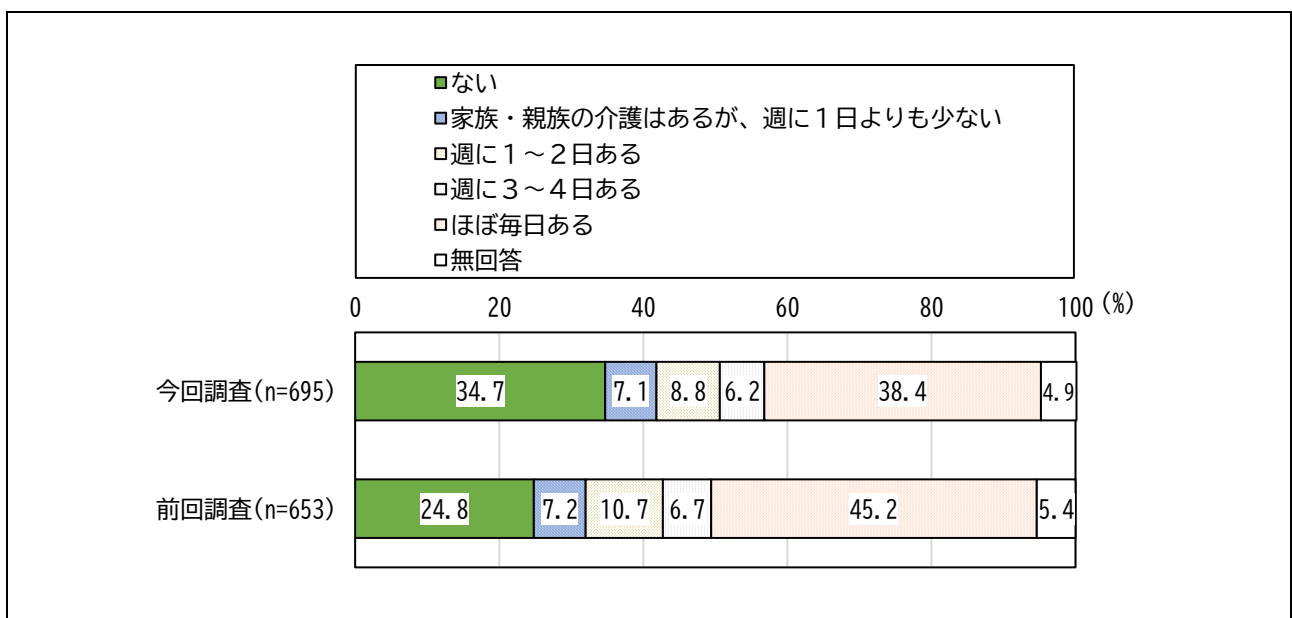
問 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



訪問診療の利用の有無について、前回調査に比べて今回調査では「利用している」が4.3ポイント減少し、「利用していない」が5.3ポイント増加している。

(8) 家族・親族からの介護の頻度

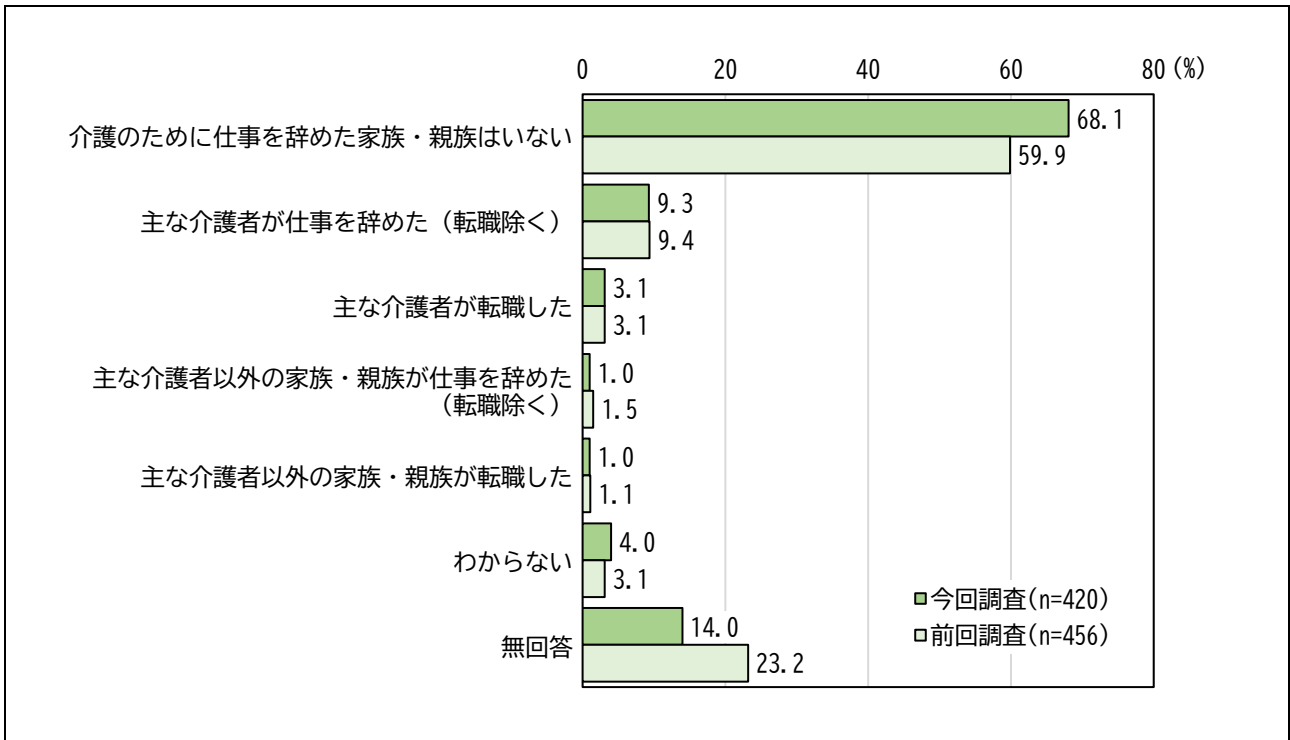
問 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



家族・親族からの介護の頻度について、前回調査に比べて今回調査では「ない」が9.9ポイント増加し、「ほぼ毎日ある」が6.8ポイント減少しており、介護の頻度が減っていることがうかがえる。

(9) 介護を理由とした離職の有無

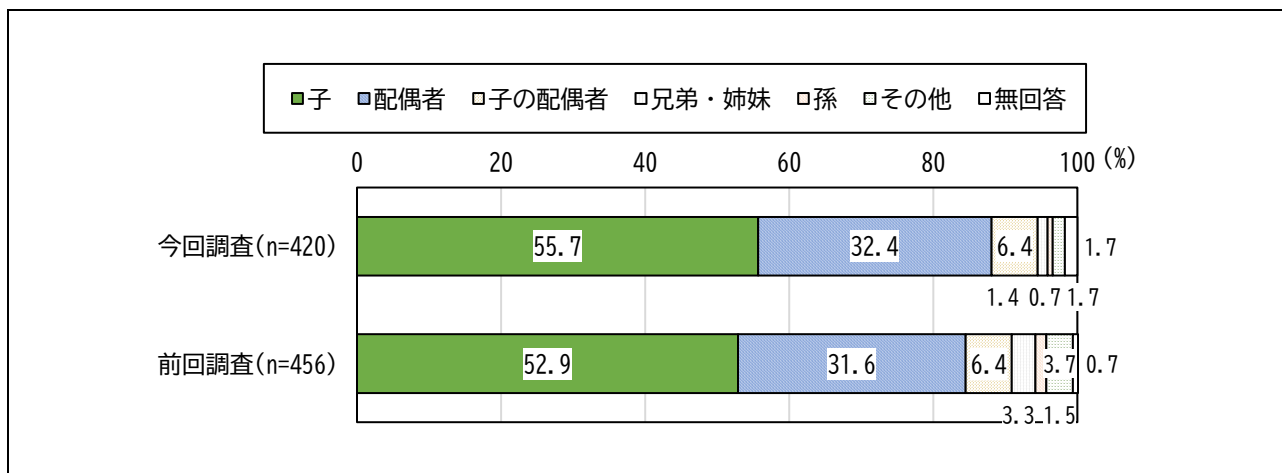
問 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



介護を理由とした離職の有無について、前回調査、今回調査ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっており、前回調査に比べて今回調査では8.2ポイント増加している。

(10) 主な介護者

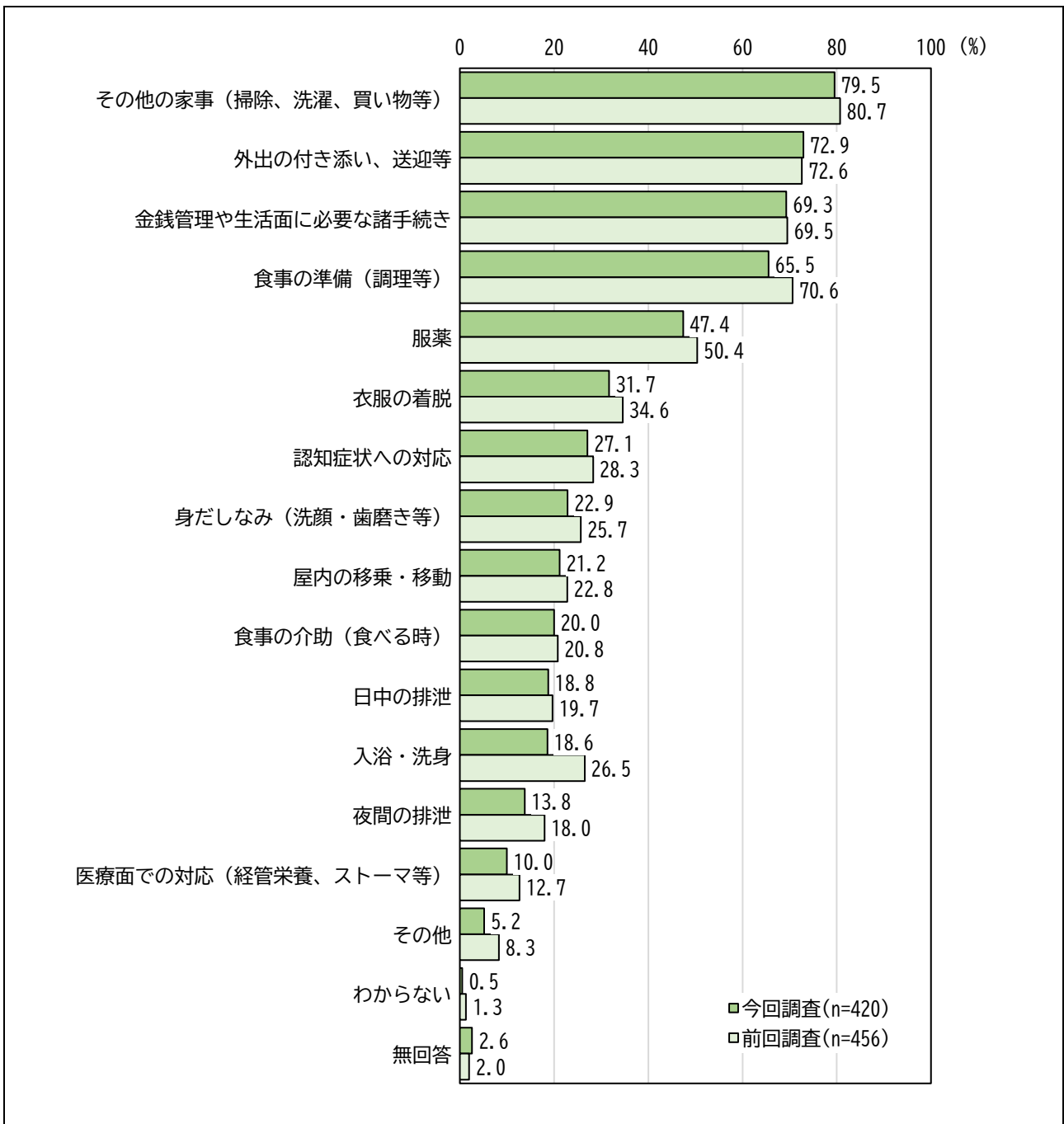
問 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



主な介護者について、前回調査に比べて今回調査では「子」が2.8ポイント増加しており、「子」が主な介護者である傾向が強まっていることがうかがえる。

(11) 主な介護者が行っている介護

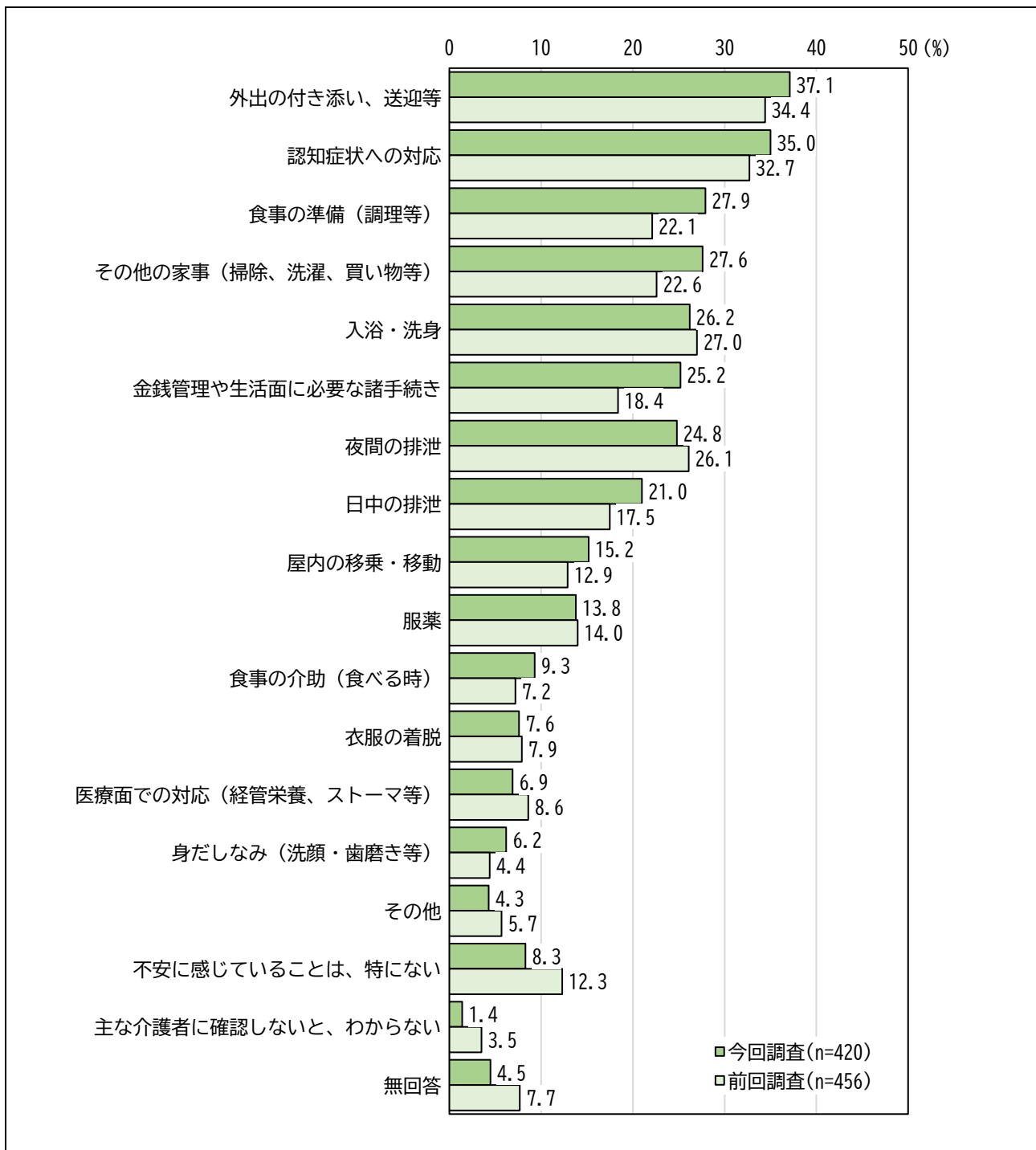
問 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



主な介護者が行っている介護について、前回調査、今回調査ともに「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「入浴・洗身」が7.9ポイント、「食事の準備（調理等）」が5.1ポイント減少している。

(12) 不安を感じる介護

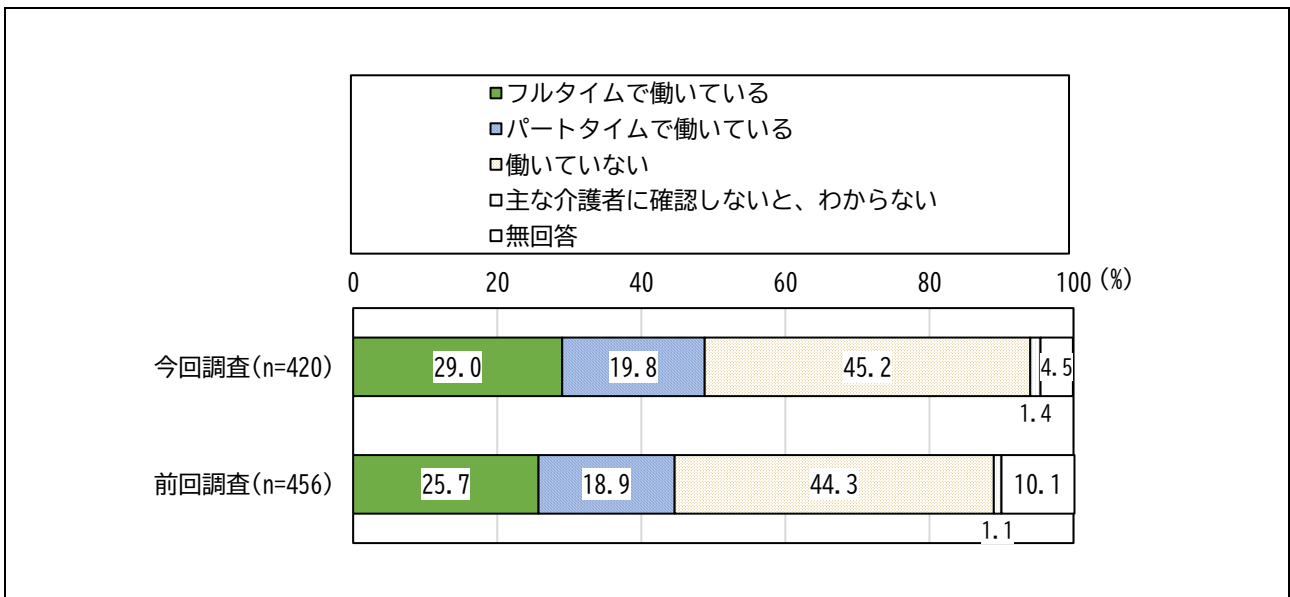
問 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



主な介護者が不安を感じる介護について、前回調査、今回調査ともに「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が6.8ポイント、「食事の準備（調理等）」が5.8ポイント、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が5.0ポイント増加している。

(13) 主な介護者の勤務形態

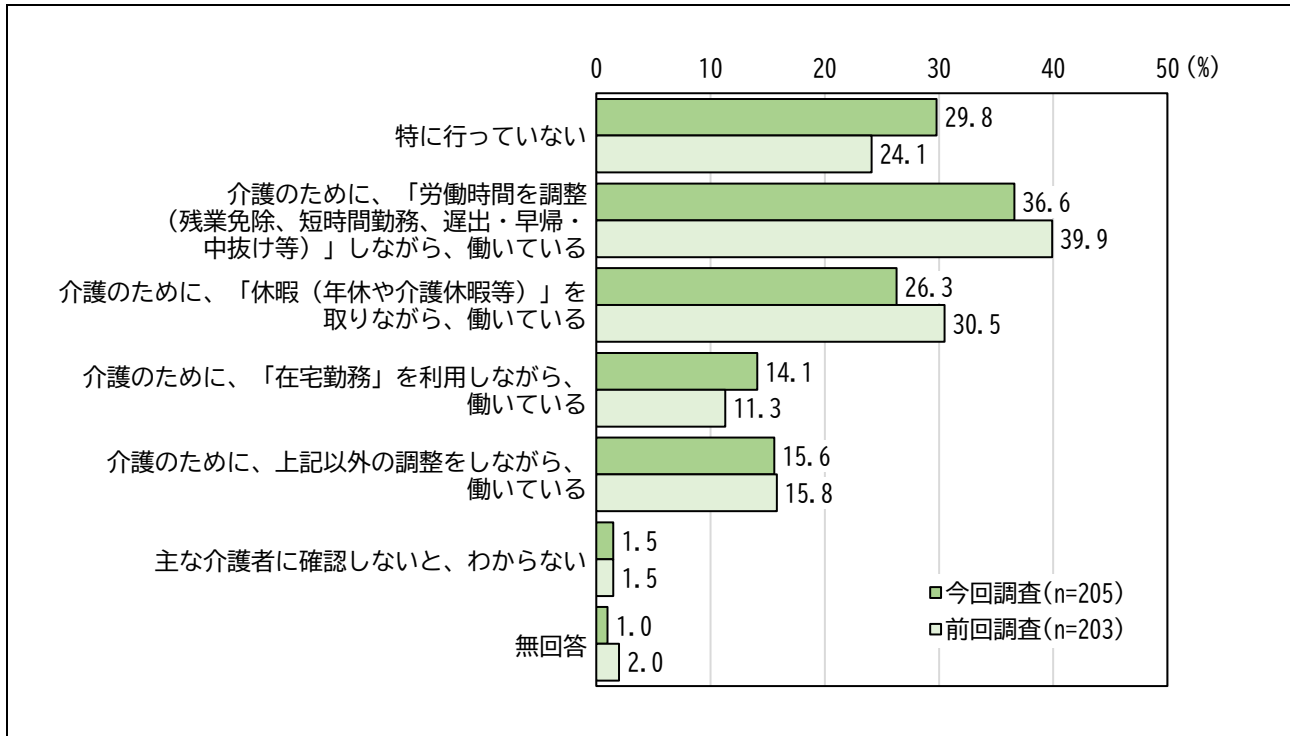
問 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



主な介護者の勤務形態について、前回調査に比べて今回調査では「フルタイムで働いている」が3.3ポイント増加している。

(14) 介護のための働き方の調整

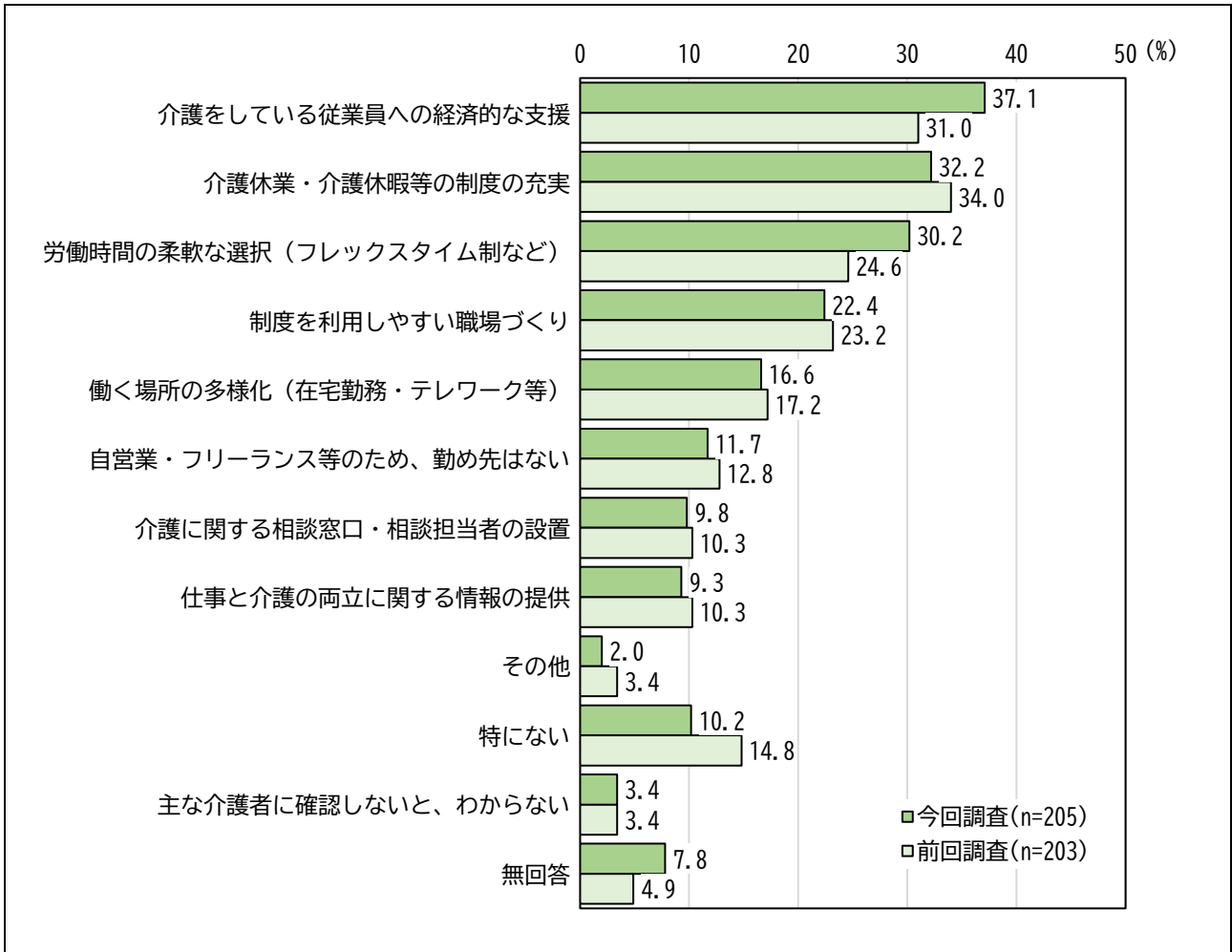
問 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてしていますか
(複数選択可)



介護のための働き方の調整について、前回調査に比べて今回調査では「特に行っていない」が5.7ポイント増加している。一方、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」は4.2ポイント、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」は3.3ポイント減少している。

(15) 仕事と介護の両立のために効果的な支援

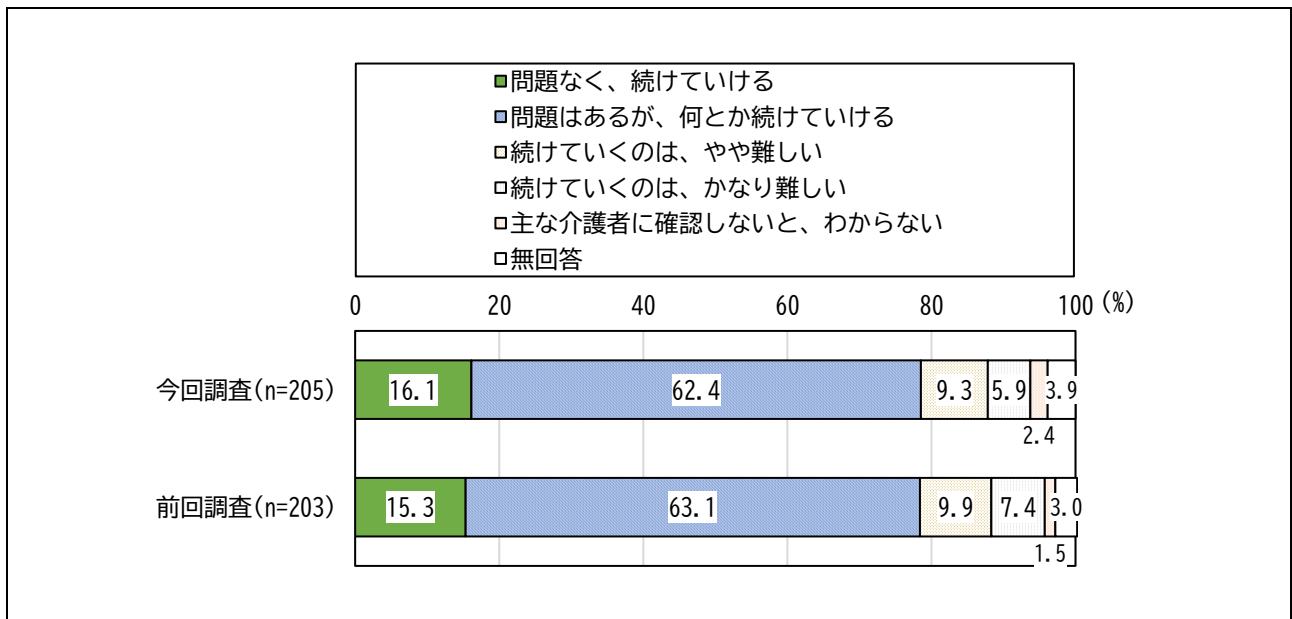
問 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



介護と仕事の両立のために効果的な支援について、前回調査では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多かったが、今回調査では「介護をしている従業員への経済的な支援」が6.1ポイント増加して最も多くなっている。また、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」も5.6ポイント増加している。一方、「特にない」は4.6ポイント減少している。

(16) 主な介護者の就労継続

問 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



主な介護者の就労継続について、前回調査に比べて今回調査では大きな変化はみられず、就労継続に対して何か問題を抱えている介護者の多さは変わらないことがうかがえます。

IV 自由記述

戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

その他、戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

※右の数字は、左のテーマについての意見の数です。また、主な意見を抜粋し、掲載しています。

意見・要望等	件数
<p>福祉サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1人暮らしですが、地域包括支援センターや市町村の高齢者福祉窓口などは、自分に心配な症状が出て来た時に初めて相談できるのでしょうか。そういう時に慌てないように前もって話し合いが出来たら安心です。(東部・女性・75～79歳) ○品川区では70歳以上一人暮らしの方に無料でセコムの「一人暮らしサポート」を入れ、1日1回冷蔵庫を開けるか開けてないかなどで異常察知を早く知るシステムを導入しているそうです(自宅のカギも預ける)。そういうシステムの導入もしくは紹介、割引・一部負担などの方法をご検討していただきたく思います。(中央・女性・75～79歳) ○現在戸田市の特別養護老人ホームは待ち時間が長くなかなか入れないと聞きます。増やしてもらえないのでしょうか。(東部・女性・80～84歳) ○病院に入れても、1～3ヶ月毎に病院を移らなければならない、それを捜すのが大変という話をよく聞くにつけ、意志・意識が無い寝たきりの老人になってしまったら、痛みや辛さのみ取り除き、余分な延命治療はしない(保険の無駄)で死ぬまで安らかに置いてくれる病院or施設の様な所を市で造って頂けるといいなと思います。(中央・女性・80～84歳) ○母の自宅介護から特養での見送り経験を通して、自宅介護が気持ちとしては望む所ではあるが、介護する側の負担も体調の具合や程度によって、大きな負担になる事を考えると、最終的には特養での終活になるのではと思っている。(市立・男性・75～79歳) 	53件
<p>日常生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戸田市の西側に住む住民ですが、バイパスの両側は病院もなく、スーパーもなく、高齢者が住むには大変厳しい環境にあります。移動スーパーもテスト的に始まりましたが更に拡大の検討をお願いしたい。(市立・男性・80～84歳) ○買物をしたいがレジでもたついてしまうのが申し訳なくてできなくなってしまったので、老人専用レジがあると助かります。店員が教えてくれて支払いの時に現金の用意やカードの使い方まで手伝ってくれるとありがたい。(中央・男性・85歳以上) ○市内の転居でしたが高齢の為、入居先が見付からず、不動産の方々にも色々お世話になり、最後は市役所の方や介護関係の仕事の方の紹介でやっと見つかりましたが、行き先のない当事者にとっては金銭的に少々苦しくてものまざるをえませんでした。もう少し平常心で暮らせる様な住宅環境があったらと思っております。(中央・女性・80～84歳) ○戸田市シルバー人材センターに登録したのですが80歳以上は仕事がないとのこと、これからどうしたら良いのでしょうか。(中央・男性・80～84歳) 	20件

意見・要望等	件数
<p>地域活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老人等が集まり、お茶を飲んだり、話したりする場所があるといいと思う。(中央・女性・75～79歳) ○高齢者だけでなく、市民が自由に立ち寄れ、趣味や会話ができる場所があったら、参加し、手伝いもしたい。(中央・女性・75～79歳) ○サークルではなく、楽しく会話できるような無料の場がほしいです。各町会にある会館など歩いて行ける所。(市立・女性・65～69歳) ○娯楽・演劇・歌謡等、高齢者の好きそうな歌手のコンサート。歌を聞くと元気をもらおう。前年の敬老のつどいはよかった。(新曽・男性・75～79歳) 	15件
<p>交通環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩道が歩きにくい場所がある。こまめに点検してほしい。(市立・男性・80～84歳) ○tocoバスが一方方向なので反対回りもあれば利用しやすいです。(市立・男性・65～69歳) ○筋力の維持のために参加できる体操教室への参加のための送迎があったら有り難いです。(東部・女性・65～69歳) ○介護タクシー無料化と年間利用のチケット等の配布(70歳以上の方、免許返納された方達に年間で支援)、民間タクシーの台数の増設、公共施設に常駐させる等、利用したい時に直ぐに迎えに来てもらえる様なシステム作り。(東部・女性・65～69歳) 	23件
<p>介護保険料・税金・医療費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護保険料とか、後期高齢者医療保険が高すぎます。今現在介護保険を使ってない人は、下げてもらえたらどうですか。(中央・女性・75～79歳) ○パート勤務の者が正直に確定申告をすると還付されるのではなく徴収されます。少ない給料の中から徴収されるのはキツイです。これ以上徴収されるのはやめて頂きたい。老後の生活費がなかなか残りません。(新曽・女性・65～69歳) 	8件
<p>健康づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自宅訪問などで健康をチェックして欲しい。地域包括センターの方が月1回くらい訪問してチェックしているが。(中央・女性・85歳以上) ○とだウエルネスマイレージを使っていたが、急にカウントされなくなり使わなくなった。(中央・女性・75～79歳) ○市の健康診断の項目が少なすぎてビックリしました。心電図や聴力、視力さえないと。戸田市は財政的に裕福らしいのですが医療機関の少なさ、質の悪さは改善できないのでしょうか。せめて検査オプションの補助金やワクチン代など出せないのでしょうか。(中央・女性・65～69歳) ○戸田市の乳がん検診はマンモグラフィのみですが、超音波検査(エコー検査)も選択できるようにして欲しいです。(東部・女性・65～69歳) 	5件
<p>調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○この様な長い大量のアンケートは、お年寄りには難しいと思います。(東部・女性・85歳以上) ○アンケートの内容について、設問が多いのに、内容がわかりづらかったりする問題が多すぎます。(中央・女性・85歳以上) 	18件

意見・要望等	件数
<p>○この手のアンケートはスマホ、PCで答えられるようにしてほしい。手書きは面倒。 (新曾・男性・65～69歳)</p> <p>○データ集計に伴う結果の公表を希望します。(中央・男性・85歳以上)</p> <p>○紙面のアンケート以外に高齢者福祉サービスについてのプラットフォームが多くあれば良いと思います(民間業者もチームに入れる)。(市立・男性・65～69歳)</p> <p>○介護施設(私設)のサービスの実態を公平なものにする様、ある程度調査し指導し、監視してほしい。(中央・女性・85歳以上)</p>	
<p>情報提供について</p> <p>○「新しい認知症観」の内容を知りたいと思いました。(中央・女性・80～84歳)</p> <p>○どのような身体の状態ですら介護を受けられるのか、それにかかる費用の一覧表を作ってもらえたらうれしいです。(新曾・女性・65～69歳)</p> <p>○今は元気なのでサービスを受ける実感はないが、相談窓口がはっきりしていれば行動できるので、「ここに行けばいい」という案内、メッセージを広報等で常に発信してほしい。ひとまず「健康長寿課」に相談に行くのかなとは思っています。(中央・女性・65～69歳)</p> <p>○高齢者向けにスマホの使い方レベル別(内容別)教室を開いて、ついでに福祉サービスのセミナー(高齢者向け)をやってほしい。(東部・男性・65～69歳)</p> <p>○介護される側です。一日でも長く自分の事は自分でを目標にしています。でも弱音を吐けない、人に頼れない自分がいます。扱いにくい年寄りになりそうな気がします。介護される側の心構えを教えてください。介護される側の勉強があれば幸いです。(中央・女性・75～79歳)</p>	37件
<p>その他</p> <p>○戸田市の高齢者に対する福祉サービスでとても助かっています。これからも自分で出来る事はやって支援をいただきたいと思います。ありがとうございます。(東部・女性・80～84歳)</p> <p>○時々訪問や電話をしてくれるので心配ない。安心して生活が出来る。(市立・女性・80～84歳)</p> <p>○板橋区より戸田市に移転しました。板橋→戸田のケアマネに事前に連絡済でスムーズにリハビリ施設が決まり感謝です。(新曾・女性・85歳以上)</p> <p>○超高齢者社会を目前に、自助、互助、公助のうち、自助を目的とした政策をもっと充実させるべきでは。(新曾・男性・70～74歳)</p> <p>○地方から出て来てお墓を持たない高齢者にとって死後の事は大きな問題ではないかと考えています。現代は後継ぎがいなくて様々な理由で墓じまいをする人も多いようで、小さなお葬式が好まれているようですね。戸田市には火葬場に直接持ちこみ火葬してくれる制度とか、相談にのってくれる部署はないのでしょうか。(東部・女性・85歳以上)</p>	93件 (特になし含む)

【在宅介護実態調査】

問16 その他、介護保険サービス等について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください

※右の数字は、左のテーマについての意見の数です。また、主な意見を抜粋し、掲載しています。

意見・要望等	件数
<p>福祉サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用単位数を増やしていただきたいです。家族だけではできないことも増え、デイサービスとショートステイの他にも助けていただきたいことはありますが、すでに単位を超えている為、躊躇してしまいます。(市立・女性・85～89歳) ○介護をしている時に介護なのか医療で利用した方がいいのか悩む。対象者が男性、68歳なので、通所しやすいリハビリやマッサージなどを中心にしたデイサービスがあるといい(65歳から対象者になった)。(市立・男性・65～69歳) ○本人の話を電話で聞いて頂けるサービスがあるとよいです。聞いてもらうだけで安心する時間があります(夕暮れ症候群)。(新曾・女性・85～89歳) ○訪問介護サービスの内容が、生活を継続するための必要なものとかけ離れている。例：洗面所の掃除→鏡を拭くことはない、部屋の掃除→イスを移動したり、ゴミ箱を持ち上げたりしない。サービスについて計画を立てるが、天気の良い時、月2回は布団を干してほしい等、柔軟な対応をとってもらえない。(東部・女性・90歳以上) ○デイサービスの利用で平日、土曜の利用できる施設は多くありますが、日曜日の利用できる施設が少なく、日曜のみのスポットのみの利用は難しく、又、日曜の利用ができる施設を平日に利用しないといけないと今まで利用して慣れた施設を辞めるか、利用数を減らさなければならぬため、難しさを感じます。(新曾・男性・90歳以上) ○認知症はありますが元気なので、幼稚園のようなデイサービスではなく、ボランティア的なことをさせて頂ける、仕事を与えられるサービスがあれば、受け身ではなくやる気が出るのではないかと思います。デイサービスの男性利用者は本当につまらない状況に置かれていると思います。(中央・男性・90歳以上) ○介護保険サービスで、事前に申込をすれば色々利用出来るのはわかるが、困った時は緊急の時の対応である。常時の介護サービスと、緊急時の介護サービスを分けるべきだと思う。緊急時は昼夜問わず突然やってくる。代金を払ってでも頼みたい時があると思う。(東部・男性・75～79歳) ○介護保険サービス等について、ケアマネジャーさんにより利用できるサービスの紹介を受けたり、手続きの支援、手配は欠かすことができない程に大変助かっています。素人が資料を見て、理解して、行動することは難しいことです。是非、ケアマネジャーさんの活動が継続していけるよう、戸田市役所との連携が円滑に進むよう、お願い致します。(新曾・女性・65～69歳) 	48件
<p>日常生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老人の住宅問題について御検討下さい。探すのにエネルギーがいります。年齢にも問題があります。一人になった時色々な事に誰に相談したら良いか。(東部・85～89歳) 	2件

意見・要望等	件数
<p>○老後の住まいには「在宅」や「施設」、他にもあるかと思いますが、どの住まい方にしても「人の気配が感じられる」環境であればと思います。現在の生活は「人の気配」は「点」でしかなく、「線」に囲われ、安心安全な生活を送りたいものです（イコール施設選定なのでしょうか）。（市立・女性・70～74歳）</p>	
<p>地域活動について ○交流が無いのが淋しい。声かけもしてほしい。不安でいっぱい。（新曾・女性・80～84歳）</p>	1件
<p>交通環境について ○コミュニティバス以外の運行バス（駅に行くまで乗車等）に、高齢者パスみたいなものがあったら便利だと思います。川口市内の方は、運転手にパスポートみたいなものを見せていました。（東部・女性・85～89歳） ○病院への足として、タクシーの割引をもう少し安くしてもらいたい。福祉タクシーの利用をもっと簡単にしてもらいたい。（市立・男性・85～89歳） ○病院などのタクシーなどのサービスで1人が「要支援1」の場合安く利用できないのでしょうか。（中央・女性・85～89歳） ○転倒以来、自転車に乗れず、買物は歩行器を利用し、助かっています。歩行器では無理な通院にタクシーを利用、往復かなりの出費になります。最近介護タクシーの事を知りましたが制約もあり利用が難しく感じます。（市立・女性・85～89歳） ○病院に通院する際の交通手段に困っています。国際興業バスの本数は少なく、ほぼ利用出来ません。これまでは自転車を使っていたのですが、転ぶ回数が増えとても危険です。寝たきりや車いすではない人の病院への移送サービスがあると非常に助かります。（市立・男性・80～84歳）</p>	8件
<p>介護保険料について ○介護保険を利用しても自費負担が高く、本人の年金だけでは不足。（新曾・女性・90歳以上） ○わずかな収入がある為に、介護保険サービスを利用するのが3割負担になっていて、もっと利用したいと思っても難しい。ボーダーラインにいますと思われ、医療でも2割なので、これ以上サービスを利用するのをためられる。（新曾・女性・85～89歳） ○通所介護や福祉用具貸与を利用させて載っておりますが、介護保険のおかげでとても金銭面で助かっております。が、申し訳なくも思っております。今利用している方々にも少し今以上に今後の方達の為に負担してもらっても良いのではと思っています。（新曾・女性・90歳以上）</p>	5件
<p>医療について ○急に具合が悪くなった時、病院等が休みの時、夜だったり、至急に往診してくれる所はありますか。又費用等はどのくらいかかるものか。救急車を頼むほどではない時、本人動けない状態。（東部・男性・85～89歳） ○本人は病院が嫌いです。そのため、認知症の検査（もしくは受診）は特に嫌がります。例えば、80歳以上になったら、もの忘れ外来受診をすすめる手紙等送っていただく、もしくは、医療イベント等で簡易検査受けられる等あればうれしいです。（中央・女性・85～89歳）</p>	2件

意見・要望等	件数
<p>調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○このアンケート結果を広報紙などで見ることが出来ることを希望します。(中央・女性・90歳以上) ○家族の介護を携わった方に、書面ではなく、直接話を伺った方が良いと思います。(中央・男性・65歳未満) 	5件
<p>情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護保険サービス、パンフレットを見て、なんとなくわかるのですが詳しくはよくわからないので、何を利用できるか、どのような内容のものが受けられるのか(介護認定級ごとに料金はいくら負担になるのか等)、もう少し具体的にわかる資料(簡単なもの)があればよいと思う。(市立・女性・90歳以上) ○わからない事ばかりでケアマネさんに教えてもらいながら介護をしています。要介護の認定を受けた時点で細かいサービス内容のお知らせ、例えばこういう場合はこういうサービスが受けられるとか、そういう物が有れば参考になると思います。パンフレットとかは有るとはありますが、その先の細かい事を知りたいです。(東部・女性・90歳以上) ○病気のように治るものではないので、この先どう変化していくのか知りたいと思うことが多いです。また、現在の介護のし方で正しいのか、もっと良い方法があれば知りたいと思います。(中央・女性・90歳以上) ○本人は理解しようとするが、説明してもよくわかっていないのもめることが多い。例えば後期高齢者になる頃に地域で介護保険制度について説明会等があってもよいのでは。(新曽・男性・80～84歳) ○認知症が進んでも日常生活が何とかできている為、施設などに入居するのを話が出るだけでも嫌がる父をどう説得すれば良いかななどの情報があるとありがたいです。(新曽・女性・85～89歳) 	10件
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「認知症の方や家族介護者にやさしい市」になってほしい。認知症サポーター研修だけでなく、実践の場も増やして頂けると助かります。(中央・女性・80～84歳) ○介護者は介護していると言うと職につけない事が多々あります。無収入になると生きていけません。介護者は生きることが苦しいです。(中央・女性・85～89歳) ○育休取得と比較して介護休暇等の取得は、制度的にも世の中の的にも遅れていると感じています。これだけ高齢化が進んでいるにもかかわらず、少子化は理解され、高齢化に伴う介護が理解がうすい状況は、いずれ自らも年をとることへの理解の欠如かと思えます。(中央・女性・90歳以上) ○災害が起きた時、避難して下さいと連絡されますが歩行などが難しい人はどうやって避難所に行けばいいのでしょうか。階段を上ることも難しいです。避難所に行っても皆様に迷惑がかかります。戸田市に聞いてみましたら、何か登録をしてほしいと言われ、それもいろんな人の調査が必要で、認められても、いざの時はすぐかけつけるのは難しいと言われました。水害があれば浦和の方に逃げてくださいますとも言われましたがとても無理だと帰ってきました。(東部・男性・75～79歳) 	49件 (特になし含む)

V 資料編

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、戸田市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、戸田市内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する戸田市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

問1 あなたの家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (〇はひとつ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
 (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

<p>【(2) において「2」または「3」を選んだ介護・介助を必要とする方のみ】 (2) - ① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)</p>		
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそつちゅう のうしゅつけつ・のうこうそく</small>	2. 心臓病	
3. がん (悪性新生物)	4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) <small>はいきしゅ はいえん</small>	
5. 関節の病気 (リウマチ等)	6. 認知症 (アルツハイマー病等) <small>にんちしょう</small>	
7. パーキンソン病	8. 糖尿病 <small>とうようびょう</small>	9. 腎疾患 (透析) <small>じんしつかん</small>
10. 視覚・聴覚障害 <small>しかく ちょうかくしょうがい</small>	11. 骨折・転倒 <small>こっせつ てんとう</small>	12. 脊椎損傷 <small>せきついそんしょう</small>
13. 高齢による衰弱 <small>すいじゃく</small>	14. その他 ()	15. 不明
<p>【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方のみ】 (2) - ② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)</p>		
1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	
<p>(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇はひとつ)</p>		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
<p>(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇はひとつ)</p>		
1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)	
3. 公営賃貸住宅 <small>こうえいちんたいじゅうたく</small>	4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>	
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>	6. 借家	
7. その他		
<p>(5) あなたの年代を教えてください (令和7年12月1日現在) (〇はひとつ)</p>		
1. 65歳以上 75歳未満	2. 75歳以上 85歳未満	
3. 85歳以上		

問2 からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)	
1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)	
1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	
(6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)	
1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)	
1. とても減っている 2. 減っている	
3. あまり減っていない 4. 減っていない	
(8) 外出を控えていますか (○はひとつ)	
1. はい 2. いいえ	
【(8)において「1. はい」(外出を控えている)を選んだ方のみ】	
(8) - ① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)	
1. 病気	2. 障害 (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	
12. タクシー	13. その他 ()	

問3	食べることについて
(1) 身長・体重を教えてください	
身長	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm
体重	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (〇はひとつ)	
1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (〇はひとつ)	
1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか (〇はひとつ)	
1. はい	2. いいえ
(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (〇はひとつ)	
1. はい	2. いいえ
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (〇はひとつ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	

(6) - ① 噛み合わせは良いですか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
【(6)において「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ方のみ】		
(6) - ② 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○はひとつ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(18) 生きがいがありますか (○はひとつ)
 (「1. 生きがいあり」を選んだ方は () 内に生きがいを記入ください)

1. 生きがいあり → ()

2. 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ TODA 元気体操やラジオ体操など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○はひとつ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (○はひとつ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 就労について		
(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)		
1. 職に就いたことがない	2. 引退した	3. 常勤 (フルタイム)
4. 非常勤 (パート・アルバイト等)	5. 自営業	6. 求職中
7. その他		
【(1) において「2. 引退した」の方のみ】		
(1) - ①あなたはいつ引退しましたか		
1. 昭和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年	2. 平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年	3. 令和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年

問7 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします		
(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	

(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他	
7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇はひとつ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (〇はひとつ) (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)		
1. 0人 (いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他	8. いない

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○はひとつ)	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はひとつ)	
1. はい	2. いいえ
(3) 下記は認知症に関する相談窓口です。名前や存在を知っているものを選んでください (いくつでも)	
1. 地域包括支援センター	2. 認知症ケア相談室
3. 若年性認知症コールセンター	4. 埼玉県・さいたま市若年性認知症ヘルプセンター
5. 認知症疾患医療センター	6. 認知症の人と家族の会 埼玉支部
7. とこかE (戸田市認知症かE)	8. 全て知らない
(4) 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか (○はひとつ)	
1. 知っている	2. 知らない
【(4)において「1. 知っている」を選んだ方のみ】	
(5) 「新しい認知症観」の内容について知っていますか (○はひとつ)	
1. 知っている	2. 知らない

問10 地域包括支援センターについて		
(1) あなたの地域にある「地域包括支援センター」を知っていますか (○はひとつ)		
1. 知っている	2. 知らない	
【(1)において「1. 知っている」を選んだ方のみ】		
(2) 「地域包括支援センター」についてどこまで知っていますか (いくつでも)		
1. 場所を知っている	2. どのような役割かを知っている	3. 知らない

問 12	終活 人生会議（ACP）やエンディングノートについて
<p>(1) 人生会議（ACP）は、もしもの時に備えて、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等近い人や医療・介護の専門職のチームと繰り返し話し合い、共有しておく取組の事です。人生会議（ACP）について、現在の状況に最も近いものを選んでください（○はひとつ）</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 既に取り組んでいる 2. 自分で考えているが、共有はしていない 3. 取り組んでみたいが何をしたらいいかわからない 4. 現時点では取り組むつもりはない 5. 人生会議（ACP）を知らなかった 	
<p>(2) 戸田市版エンディングノートについて、現在の状況に最も近いものを選んでください（○はひとつ）</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 知っており、実際に書いたことがある 2. 知ってはいるが、書いたことはない 3. 存在は知らなかったが、エンディングノート自体は知っている 4. これまで知らなかったが、書いてみたいと思う 5. これまで知らず、今後も書く予定はない 	

問 13	在宅医療・介護について
<p>(1) あなたは「在宅医療（訪問医療や訪問看護）」について知っていますか（○はひとつ）</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 内容も含めてよく知っている 2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない 3. 聞いたことはあるが、詳しくはわからない 4. 知らない 	

(2) 医療や介護の体制が整っていると仮定した場合、あなたが人生の最期を迎えようとするとき、どこで最期を迎えたいですか (〇はひとつ)	
1. 自宅	2. 介護施設 (特養・有料老人ホーム等)
3. サービス付き高齢者向け住宅	4. 病院

問 14	家族介護教室について	
(1) 高齢者を介護している家族や近隣で援助している方、これから高齢者の介護をされる予定のある方等を対象に、介護に役立つコツや知識をお伝えする家族介護教室を定期的に開催しています。家族介護教室を知っていますか (〇はひとつ)		
1. 内容までよく知っている	2. 名前や概要は知っている	
3. 聞いたことはある	4. 知らない	
(2) どのような内容であれば参加してみたいですか (いくつでも)		
1. 介護の基本技術 (オムツ交換、移動・入浴・排泄介助など)		
2. 認知症の理解と接し方		
3. 食事・栄養・口腔ケア		
4. 介護者自身の心と体のケア		
5. 介護に役立つスマートフォンの使い方		
6. 高齢者の消費者被害・防犯対策		
7. 介護経験者との交流・情報交換		
8. 介護サービスや施設の利用方法		
9. その他 ()		
(3) 参加するとしたら、どのような曜日が望ましいですか (いくつでも)		
1. 平日	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日
(4) 参加するとしたら、どのよう時間帯が望ましいですか (いくつでも)		
1. 午前 (概ね9~12時)	2. 午後 (概ね13~17時)	

問 15	デジタル機器の使用について
(1) スマートフォンやパソコンをどのような目的で使っていますか (いくつでも)	
1. 使っていない 2. 各種情報収集や調べもの 3. 市のアプリの利用 (とだウルネスマイレージ等) 4. 医療機関等の各種予約 5. 家族や知人との連絡 (メール、通話等) 6. キャッシュレス決済サービスの利用 7. LINE、X、Facebook 等の SNS 8. その他 ()	
(2) スマートフォンやパソコンの操作にどの程度慣れていますか (○はひとつ)	
1. 使っていない 2. 基本的な操作ならできる (電話・LINE・検索・メールなど) 3. 日常的に使っており、操作に困ることは少ない (予約、申込み、アプリ操作など) 4. 使いこなしている	
(3) 次の中で使用しているデジタル機器はどれですか (いくつでも)	
1. 使っていない 2. パソコン 3. タブレット型端末 (iPad など) 4. スマートフォン	

問 16	その他
その他、戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。	

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

(2) 在宅介護実態調査

管理番号

第 10 期

在宅介護実態調査 調査票

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、
令和 8 年 1 月 28 日(水) までに投函してください。

記 入 日	令 和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。 ○をつけてください。(複数選択可)	
1. あて名のご本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 担当のケアマネジャー等 5. その他	

この調査票は、令和 7 年 12 月 1 日現在、要支援又は要介護認定を受けている方で、在宅で生活をしている方を対象に送付しております。お手元に到着した時の状況と異なる場合もありますことをご了承ください。その場合は、回答の必要はありません。

戸田市 健康福祉部 健康長寿課

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報及び戸田市で保有している要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)につきましては、戸田市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、戸田市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

在宅介護実態調査 調査票

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか(複数回答可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

問2 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 |
| 4. 75～79歳 | 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 |
| 7. 90歳以上 | | |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

V 資料編

問8 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

1. 利用した ⇒問9へ
2. 利用していない ⇒問10へ

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回(利用していない)」を選択してください(それぞれ1つに○)。

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護(デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護(※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無(1つに○)	
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用していない	月1~7日程度	月8~14日程度	月15~21日程度	月22日以上
H. ショートステイ	0回	1~7日	8~14日	15~21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
I. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

問 10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください

(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物等) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロン等の定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11.利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物等) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロン等の定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11.特になし | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. ない | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

- A票の問14で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

B票 **主な介護者の方について、お伺いします**

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族がいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 〔身体介護〕 | |
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |
| 〔生活援助〕 | |
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 〔その他〕 | |
| 15. その他 | 16. わからない |

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
〔生活援助〕	
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〔その他〕	
15. その他	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている	} 問8～問10へ
2. パートタイムで働いている	
3. 働いていない	} 調査は終了です
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてはいますか
 (複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思
 いますか(3つまで選択可)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制等) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワーク等) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問10 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問11 家族介護教室を知っていますか(1つを選択)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問12 家族介護教室に参加するとしたら、どのような内容であれば参加してみたいですか(複数選択可)

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 介護の基本技術(オムツ交換、移動・入浴・排泄介助など) | 3. 食事・栄養・口腔ケア |
| 2. 認知症の理解と接し方 | 5. 介護に役立つスマートフォンの使い方 |
| 4. 介護者自身の心と体のケア | 7. 介護経験者との交流・情報交換 |
| 6. 高齢者の消費者被害・防犯対策 | 9. その他() |
| 8. 介護サービスや施設の利用方法 | |

問13 家族介護教室に参加するとしたら、どのような曜日が望ましいですか(複数選択可)

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 1. 平日 | 2. 土曜日 | 3. 日曜日・祝日 |
|-------|--------|-----------|

問14 家族介護教室に参加するとしたら、どのような時間帯が望ましいですか(複数選択可)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 午前(概ね9~12時) | 2. 午後(概ね13~17時) |
|----------------|-----------------|

問15 主な介護者の方は現在の状況で、あとどのくらい在宅介護を続けられると思いますか
 (1つを選択)

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1~2年 | 3. 3~5年 | 4. 5年以上 | 5. わからない |
|---------|---------|---------|---------|----------|

V 資料編

問 16 その他、介護保険サービス等について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

高齡者等実態把握調査
調査結果報告書

発行：令和8年3月
編集：戸田市